

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで230分以内で可能である。</p> <p>(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により代替給水ピットから蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブロアダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する又は原水槽が使用できないと判断し、代替給水ピットの水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については、「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで180分以内で可能である。</p> <p>(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、可搬型大型送水ポンプ車により原水槽から蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、淡水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出 運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う手順を整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 操作手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</p>		<p>内水の不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中にタービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプの故障等により蒸気発生器への注水を補助給水流量等で確認できない場合において、海水の取水ができないと判断し、原水槽の水位が確保され、使用できることを確認した場合。</p> <p>ii. 操作手順 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水については「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器への注水開始まで205分以内で可能である。</p> <p>d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</p> <p>(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出 発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作して蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、蒸気発生器への注水が補助給水流量等により確保されたことを確認できた場合。</p> <p>ii. 操作手順 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出については、「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1) b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</p> <p>運転停止中において、主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う手順を整備する。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、蒸気発生器ブローダウンタンクに排出させ、適時放射性物質濃度等を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>操作手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</p>		<p>iii. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び災害対策要員2名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器からの蒸気放出開始まで20分以内で可能である。</p> <p>e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</p> <p>発電用原子炉停止中において、主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり、低温停止へ移行する場合、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードは、可搬型大型送水ポンプ車により海水を蒸気発生器へ注水し、主蒸気ドレンラインを経由し、温水ピットに排出させ、適時水質を確認し排出する。</p> <p>なお、海水を蒸気発生器へ注水する場合、蒸気発生器器内水の塩分濃度及び不純物濃度が上昇するため、蒸気発生器ブローダウンラインにより排水を行う。</p> <p>(a) 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合に、低温停止に移行する場合。</p> <p>(b) 操作手順</p> <p>蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</p> <p>(c) 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）2名及び災害対策要員6名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード開始まで445分以内で可能である。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由㊟）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表 p1.4-192 より再掲】</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。</p>	<p>a. 復旧</p> <p>(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</p> <p>全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の故障により、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱ができない場合は、常設代替交流電源設備により残留熱除去系の電源を復旧し、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）又は原子炉補機代替冷却水系により冷却水を確保することで、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）にて発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順等は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>また、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系に関する手順については「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>常設代替交流電源設備により非常用高圧母線 2C 系及び 2D 系の受電が完了し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が使用可能な状態[*]に復旧された場合。</p> <p>※：設備に異常がなく、電源及び補機冷却水が確保されており、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル 3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の状態。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）電源復旧後の発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第 1.4-37 図に、タイムチャートを第 1.4-38 図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）A は、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）の起動に必要なポンプ、電動弁及び監視計器の電源並びに補機冷却水が確保されていること、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル 3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを状態表示にて確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）A は、系統構成として、RHR ポン</p>	<p>f. 復旧</p> <p>(a) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <p>全交流動力電源喪失により、B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により B-充てんポンプの電源を復旧することで、B-充てんポンプにて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準</p> <p>常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、B-充てんポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順</p> <p>B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水については、「1.4.2.1(2) a. (b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <p>【女川】記載表現の相違</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>ブ (A) S/C 吸込弁, RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ (A) 吐出弁の全開操作並びに RHRA 系停止時冷却吸込第一隔離弁, RHRA 系停止時冷却吸込第二隔離弁, RHR ポンプ (A) 停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員 (中央制御室) A は, RHR ポンプ (A) ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し, 残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) 運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は, 運転員に残留熱除去系 (A) (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員 (中央制御室) A は, 残留熱除去系ポンプ (A) の起動操作を実施し, 残留熱除去系ポンプ (A) の出口圧力が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後, RHR A 系停止時冷却注入隔離弁を開操作し, 発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員 (中央制御室) A は, 発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し, 発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員 (中央制御室) A は, RHR 熱交換器 (A) 出口弁を調整開し, 発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は, 運転員 (中央制御室) 1 名にて作業を実施した場合, 作業開始を判断してから残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱開始まで 30 分以内で可能である。</p>	<p>iii. 操作の成立性 上記の操作は, 運転員 (中央制御室) 1 名, 運転員 (現場) 1 名及び災害対策要員 1 名にて作業を実施した場合, 作業開始を判断してから B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水開始まで 40 分以内で可能である。</p> <p>(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 全交流動力電源喪失により, A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転による原子炉容器への注水ができない場合は, 常設代替交流電源設備により A-高圧注入ポンプの電源を復旧することで, 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転にて原子炉容器へ注水する。</p> <p>なお, 常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、A-高圧注入ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転については、1.4.2.1(2) b. (a) i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転の操作手順と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(c) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 全交流動力電源喪失により、電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水ができない場合は、常設代替交流電源設備により電動補助給水ポンプの電源を復旧することで、電動補助給水ポンプにて補助給水ピット水を蒸気発生器へ注水する。</p> <p>なお、常設代替交流電源設備に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p> <p>i. 手順着手の判断基準 常設代替交流電源設備により非常用高圧母線の受電が完了し、電動補助給水ポンプが使用可能な状態に復旧された場合。</p> <p>ii. 操作手順 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水については、1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</p> <p>iii. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>g. 優先順位</p> <p>運転停止中にサポート系の機能喪失により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、空冷式非常用発電装置からの受電準備を行うとともに、格納容器からの作業員の退避指示を行い、格納容器の隔離を行う。格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側による炉心冷却を優先する。</p>	<p>b. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4-42図に示す。</p> <p>常設代替交流電源設備により交流電源が確保できた場合、原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転が可能であれば残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施する。原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）の運転ができない場合、原子炉補機代替冷却水系を設置し、残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）により発電用原子炉からの除熱を実施するが、原子炉補機代替冷却水系の設置に時間を要することから、低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）等による原子炉圧力容器への注水を並行して実施する。</p>	<p>g. 重大事故等時の対応手段の選択</p> <p>重大事故等時の対応手段の選択方法は以下のとおり。対応手段の選択フローチャートを第1.4.40図に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中にサポート系の故障により崩壊熱除去機能が喪失した場合の冷却手段の優先順位を以下に示す。</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合は、常設代替交流電源設備からの受電準備を行うとともに、原子炉格納容器からの作業員の退避指示を行い、原子炉格納容器の隔離を行う。原子炉格納容器隔離弁閉操作後に、1次冷却系に開口部がない場合は、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を優先する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・泊は1.4.2.5にて同等の内容を整理。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蒸気発生器2次側による炉心冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。空冷式非常用発電装置からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水を行う。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側による炉心冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードを行う。</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却ができない場合は、原子炉への注水による原子炉の冷却を行う。まず、燃料取替用水ピットの重力注水による代替炉心注水を行う。燃料取替用水ピット（重力注水）は多様性拡張設備であるが、電源回復しない場合でも注水が可能であるため優先して使用する。</p> <p>空冷式非常用発電装置から受電後は、蓄圧タンクによる代替炉心注水に加え、継続的に炉心に注水するために恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、高揚程であるB充てんポンプ（自己冷却）を使用する。B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水ができない場合は、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水を行う。</p>	<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。常設代替交流電源設備からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、SG直接給水用高圧ポンプを使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、タービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による発電用原子炉の冷却を行う。まず、重大事故等対処設備である代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を優先する。代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、燃料取替用水ピットの重力注水による原子炉容器への注水を行うとともに、高揚程であるB-充てんポンプを使用する。B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。</p>	<p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却手段として、蒸気発生器への注水については、タービン動補助給水ポンプを使用する。常設代替交流電源設備からの受電後は必要により電動補助給水ポンプを使用する。これらの補助給水ポンプが使用できない場合は、SG直接給水用高圧ポンプを使用する。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車は使用準備に時間を要することから、タービン動補助給水ポンプ及び電動補助給水ポンプが使用できない場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ蒸気発生器に注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>蒸気発生器への注水が確保されれば、現場にて手動により主蒸気逃がし弁を開操作し、蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>主蒸気逃がし弁による発電用原子炉の冷却効果がなくなり低温停止に移行する場合は、蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却を行う。</p> <p>蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却ができない場合は、原子炉容器への注水による発電用原子炉の冷却を行う。まず、重大事故等対処設備である代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水を優先する。代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、燃料取替用水ピットの重力注水による原子炉容器への注水を行うとともに、高揚程であるB-充てんポンプを使用する。B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水ができない場合は、B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水を行う。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（記載の明確化）</p> <p>【大飯】運用の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合は、消火ポンプによる代替炉心注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる代替炉心注水ができない場合は、海水を水源とした可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を行う。可搬式代替低圧注水ポンプは重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉への注水手段を失った場合に準備を開始し、多様性拡張設備を含む他の注水手段がなければ原子炉への注水を行う。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて空調用冷水を使用したA余熱除去ポンプ及び電動消火ポンプによる原子炉への注水手段がある。A余熱除去ポンプ（空調用冷水）は恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水ができない場合に使用する。電動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためA格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水ができない場合に使用する。</p> <p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、大容量ポンプによる補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p>		<p>B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合は、消火ポンプによる原子炉容器への注水を行う。ただし、構内で火災が発生した場合においては、消火活動に優先して使用する。消火ポンプによる原子炉容器への注水ができない場合は、淡水又は海水を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水を行う。可搬型大型送水ポンプ車は重大事故等対処設備であるが、使用準備に時間を要することから、B格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水手段を失った場合に準備を開始し、準備が整った際に他の注水手段がなければ原子炉容器への注水を行う。</p> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水のための水源は、水源の切替えによる注水の中断が発生しない海水を優先して使用し、海水取水箇所へのアクセスに時間を要する場合には、準備時間が最も短い代替給水ピットを使用する。海水の取水ができない場合は、保有水量が大きい原水槽を使用する。原水槽への補給は、2次系純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。ただし、ろ過水タンクは、重大事故等対処に悪影響を与える火災の発生がない場合に使用する。</p> <p>また、原子炉補機冷却機能喪失時は上記手段に加えて電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水手段がある。電動機駆動消火ポンプは原子炉補機冷却機能喪失時でも使用可能なためB格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水ができない場合に使用する。</p> <p>代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉容器へ注水後、可搬型大型送水ポンプ車による補機冷却水が確保できれば格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、可搬型大型送水ポンプ車を用いたA高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転により原子炉容器へ注水を行い、あわせて可搬型大型送水ポンプ車からの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより原子炉格納容器内を冷却する。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由③） ・泊3号炉の可搬型大型送水ポンプ車は、淡水又は海水の注水が可能のため、水源の優先順位を整理している。</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由⑤）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合は、代替炉心注水により燃料取替用水ピット水等を原子炉へ注水後、格納容器再循環サンプに水源を切り替えて、準備時間の短いA余熱除去ポンプ（空調用冷水）を用いた低圧代替再循環運転による原子炉への注水を行い、あわせて大容量ポンプからの海水を格納容器再循環ユニットの冷却系へ通水することにより格納容器内を冷却する。</p> <p>A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転ができない場合は、B高圧注入ポンプ（海水冷却）を用いた高圧代替再循環運転により原子炉へ注水を行う。</p> <p>以上の対応手順のフローチャートを第 1.4.43 図に示す。</p>			<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑥）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>運転停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉へ注水して開放中の加圧器安全弁から格納容器内へ蒸散させることにより原子炉を冷却する。この場合は、格納容器内の雰囲気悪化から格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、運転停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は運転停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.22)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>運転停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失時、余熱除去設備の崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉への注水を余熱除去流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>運転停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇により停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信した場合又は停止時SR中性子束高退避警報作動警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき運転員等に格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。 ② 運転員等は、中央制御室でエバケーションアラーム又はページング装置により格納容器内の作業員へ退避を指示する。 ③ 出入監視員は、現場で格納容器内入退域を管理する装置により、全作業員が退避していることを確認する。 ④ 各作業の作業責任者（又は代理人）は、現場で作業員の点呼を行い、全作業員が退避していることを確認す 		<p>(3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等</p> <p>発電用原子炉停止中において、全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合又は1次冷却材が流出した場合に、燃料取替用水ピットの保有水を充てんポンプ等にて原子炉容器へ注水して開放中の加圧器安全弁から原子炉格納容器内へ蒸散させることにより発電用原子炉を冷却する。この場合は、原子炉格納容器内の雰囲気悪化から原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>また、発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束が上昇した場合は、原子炉格納容器内の作業員を守るために作業員を退避させる。</p> <p>なお、発電用原子炉停止中のミッドループ運転期間外の作業員の退避については、原子炉容器に燃料を装荷した状態で、かつ1次冷却系に開口部がある期間は発電用原子炉停止中のミッドループ運転中と同じ管理を行う。</p> <p style="text-align: right;">(添付資料 1.4.23)</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失又は原子炉補機冷却機能喪失により、余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し、原子炉容器への注水を低圧注入流量等にて確認できない場合又は格納容器サンプの水位等にて1次冷却材の流出を確認した場合。</p> <p>発電用原子炉停止中に1次冷却系の希釈事象が発生し、中性子源領域中性子束の上昇によりSR炉停止時中性子束高警報が発信した場合、又はSR炉停止時中性子束高警報が発信するおそれがある場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順の概要は以下のとおり。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に原子炉格納容器内の作業員に対し退避を促すよう指示する。 ② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で格納容器内退避警報又は所内通話設備により原子炉格納容器内の作業員へ退避を指示する。 ③ 格納容器出入管理員は、現場で原子炉格納容器入口付近のC/V入域退出管理簿を確認し、全作業員の退避を確認する。 	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊3号炉は社内規程類にて定めるC/V入域退出管理簿により入退域を管理。 ・大飯3/4号炉と入退域の管理が異なるが、作業員の退避を確認することに相違

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>る。</p> <p>⑤ 作業責任者（又は代理人）は、現場で出入監視員に点呼結果を連絡し、出入監視員は全作業員が退避していることを再確認する。</p> <p>⑥ 出入監視員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の対応は中央制御室にて1ユニット当たり運転員等1名、現場にて1ユニット当たり出入監視員1名により作業を実施し、所要時間は約30分と想定する。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、可搬型照明、通信設備等を整備する。作業環境の周囲温度は通常運転状態と同程度である。 （添付資料 1.4.22）</p>		<p>④ 格納容器出入管理員は、現場で格納容器エアロックを閉止する。</p> <p>⑤ 運転員（現場）Bは、現場で格納容器エアロックが閉止されたことを確認する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名、運転員（現場）1名及び格納容器出入管理員1名にて作業を実施した場合、作業開始を判断してから格納容器エアロックを閉止まで40分以内で可能である。</p> <p>円滑に作業ができるように、移動経路を確保し、防護具、照明及び通信連絡設備を整備する。室温は通常運転時と同程度である。 （添付資料 1.4.23）</p>	<p>なし。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>1.4.2.3 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水 残留熱除去系（低圧注水モード）が健全な場合は、自動起動（原子炉水位低（レベル1）又はドライウエル圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（低圧注水モード）を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順 残留熱除去系（A）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（低圧注水モード）又は残留熱除去系（C）（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水手順も同様）。概要図を第1.4-39図に示す。</p>	<p>1.4.2.4 重大事故等対処設備（設計基準拡張）による対応手順</p> <p>(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 高圧注入ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により高圧注入ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 高圧注入ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水については、1.4.2.3(1) a. (b)「高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水 余熱除去ポンプが健全な場合は、自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）による作動又は中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、燃料取替用水ピットを水源とした原子炉容器への注水を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準 余熱除去ポンプの自動起動信号（原子炉圧力低と加圧器水位低の一致、原子炉圧力異常低又は原子炉格納容器圧力高）が発信した場合。</p> <p>b. 操作手順 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.37図に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)により残留熱除去系ポンプ(A)が起動し、残留熱除去系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が残留熱除去系ポンプ(A)の出口圧力以下であることを確認後、運転員に残留熱除去系(A)(低圧注水モード)による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号(原子炉水位低(レベル1)及び注入隔離弁差圧低又はドライウエル圧力高及び注入隔離弁差圧低)によりRHR A系 LPCI 注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員(中央制御室)Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低(レベル3)から原子炉水位高(レベル8)の間で維持する。</p> <p>※ 原子炉圧力容器内の水位が維持され原子炉圧力容器への注水が不要となる間、原子炉格納容器内にスプレイする場合は、RHR A系 LPCI 注入隔離弁を全閉後、RHR A系格納容器スプレイ隔離弁、RHR A系格納容器スプレイ流量調整弁及びRHR A系 S/C スプレイ隔離弁を全開してスプレイを実施する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水 低圧炉心スプレイ系が健全な場合は、自動起動(原子炉水位低(レベル1)又はドライウエル圧力高)による作動又は中央制御室からの手動操作により低圧炉心スプレイ系を起動し、サブプレッションチェンバを水源とした原子炉圧力容器への注水を実施する。</p>	<p>① 発電課長(当直)は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水開始を指示する。</p> <p>② 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号により余熱除去ポンプが起動したことを確認し、発電課長(当直)に報告する。</p> <p>③ 運転員(中央制御室)Aは、中央制御室で低圧注入流量等により原子炉容器への注水が実施できていることを確認するとともに1次冷却材温度等により発電用原子炉の冷却状態及び余熱除去ポンプの運転状態に異常がないことを継続して確認する。また、冷却状態が維持できない場合は、溢水させフィードアンドブリード運転とする。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員(中央制御室)1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 高圧注入ポンプが健全な場合は、高圧注入ポンプによる高圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプル水を原子炉容器へ注水する。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) ・重大事故等対処設備(設計基準拡張)による手順新規追加</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>a. 手順着手の判断基準 復水給水系、原子炉隔離時冷却系及び高圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水ができず、原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）以上に維持できない場合。</p> <p>b. 操作手順 低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水手順の概要は以下のとおり。 概要図を第1.4-40図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動起動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）又はドライウェル圧力高）により低圧炉心スプレイ系ポンプが起動し、低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力指示値が規定値以上となったことを確認後、発電課長に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水準備完了を報告する。</p> <p>③発電課長は、原子炉圧力容器内の圧力が低圧炉心スプレイ系ポンプの出口圧力以下であることを確認後、運転員に低圧炉心スプレイ系による原子炉圧力容器への注水開始を指示する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、中央制御室からの手動操作又は自動起動信号（原子炉水位低（レベル1）及び注入隔離弁差圧低又はドライウェル圧力高及び注入隔離弁差圧低）により LPCS 注入隔離弁が全開となったことを確認する。</p> <p>⑤運転員（中央制御室）Aは、原子炉圧力容器への注水が開始されたことを低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量指示値の上昇及び原子炉水位指示値の上昇により確認し、発電課長に報告するとともに原子炉圧力容器内の水位を原子炉水位低（レベル3）から原子炉水位高（レベル8）の間で維持する。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>a. 手順着手の判断基準 高圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転については、1.4.2.1(1)c.(a)「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</p> <p>c. 操作の成立性 上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(3) 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱</p> <p>残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）が健全な場合は、中央制御室からの手動操作により残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）を起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持され、かつ原子炉圧力指示値が規定値以下の場合。</p>	<p>(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、余熱除去ポンプによる低圧再循環運転を行い、格納容器再循環サンプ水を原子炉容器へ注水する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>低圧再循環運転をするために必要な格納容器再循環サンプの水位が確保されている場合。</p> <p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる低圧再循環運転手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.38図に示す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる低圧再循環運転開始を指示する。 ② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁の開操作及び余熱除去ポンプRWSP側入口弁の開操作を実施する。 ③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプにより原子炉容器へ注水されていることを低圧注入流量等で確認し、発電課長（当直）に報告する。 ④ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により、発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。 <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p> <p>(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</p> <p>余熱除去ポンプが健全な場合は、中央制御室からの手動操作により余熱除去ポンプを起動し、発電用原子炉からの除熱を実施する。</p> <p>a. 手順着手の判断基準</p> <p>1次冷却材温度 177℃未満及び1次冷却材圧力 2.7MPa[gage]以下の場合。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり（残留熱除去系（B）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱手順も同様）。概要図を第1.4-41図に示す。</p> <p>①発電課長は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>②運転員（中央制御室）Aは、原子炉水位指示値が原子炉水位低（レベル3）以上で維持されていること、原子炉圧力指示値が原子炉停止時冷却モードインターロック解除の設定値以下であることを確認する。</p> <p>③運転員（中央制御室）Aは、系統構成として、RHRポンプ（A）S/C吸込弁、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁及び原子炉再循環ポンプ（A）吐出弁の全開操作並びにRHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁、RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁及びRHRポンプ（A）停止時冷却吸込弁の全開操作を実施する。</p> <p>④運転員（中央制御室）Aは、RHRポンプ（A）ミニマムフロー弁自動開防止措置を実施し、残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）運転の準備完了を発電課長に報告する。</p> <p>⑤発電課長は、運転員に残留熱除去系（A）（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑥運転員（中央制御室）Aは、残留熱除去系ポンプ（A）の起動操作を実施し、残留熱除去系ポンプ（A）出口圧力指示値が上昇したことを残留熱除去系ポンプ出口圧力にて確認後、RHR A系停止時冷却注入隔離弁を開操作し、発電用原子炉からの除熱を開始する。</p> <p>⑦運転員（中央制御室）Aは、発電用原子炉からの除熱が開始されたことを残留熱除去系ポンプ出口流量指示値の上昇及び残留熱除去系熱交換器入口温度指示値の低下により確認し、発電課長に報告する。</p> <p>⑧運転員（中央制御室）Aは、RHR熱交換器（A）出口弁を調整開し、発電用原子炉からの除熱量を調整する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作スイッチによる中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>b. 操作手順</p> <p>余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱手順の概要は以下のとおり。概要図を第1.4.39図に示す。</p> <p>① 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備開始を指示する。</p> <p>② 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度177℃未満及び1次冷却材圧力2.7MPa[gage]以下であることを確認する。</p> <p>③ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプRWSP側入口弁及び余熱除去ポンプRWSP/再循環サンブ側入口弁の全開操作並びに余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁及び余熱除去ライン入口止め弁の全開操作を実施し、余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱準備完了を発電課長（当直）に報告する。</p> <p>④ 発電課長（当直）は、運転員に余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱開始を指示する。</p> <p>⑤ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で余熱除去ポンプの起動操作を実施し、1次冷却材温度等により発電用原子炉からの除熱が開始されたことを確認し、発電課長（当直）に報告する。</p> <p>⑥ 運転員（中央制御室）Aは、中央制御室で1次冷却材温度等により発電用原子炉が冷却状態にあることを継続して確認する。</p> <p>c. 操作の成立性</p> <p>上記の操作は、運転員（中央制御室）1名にて操作を実施する。操作器による中央制御室からの遠隔操作であるため、速やかに対応できる。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・重大事故等対処設備（設計基準拡張）による手順新規追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>1.4.2.4 復旧に係る手順等</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合は、代替電源を設計基準対処設備に給電し、起動及び十分な期間の運転を継続させる。また、燃料取替用水ピットの枯渇、破損のおそれがある場合は、代替水源により水を供給する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。また、燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c、「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>			<p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の復旧に係る手順は、1.4.1.1、1.4.1.2及び1.4.1.3の復旧にて整理している。 ・代替電源に関する手順、常設代替交流電源設備への燃料補給手順及び燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順については、1.4.2.5で網羅している。 <p>【大阪】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は1.4.2.5「その他の手順項目について考慮する手順」で整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-99より再掲】</p> <p>e. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」及び1.13.2.2(5)「1次系純水タンク及びほう酸タンクから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.4 その他の手順項目について考慮する手順 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）及び原子炉補機代替冷却水系による補機冷却水確保手順は、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。 復水貯蔵タンク、淡水貯水槽（No.1）及び淡水貯水槽（No.2）への水の補給手順並びに水源から接続口までの大容量送水ポンプ（タイプI）による送水手順については、「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。</p> <p>復水移送ポンプ、直流駆動低圧注水系ポンプ、ろ過水ポンプ、残留熱除去系ポンプ、低圧炉心スプレイ系ポンプ、代替循環冷却ポンプ、原子炉冷却材浄化系ポンプ、電動弁及び監視計器への電源供給手順並びにガスタービン発電機、電源車及び大容量送水ポンプ（タイプI）への燃料補給手順については、「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。</p>	<p>1.4.2.5 その他の手順項目について考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の補給手順は、「1.13 重大事故等時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>補助給水ピットの枯渇又は破損時の対応手順等は、「1.13 重大事故時に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2「水源へ水を補給するための対応手順」及び1.13.2.3「水源を切り替えるための対応手順」にて整備する。</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られた場合の原子炉格納容器下部への注水については、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.「原子炉格納容器下部への注水」にて整備する。</p> <p>原子炉格納容器内の冷却については、「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(1)a.(a)「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」及び1.6.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 可搬型大型送水ポンプ車を用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映） 【大飯】記載方針の相違 ・大飯は個別手順のリンク先を記載しているが、泊は燃料取替用水ピットへの供給手順等の手順全般をリンクさせる記載としている。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川審査の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違 ・参照先の相違</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表p1.4-193より再掲】</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。また、運転停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系機能喪失時の手順等」で示した手順で対応する。</p>		<p>常設代替交流電源設備の代替電源に関する手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「代替交流電源設備による給電」にて整備する。また、代替非常用発電機及び可搬型大型送水ポンプ車への燃料補給の手順は、「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4「燃料の補給の手順」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>余熱除去ポンプの機能喪失により余熱除去設備が使用できない場合は、余熱除去設備の復旧を継続して実施する。低温停止に移行する場合に、余熱除去設備が復旧していない場合は、1.4.2.2(1)c.「蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」により低温停止に移行する。</p> <p>全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合は、1.4.2.1(2)「サポート系故障時の対応手順」で対応する。また、発電用原子炉停止中に全交流動力電源喪失が発生した場合は、1.4.2.3(2)「サポート系故障時の手順等」で対応する。</p>	<p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は設備によって重油又は軽油を使用することから、補給する燃料を明確にしている。 ・泊は重大事故等時に使用する設備の燃料はすべて軽油のため識別不要であるが、燃料補給の手順を整備する技術的能力1.14にて燃料が軽油であることを記載している。 <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-113より再掲】</p> <p>d. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>1次冷却材喪失事象の発生に伴い、炉心損傷の兆候が見られる場合の格納容器下部への注水については「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち、1.8.2.1(1)a.(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(1)b.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>格納容器内の冷却については「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.1(2)b.(a)「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」又は1.6.2.1(2)a.「代替格納容器スプレイ」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への給油に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の 1.4.2.1(2)d で整理している手順項目は泊の1.4.2.5 で網羅している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-140より再掲】</p> <p>(3) その他の手順項目にて考慮する手順 空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>復水ピットが枯渇又は破損時の補給手順等は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.1「蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）のための代替手段及び復水ピットへの供給に係る手順等」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p> <p>【比較のため、比較表p1.4-160より再掲】</p> <p>h. その他の手順項目にて考慮する手順 燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の1次系純水タンク及びほう酸タンクの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要となる水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(1)「燃料取替用水ピットから1次系純水タンク及びほう酸タンクへの水源切替」にて整備する。</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(i)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(i)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・大飯の 1.4.2.2(3)で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違（女川実績の反映） ・大飯の 1.4.2.3(1)h.で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため、比較表p1.4-182より再掲】</p> <p>f. その他の手順項目にて考慮する手順</p> <p>空冷式非常用発電装置の代替電源に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.1(1)「空冷式非常用発電装置による代替電源（交流）からの給電」にて整備する。また、空冷式非常用発電装置への燃料補給の手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」のうち、1.14.2.4(1)「空冷式非常用発電装置等への燃料（重油）補給」にて整備する。</p> <p>燃料取替用水ピットの枯渇又は破損時の復水ピットからの補給手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」のうち、1.13.2.2(3)「燃料取替用水ピットから復水ピットへの水源切替」及び1.13.2.2(9)「復水ピットから燃料取替用水ピットへの補給」にて整備する。</p> <p>電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプ及び送水車への燃料補給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等」のうち、1.6.2.4(1)「電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）、大容量ポンプへの燃料補給」及び1.6.2.4(2)「送水車への燃料補給」にて整備する。</p> <p>大容量ポンプを用いた格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却に関する手順については「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.2(1)a.「大容量ポンプを用いたA、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。</p> <p>操作の判断及び確認に係る計装設備に関する手順は「1.15 事故時の計装に関する手順等」のうち、1.15.2「重大事故等時の手順等」にて整備する。</p>			<p>【大飯】記載箇所の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の 1.4.2.3(2)f.で整理している手順項目は泊の1.4.2.5で網羅している。

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4-1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 対応手段、対処設備、手順書一覧（1/9）
 （重大事故等対処設備（設計基準拡張））

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書	
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	残留熱除去系（低圧モード）による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※5 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ・スパージヤ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書（微減ペース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	
				残圧中心スプレイスポンジ サブプレッションチェンバ 残圧中心スプレイス 配管・弁・ストレーナ・スパージヤ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書（微減ペース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「残圧中心スプレイスポンジによる原子炉注水」
				残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書（微減ペース） 「減圧冷却」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」
				残留熱除去系（低圧モード）による発電用原子炉の冷却	非常時操作手順書（微減ペース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：1.1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等；【脚注】(h) 項を満足するための代替淡水（池泉）
 ※5：残留熱除去系（残圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順

対応手段、対処設備、手順書一覧（1/22）

（重大事故等対処設備（設計基準拡張））

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ※1	整備する手順書	手順書の分類
重大事故等対処設備（設計基準拡張）	残留熱除去系（低圧モード）による発電用原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※5 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	残留熱除去系ポンプ サブプレッションチェンバ 残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ・スパージヤ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	「重大事故等対処設備」	非常時操作手順書（微減ペース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	設備及び設計基準事故に対応する編制手順書
			残圧中心スプレイスポンジ サブプレッションチェンバ 残圧中心スプレイス 配管・弁・ストレーナ・スパージヤ 原子炉圧力容器 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	「重大事故等対処設備」	非常時操作手順書（微減ペース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「残圧中心スプレイスポンジによる原子炉注水」	設備及び設計基準事故に対応する編制手順書
			残留熱除去系ポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁 原子炉再循環系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。） ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2	「重大事故等対処設備」	非常時操作手順書（微減ペース） 「減圧冷却」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	設備及び設計基準事故に対応する編制手順書
			残留熱除去系（低圧モード）による発電用原子炉の冷却	「重大事故等対処設備」	非常時操作手順書（微減ペース） 「水位確保」等 非常時操作手順書（設備別） 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	設備及び設計基準事故に対応する編制手順書

※1：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重大事故等収束において用いる設備の分類
 ※3：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 ※4：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

泊3号炉との比較対象なし

【大阪】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順（運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時）

Table with 6 columns: 分類 (Classification), 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備 (Design Basis Accident Response Equipment), 対応手段 (Response Measures), 対応設備 (Response Equipment), 整備する手順書 (Procedures to be Prepared), 手順書の分類 (Classification of Procedures). Rows include equipment like 燃料貯蔵タンク, 高圧注入ポンプ, etc.

※1：大阪発電所。重大事故等発生時に必要となる水の供給手順等)にて整備する。
※2：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等)にて整備する。
※3：手順は「1.14 電圧の確保に関する手順等)にて整備する。
※4：可搬型代替低圧注入ポンプにより炉心に注水する場合の注水手順等)にて整備する。
※5：空冷式非常用発電機等の燃料供給に使用する。手順は「1.14 電圧の確保に関する手順等)にて整備する。
※6：電圧源（可搬型代替低圧注入ポンプ用）の燃料供給に使用する。手順は「1.6 炉心内格納容器等の冷却のための手順等)にて整備する。
※7：送水車の燃料供給に使用する。手順は「1.6 炉心が格納容器内の冷却のための手順等)にて整備する。
※8：アイゼンル発電機等により給電する。
※9：A、D格納容器内循環ユニットで格納容器を冷却を行う。手順は「1.7 炉心が格納容器の過圧を防止するための手順等)にて整備する。
※10：重大事故等発生時に用いる。収束の種別：a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧(2/9) (発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時)

Table with 6 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順書の分類. Rows include equipment like 残留熱除去系, 低圧注入ポンプ, etc.

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等)にて整備する。
※2：手順は「1.14 電圧の確保に関する手順等)にて整備する。
※3：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等)にて整備する。
※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等)【解釈】4b)項を満足するための代替低圧源（冷却）
※5：残留熱除去系（低圧注入モード）は熱交換機に接続しておらず。熱交換機は管路としてのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧(2/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のフロントライン系故障時)

Table with 6 columns: 分類, 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備, 対応手段, 対応設備, 整備する手順書, 手順書の分類. Rows include equipment like 燃料貯蔵タンク, 高圧注入ポンプ, etc.

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等)にて整備する。
※2：手順は「1.14 電圧の確保に関する手順等)にて整備する。
※3：重大事故等発生時に用いる。収束の種別：a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備
※4：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：37条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)
・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.1表を再掲】

第1.4.1表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順（運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるフロントライン系機能喪失時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事象が発生している場合	余熱除去ポンプ及び余熱除去ポンプ用燃料冷却器	代管の心注水(①)	A, B充てんポンプ ^{※1}	充てんポンプを用いた心注水により原子炉を冷却する手順	心心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット
			はうろポンプ ^{※2}	はうろポンプ	はうろポンプ	はうろポンプ
			1次系補給水ポンプ ^{※3}	1次系補給水ポンプ	1次系補給水ポンプ	1次系補給水ポンプ
			1次系給水タンク	1次系給水タンク	1次系給水タンク	1次系給水タンク
			A格納容器スプレッドポンプ ^{※4}	A格納容器スプレッドポンプ	A格納容器スプレッドポンプ	A格納容器スプレッドポンプ
			恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ
			空冷式非常用発電機 ^{※5}	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機
			燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット
			高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ
余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ用燃料冷却器	代管の心注水(②)	A格納容器スプレッドポンプ ^{※4}	A格納容器スプレッドポンプ	A格納容器スプレッドポンプ	A格納容器スプレッドポンプ	
		恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	
		空冷式非常用発電機 ^{※5}	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機	
		燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	
		燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	
		電機ポンプ	電機ポンプ	電機ポンプ	電機ポンプ	
		ディーゼル給水ポンプ	ディーゼル給水ポンプ	ディーゼル給水ポンプ	ディーゼル給水ポンプ	
		N.a. 2次水タンク	N.a. 2次水タンク	N.a. 2次水タンク	N.a. 2次水タンク	
		可搬式代替型注水ポンプ ^{※6}	可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	
余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ用燃料冷却器	代管の心注水(③)	A格納容器スプレッドポンプ ^{※4}	A格納容器スプレッドポンプ	A格納容器スプレッドポンプ	A格納容器スプレッドポンプ	
		恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	
		空冷式非常用発電機 ^{※5}	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機	
		燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	
		燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	
		電機ポンプ	電機ポンプ	電機ポンプ	電機ポンプ	
		ディーゼル給水ポンプ	ディーゼル給水ポンプ	ディーゼル給水ポンプ	ディーゼル給水ポンプ	
		N.a. 2次水タンク	N.a. 2次水タンク	N.a. 2次水タンク	N.a. 2次水タンク	
		可搬式代替型注水ポンプ ^{※6}	可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	
格納容器再循環システム	代管の心注水(④)	A格納容器スプレッドポンプ ^{※4}	A格納容器スプレッドポンプ	A格納容器スプレッドポンプ	A格納容器スプレッドポンプ	
		恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	恒速代替型注水ポンプ	
		空冷式非常用発電機 ^{※5}	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機	
		燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	
		燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	燃料冷却器排水ピット	
		電機ポンプ	電機ポンプ	電機ポンプ	電機ポンプ	
		ディーゼル給水ポンプ	ディーゼル給水ポンプ	ディーゼル給水ポンプ	ディーゼル給水ポンプ	
		N.a. 2次水タンク	N.a. 2次水タンク	N.a. 2次水タンク	N.a. 2次水タンク	
		可搬式代替型注水ポンプ ^{※6}	可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	

※1：大規模な重大事故発生時に注水する原子炉冷却材の確保のための設備に関する所定。
 ※2：手順書「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※3：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可搬式代替型注水ポンプにより高圧注水する場合給水係を注水する。
 ※5：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※6：電機車「可搬式代替型注水ポンプ用」が燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※7：送水車の燃料供給に使用するの構成形のものである。手順書「1.6 原子炉格納容器の冷却等のための手順等」にて整備する。
 ※8：ディーゼル発電機等により駆動する。
 ※9：A, D格納容器再循環システムと格納容器再循環システムを併用する。手順書「1.7 原子炉格納容器の再循環を防止するための手順等」にて整備する。
 ※10：重大事故等対策において用いている設備の分類
 a：高圧注水に適合する重大事故等対応設備 b：BWRに適合する重大事故等対応設備 c：自主対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (3/9)
 (発電用原子炉運転中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
フロントライン系故障	残留熱除去系(低圧注水モード)	低圧代替注水系(可搬式)による発電用原子炉の冷却	大容量送水ポンプ(タイプ1) ※1	大容量送水ポンプ(タイプ1)	非常時操作手順書(徴候ベース) 「水位確保」等
			ホース延長回収車 ※1	ホース・注水用ヘブダ・接続口 ※1	重大事故等対応設備 (設計基準事故時)
			補給水系 配管・弁	残留熱除去系 配管・弁	重大事故等対応設備 (設計基準事故時)
			残留熱除去系 配管・弁	残留熱除去系 配管・弁	重大事故等対応設備 (設計基準事故時)
			原子炉圧力容器	常設代替型交流電源設備 ※2	重大事故等対応設備 (設計基準事故時)
			常設代替型交流電源設備 ※2	可搬式代替型交流電源設備 ※2	重大事故等対応設備 (設計基準事故時)
			燃料冷却器設備 ※2	燃料冷却器設備 ※2	重大事故等対応設備 (設計基準事故時)
			非常用交流電源設備 ※2	非常用交流電源設備 ※2	重大事故等対応設備 (設計基準事故時)
			淡水貯水槽(N.a.1) ※1, ※4	淡水貯水槽(N.a.2) ※1, ※4	自主対策 設備
			代替型冷却ポンプ	代替型冷却ポンプ	自主対策 設備
フロントライン系故障	格納容器再循環システムによる発電用原子炉の冷却	代管の心注水(④)	サプレッションチェンバ	サプレッションチェンバ	非常時操作手順書(徴候ベース) 「水位確保」等
			残留熱除去系熱交換器	残留熱除去系熱交換器	非常時操作手順書(設備別) 「代替型冷却ポンプによる原子炉注水」
			残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ	残留熱除去系 配管・弁・ストレーナ	非常時操作手順書(設備別) 「代替型冷却ポンプによる原子炉注水」
			原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	非常時操作手順書(設備別) 「代替型冷却ポンプによる原子炉注水」
			原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却水系を含む) ※3	原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却水系を含む) ※3	非常時操作手順書(設備別) 「代替型冷却ポンプによる原子炉注水」
			非常用取水設備 ※3	非常用取水設備 ※3	非常時操作手順書(設備別) 「代替型冷却ポンプによる原子炉注水」
			原子炉補機冷却水系 ※3	原子炉補機冷却水系 ※3	非常時操作手順書(設備別) 「代替型冷却ポンプによる原子炉注水」
			非常用交流電源設備 ※2	非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(設備別) 「代替型冷却ポンプによる原子炉注水」
			代替型交流電源設備 ※2	代替型交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(設備別) 「代替型冷却ポンプによる原子炉注水」
			ろ過水ポンプ	ろ過水ポンプ	非常時操作手順書(徴候ベース) 「水位確保」等
フロントライン系故障	ろ過水ポンプによる発電用原子炉の冷却	代管の心注水(⑤)	ろ過水ポンプ	ろ過水ポンプ	非常時操作手順書(設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」
			補給水系 配管・弁	補給水系 配管・弁	非常時操作手順書(設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」
			残留熱除去系 配管・弁	残留熱除去系 配管・弁	非常時操作手順書(設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」
			原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	非常時操作手順書(設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」
			非常用交流電源設備 ※2	非常用交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」
			常設代替型交流電源設備 ※2	常設代替型交流電源設備 ※2	非常時操作手順書(設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」
			ろ過水ポンプ	ろ過水ポンプ	非常時操作手順書(設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」
			補給水系 配管・弁	補給水系 配管・弁	非常時操作手順書(設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」
			残留熱除去系 配管・弁	残留熱除去系 配管・弁	非常時操作手順書(設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」
			原子炉圧力容器	原子炉圧力容器	非常時操作手順書(設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」

※1：手順書「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順書「1.1 最終ヒートシンク熱交換器を確保するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【脚注】1) 項を満足するための代替淡水車(増置)。
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機に期待しておらず、熱交換器は管路としてのみ用いる。

対応手段、対応設備、手順書一覧 (3/22)

(1次冷却材喪失事象が発生している場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	整備する手順書	手順書の分類
フロントライン系故障	余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ用燃料冷却器	代管の心注水(①)	可搬式代替型注水ポンプ ※2	可搬式代替型注水ポンプ ※2	発電用原子炉の冷却を確保する手順書
			高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書
			燃料冷却器排水ピット ※1	燃料冷却器排水ピット ※1	発電用原子炉の冷却を確保する手順書
			可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書
			可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書
			可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書
			可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書
			可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書
			可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書
			可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書
余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ用燃料冷却器	代管の心注水(②)	可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		燃料冷却器排水ピット ※1	燃料冷却器排水ピット ※1	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
格納容器再循環システム	代管の心注水(③)	可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		燃料冷却器排水ピット ※1	燃料冷却器排水ピット ※1	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	
		可搬式代替型注水ポンプ	可搬式代替型注水ポンプ	発電用原子炉の冷却を確保する手順書	

※1：手順書「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：可搬式代替型注水ポンプにより高圧注水する場合給水係を注水する。
 ※3：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：燃料冷却器の補給は、2次系補給水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。
 ※5：C, D格納容器再循環システムによる格納容器の再循環を防止するための手順等」にて整備する。
 ※6：重大事故等対策において用いている設備の分類
 a：当所兼用として整備する重大事故等対応設備 b：自主対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4 号炉				女川原子力発電所 2 号炉				泊発電所 3 号炉				相違理由
<p>第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の 1 次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (1/2)</p>												<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理</p>
<p>対応手段、対処設備、手順書一覧 (5/22) (1 次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時)</p>												
<p>第 1.4.2 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転中の 1 次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時) (2/2)</p>												<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
<p>対応手段、対処設備、手順書一覧 (4/9) (発電用原子炉運転中のサポート系故障時)</p>												

大阪 3 / 4 号炉との比較対象なし

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備を整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生している場合におけるサポート系機能喪失時)(1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類		
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全交直電力電源 ¹⁾	代 替 材 注 入 手 続 書 (注)	加圧代替圧注水ポンプ	a,b	加圧代替圧注水ポンプを用いた代替圧注水により炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	S A所定 ²⁾		
			空冷式非常用発電設備 ³⁾	c	自給ポンプ(自己冷却)		a,b	自給ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			燃料取扱用ヒート	a	復水ヒート		a	復水ポンプ、自己冷却等運転の手順
			燃料油貯蔵タンク ⁴⁾	a,b	重油タンク ⁵⁾		a,b	タンクローリー ⁶⁾
			タンクローリー ⁶⁾	a,b	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)		a	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)を用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			燃料取扱用ヒート	a	格納容器内循環ポンプ		a	格納容器内循環ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			ディーゼル発電機	a	ディーゼル発電機		a	ディーゼル発電機を用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			可搬式代替圧注水ポンプ ⁷⁾	a	可搬式代替圧注水ポンプ		a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			送水車	a	送水車		a	送水車を用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			燃料油貯蔵タンク ⁴⁾	a	重油タンク ⁵⁾		a	タンクローリー ⁶⁾
			タンクローリー ⁶⁾	a	軽油ドラム ⁸⁾		a	軽油ドラム ⁸⁾
			大容量ポンプ ⁹⁾	a,b	格納容器内循環ポンプ		a,b	格納容器内循環ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			格納容器内循環ポンプ	a,b	格納容器内循環ポンプ		a,b	格納容器内循環ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			空冷式非常用発電設備 ³⁾	a,b	燃料油貯蔵タンク ⁴⁾		a,b	重油タンク ⁵⁾
			重油タンク ⁵⁾	a,b	タンクローリー ⁶⁾		a,b	タンクローリー ⁶⁾

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に原子炉冷却材の確保のための活動に関する所定
 ※2：手順書「1.14 電炉の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電設備の燃料供給に使用する。手順書「1.14 電炉の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可搬式代替圧注水ポンプにより炉心注水する場合は格納容器注水する。
 ※5：送水車(可搬式代替圧注水ポンプ用)の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※6：1次冷却材の燃料供給に使用する設備のみの使用。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※8：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※9：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：7.3条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(6/22)

(1次冷却材喪失事故が発生している場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類		
1次冷却材喪失事故が発生している場合	全交直電力電源 ¹⁾	代 替 材 注 入 手 続 書 (注)	可搬式代替圧注水ポンプ ¹⁾	a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順	S A所定 ²⁾		
			空冷式非常用発電設備 ³⁾	c	自給ポンプ(自己冷却)		a,b	自給ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			燃料取扱用ヒート	a	復水ヒート		a	復水ポンプ、自己冷却等運転の手順
			燃料油貯蔵タンク ⁴⁾	a,b	重油タンク ⁵⁾		a,b	タンクローリー ⁶⁾
			タンクローリー ⁶⁾	a,b	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)		a	A格納容器スプレイポンプ(自己冷却)を用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			燃料取扱用ヒート	a	格納容器内循環ポンプ		a	格納容器内循環ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			ディーゼル発電機	a	ディーゼル発電機		a	ディーゼル発電機を用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			可搬式代替圧注水ポンプ ⁷⁾	a	可搬式代替圧注水ポンプ		a	可搬式代替圧注水ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			送水車	a	送水車		a	送水車を用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			燃料油貯蔵タンク ⁴⁾	a	重油タンク ⁵⁾		a	タンクローリー ⁶⁾
			タンクローリー ⁶⁾	a	軽油ドラム ⁸⁾		a	軽油ドラム ⁸⁾
			大容量ポンプ ⁹⁾	a,b	格納容器内循環ポンプ		a,b	格納容器内循環ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			格納容器内循環ポンプ	a,b	格納容器内循環ポンプ		a,b	格納容器内循環ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順
			空冷式非常用発電設備 ³⁾	a,b	燃料油貯蔵タンク ⁴⁾		a,b	重油タンク ⁵⁾
			重油タンク ⁵⁾	a,b	タンクローリー ⁶⁾		a,b	タンクローリー ⁶⁾

※1：可搬式代替圧注水ポンプにより炉心を冷却する手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※2：手順書「1.14 電炉の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：送水車(可搬式代替圧注水ポンプ用)の燃料供給に使用することにより行う。
 ※4：1次冷却材の燃料供給に使用する設備のみの使用。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※5：C、D-格納容器内循環ポンプによる燃料供給の自然対流原理は「1.7 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※6：2次冷却材による燃料供給の原理は「1.7 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対応設備 b：7.3条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.2表(1/2)を再掲】

第1.4.2表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備を整備する手順（運転中の1次冷却材喪失事象が発生している場合におけるサポート系機能喪失時）（1/2）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類	
1次冷却材喪失事象が発生している場合	全交直動力電源 ^{*)}	代替冷却材喪失時	加圧代替圧注水ポンプ	a,b	加圧代替圧注水ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び炉管破損を防止する運転手順書	
			空冷式非常用発電機 ^{*)}	c	自給ポンプ（自己冷却）	自給ポンプを用いた代替圧注水により炉心を冷却する手順	運転手順書
			燃料冷却用ヒート	a,b	燃料冷却用ヒート	燃料冷却用ヒート	運転手順書
			復水ヒート	a	復水ヒート	復水ヒート	運転手順書
			燃料油貯蔵タンク ^{*)}	a,b	燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	運転手順書
			重油タンク ^{*)}	a,b	重油タンク	重油タンク	運転手順書
			タンクローリー ^{*)}	a,b	タンクローリー	タンクローリー	運転手順書
			A格納容器スプレイポンプ（自己冷却） RKHKサーボモーター駆動（ポンプ使用）	a,b	A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）	A格納容器スプレイポンプ	運転手順書
			燃料冷却用ヒート	a,b	燃料冷却用ヒート	燃料冷却用ヒート	運転手順書
			ディーゼルポンプ	a,b	ディーゼルポンプ	ディーゼルポンプ	運転手順書
			No. 2復水タンク	a,b	No. 2復水タンク	No. 2復水タンク	運転手順書
			可搬式代替圧注水ポンプ ^{*)}	a	可搬式代替圧注水ポンプ	可搬式代替圧注水ポンプ	運転手順書
			電機車	a	電機車	電機車	運転手順書
			送水車	a	送水車	送水車	運転手順書
			燃料油貯蔵タンク ^{*)}	a	燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	運転手順書
重油タンク ^{*)}	a	重油タンク	重油タンク	運転手順書			
タンクローリー ^{*)}	a	タンクローリー	タンクローリー	運転手順書			
軽油ドラム缶 ^{*)}	a	軽油ドラム缶	軽油ドラム缶	運転手順書			
大容量ポンプ ^{*)}	a,b	大容量ポンプ	大容量ポンプ	運転手順書			
格納容器内循環ポンプ	a,b	格納容器内循環ポンプ	格納容器内循環ポンプ	運転手順書			
格納容器内循環ポンプスターリン	a,b	格納容器内循環ポンプスターリン	格納容器内循環ポンプスターリン	運転手順書			
空冷式非常用発電機 ^{*)}	a,b	空冷式非常用発電機	空冷式非常用発電機	運転手順書			
燃料油貯蔵タンク ^{*)}	a,b	燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	運転手順書			
重油タンク ^{*)}	a,b	重油タンク	重油タンク	運転手順書			
タンクローリー ^{*)}	a,b	タンクローリー	タンクローリー	運転手順書			

*1：大阪発電所 重大事故等発生時に必要な原子炉冷却材の確保のための活動に関する相違。
 *2：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *3：空冷式非常用発電機の燃料供給に関する手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *4：可搬式代替圧注水ポンプにより炉心注水する場合は格納容器注水する。
 *5：電機車（可搬式代替圧注水ポンプ用）の燃料供給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 *6：送水車の燃料供給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 *7：大容量ポンプの燃料供給に関する手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 *8：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 *9：重大事故等発生時に備える設備の分類
 a：当該本文に適合する重大事故等対処設備 b：訂正に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧（7/22）

（1次冷却材喪失事象が発生している場合のサポート系故障時）

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
サポート系故障時	空冷式非常用発電機又は原子炉格納容器内循環ポンプ	電力供給の確保	自給ポンプ	自給ポンプ	運転手順書	炉心の著しい過熱及び炉管破損を防止する運転手順書
			燃料冷却用ヒート	燃料冷却用ヒート	運転手順書	運転手順書
サポート系故障時	空冷式非常用発電機又は原子炉格納容器内循環ポンプ	電力供給の確保	燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	運転手順書	運転手順書
			重油タンク	重油タンク	運転手順書	運転手順書
サポート系故障時	空冷式非常用発電機又は原子炉格納容器内循環ポンプ	電力供給の確保	タンクローリー	タンクローリー	運転手順書	運転手順書
			軽油ドラム缶	軽油ドラム缶	運転手順書	運転手順書
サポート系故障時	空冷式非常用発電機又は原子炉格納容器内循環ポンプ	電力供給の確保	大容量ポンプ	大容量ポンプ	運転手順書	運転手順書
			格納容器内循環ポンプ	格納容器内循環ポンプ	運転手順書	運転手順書
サポート系故障時	空冷式非常用発電機又は原子炉格納容器内循環ポンプ	電力供給の確保	燃料油貯蔵タンク	燃料油貯蔵タンク	運転手順書	運転手順書
			重油タンク	重油タンク	運転手順書	運転手順書
サポート系故障時	空冷式非常用発電機又は原子炉格納容器内循環ポンプ	電力供給の確保	タンクローリー	タンクローリー	運転手順書	運転手順書
			軽油ドラム缶	軽油ドラム缶	運転手順書	運転手順書

*1：手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 *2：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 *3：*1、*2と同様設備が運転停止による格納容器内自然冷却時は「1.7 原子炉格納容器の過熱防止のための手順等」にて整備する。
 *4：*4上段より2号機格納容器の監視カメラのカメラによる監視がある場合に使用される。
 *5：*5 重大事故等発生時に備える設備の分類
 a：当該本文に適合する重大事故等対処設備 b：訂正に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 [運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合] (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去装置	運転中の1次冷却材喪失事象(注水)	電動補助給水ポンプ ^{b)}	単一性 a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	最終及び設計基準事故に対する運転手順書
			タービン補助給水ポンプ			
			戻水ピット			
			蒸気発生器			
			電動主給水ポンプ	多様性 b)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	最終及び設計基準事故に対する運転手順書
			戻水タンク			
			蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動) ^{c)}			
			戻水ピット	多様性 c)	蒸気発生器への注水のための手順	S/A所定 ^{d)}
			主蒸気道のしり			
			タービンバイパス			
ポンプ室 ^{e)}	多様性 d)	ポンプ室を用いた蒸気発生器2次側の「フリーフロー」により炉心が冷却される手順	炉心の著しい過熱及び格納炉過熱を抑制する運転手順書			
ポンプ組による蒸気発生器への注水の手順						
送水車	多様性 e)	炉心の著しい過熱及び格納炉過熱を抑制する運転手順	S/A所定 ^{d)}			

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に原子炉施設の保全のための活動に関する手順
 ※2：プーゼル発電機等により駆動する。
 ※3：手順は「1.2 炉心が過熱状態(バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等)」にて整備する。
 ※4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等)」にて整備する。
 ※5：重大事故対策において用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対処設備 b：訂正に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (9/22)

(1次冷却材喪失事象が発生していない場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
フロントライン系故障時	余熱除去ポンプ又は余熱除去装置	運転中の1次冷却材喪失事象(注水)	電動補助給水ポンプ タービン補助給水ポンプ 戻水ピット 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備) 配管・弁 2次冷却設備(精製給水設備) 配管・弁 非常用交流電源設備 ^{b)}	単一性 a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	最終及び設計基準事故に対する運転手順書
			電動主給水ポンプ			
			戻水タンク	多様性 b)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	最終及び設計基準事故に対する運転手順書
			蒸気発生器補助用仮設中圧ポンプ(電動) ^{c)}			
			戻水ピット			
			主蒸気道のしり	多様性 c)	蒸気発生器への注水のための手順	S/A所定 ^{d)}
			タービンバイパス			
			ポンプ室 ^{e)}			
			ポンプ組による蒸気発生器への注水の手順	多様性 d)	ポンプ室を用いた蒸気発生器2次側の「フリーフロー」により炉心が冷却される手順	炉心の著しい過熱及び格納炉過熱を抑制する運転手順書
			送水車			

※1：手順は「1.4 電気の確保に関する手順等)」にて整備する。
 ※2：手順は「1.5 原子炉の冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等)」にて整備する。
 ※3：可搬型大型送水ポンプ車による海水を蒸気発生器へ注水する。
 ※4：戻水タンクへの搬送は、2次冷却設備タンク又は最終ヒートシンクから移送することにより行う。
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該事故に適合する重大事故等対処設備 b：訂正に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.4表(1/2)を再掲】

第1.4.4表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合)(1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	形質分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類				
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ群	1次冷却材喪失による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ ^{b)}	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(GE水)の手順	故障及び設計基準事故に对应する運転手順書				
			タービン駆動補助給水ポンプ							
			復水ピット							
			蒸気発生器							
			電動主給水ポンプ	多様性担保設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	高圧及び設計基準事故に对应する運転手順書	S.A.所定 ^{c)}			
			攪拌器タンク							
			蒸気発生器補助用復設中圧ポンプ(電駆) ^{b)}							
			復水ピット							
			蒸気発生器2次側					a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)の手順	故障及び設計基準事故に对应する運転手順書
			タービンバイパスポンプ							
ポンプ室 ^{d)}	多様性担保設備	ポンプ室を用いた蒸気発生器2次側のフッドアンドブレードにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び局所的な破損を回避する運転手順書	ロA所定 ^{e)}						
送水車					ポンプ室による蒸気発生器への注水の手順					

※1：「大阪発電所」重大事故等発生時に引ける(原子炉施設の保全のための活動に関する所達)
 ※2：「タービン駆動等」により給水する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等発生時に引ける(原子炉施設の保全のための活動に関する所達)の分類
 a)：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b)：37条に適合する重大事故等対応設備 c)：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧(10/22)

(1次冷却材喪失事象が発生していない場合のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	形質分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ群	1次冷却材喪失による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	故障及び設計基準事故に对应する運転手順書
			タービン駆動補助給水ポンプ			
			電動主給水ポンプ			
			復水ピット			
ポンプ室	ポンプ室を用いた蒸気発生器2次側のフッドアンドブレードにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び局所的な破損を回避する運転手順書	ロA所定 ^{e)}			
				ポンプ室による蒸気発生器への注水の手順		

※1：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順等」にて整備する。
 ※3：可動型大型送水ポンプ車により熱水を蒸気発生器へ注水する。
 ※4：蒸気発生器2次側のフッドアンドブレードは、蒸気発生器2次側のフッドアンドブレードにより熱水を注水する。
 ※5：蒸気発生器2次側へ熱水を注水する場合は蒸気発生器フッドアンドブレードにより熱水を注水する。
 ※6：重大事故等発生時に引ける(原子炉施設の保全のための活動に関する所達)の分類
 a)：当該条文中に適合する重大事故等対応設備 b)：37条に適合する重大事故等対応設備 c)：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事象が発生していない場合) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類	
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	全交流動力電源 ^{b)}	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			密閉式非常用発電機 ^{c)}				
			タービン駆動補助給水ポンプ	a,b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			復水ピット				
			蒸気発生器	a	密閉式非常用発電機燃料補給の手順 蒸気発生器補助用冷却水中ポンプによる蒸気発生器への注水のための手順	S/A所達 ^{d)}	
			燃料補給減タンク ^{e)}				
			風扇タンク ^{f)}				
			タンクローリー ^{g)}				
			蒸気発生器補助用戻送中圧ポンプ(電動) ^{h)}	a,b	蒸気発生器補助用戻送中圧ポンプ(電動) ^{h)}	多様性基準設備	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			復水ピット				
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	a,b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
						主蒸気送り弁(電動) ⁱ⁾	
プッシュアウトポンプ ^{j)}	プッシュアウトポンプ ^{j)}	プッシュアウトポンプ ^{j)}	a,b	プッシュアウトポンプ ^{j)}	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
						ポンプ車 ^{k)}	
注水車	注水車	注水車	a,b	注水車	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
						ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	

※1：1次冷却材喪失事象発生時における原子炉冷却の復元のための活動に関する所達
 ※2：手順は「1.14 電廠の確保に関する手順書」にて整備する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを維持するための手順等」にて整備する。
 ※5：手順は「1.5 最終セーフティシフトへ移行するための手順等」にて整備する。
 ※6：密閉式非常用発電機燃料補給に使用する。手順は「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※7：重大事故対応策において用いる設備の分類
 a) 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b) 37条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (11/22)

(1次冷却材喪失事象が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	
1次冷却材喪失事象が発生していない場合	全交流動力電源	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	タービン駆動補助給水ポンプ	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			電動補助給水ポンプ				
			タービン駆動補助給水ポンプ	a,b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			密閉式非常用発電機 ^{c)}				
			タービン駆動補助給水ポンプ	a	密閉式非常用発電機燃料補給の手順 蒸気発生器補助用冷却水中ポンプによる蒸気発生器への注水のための手順	S/A所達 ^{d)}	
			燃料補給減タンク ^{e)}				
			風扇タンク ^{f)}				
			タンクローリー ^{g)}				
			蒸気発生器補助用戻送中圧ポンプ(電動) ^{h)}	a,b	蒸気発生器補助用戻送中圧ポンプ(電動) ^{h)}	多様性基準設備	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			復水ピット				
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	a,b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
						主蒸気送り弁(電動) ⁱ⁾	
プッシュアウトポンプ ^{j)}	プッシュアウトポンプ ^{j)}	プッシュアウトポンプ ^{j)}	a,b	プッシュアウトポンプ ^{j)}	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
						ポンプ車 ^{k)}	
注水車	注水車	注水車	a,b	注水車	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
						ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	

※1：手順は「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※3：可搬型大型送水ポンプ車により炉心を蒸気発生器へ送水する。
 ※4：蒸気発生器の補給は、2次側風扇タンク又は3次側風扇タンクから移送することにより行う。
 ※5：重大事故発生時において用いる設備の分類
 a) 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b) 37条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.4 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.4 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転中の1次冷却材喪失事故が発生していない場合) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類				
1次冷却材喪失事故が発生していない場合	全交直動炉 ^{b)}	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	電熱補給給水ポンプ	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び特種事故発生を防止する運転手順書				
			空冷式非常用発電機 ^{c)}							
			タービン駆動給水ポンプ							
			復水ピット							
			蒸気発生器							
			燃料補給減タンク ^{d)}				S/A所産 ^{e)}			
			風雨タンク ^{f)}							
			タンクローリー ^{g)}							
			蒸気発生器補給用促進中圧ポンプ(電動) ^{h)}				多様性供給設備	蒸気発生器補給用促進中圧ポンプ(電動) ^{h)}	a,b	主蒸気発生器及び特種事故発生を防止する運転手順書
			復水ピット							
			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	主蒸気発生器 ^{h)}	a,b	主蒸気発生器及び特種事故発生を防止する運転手順書
			ポンプ車 ⁱ⁾							
送水車	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	S/A所産 ^{e)}								

551 大阪発電所 重大事故等発生時に用いる原子炉施設の状態のための活動に関する手順
 552 手順は「1.14 電廠の維持に関する手順等」にて整備する。
 553 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 554 手順は「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを制御するための手順等」にて整備する。
 555 手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 556 空冷式非常用発電機の燃料補給に使用する。手順は「1.14 電廠の維持に関する手順等」にて整備する。
 557 重大事故等対応に用いる設備の分類
 a) 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b) 37条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (12/22)
 (1次冷却材喪失事故が発生していない場合のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類		
サポート系故障時	全交直動炉 ^{b)}	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	主蒸気発生器 ^{h)} 蒸気発生器 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁	a, b	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び特種事故発生を防止する運転手順書		
			可動型大気圧ポンプ車 ^{c)} 2+3+4+5 可動型ボイラー・凝縮機 ボイラー凝縮機 (注水用) 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補給給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁 非常用給水設備 炉内電圧監視装置/電圧監視装置 ^{d)} 燃料補給設備 ^{e)}				蒸気発生器の異常時における対応手順書	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書
			電熱補給給水ポンプ 燃料補給タンク 蒸気発生器 2次冷却設備 (給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (補給給水設備) 配管・弁 2次冷却設備 (主蒸気設備) 配管・弁				蒸気発生器の異常時における対応手順書	設備及び設計基準事故に対応する運転手順書
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)	主蒸気発生器 ^{h)}	a,b	主蒸気発生器及び特種事故発生を防止する運転手順書				
ポンプ車 ⁱ⁾					ポンプ車を用いた、蒸気発生器2次側のフュードアンドフュードにより原子炉を冷却する手順			
送水車	送水車	送水車による蒸気発生器への注水の手順	S/A所産 ^{e)}					

※1 手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリを制御するための手順等」にて整備する。
 ※2 手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※3 可動型大気圧ポンプ車により飽水蒸気発生器へ注水する。
 ※4 蒸気発生器2次側のフュードアンドフュード時、主蒸気発生器を使用する。
 ※5 蒸気発生器2次側を注水する場合は蒸気発生器のフュードアンドフュードにより注水を行う。
 ※6 手順は「1.14 電廠の維持に関する手順等」にて整備する。
 ※7 重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a) 当該表文に適合する重大事故等対応設備 b) 37条に適合する重大事故等対応設備 c) 自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (1 / 2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去管理装置	炉心注水	A、高圧注入ポンプ ³²⁾	a,b	高圧注入ポンプを用いた炉心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			高圧注入ポンプ ³²⁾			
			燃料冷却管注水ピット	a	高圧注入ポンプを用いた炉心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			復水ピット			
			蓄圧タンク	a,b	蓄圧タンクを用いた炉心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			ほう酸タンク ³³⁾			
			ほう酸タンク	a	ほう酸タンクを用いた炉心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			1次系補給水ポンプ ³⁴⁾			
			1次系補給水タンク	a	1次系補給水タンクを用いた炉心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却管注水ピット (重力注水)			
		代替炉心注水	A格納容器スプレイポンプ ³⁵⁾	a	A格納容器スプレイポンプを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			(RHR S-C S S 運転ライン使用)			
			可搬式代替炉心注水ポンプ (空冷式非常用発電装置 ³⁶⁾)	a,b	可搬式代替炉心注水ポンプを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却管注水ピット			
			復水ピット	a	復水ピットを用いた炉心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料冷却管注水ピット			
			重油タンク ³⁷⁾	a,b	重油タンクを用いた炉心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			タンクローリー ³⁸⁾			
			電動注水ポンプ	a	電動注水ポンプを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			ディーゼル注水ポンプ			
N、0、2次水タンク	a	0、2次水タンクを用いた炉心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
可搬式代替炉心注水ポンプ ³⁹⁾						
電源車 (可搬式代替炉心注水ポンプ用)	a	電源車を用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
仮設給水タンク						
送水車	a	送水車を用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
燃料冷却管注水タンク ⁴⁰⁾						
重油タンク ⁴¹⁾	a	重油タンクを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
タンクローリー ⁴²⁾						
精留ドラム ⁴³⁾	a	精留ドラムを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書			
高圧注入ポンプ ³²⁾						
再循環	格納容器内循環ポンプ	a	格納容器内循環ポンプを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書		
	格納容器内循環ポンプスクリーン					
代替再循環	A格納容器スプレイポンプ ³⁵⁾ (RHR S、Cから使用)	a,b	A格納容器スプレイポンプを用いた代替再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書		
	格納容器内循環ポンプ					
再循環	格納容器内循環ポンプスクリーン	a	格納容器内循環ポンプスクリーンを用いた再循環により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書		
格納容器内循環ポンプ						

32) 1号機発電機 重大事故等発生時に必要とする原子炉冷却材の圧力の回復に用いる装置。
 33) デザインの範囲内により設置する。
 34) 手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 35) 空冷式非常用発電装置の燃料供給に使用する。手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 36) 可搬式代替炉心注水ポンプにより炉心注水する場合は機組は機組内にある。
 37) 電源車 (可搬式代替炉心注水ポンプ用) の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 38) 送水車の燃料供給に使用するの範囲のものである。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 39) 重大事故等発生時に用いる装置の分類。
 40) 重大事故等発生時に用いる装置の分類。
 a : 当該表文に適合する重大事故等対処設備 b : 27条に適合する重大事故等対処設備 c : 自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (13/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類*	整備する手順書	手順の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去管理装置	炉心注水	A、高圧注入ポンプ ³²⁾	a,b	高圧注入ポンプを用いた炉心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書
			高圧注入ポンプ ³²⁾			
		燃料冷却管注水ピット	a	高圧注入ポンプを用いた炉心注水により原子炉の燃料冷却管に水を供給する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		復水ピット				
代替炉心注水	A格納容器スプレイポンプ ³⁵⁾	a	A格納容器スプレイポンプを用いた代替炉心注水により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい過熱及び格納容器破損を防止する運転手順書		
	(RHR S-C S S 運転ライン使用)					

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備に記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

* 1 : 手順書「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 * 2 : 重大事故等発生時に用いる装置の分類。
 a : 当該表文に適合する重大事故等対処設備 b : 27条に適合する重大事故等対処設備 c : 自主的対策として整備する重大事故等対処設備

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.5表(1/2)を再掲】

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ群	中心注水	A、自然減圧ポンプ ^a	a,b 定てんポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧冷却ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧冷却ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧冷却ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧冷却ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧冷却ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧冷却ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧冷却ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧冷却ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順 高圧冷却ポンプを用いた中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい温度及び格納容器破損を防止する運転手順書
			高圧注入ポンプ ^a		
			燃料取扱用ボット		
			復水ボット		
			高圧タンク		
			ほう酸タンク ^a		
			ほう酸タンク		
			1次系補給水ポンプ ^a		
			1次系減水タンク		
			燃料取扱用ボット(重力注水)		
代替中心注水	余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ群	代替中心注水	A格納容器スプレイポンプ ^a (RHS-CSS透過ライン使用)	a A格納容器スプレイポンプを用いた代替中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい温度及び格納容器破損を防止する運転手順書
			恒設代替用低圧注水ポンプ 空冷式非常用発電機		
			燃料取扱用ボット		
			復水ボット		
			燃料貯蔵タンク ^a		
			重油タンク ^a		
			タンクローリー ^a		
			精油ドラム缶 ^a		
			高圧注入ポンプ ^a		
			格納容器内循環ポンプ		
格納容器内循環ポンプスクリーン					
再循環	余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ群	代替中心注水	A格納容器スプレイポンプ ^a (RHS-CSS透過ライン使用)	a,b A格納容器スプレイポンプを用いた代替中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい温度及び格納容器破損を防止する運転手順書
			格納容器内循環ポンプ		
			格納容器内循環ポンプスクリーン		
			高圧注入ポンプ ^a		
			燃料貯蔵タンク ^a		
			重油タンク ^a		
			タンクローリー ^a		
			精油ドラム缶 ^a		
			高圧注入ポンプ ^a		
			格納容器内循環ポンプ		
格納容器内循環ポンプスクリーン					

※1：大阪発電所 重大事故等発生時に原子炉冷却材の供給に必要となる水の供給に関する手順。にて整備する。
 ※2：ディーゼル発電機により給する。
 ※3：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※4：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※5：可搬式代替用低圧注水ポンプにより中心注水する場合に備えられたものである。
 ※6：電源車(可搬式代替用低圧注水ポンプ)の燃料供給に使用する。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※7：送水車の燃料供給に使用するの適用の上である。手順は「1.6 原子炉格納容器内の冷却のための手順等」にて整備する。
 ※8：重大事故等発生時に用いる設備の名称。
 ※9：a：緑字又は赤字に適合する重大事故等対処設備。b：青字に適合する重大事故等対処設備。c：自主的対応として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(7/9)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
フロントライン系故障	復水移送ポンプ 復水の減タンク ※1 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 燃料プール補給水系 弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可搬式代替交流電源設備 ※2 所内常設蓄電式直流電源設備 ※2 代替用交流電源設備 ※2	低圧代替注水モードによる発電用原子炉の冷却	重大事故等対処設備 (容圧基準型設備)	非常時操作手順書(フロントライン停止中) 「熱交換機除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」
			重大事故等対処設備 (設計基準型設備)	非常時操作手順書(フロントライン停止中) 「熱交換機除去機能喪失」等 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」 ※1
フロントライン系故障	大容量送水ポンプ(タイプ1) ※1 ホース延長用車 ※1 ホース、注水用ヘッド・接続1) ※1 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 原子炉圧力容器 常設代替交流電源設備 ※2 可搬式代替交流電源設備 ※2 代替用交流電源設備 ※2 燃料貯蔵設備 ※2 非常用交流電源設備 ※2	低圧代替注水モードによる発電用原子炉の冷却	重大事故等対処設備 (容圧基準型設備)	非常時操作手順書(フロントライン停止中) 「熱交換機除去機能喪失」等 重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」 ※1
			自主的対応設備	自主的対応設備
フロントライン系故障	淡水貯水槽(Ns.1) ※1, ※4 淡水貯水槽(Ns.2) ※1, ※4	低圧代替注水モードによる発電用原子炉の冷却	自主的対応設備	自主的対応設備
			自主的対応設備	自主的対応設備

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順は「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源(積置)
 ※5：残留熱除去系(低圧注水モード)は熱交換機に期待しておらず、熱交換機は故障としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧(14/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順書	手順書の分類
フロントライン系故障	余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ群	代替中心注水	高圧注入ポンプ ^a	a 高圧注入ポンプを用いた代替中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい温度及び格納容器破損を防止する運転手順書
			燃料取扱用ボット		
			高圧タンク		
			ほう酸タンク ^a		
			ほう酸タンク		
			1次系補給水ポンプ ^a		
			1次系減水タンク		
			燃料取扱用ボット(重力注水)		
			A格納容器スプレイポンプ ^a (RHS-CSS透過ライン使用)		
			恒設代替用低圧注水ポンプ 空冷式非常用発電機		
代替中心注水	余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ群	代替中心注水	A格納容器スプレイポンプ ^a (RHS-CSS透過ライン使用)	a A格納容器スプレイポンプを用いた代替中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい温度及び格納容器破損を防止する運転手順書
			恒設代替用低圧注水ポンプ 空冷式非常用発電機		
			燃料取扱用ボット		
			復水ボット		
			燃料貯蔵タンク ^a		
			重油タンク ^a		
			タンクローリー ^a		
			精油ドラム缶 ^a		
			高圧注入ポンプ ^a		
			格納容器内循環ポンプ		
格納容器内循環ポンプスクリーン					
再循環	余熱除去ポンプ又は余熱除去ポンプ群	代替中心注水	A格納容器スプレイポンプ ^a (RHS-CSS透過ライン使用)	a,b A格納容器スプレイポンプを用いた代替中心注水により原子炉を冷却する手順	中心の著しい温度及び格納容器破損を防止する運転手順書
			格納容器内循環ポンプ		
			格納容器内循環ポンプスクリーン		
			高圧注入ポンプ ^a		
			燃料貯蔵タンク ^a		
			重油タンク ^a		
			タンクローリー ^a		
			精油ドラム缶 ^a		
			高圧注入ポンプ ^a		
			格納容器内循環ポンプ		
格納容器内循環ポンプスクリーン					

※1：手順は「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：可搬式代替用低圧注水ポンプにより中心注水する場合に備えられたものである。
 ※3：重大事故等発生時に用いる設備の名称。
 ※4：a：緑字又は赤字に適合する重大事故等対処設備。b：青字に適合する重大事故等対処設備。c：自主的対応として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉

【比較のため、第1.4.5表 (1/2) を再掲】

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	設備の役割	整備する手順	手順の分類
運転停止中の冷却材圧力バウンダリ系機能喪失時	冷却材圧力バウンダリ系機能喪失時	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
	冷却材圧力バウンダリ系機能喪失時	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転

注1：大阪発電所：最大事故発生時に発生する原子炉冷却材の圧力低下を抑制する装置。
 注2：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注3：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注4：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注5：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注6：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注7：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注8：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注9：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注10：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

対応手段、対処設備、手順書一覧 (15/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応設備	設備の役割	整備する手順	手順の分類
運転停止中の冷却材圧力バウンダリ系機能喪失時	冷却材圧力バウンダリ系機能喪失時	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
	冷却材圧力バウンダリ系機能喪失時	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転
		高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプ	高圧注入ポンプを用いた高圧注入ポンプによる冷却材の供給	高圧注入ポンプの運転

注1：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注2：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注3：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注4：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注5：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。
 注6：高圧注入ポンプは、高圧注入ポンプとして整備する。

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉				女川原子力発電所 2号炉				泊発電所 3号炉				相違理由	
【比較のため、第 1.4.5 表 (2/2) を再掲】													
第 1.4.5 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (2/2)													
分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類	相違理由	
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去設備	蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ ²⁾	a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	タービン駆動給水ポンプ	b)	可搬型大型送水ポンプ ¹⁾ 可搬型ホース・接続 ³⁾ タービン駆動給水ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備(炉内設備) 配管・弁 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 ⁴⁾ 非常用交電機設備 ⁵⁾	自主制御設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理
			復水ピット				多様な制御設備						
			蒸気発生器										
			電動主給水ポンプ	a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	可搬型大型送水ポンプ ¹⁾ 可搬型ホース・接続 ³⁾ タービン駆動給水ポンプ 蒸気発生器 2次冷却設備(炉内設備) 配管・弁 2次冷却設備(補助給水設備) 配管・弁 非常用交電機設備 ⁴⁾ 燃料補給設備 ⁵⁾	自主制御設備					
			配気器タンク				多様な制御設備						
			蒸気発生器補助用配管中圧ポンプ(電動) ⁶⁾						多様な制御設備				
			復水ピット				a)			蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	蒸気発生器補助用配管中圧ポンプによる蒸気発生器への注水の手順	高圧及び設計基準事故に対する運転手順書	
			蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)	多様な制御設備									
			主蒸気発生器		a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	高圧及び設計基準事故に対する運転手順書	自主制御設備					
			タービンバイパス弁	多様な制御設備									
蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)	a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	高圧及び設計基準事故に対する運転手順書		自主制御設備								
ポンプ車 ⁷⁾				多様な制御設備									
送水車	a)	ポンプ車を用いた蒸気発生器分岐のフリーフロートプルーベにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		自主制御設備								
				多様な制御設備									
	a)	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	高圧及び設計基準事故に対する運転手順書		自主制御設備								
				多様な制御設備									

対応手段、対処設備、手順書一覧 (16/22)
 (発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類	
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ又は余熱除去設備	蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ ²⁾	a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			タービン駆動給水ポンプ				多様な制御設備
			蒸気発生器				
			電動主給水ポンプ	a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			配気器タンク				多様な制御設備
			蒸気発生器補助用配管中圧ポンプ(電動) ⁶⁾				
			復水ピット				a)
			蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)	多様な制御設備			
			主蒸気発生器		a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	高圧及び設計基準事故に対する運転手順書
			タービンバイパス弁	多様な制御設備			
蒸気発生器二次側による炉心冷却(注水)	a)	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	高圧及び設計基準事故に対する運転手順書				
ポンプ車 ⁷⁾				多様な制御設備			
送水車	a)	ポンプ車を用いた蒸気発生器分岐のフリーフロートプルーベにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
				多様な制御設備			
	a)	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	高圧及び設計基準事故に対する運転手順書				
				多様な制御設備			

※1：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.4 電源の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：可搬型大型送水ポンプ車により高圧を蒸気発生器へ注水する。
 ※4：別添欄への補綴は、2次冷却タンク又はろ過タンクから移送することにより行う。
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類。
 ※6：当該条項と適合する重大事故等対処設備。 ※7：条項と適合する重大事故等対処設備。 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.5表(2/2)を再掲】

第1.4.5表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のフロントライン系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類					
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	蒸気発生器と熱交換器による炉心冷却(往水)	電動補助給水ポンプ ^{※1}	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(往水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書					
			タービン駆動給水ポンプ								
			復水ピット								
			凝気ポンプ								
			電動主給水ポンプ								
			乾気器タンク								
		炉心冷却(戻水)	蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) ^{※2}	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(往水)の手順	蒸気発生器2次側による炉心冷却(往水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
			復水ピット								
			蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) ^{※3}		a			蒸気発生器2次側による炉心冷却(戻水)の手順	設計及び設計基準事故に定める運転手順書		
			タービンバイパス								
			ポンプ車 ^{※4}					多様性拡張設備		ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフリードにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			送水車							ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	

※1：大阪発電所、重大事故等発生時に原子炉冷却の保全のための活動に関する所定。
 ※2：タービン発電機等により給電する。
 ※3：手順は「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」にて整備する。
 ※4：手順は「1.3 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。
 ※5：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該英文に適合する重大事故等対処設備 b：別添に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧(17/22)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合	余熱除去ポンプ 又は 余熱除去冷却器	蒸気発生器と熱交換器による炉心冷却(往水)	電動補助給水ポンプ ^{※1} タービン駆動給水ポンプ 復水ピット 凝気ポンプ 電動主給水ポンプ 乾気器タンク	a	蒸気発生器2次側による炉心冷却(往水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) ^{※2} 復水ピット			
			蒸気発生器補助用復元中圧ポンプ(電動) ^{※3} タービンバイパス ポンプ車 ^{※4} 送水車			

※1：手順は「1.4 電源の供給に関する手順等」にて整備する。
 ※2：手順は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を転送するための手順等」にて整備する。
 ※3：可搬型大型送水ポンプにより給水する蒸気発生器-往水。
 ※4：蒸気発生器は復元中のフリードにより原子炉を冷却する。往水はフロントラインを用いる。
 ※5：蒸気発生器-往水が停止する場合は蒸気発生器フリードラインにより給水を行う。
 ※6：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該英文に適合する重大事故等対処設備 b：別添に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第1.4.6表 機能喪失を防止する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	整備する手順	手順書の分類	
運転停止中の場合	全交流電力喪失時	代 替 系 水 注 水 系 (⑩)	燃料取扱用ホット (電力注水)	燃料取扱用ホット (電力注水) 全備 燃料取扱用ホットより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			重圧タンク	a,b	重圧タンクを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			循環冷却用圧入ポンプ	a,b	循環冷却用圧入ポンプを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			空冷式非常用発電機等	e	空冷式非常用発電機等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			燃料取扱用ホット	a,b	燃料取扱用ホットを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			重水ホット	a	重水ホットを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			燃料補給用タンク等	a,b	燃料補給用タンク等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			重油タンク等	a,b	重油タンク等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			タンクローリー等	a,b	タンクローリー等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			A格納容器スプレイポンプ (自己冷却)	a	A格納容器スプレイポンプを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			冷却水-C/S/S	a	冷却水-C/S/Sを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			燃料取扱用ホット	a	燃料取扱用ホットを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			ディーゼル排気ポンプ	a	ディーゼル排気ポンプを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			N ₂ 、2級水タンク	a	N ₂ 、2級水タンクを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
			可搬式代替冷却材注水ポンプ等	a	可搬式代替冷却材注水ポンプ等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}
送水車	a	送水車を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
送水ポンプ	a	送水ポンプを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
燃料補給用タンク等	a	燃料補給用タンク等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
重油タンク等	a	重油タンク等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
タンクローリー等	a	タンクローリー等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
軽油ドラム缶等	a	軽油ドラム缶等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
代 替 系 水 注 水 系 (⑪)	圧入ポンプ (海水冷却)	a,b	圧入ポンプを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
大容量ポンプ等	a,b	大容量ポンプを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
格納容器隔離ポンプ	a,b	格納容器隔離ポンプを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
格納容器隔離ポンプスクリュー	a,b	格納容器隔離ポンプスクリューを用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
空冷式非常用発電機等	e	空冷式非常用発電機等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
燃料補給用タンク等	a,b	燃料補給用タンク等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
重油タンク等	a,b	重油タンク等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			
タンクローリー等	a,b	タンクローリー等を用いた代替が水注により原子炉を冷却する手順	S A所達 ^{※1}			

※1：「大阪発電所」重大事故等対策に関する原子炉電源の喪失が原因となる活動に関する所達
 ※2：手順書「1.14 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電機の燃料補給に使用する。手順書「1.14 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 ※4：可搬式代替冷却材注水ポンプより注水に必要となる冷却材の供給を確保する。
 ※5：電線用可搬式代替冷却材注水ポンプ用の燃料補給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
 ※6：送水車の燃料補給に使用する用途のものである。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
 ※7：大容量ポンプの燃料補給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材の供給のための手順等」にて整備する。
 ※8：手順書「1.5 最終冷却タンクへ水を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※9：重大事故等対策において用いる設備の分類
 a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (8/9)

(発電用原子炉停止中のフロントライン系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
フロントライン系故障	残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード)	代替冷却材注水による発電用原子炉の冷却	代替冷却材注水ポンプ サブプレッシャポンプ 残留熱除去系熱交換器 残留熱除去系 配管・弁・ストレート 原子炉圧力容器 原子炉補給冷却水系 (原子炉補給冷却海水系を含む。) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2 常設代替交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「残留熱除去機能喪失」等
			ろ過水ポンプ ろ過水タンク ろ過水系 配管・弁 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 非常用交流電源設備 ※2 常設代替交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等
			原子炉冷却材浄化系 原子炉圧力容器 原子炉冷却材浄化系 配管 原子炉冷却材浄化系 配管・弁 重水給水系 配管・弁・スパージャ 原子炉補給冷却水系 (原子炉補給冷却海水系を含む。) ※3 非常用取水設備 ※3 非常用交流電源設備 ※2 常設代替交流電源設備 ※2	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」 非常時操作手順書 (設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」

※1：手順書「1.11 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順書「1.11 電線の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順書「1.6 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順書【解説】15」項を満足するための代替冷却水 (積留)
 ※5：残留熱除去系 (既注水モード) は熱交換機に期待しておらず、熱交換器は直列としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (18/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	整備する手順	手順書の分類
サポート系機能喪失時	全交流電力喪失時 又は 原子炉補給冷却海水供給	代 替 系 水 注 水 系 (⑩)	代替冷却材注水ポンプ 燃料取扱用ホット 非常用圧入冷却設備 配管・弁 非常用圧入冷却設備 (既注水系) 配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 1級冷却設備 常設代替交流電源設備 ※1	重圧タンク 循環冷却用圧入ポンプ 空冷式非常用発電機等 燃料取扱用ホット 重水ホット 燃料補給用タンク等 重油タンク等 タンクローリー等	冷却材注水設備の備用時における対応手順書 設備及び設計基準事故に該当する運転手順書
			燃料取扱用ホット 燃料取扱用ホット 燃料取扱用ホット 非常用圧入冷却設備 配管・弁 非常用圧入冷却設備 (既注水系) 配管・弁 1級冷却設備 常設代替交流電源設備 ※1	燃料取扱用ホット 燃料取扱用ホット 燃料取扱用ホット 非常用圧入冷却設備 配管・弁 非常用圧入冷却設備 (既注水系) 配管・弁 1級冷却設備 常設代替交流電源設備 ※1	冷却材注水設備の備用時における対応手順書 設備及び設計基準事故に該当する運転手順書
			ろ過水ポンプ ろ過水タンク ろ過水系 配管・弁 補給水系 配管・弁 残留熱除去系 配管・弁 非常用交流電源設備 ※2 常設代替交流電源設備 ※2	ろ過水ポンプによる原子炉注水	冷却材注水設備の備用時における対応手順書 設備及び設計基準事故に該当する運転手順書
サポート系機能喪失時	全交流電力喪失時 又は 原子炉補給冷却海水供給	代 替 系 水 注 水 系 (⑪)	圧入ポンプ (海水冷却) 大容量ポンプ 格納容器隔離ポンプ 格納容器隔離ポンプスクリュー 空冷式非常用発電機等 燃料補給用タンク等 重油タンク等 タンクローリー等	圧入ポンプ (海水冷却) 大容量ポンプ 格納容器隔離ポンプ 格納容器隔離ポンプスクリュー 空冷式非常用発電機等 燃料補給用タンク等 重油タンク等 タンクローリー等	冷却材注水設備の備用時における対応手順書 設備及び設計基準事故に該当する運転手順書
			圧入ポンプ (海水冷却) 大容量ポンプ 格納容器隔離ポンプ 格納容器隔離ポンプスクリュー 空冷式非常用発電機等 燃料補給用タンク等 重油タンク等 タンクローリー等	圧入ポンプ (海水冷却) 大容量ポンプ 格納容器隔離ポンプ 格納容器隔離ポンプスクリュー 空冷式非常用発電機等 燃料補給用タンク等 重油タンク等 タンクローリー等	冷却材注水設備の備用時における対応手順書 設備及び設計基準事故に該当する運転手順書
			圧入ポンプ (海水冷却) 大容量ポンプ 格納容器隔離ポンプ 格納容器隔離ポンプスクリュー 空冷式非常用発電機等 燃料補給用タンク等 重油タンク等 タンクローリー等	圧入ポンプ (海水冷却) 大容量ポンプ 格納容器隔離ポンプ 格納容器隔離ポンプスクリュー 空冷式非常用発電機等 燃料補給用タンク等 重油タンク等 タンクローリー等	冷却材注水設備の備用時における対応手順書 設備及び設計基準事故に該当する運転手順書

※1：手順書「1.14 電源の喪失に関する手順等」にて整備する。
 ※2：重大事故等対策において用いる設備
 a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は管路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手順であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

【比較のため、第1.4.6表(1/2)を再掲】

第1.4.6表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順
 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (1/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類	
運転停止中の場合 サポート系機能喪失時	全交直電力電源*	燃料取替用水ピット (重力注水)	多重性 a	燃料取替用水ピット (重力注水) を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
		蓄圧タンク	重大事故等対応設備	a,b	蓄圧タンクを用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
		16段代替貯水ポンプ 空冷式非常用発電機**		c	B充てんポンプ (自力冷却) を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	
		B充てんポンプ (自力冷却)	多重性 a,b	a	燃料取替用水ピット	S A所達**
		燃料取替用水ピット		b	充てんポンプ自己冷却配管交換の手順	
		復水ピット	多重性 a,b	a	燃料貯蔵タンク**	S A所達**
		燃料貯蔵タンク**		b	空冷式非常用発電機設置燃料供給の手順	
		タンクローリー**	多重性 a,b	a	A格納容器スプレイポンプ (自力冷却) (取付けS-C/S/S格納容器スプレイポンプ) を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
		A格納容器スプレイポンプ (自力冷却) (取付けS-C/S/S格納容器スプレイポンプ) を用いた代用貯水タンク		b	格納容器スプレイポンプ自己冷却装置接続の手順	
		燃料取替用水ピット	多重性 a,b	a	燃料取替用水ピット	S A所達**
		プーゼル付注ポンプ		b	絶大ポンプを用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	
		N.a. 注水タンク	重大事故等対応設備	a	可搬式代替貯水タンク**	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
		可搬式代替貯水タンク**		b	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	
電機車 (可搬式代替貯水タンク用)	重大事故等対応設備	a	可搬式代替貯水タンク**	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
可搬式代替貯水タンク**		b	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順			
送水車	重大事故等対応設備	a	可搬式代替貯水タンク**	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
燃料貯蔵タンク**		b	可搬式代替貯水タンク**によるが心注水の手順			
重油タンク**	多重性 a,b	a	タンクローリー**	S A所達**		
タンクローリー**		b	重油ドラム**			
軽油ドラム**	多重性 a,b	a	B前注入ポンプ (海水冷却)	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
B前注入ポンプ (海水冷却)		b	自前注入ポンプ (海水冷却)			
格納容器再循環ポンプ	重大事故等対応設備	a	格納容器再循環ポンプ	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
格納容器再循環ポンプ		b	格納容器再循環ポンプ			
空冷式非常用発電機**	重大事故等対応設備	a	空冷式非常用発電機**	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書		
燃料貯蔵タンク**		b	燃料貯蔵タンク**			
タンクローリー**	多重性 a,b	a	タンクローリー**	S A所達**		
タンクローリー**		b	タンクローリー**			

*1：大阪発電所 重大事故等発生時における原子炉電源の緊急のための装置に関する所定
 *2：手順書「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。
 *3：空冷式非常用発電機の燃料供給に使用する。手順書「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。
 *4：可搬式代替貯水タンクによりが心注水する場合注水は注水する。
 *5：電機車 (可搬式代替貯水タンク用) の燃料供給に使用する。手順書「1.16 格納容器再循環の冷却材のための手順等」にて整備する。
 *6：送水車の燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 *7：大容量ポンプの燃料供給に使用する。手順書「1.6 原子炉格納容器内の冷却材のための手順等」にて整備する。
 *8：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 *9：重大事故等発生時に用いている設備の分類
 a：当該条文中に適合する重大事故等対処設備 b：37条に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (9/9)
 (発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	手順書
サポート系故障	全交直電力電源		原子炉補機代替冷却水系 ※3 常設代替交直電源設備 ※2	非常時操作手順書 (プラント停止中) 「燃焼熱除去機能喪失」等
	原子炉補機冷却水系		残留熱除去系ポンプ 原子炉三方容器 残留熱除去系 配管・弁 残留熱除去系熱交換器 原子炉再稼働系 配管・弁・ジェットポンプ 原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却取水系を含む) ※3 非常用取水設備 ※3	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」

※1：手順書「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」にて整備する。
 ※2：手順書「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。
 ※3：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 ※4：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替取水 (措置)
 ※5：残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機に準拠しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

対応手段、対処設備、手順書一覧 (19/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対処設備	設備分類	整備する手順書	手順書の分類
運転停止中の場合 サポート系故障	全交直電力電源	原子炉補機冷却水系	電機車 (可搬式代替貯水タンク用)	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電機車 (可搬式代替貯水タンク用)	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電機車 (可搬式代替貯水タンク用)	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電機車 (可搬式代替貯水タンク用)	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電機車 (可搬式代替貯水タンク用)	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電機車 (可搬式代替貯水タンク用)	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電機車 (可搬式代替貯水タンク用)	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電機車 (可搬式代替貯水タンク用)	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
			電機車 (可搬式代替貯水タンク用)	可搬式代替貯水タンク**	可搬式代替貯水タンク**を用いた代用貯水タンクにより原子炉を冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書

*1：可搬式代替貯水タンク**により海水を原子炉に注水する。
 *2：手順書「1.14 電廠の確保に関する手順等」にて整備する。
 *3：原子炉への補給は、2表系統タンク又は3表系統タンクから移送することにより行う。
 *4：手順書「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」にて整備する。
 *5：c、d、f、g、h、i、j、k、l、m、n、o、p、q、r、s、t、u、v、w、x、y、z、aa、ab、ac、ad、ae、af、ag、ah、ai、aj、ak、al、am、an、ao、ap、aq、ar、as、at、au、av、aw、ax、ay、az、ba、bb、bc、bd、be、bf、bg、bh、bi、bj、bk、bl、bm、bn、bo、bp、bq、br、bs、bt、bu、bv、bw、bx、by、bz、ca、cb、cc、cd、ce、cf、cg、ch、ci、cj、ck、cl、cm、cn、co、cp、cq、cr、cs、ct、cu、cv、cw、cx、cy、cz、da、db、dc、dd、de、df、dg、dh、di、dj、dk、dl、dm、dn、do、dp、dq、dr、ds、dt、du、dv、dw、dx、dy、dz、ea、eb、ec、ed、ee、ef、eg、eh、ei、ej、ek、el、em、en、eo、ep、eq、er、es、et、eu、ev、ew、ex、ey、ez、fa、fb、fc、fd、fe、ff、fg、fh、fi、fj、fk、fl、fm、fn、fo、fp、fq、fr、fs、ft、fu、fv、fw、fx、fy、fz、ga、gb、gc、gd、ge、gf、gg、gh、gi、gj、gk、gl、gm、gn、go、gp、gq、gr、gs、gt、gu、gv、gw、gx、gy、gz、ha、hb、hc、hd、he、hf、hg、hh、hi、hj、hk、hl、hm、hn、ho、hp、hq、hr、hs、ht、hu、hv、hw、hx、hy、hz、ia、ib、ic、id、ie、if、ig、ih、ii、ij、ik、il、im、in、io、ip、iq、ir、is、it、iu、iv、iw、ix、iy、iz、ja、jb、jc、jd、je、jf、jg、jh、ji、jj、jk、jl、jm、jn、jo、jp、jq、jr、js、jt、ju、jv、jw、jx、jy、jz、ka、kb、kc、kd、ke、kf、kg、kh、ki、kj、kk、kl、km、kn、ko、kp、kq、kr、ks、kt、ku、kv、kw、kx、ky、kz、la、lb、lc、ld、le、lf、lg、lh、li、lj、lk、ll、lm、ln、lo、lp、lq、lr、ls、lt、lu、lv、lw、lx、ly、lz、ma、mb、mc、md、me、mf、mg、mh、mi、mj、mk、ml、mm、mn、mo、mp、mq、mr、ms、mt、mu、mv、mw、mx、my、mz、na、nb、nc、nd、ne、nf、ng、nh、ni、nj、nk、nl、nm、no、np、nq、nr、ns、nt、nu、nv、nw、nx、ny、nz、oa、ob、oc、od、oe、of、og、oh、oi、oj、ok、ol、om、on、oo、op、oq、or、os、ot、ou、ov、ow、ox、oy、oz、pa、pb、pc、pd、pe、pf、pg、ph、pi、pj、pk、pl、pm、pn、po、pp、pq、pr、ps、pt、pu、pv、pw、px、py、pz、qa、qb、qc、qd、qe、qf、qg、qh、qi、qj、qk、ql、qm、qn、qo、qp、qq、qr、qs、qt、qu、qv、qw、qx、qy、qz、ra、rb、rc、rd、re、rf、rg、rh、ri、rj、rk、rl、rm、rn、ro、rp、rq、rr、rs、rt、ru、rv、rw、rx、ry、rz、sa、sb、sc、sd、se、sf、sg、sh、si、sj、sk、sl、sm、sn、so、sp、sq、sr、ss、st、su、sv、sw、sx、sy、sz、ta、tb、tc、td、te、tf、tg、th、ti、tj、tk、tl、tm、tn、to、tp、tq、tr、ts、tt、tu、tv、tw、tx、ty、tz、ua、ub、uc、ud、ue、uf、ug、uh、ui、uj、uk、ul、um、un、uo、up、uq、ur、us、ut、uu、uv、uw、ux、uy、uz、va、vb、vc、vd、ve、vf、vg、vh、vi、vj、vk、vl、vm、vn、vo、vp、vq、vr、vs、vt、vu、vv、vw、vx、vy、vz、wa、wb、wc、wd、we、wf、wg、wh、wi、wj、wk、wl、wm、wn、wo、wp、wq、wr、ws、wt、wu、wv、ww、wx、wy、wz、xa、xb、xc、xd、xe、xf、xg、xh、xi、xj、xk、xl、xm、xn、xo、xp、xq、xr、xs、xt、xu、xv、xw、xx、xy、xz、ya、yb、yc、yd、ye、yf、yg、yh、yi、yj、yk、yl、ym、yn、yo、yp、yq、yr、ys、yt、yu、yv、yw、yx、yy、yz、za、zb、zc、zd、ze、zf、zg、zh、zi、zj、zk、zl、zm、zn、zo、zp、zq、zr、zs、zt、zu、zv、zw、zx、zy、zz

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.6 表 機能喪失を想定する設計基準事故対処設備と整備する手順 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2/2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{*)}	整備する手順書	手順の分類										
運転停止中の場合	全交流動力電源 ^{*)}	全交流動力電源の機能喪失	電動補助給水ポンプ	a	電動補助給水ポンプの機能喪失	中心の著しい増減及び格納容器破損を防止する運転手順書										
			蒸気発生器2次側による炉心冷却				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順									
			蒸気発生器					蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順								
			タービン駆動給水ポンプ						蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順							
			復水ピット							蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順						
			燃料供給ポンプ								蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順					
			重油タンク ^{*)}									蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順				
			タンクローリー ^{*)}										蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
			蒸気発生器補助冷却装置(注水ポンプ) (電機) ^{*)}											蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順		
			復水ピット												蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	
主蒸気発生器	主蒸気発生器の機能喪失															
ボンプ車 ^{*)}		ボンプ車を用いた蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順														
送水車			ボンプ車を用いた蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順													
④全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替給水注水に関する設備と同様																
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時				A 余熱除去ポンプ (空調用冷水) ^{*)}	A 余熱除去ポンプの機能喪失	A 余熱除去ポンプ (空調用冷水) を用いた代替給水注水により炉心冷却(注水)の手順	中心の著しい増減及び格納容器破損を防止する運転手順書	A 余熱除去ポンプ (空調用冷水) を用いた代替給水注水により炉心冷却(注水)の手順								
									電動給水ポンプ	電動給水ポンプを用いた代替給水注水により炉心冷却(注水)の手順						
											⑤全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様					
									A 余熱除去ポンプ (空調用冷水) ^{*)}	A 余熱除去ポンプ (空調用冷水) を用いた代替給水注水により炉心冷却(注水)の手順						
⑤全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様																

※1：大規模電源・重大事故等発生時における原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の対応に関する手順。
 ※2：手順は「1.4 電源の喪失に関する手順」にて整備する。
 ※3：空冷式非常用発電装置の燃料供給に使用する。手順は「1.4 電源の喪失に関する手順」にて整備する。
 ※4：手順は「1.2 原子炉内圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順」にて整備する。
 ※5：手順は「1.3 原子炉内圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順」にて整備する。
 ※6：手順は「1.3 最終加熱タンクへ熱を輸送するための手順」にて整備する。
 ※7：重大事故等発生時に用いる設備の分類。
 a：当該事故に直接関与する重大事故等対処設備 b：対策に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

対応手段、対処設備、手順書一覧 (20/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対処設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{*)}	整備する手順書	手順書の分類										
運転停止中の場合	全交流動力電源 ^{*)}	全交流動力電源の機能喪失	電動補助給水ポンプ	a	電動補助給水ポンプの機能喪失	中心の著しい増減及び格納容器破損を防止する運転手順書										
			蒸気発生器2次側による炉心冷却				蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順									
			蒸気発生器					蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順								
			タービン駆動給水ポンプ						蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順							
			復水ピット							蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順						
			燃料供給ポンプ								蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順					
			重油タンク ^{*)}									蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順				
			タンクローリー ^{*)}										蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順			
			蒸気発生器補助冷却装置(注水ポンプ) (電機) ^{*)}											蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順		
			復水ピット												蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	
主蒸気発生器	主蒸気発生器の機能喪失															
ボンプ車 ^{*)}		ボンプ車を用いた蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順														
送水車			ボンプ車を用いた蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順													
④全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替給水注水に関する設備と同様																
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時				A 余熱除去ポンプ (空調用冷水) ^{*)}	A 余熱除去ポンプの機能喪失	A 余熱除去ポンプ (空調用冷水) を用いた代替給水注水により炉心冷却(注水)の手順	中心の著しい増減及び格納容器破損を防止する運転手順書	A 余熱除去ポンプ (空調用冷水) を用いた代替給水注水により炉心冷却(注水)の手順								
									電動給水ポンプ	電動給水ポンプを用いた代替給水注水により炉心冷却(注水)の手順						
											⑤全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様					
									A 余熱除去ポンプ (空調用冷水) ^{*)}	A 余熱除去ポンプ (空調用冷水) を用いた代替給水注水により炉心冷却(注水)の手順						
⑤全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替再循環運転に関する設備と同様																

※1：手順は「1.4 電源の喪失に関する手順」にて整備する。
 ※2：手順は「1.3 原子炉内圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順」にて整備する。
 ※3：可動式発電機ボンプ車により復水を蒸気発生器へ注水する。
 ※4：重大事故等発生時に用いる設備の分類。
 a：当該事故に直接関与する重大事故等対処設備 b：対策に適合する重大事故等対処設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対処設備

【大阪】
 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対処設備による対応手段を整理

【大阪】
 設備の相違 (相違理由④)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

【比較のため、第 1.4.6 表 (2/2) を再掲】

第 1.4.6 表 機能喪失を想定する設計基準事故対応設備と整備する手順 (運転停止中のサポート系機能喪失時) (2 / 2)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順の分類				
運転停止中の場合	全交流動力電源 ^{b)}	冷却材の圧力バウンダリ低圧による炉心冷却(注水)	電動補助給水ポンプ	重大事故等対応設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
			空冷式非蒸気発生器							
			タービン駆動補助給水ポンプ							
			復水ピット							
			蒸気発生器							
			燃料供給調整タンク ^{c)}							
			重油タンク ^{c)}	多様性設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
			タンクローリー ^{c)}							
			蒸気発生器用補助的冷却(注水)ポンプ(電動)							
			復水ピット							
サポート系機能喪失時	冷却材の圧力バウンダリ低圧による炉心冷却(注水)	主蒸気透かし弁(規模手動操作) ^{d)}	重大事故等対応設備	a)	主蒸気透かし弁機能回復の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
							フイ蒸し蒸気発生器(ドブ抜き装置)のドブ	多様性設備	ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフュードランドブロー ^{e)} により炉心冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書
							ポンプ車 ^{c)}			
							送水車	設備	ポンプ車による蒸気発生器への注水の手順	S A所達 ^{f)}
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時	全交流動力電源喪失時の対応手段のうち代替炉心注水に用いる設備と同様	代替炉心注水	A余熱除去ポンプ(空調用冷水) ^{g)}	多様性設備	A余熱除去ポンプ(空調用冷水)を用いた代替炉心注水により炉心冷却する手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書				
							電動的欠ポンプ			
							代替再循環ポンプ	格納容器再循環タンク	格納容器再循環	格納容器再循環

01：大阪発電所 重大事故等発生時に用いる原子炉冷却材の圧力バウンダリ低圧時の対応に関する手順書
 02：手順書 1.14 電機設備の修理に関する手順書 として整備する。
 03：空冷式非蒸気発生器の燃料供給に使用する。手順書 1.14 電機設備の修理に関する手順書 として整備する。
 04：手順書 1.12 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に格納容器を冷却するための手順書 として整備する。
 05：手順書 1.13 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に格納容器を冷却するための手順書 として整備する。
 06：手順書 1.15 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順書 として整備する。
 07：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：07条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

対応手段、対応設備、手順書一覧 (21/22)

(発電用原子炉停止中のサポート系故障時)

分類	機能喪失を想定する設計基準事故対応設備	対応手段	対応設備	設備分類 ^{a)}	整備する手順書	手順書の分類	
運転停止中の場合	全交流動力電源 ^{b)}	冷却材の圧力バウンダリ低圧による炉心冷却(注水)	可搬型大型送水ポンプ ^{c)} * 1 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水車用) 基本機 ^{d)}	自主的対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
			2次高純水タンク * 2 ろ過水タンク * 2 蒸気発生器				
			2次冷却設備(給水設備)配管 * 1 2次冷却設備(補助給水設備)配管 * 1 給水再循環設備 配管 * 1 常設代替交流電源設備 * 3 燃料供給設備 * 3				
サポート系機能喪失時	冷却材の圧力バウンダリ低圧による炉心冷却(注水)	主蒸気透かし弁 * 4 蒸気発生器 2次冷却設備(主蒸気設備)配管 * 1	自主的対策設備	自主的対策設備	蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順	炉心の著しい損傷及び格納容器破損を防止する運転手順書	
							可搬型大型送水ポンプ * 5 * 6 * 7 * 8 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車(送水車用) 蒸気発生器 2次冷却設備(給水設備)配管 * 1 2次冷却設備(補助給水設備)配管 * 1 蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順 常設代替交流電源設備 * 3 燃料供給設備 * 3
							蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水)の手順

* 1：手順書 1.12 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順書 として整備する。
 * 2：原則への補綴は、2次高純水タンク又はろ過水タンクから移送することにより行う。
 * 3：手順書 1.14 電機設備の修理に関する手順書 として整備する。
 * 4：手順書 1.13 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に格納容器を冷却するための手順書 として整備する。
 * 5：手順書 1.15 最終ヒートシンクへ熱を搬送するための手順書 として整備する。
 * 6：可搬型大型送水ポンプ車により炉心冷却水を蒸気発生器へ注水する。
 * 7：蒸気発生器2次側のフュードランドブロー^{e)}時は、主蒸気ドレンラインを使用する。
 * 8：蒸気発生器2次側の水を蒸気発生器2次側格納容器に格納し、格納容器より格納容器ドレンラインにより格納水を行う。
 * 9：重大事故等発生時に用いる設備の分類
 a：当該表文に適合する重大事故等対応設備 b：07条に適合する重大事故等対応設備 c：自主的対策として整備する重大事故等対応設備

【大阪】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載
 ・泊は設計基準事故対応設備による対応手段を整理

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第 1.4.7 表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧（1 / 48）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水				
(a) A、B 充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計	
	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計（CR T）	
		操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
			原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計
			原子炉圧力容器内の注水量	・ 充てん流量計 ・ 出力領域中性子束計 ・ 中間領域中性子束計 ・ 中性子源領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計
	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計 ・ ほう酸タンク水位計 ・ 1次系純水タンク水位計（CR T）	

第 1.4-2 表 重大事故等対処に係る監視計器

監視計器一覧（1/20）

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水 (a) 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水		
非常時操作手順書（履歴ベース） 「水位確保」等	判断基準	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）
非常時操作手順書（設備別） 「復水移送ポンプによる原子炉注水」		4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 復水貯蔵タンク水位
	操作	原子炉圧力容器内の水位 原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA 広帯域） 原子炉水位（SA 燃料域）
		原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力（SA） 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） （残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量） 復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位

第 1.4.2 表 重大事故等対処に係る監視計器

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

監視計器一覧（1/61）

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水				
(a) 充てんポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） ・ 炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量 ・ 低圧注入流量	
	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 1次系純水タンク水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 高圧注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	
		補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） ・ 炉心出口温度
			原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
			原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位
	水源の確保	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系純水タンク水位	
		補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	・ 充てん流量 ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 燃料取替用水ピット水位 ・ ほう酸タンク水位 ・ 1次系純水タンク水位
			原子炉圧力容器内の圧力	・ 充てんライン圧力

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																
<p>監視計器一覧 (2/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> (a) A格納容器スプレイポンプ (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水 </td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(a) A格納容器スプレイポンプ (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計	原子炉压力容器への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計	<p>監視計器一覧 (2/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉压力容器への注水量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量	補機監視機能	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力	水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (2/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> (a) B-格納容器スプレイポンプ (MRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉压力容器への注水 </td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(a) B-格納容器スプレイポンプ (MRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉压力容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	補機監視機能	・ 充てんライン圧力	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位	原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																			
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																			
b. 代替炉心注水																																																																																																																			
(a) A格納容器スプレイポンプ (RHR-S-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計																																																																																																																
		原子炉压力容器への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																
補機監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																																																																		
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																	
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																			
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																			
a. 低圧代替注水																																																																																																																			
b. 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																			
非常時操作手順書 (徴候ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																	
非常時操作手順書 (設備別) 「直流駆動低圧注水系ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 250V 直流主母線電圧																																																																																																																	
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																																	
操作	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																	
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																	
	原子炉压力容器への注水量	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量																																																																																																																	
	補機監視機能	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力																																																																																																																	
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																	
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																			
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																			
b. 代替炉心注水																																																																																																																			
(a) B-格納容器スプレイポンプ (MRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉压力容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																
	操作	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																
		補機監視機能	・ 充てんライン圧力																																																																																																																
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位																																																																																																																
原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																		
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																		
水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																	
<p>監視計器一覧 (3/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束計</td> <td>・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束計</td> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>中間領域起動率計</td> <td>・ 中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 空冷式非常用発電装置 ・ 電力計、周波数計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計	中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計	中間領域起動率計	・ 中間領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計	電源	・ 空冷式非常用発電装置 ・ 電力計、周波数計	<p>監視計器一覧 (3/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(c) 低圧代替注水系 (可検型) による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微視ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ 1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 炭帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(c) 低圧代替注水系 (可検型) による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微視ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ 1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 炭帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)	<p>監視計器一覧 (3/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>出力領域中性子束</td> <td>・ 出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td>・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域起動率</td> <td>・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ B-A, B母線電圧</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束	中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束	中性子源領域起動率	・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位	補機監視機能	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ B-A, B母線電圧	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																																				
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																				
b. 代替炉心注水																																																																																																																																				
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																		
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																																		
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																		
	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束計	・ 出力領域中性子束計																																																																																																																																	
		中性子源領域中性子束計	・ 中性子源領域中性子束計																																																																																																																																	
		中間領域起動率計	・ 中間領域起動率計																																																																																																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																																		
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計																																																																																																																																		
	電源	・ 空冷式非常用発電装置 ・ 電力計、周波数計																																																																																																																																		
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																		
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																				
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																				
a. 低圧代替注水																																																																																																																																				
(c) 低圧代替注水系 (可検型) による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																				
非常時操作手順書 (微視ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																		
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ 1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	判断基準	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																	
		水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																																	
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (炭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 炭帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																																		
	水源の確保	淡水貯水槽 (No. 1) 淡水貯水槽 (No. 2)																																																																																																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																		
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																																				
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																				
b. 代替炉心注水																																																																																																																																				
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)																																																																																																																																		
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																		
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																																		
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																																		
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																		
	未臨界の維持又は監視	出力領域中性子束	・ 出力領域中性子束																																																																																																																																	
		中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束																																																																																																																																	
		中性子源領域起動率	・ 中性子源領域起動率																																																																																																																																	
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																		
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位 ・ 補助給水ビット水位																																																																																																																																		
	補機監視機能	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口圧力																																																																																																																																		
電源	・ 代替非常用発電機電圧、電力、周波数 ・ B-A, B母線電圧																																																																																																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																						
<p>監視計器一覧 (4/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>中間領域中性子束計</td> <td>・ 中間領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計	未臨界の維持又は監視	中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (4/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">n. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) 代替蓄蔵冷却系による原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (機械ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">非常時操作手順書 (設備別) 「代替蓄蔵冷却ポンプによる原子炉注水」</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉補種冷却水系系結流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力動潤室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>代替蓄蔵冷却ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>代替蓄蔵冷却ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>圧力動潤室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			n. 低圧代替注水			(d) 代替蓄蔵冷却系による原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (機械ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「代替蓄蔵冷却ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	最終ヒートシンクの確保	原子炉補種冷却水系系結流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)	水源の確保	圧力動潤室水位	操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力容器への注水量	代替蓄蔵冷却ポンプ出口流量	補機監視機能	代替蓄蔵冷却ポンプ出口圧力	水源の確保	圧力動潤室水位	<p>監視計器一覧 (4/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 原用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">未臨界の維持又は監視</td> <td>中間領域中性子束</td> <td>・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 原用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率	未臨界の維持又は監視	中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・ ろ過水タンク水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																									
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																									
b. 代替炉心注水																																																																																																																									
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																							
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																							
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																							
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計																																																																																																																						
		原子炉圧力容器内への注水量	・ AM用消火水積算流量計 ・ A余熱除去流量計 ・ 出力領域中性子束計																																																																																																																						
未臨界の維持又は監視		中間領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計 ・ 中間領域起動率計 ・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																						
		水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																						
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																						
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																									
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																									
n. 低圧代替注水																																																																																																																									
(d) 代替蓄蔵冷却系による原子炉圧力容器への注水																																																																																																																									
非常時操作手順書 (機械ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																							
非常時操作手順書 (設備別) 「代替蓄蔵冷却ポンプによる原子炉注水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																							
	最終ヒートシンクの確保	原子炉補種冷却水系系結流量 (A系のみ) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (A系のみ)																																																																																																																							
	水源の確保	圧力動潤室水位																																																																																																																							
操作	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (異常域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																							
	原子炉圧力容器への注水量	代替蓄蔵冷却ポンプ出口流量																																																																																																																							
	補機監視機能	代替蓄蔵冷却ポンプ出口圧力																																																																																																																							
	水源の確保	圧力動潤室水位																																																																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																									
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																									
b. 代替炉心注水																																																																																																																									
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																							
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																							
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																							
	水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																							
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																						
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																																																						
		原子炉圧力容器への注水量	・ 原用消火水積算流量 ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率																																																																																																																						
未臨界の維持又は監視		中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																						
		水源の確保	・ ろ過水タンク水位																																																																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																															
<p>監視計器一覧 (5/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>・ 出力領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・ 中間領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 中性子源領域中性子束計</td> </tr> <tr> <td>・ 中間領域起動率計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 中性子源領域起動率計</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計	未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 原子炉水位計	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計	・ 出力領域中性子束計	・ 中間領域中性子束計	原子炉格納容器内の水位	・ 中性子源領域中性子束計	・ 中間領域起動率計	原子炉格納容器内の水位	・ 中性子源領域起動率計	・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)	<p>監視計器一覧 (5/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (数値ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (数値ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	原子炉水位 (広帯域)	電源の確保	操作	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	水源の確保	操作	原子炉水位 (SA 燃料域)	ろ過水タンク水位	補機監視機能	操作	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	水源の確保	操作	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	水源の確保	操作	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B 1 電圧	補機監視機能	操作	ろ過水ポンプ出口圧力	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (5/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">判断基準</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">未臨界の維持又は監視</td> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 原子炉水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">出力領域中性子束</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>・ 出力領域中性子束</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間領域中性子束</td> <td>・ 中間領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>・ 中性子源領域中性子束</td> </tr> <tr> <td>中間領域起動率</td> <td>・ 中間領域起動率</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域起動率</td> <td>・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> <td>・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力 (広域)	未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の注水量	・ 原子炉水位	出力領域中性子束	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	・ 出力領域中性子束	中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束	・ 中性子源領域中性子束	中間領域起動率	・ 中間領域起動率	中性子源領域起動率	・ 中性子源領域起動率	格納容器再循環サンプル水位 (広域)	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																		
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																		
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																																																																																																
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																
		・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																
操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																																																																																																
		・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																
原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																	
未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 加圧器水位計																																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 原子炉水位計																																																																																																																																																
		・ A余熱除去流量計																																																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																																																
		・ 出力領域中性子束計																																																																																																																																																
・ 中間領域中性子束計																																																																																																																																																		
原子炉格納容器内の水位	・ 中性子源領域中性子束計																																																																																																																																																	
	・ 中間領域起動率計																																																																																																																																																	
原子炉格納容器内の水位	・ 中性子源領域起動率計																																																																																																																																																	
	・ 格納容器再循環サンプル水位計 (広域)																																																																																																																																																	
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																		
a. 低圧代替注水																																																																																																																																																		
(e) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水																																																																																																																																																		
非常時操作手順書 (数値ベース) 「水位確保」等	判断基準	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																																
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																																
電源の確保	操作	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																																
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																																
水源の確保	操作	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																
		ろ過水タンク水位																																																																																																																																																
補機監視機能	操作	4-2C 母線電圧																																																																																																																																																
		4-2D 母線電圧																																																																																																																																																
水源の確保	操作	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																																																
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																																																																
水源の確保	操作	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																																																
		125V 直流主母線 2B 1 電圧																																																																																																																																																
補機監視機能	操作	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																																																
		ろ過水タンク水位																																																																																																																																																
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																																																		
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																		
b. 代替炉心注水																																																																																																																																																		
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																																
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																																																																																																
		・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																																																																																
操作	原子炉圧力容器内の注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																
		・ 炉心出口温度																																																																																																																																																
原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																	
未臨界の維持又は監視	原子炉圧力容器内の注水量	・ 加圧器水位																																																																																																																																																
	原子炉格納容器内の注水量	・ 原子炉水位																																																																																																																																																
	出力領域中性子束	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																																
		・ 出力領域中性子束																																																																																																																																																
	中間領域中性子束	・ 中間領域中性子束																																																																																																																																																
・ 中性子源領域中性子束																																																																																																																																																		
中間領域起動率	・ 中間領域起動率																																																																																																																																																	
中性子源領域起動率	・ 中性子源領域起動率																																																																																																																																																	
格納容器再循環サンプル水位 (広域)	・ 格納容器再循環サンプル水位 (広域)																																																																																																																																																	

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（6/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding-left: 20px;">b. 代替心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">未監視の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（7/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="padding-left: 20px;">b. 代替心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="text-align: center;">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">未監視の維持又は監視</td> <td></td> <td>・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未監視の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位			対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	未監視の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位			<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p>【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																																					
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																					
b. 代替心注水																																																																																					
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側）																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																			
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																			
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																			
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 心出口温度																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																			
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																			
	未監視の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																		
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																		
		水源の確保	・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																																		
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																		
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																																				
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																					
b. 代替心注水																																																																																					
判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側）																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																			
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																			
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																			
操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温度側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温度側） ・ 心出口温度																																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																			
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																			
	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																			
	未監視の維持又は監視		・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 中間領域起動率 ・ 中性子源領域起動率																																																																																		
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																		
		水源の確保	・ 2次系純水タンク水位 ・ ろ過水タンク水位																																																																																		

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																										
<p>監視計器一覧（6/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（8/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">c. 再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			c. 再循環運転			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																													
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 高圧注入流量計																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																											
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																													
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																													
c. 再循環運転																																																																													
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																										
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																										
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																										
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																										
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																												

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（7/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>格納監視機能</td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	格納監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（9/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>格納監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）	格納監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																									
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(a) A格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																						
		原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																						
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																						
		原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																						
		格納監視機能	・ A格納容器スプレイポンプ吐出圧力計																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																									
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																									
d. 代替再循環運転																																																																									
(a) B-格納容器スプレイポンプ（RHS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																						
		原子炉压力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																						
		原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
		格納監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																							
<p>監視計器一覧（8/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 475 712 1125"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高压注入流量計 ・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高压注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の注水量	・ 高压注入流量計 ・ 余熱除去流量計	原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器スプレイ流量計	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計	原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計	補機監視機能	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高压注入ポンプ吐出圧力計		<p>監視計器一覧（10/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 491 1998 1129"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="6">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>・ 格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>・ 格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td rowspan="6">補機監視機能</td> <td>・ 格納容器再循環サンブ水位（広域） ・ 高压注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">操作</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器への注水量</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高压注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量	原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量	原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度	原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）	補機監視機能	補機監視機能	補機監視機能	・ 格納容器再循環サンブ水位（広域） ・ 高压注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	原子炉压力容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																								
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																										
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																										
d. 代替再循環運転																																																																										
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																							
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																							
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高压注入流量計 ・ 余熱除去流量計																																																																							
		原子炉格納容器内の注水量	・ 格納容器スプレイ流量計																																																																							
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度計																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・ 格納容器圧力計（広域） ・ AM用格納容器圧力計																																																																							
	補機監視機能	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位計（広域） ・ 原子炉格納容器水位計																																																																							
		補機監視機能	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・ 格納容器スプレイポンプ吐出圧力計 ・ 高压注入ポンプ吐出圧力計																																																																						
				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																				
				1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																						
				(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																						
		d. 代替再循環運転																																																																								
(b) 格納容器再循環サンブスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																							
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																							
		原子炉压力容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 低圧注入流量																																																																							
		原子炉格納容器への注水量	・ 格納容器スプレイ流量																																																																							
		原子炉格納容器内の温度	・ 格納容器内温度																																																																							
		原子炉格納容器内の圧力	・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用）																																																																							
	補機監視機能	補機監視機能	補機監視機能	・ 格納容器再循環サンブ水位（広域） ・ 高压注入ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																						
				操作	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																			
						原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																			
						原子炉压力容器への注水量	原子炉压力容器への注水量	・ 高压注入流量 ・ 充てん流量 ・ 低圧注入流量																																																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																											
<p>監視計器一覧 (9/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="5">操作</td> <td>・ A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">水源の確保</td> <td rowspan="6">操作</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 復水ビット水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体積制御タンク水位計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計 	原子炉格納容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 	原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計 	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度計 	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計 	最終ヒートシンクの確保	操作	・ A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計		・ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計		・ 主蒸気圧力計		・ 蒸気発生器水位計 (狭域)		・ 蒸気発生器補助給水流量計		水源の確保	操作	・ 燃料取替用水ビット水位計		・ 復水ビット水位計		・ ほう酸タンク水位計		・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)		・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)		・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)		補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体積制御タンク水位計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 		<p>監視計器一覧 (11/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td rowspan="14">(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</td> <td rowspan="14">操作</td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (適用) </td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td rowspan="5">操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (適用)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="10">水源の確保</td> <td rowspan="10">操作</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 2次系純水タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 使用済燃料ビット水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 体積制御タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸補給ライン流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ほう酸補給ライン流量積算制御</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水補給ライン流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 1次系純水補給ライン流量積算制御</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ろ過水タンク水位</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td rowspan="3">操作</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			d. 代替再循環運転			(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 	原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 	原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (適用) 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器水位 	最終ヒートシンクの確保	操作	・ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (適用)		・ C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計		・ 主蒸気ライン圧力		・ 蒸気発生器水位 (狭域)		・ 補助給水流量計		水源の確保	操作	・ 燃料取替用水ビット水位		・ 1次系純水タンク水位		・ 2次系純水タンク水位		・ 使用済燃料ビット水位		・ ほう酸タンク水位		・ 体積制御タンク水位		・ ほう酸補給ライン流量		・ ほう酸補給ライン流量積算制御		・ 1次系純水補給ライン流量		・ 1次系純水補給ライン流量積算制御		・ ろ過水タンク水位		補機監視機能	操作	・ 高圧注入ポンプ出口圧力		・ 余熱除去ポンプ出口圧力		・ 余熱除去ポンプ電流		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																														
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																														
d. 代替再循環運転																																																																																																																														
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 原子炉水位計 																																																																																																																											
		原子炉格納容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 																																																																																																																											
		原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量計 ・ 余熱除去流量計 																																																																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度計 																																																																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器圧力計 (広域) ・ AM用格納容器圧力計 																																																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域) ・ 原子炉格納容器水位計 																																																																																																																											
		最終ヒートシンクの確保	操作	・ A、D格納容器再循環ユニット冷却水流量計																																																																																																																										
				・ AM用原子炉補機冷却水サージタンク圧力計																																																																																																																										
				・ 主蒸気圧力計																																																																																																																										
				・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																																																																										
				・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																																										
		水源の確保	操作	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																																																										
				・ 復水ビット水位計																																																																																																																										
・ ほう酸タンク水位計																																																																																																																														
・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																														
・ No. 3 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																														
・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																														
補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 体積制御タンク水位計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																																														
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																														
d. 代替再循環運転																																																																																																																														
(b) 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順	操作	原子炉格納容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器スプレイ流量計 																																																																																																																											
		原子炉格納容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内温度 																																																																																																																											
		原子炉格納容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力 (適用) 																																																																																																																											
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・ 格納容器水位 																																																																																																																											
		最終ヒートシンクの確保	操作	・ 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (適用)																																																																																																																										
				・ C、D格納容器再循環ユニット補機冷却水流量計																																																																																																																										
				・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																																										
				・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																																																										
				・ 補助給水流量計																																																																																																																										
		水源の確保	操作	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																																																										
				・ 1次系純水タンク水位																																																																																																																										
				・ 2次系純水タンク水位																																																																																																																										
				・ 使用済燃料ビット水位																																																																																																																										
				・ ほう酸タンク水位																																																																																																																										
・ 体積制御タンク水位																																																																																																																														
・ ほう酸補給ライン流量																																																																																																																														
・ ほう酸補給ライン流量積算制御																																																																																																																														
・ 1次系純水補給ライン流量																																																																																																																														
・ 1次系純水補給ライン流量積算制御																																																																																																																														
・ ろ過水タンク水位																																																																																																																														
補機監視機能	操作	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																												
		・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																												
		・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																														
<p>監視計器一覧 (10/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)と同様。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計	電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)		・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。		(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	補機監視機能	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (12/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・消幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)	原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位	電源	・消幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)		・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																	
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																	
a. 代替炉心注水																																																																																	
(a) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計																																																																														
		電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																														
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																														
			・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																														
操作	1.4.2.1(1)b.(b)と同様。																																																																																
(b) A余熱除去ポンプ (空調用冷水) による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計 (広域) ・1次冷却材低温側温度計 (広域) ・炉心出口温度計																																																																														
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計																																																																														
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																														
	補機監視機能	水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計																																																																														
			・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																														
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b.「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。																																																																															
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																	
a. 代替炉心注水																																																																																	
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)																																																																														
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位																																																																														
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																														
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位																																																																														
		電源	・消幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																														
	補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																														
			・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																														
		操作	1.4.2.1(1)b.(b)「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																														
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</div>																																																																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3 / 4号炉			女川原子力発電所2号炉			泊発電所3号炉			相違理由		
監視計器一覧 (11 / 48)											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水											
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位計								
		原子炉压力容器内の注水量	・A余熱除去流量計 ・恒設代替低圧注水積算流量計								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域）								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計								
		電源	・4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
		補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）							
		監視計器一覧 (12 / 48)									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水											
(c) B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水	操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力計								
		原子炉压力容器内の水位	・原子炉水位計 ・加圧器水位計								
		原子炉压力容器内の注水量	・充てん水流量計								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位計（広域） ・原子炉格納容器水位計								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位計 ・復水ピット水位計								
		補機冷却		・B充てんポンプ封水油冷却器冷却水流量計 ・B充てんポンプ電動機冷却水流量計							
		監視計器一覧 (13/61)									
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水											
(b) B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度								
		原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）								
		原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位								
		原子炉压力容器への注水量	・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量								
		原子炉格納容器内の水位	・格納容器再循環サンプ水位（広域）								
		水源の確保	・燃料取替用水ピット水位 ・高幹線1L電圧、2L電圧 ・後志幹線1L電圧、2L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧 ・6-A、B、C1、C2、D母線電圧								
		補機監視機能		・原子炉補機冷却水供給母管流量 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）							
			操作	原子炉压力容器内の温度	・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度						
				原子炉压力容器内の圧力	・1次冷却材圧力（広域）						
				原子炉压力容器内の水位	・加圧器水位 ・原子炉容器水位						
原子炉压力容器への注水量	・充てん流量										
補機冷却		・格納容器再循環サンプ水位（広域） ・燃料取替用水ピット水位 ・B-充てんポンプ油冷却器及び封水冷却器補機冷却水流量 ・B-充てんポンプ電動機補機冷却水流量									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																				
<p>監視計器一覧（13/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環リンパ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 充てん水圧力計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環リンパ水位計（広域）	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計	補機監視機能	・ 充てん水圧力計	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		<p>監視計器一覧（14/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">(c) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環リンパ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td></td> <td>・ 前幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td></td> <td>・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">操作</td> <td rowspan="3">原子炉压力容器内の温度</td> <td></td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td></td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器への注水量</td> <td></td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環リンパ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機冷却</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td></td> <td>・ B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量 ・ B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(c) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環リンパ水位（広域）	電源	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位			・ 前幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能		・ 充てんライン圧力		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	操作	原子炉压力容器内の温度		・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力		・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量		・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環リンパ水位（広域）	補機冷却	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位			・ B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量 ・ B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																							
(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																				
	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計																																																																																					
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環リンパ水位計（広域）																																																																																					
	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																					
	補機監視機能	・ 充てん水圧力計																																																																																					
	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																					
	補機監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																				
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																																							
(c) B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																				
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環リンパ水位（広域）																																																																																				
	電源	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																				
				・ 前幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																																			
			補機監視機能		・ 充てんライン圧力																																																																																		
					・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																		
					・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																																		
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																					
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																																					
	操作	原子炉压力容器内の温度		・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																			
			原子炉压力容器内の圧力		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																		
				原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																																		
原子炉压力容器への注水量			・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環リンパ水位（広域）																																																																																				
補機冷却		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位																																																																																				
				・ B-格納容器スプレイポンプ電動機補機冷却水流量 ・ B-格納容器スプレイポンプ補機冷却水流量																																																																																			
			<p>監視計器一覧（14/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</td> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環リンパ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機冷却</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4"></td> <td></td> <td>・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計 ・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環リンパ水位計（広域）	補機冷却	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計			・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計 ・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計																																																												
対応手段		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																				
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																																							
(d) A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR S-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計 ・ 加圧器水位計																																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																				
		原子炉压力容器内の注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環リンパ水位計（広域）																																																																																				
	補機冷却	水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計																																																																																				
				・ A格納容器スプレイポンプ電動機冷却水流量計 ・ A格納容器スプレイポンプ冷却水流量計																																																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																															
<p style="text-align: center;">監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧（15/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 542 716 1085"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d)と同等。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.1(d)と同等。			<p>監視計器一覧（15/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 470 2004 1061"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-1格納容器スプレイ流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>・ 通水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>・ 泊幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電源</td> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b、(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-1格納容器スプレイ流量	・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	水源の確保	・ 通水タンク水位	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧	電源	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	操作	1.4.2.1(1)b、(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																																		
(e) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度計																																																																
		・ 1次冷却材圧力計																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																
	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																
	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																
	水源の確保	・ No. 2淡水タンク水位計（CRT）																																																																
	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																
・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																		
操作	1.4.2.1(d)と同等。																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																																		
(d) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 炉心出口温度																																																																
		・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																
	原子炉圧力容器への注水量	・ B-1格納容器スプレイ流量																																																																
		・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																
	原子炉格納容器内水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																
	水源の確保	・ 通水タンク水位																																																																
		・ 泊幹線1L電圧、2L電圧																																																																
電源	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																																																	
	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																	
	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																	
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																	
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																	
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																																																	
操作	1.4.2.1(1)b、(c)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																													
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(15/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="6" style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td style="width: 20%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(d)、(e)と同様。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計	補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	操作	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		操作	1.4.2.1(d)、(e)と同様。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧（16/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">電源</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 冷却機1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1(i) b. (e)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">電源</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(i) b. (e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ 冷却機1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）	1.4.2.1(i) b. (e)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能		操作	1.4.2.1(i) b. (e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p style="text-align: center; color: red;">【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</p>
(f) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																											
				原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																											
		原子炉圧力容器内の水位		・ 加圧器水位計																																																																												
		補機監視機能	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																												
			原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																												
	操作	電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																													
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																														
	操作	1.4.2.1(d)、(e)と同様。																																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																																																																
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																
a. 代替炉心注水																																																																																
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																													
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																													
	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																													
		補機監視機能	・ 冷却機1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																													
	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																													
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量																																																																													
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																													
	1.4.2.1(i) b. (e)「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																															
(f) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																													
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																													
	電源	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）																																																																													
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																													
		補機監視機能																																																																														
	操作	1.4.2.1(i) b. (e)「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																														

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																													
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（17/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 40%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判 断 基 準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-1格納容器スプレィ流量</td> </tr> <tr> <td>・ B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンブ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">機 作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(d) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	・ B-1格納容器スプレィ流量	・ B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量（A用）	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位（広域）	機 作	1.4.2.1(d) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																														
1.4.2.1 1次冷却材喪失事故が発生している場合の対応手順																																
(2) サポート系故障時の対応手順																																
a. 代替炉心注水																																
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判 断 基 準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																													
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																													
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																													
		原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量																													
			・ B-1格納容器スプレィ流量																													
		・ B-1格納容器スプレィ冷却器出口積算流量（A用）																														
原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンブ水位（広域）																															
機 作	1.4.2.1(d) b. (f)「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																															

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																				
<p>監視計器一覧 (16/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 原子炉水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ B 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ B 高圧注入ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="3">大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計	操作	補機冷却	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計	原子炉压力容器への注水量	・ B 高圧注入流量計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機監視機能	・ B 高圧注入ポンプ吐出圧力計	大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。				<p>監視計器一覧 (18/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 母幹線 1L 電圧, 2L 電圧 ・ 機志幹線 1L 電圧, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 母-ス、B、C1、C2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td colspan="3">可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合			1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	・ 母幹線 1L 電圧, 2L 電圧 ・ 機志幹線 1L 電圧, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 母-ス、B、C1、C2、D 母線電圧	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力	可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																							
i. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																				
		電源	・ 4-3(4) A、B、C1、C2、D1、D2 母線電圧計																																																																				
	操作	補機冷却	・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																				
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 原子炉水位計																																																																				
		原子炉压力容器への注水量	・ B 高圧注入流量計																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																				
補機監視機能	・ B 高圧注入ポンプ吐出圧力計																																																																						
大容量ポンプによる冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「大容量ポンプによる補機冷却水（海水）通水」にて整備する。																																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 b. 代替再循環運転 (a) 全交流動力電源喪失と1次冷却材喪失事象が同時に発生した場合																																																																							
1. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																				
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																				
		電源	・ 母幹線 1L 電圧, 2L 電圧 ・ 機志幹線 1L 電圧, 2L 電圧 ・ 甲母線電圧, 乙母線電圧 ・ 母-ス、B、C1、C2、D 母線電圧																																																																				
	操作	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																				
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																				
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位																																																																				
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																				
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																				
補機監視機能	・ A-高圧注入ポンプ出口圧力																																																																						
可搬型大型送水ポンプ車による冷却水通水については、「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)a. 「可搬型大型送水ポンプ車による A-高圧注入ポンプへの補機冷却水（海水）通水」の操作手順と同様である。																																																																							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由	
監視計器一覧（17 / 48）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合					
(2) サポート系機能喪失時の手順等					
b. 代替再循環運転					
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合					
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	大飯 3 / 4号炉との比較対象なし	【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 		
	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 			
	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域） 			
	相機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 			
		相機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・ A余熱除去ポンプ冷却水流量計 		
	操作	空調用冷水系による冷却水通水操作は「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(5)b. 「空調用冷水ポンプによるA余熱除去ポンプ代替補機冷却」にて整備する。			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																								
<p>監視計器一覧（18/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 454 712 1145"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内への注水量</td> <td>・ A 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>B 高圧注入ポンプ冷却水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉格納容器内への注水量	・ A 余熱除去流量計	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		補機冷却	B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計		B 高圧注入ポンプ冷却水流量計		操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。			<p>監視計器一覧（19/61）</p> <table border="1" data-bbox="1384 491 1998 1161"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="10">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">補機冷却</td> <td>A-高圧注入ポンプ及び油冷冷却器補機冷却水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量		原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）		補機冷却	A-高圧注入ポンプ及び油冷冷却器補機冷却水流量（AM用）		A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量		A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）		A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）		操作	1.4.2.1(2)b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																											
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																											
b. 代替再循環運転																																																																																											
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																																											
ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																																								
		原子炉格納容器内への注水量	・ A 余熱除去流量計																																																																																								
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																								
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																								
		補機冷却	B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計																																																																																								
			B 高圧注入ポンプ冷却水流量計																																																																																								
		操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																											
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																											
b. 代替再循環運転																																																																																											
(b) 1次冷却材喪失時における再循環運転時に原子炉補機冷却機能が喪失した場合																																																																																											
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																																																								
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																								
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位																																																																																								
		原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																																								
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																								
		補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																								
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																																																								
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量																																																																																								
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																																								
		補機冷却	A-高圧注入ポンプ及び油冷冷却器補機冷却水流量（AM用）																																																																																								
A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																											
A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																																											
A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）																																																																																											
操作	1.4.2.1(2)b. (a) i. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																											
<p>監視計器一覧 (6/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 復旧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 復旧			(a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	圧力制御室水位		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量		補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (7/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 復旧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(b) 既圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td>電源の確保</td> <td>6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>圧力制御室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 復旧			(b) 既圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧		水源の確保	圧力制御室水位		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量		補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力		水源の確保	圧力制御室水位	<p>監視計器一覧 (20/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止</td> <td>判断基準</td> <td>電源 ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域) 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 原子炉格納容器内の水位 ・ 格納容器再循環サブ水位 (広域) 水源の確保 ・ 燃料取扱用ボット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (別用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) a.、b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>— 操作に伴う監視計器がないため記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	判断基準	電源 ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧	操作	—	d. 復旧			b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域) 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 原子炉格納容器内の水位 ・ 格納容器再循環サブ水位 (広域) 水源の確保 ・ 燃料取扱用ボット水位	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	・ 原子炉補機冷却水供給管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (別用)	操作	1.4.2.1(2) a.、b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】 記載方針の相違 ・ 泊3号炉は、手順着手の判断基準の監視計器を整理している。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																												
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																														
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																														
a. 復旧																																																																																																														
(a) 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水																																																																																																														
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																																																												
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																																																												
	電源の確保	6-2C 母線電圧 6-2D 母線電圧 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																												
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																												
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																																																												
	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																																																																												
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																												
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																												
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																														
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																														
a. 復旧																																																																																																														
(b) 既圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水																																																																																																														
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																																																												
非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量 (A系のみ)																																																																																																												
	電源の確保	6-2C 母線電圧 4-2C 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																												
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (扶帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)																																																																																																												
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																												
	原子炉圧力容器への注水量	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量																																																																																																												
	補機監視機能	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																																																																												
	水源の確保	圧力制御室水位																																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																												
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																														
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																														
c. 原子炉格納容器隔離弁の閉止	判断基準	電源 ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																												
	操作	—																																																																																																												
d. 復旧																																																																																																														
b) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域) 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 原子炉圧力容器への注水量 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 原子炉格納容器内の水位 ・ 格納容器再循環サブ水位 (広域) 水源の確保 ・ 燃料取扱用ボット水位																																																																																																												
	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																																																												
		・ 原子炉補機冷却水供給管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM 用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (別用)																																																																																																												
	操作	1.4.2.1(2) a.、b) 「B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																												
	<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (21/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td>判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域) 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 原子炉格納容器再循環サブ水位 (広域) 電源 ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機冷却</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM 用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(2) b.、(a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 復旧			b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域) 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 原子炉格納容器再循環サブ水位 (広域) 電源 ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	補機冷却	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM 用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)	操作	1.4.2.1(2) b.、(a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。	<p>【大阪】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>																																																																																								
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																											
	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合の対応手順																																																																																																													
	(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																													
	d. 復旧																																																																																																													
	b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 原子炉圧力容器内の圧力 ・ 1次冷却材圧力 (広域) 原子炉圧力容器内の水位 ・ 加圧器水位 原子炉格納容器再循環サブ水位 (広域) 電源 ・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																																																											
補機冷却		・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM 用) ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM 用)																																																																																																												
		操作	1.4.2.1(2) b.、(a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																														
<p>監視計器一覧 (19/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> (3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等 </td> <td rowspan="5"> 判断基準 原子炉圧力容器の温度 原子炉格納容器内の放射線量率 原子炉格納容器内の温度 最終ヒートシンクの確保 </td> <td>・炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 (SA) 用)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5"> 操作 原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT) 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の水位 格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a。「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。 </td> <td>・原子炉格納容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5"> 判断基準 原子炉格納容器内の水素濃度 電源の確保 水源の確保 原子炉圧力容器内の水位 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器への注水量 補機監視機能 水源の確保 </td> <td>・格納容器圧力計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器圧力計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="5"> 操作 1-9C 母管電圧 4-2D 母管電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉圧力 (SA) 残留熱除去系洗浄フィン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン) 洗浄流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン) 洗浄流量 復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位 </td> <td>・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器水位計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内温度計</td> </tr> <tr> <td>・格納容器圧力計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・AM用格納容器圧力計</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	判断基準 原子炉圧力容器の温度 原子炉格納容器内の放射線量率 原子炉格納容器内の温度 最終ヒートシンクの確保	・炉心出口温度計	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	・格納容器内温度計	・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 (SA) 用)	・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT)	操作 原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT) 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の水位 格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a。「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。	・原子炉格納容器内の水位	・原子炉格納容器内の圧力	・原子炉格納容器内の温度	・原子炉格納容器内の圧力	・1次冷却材圧力計	判断基準 原子炉格納容器内の水素濃度 電源の確保 水源の確保 原子炉圧力容器内の水位 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器への注水量 補機監視機能 水源の確保	・格納容器圧力計 (広域)	・AM用格納容器圧力計	・格納容器内温度計	・格納容器圧力計 (広域)	・AM用格納容器圧力計	操作 1-9C 母管電圧 4-2D 母管電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉圧力 (SA) 残留熱除去系洗浄フィン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン) 洗浄流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン) 洗浄流量 復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)	・原子炉格納容器水位計	・格納容器内温度計	・格納容器圧力計 (広域)	・AM用格納容器圧力計	<p>監視計器一覧 (8/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 低圧代替注水系 (廃設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>1-9C 母管電圧 4-2D 母管電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄フィン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン) 洗浄流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン) 洗浄流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>復水移送ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>復水貯蔵タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順			a. 低圧代替注水			(a) 低圧代替注水系 (廃設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)		電源の確保	1-9C 母管電圧 4-2D 母管電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉格納容器への注水量	残留熱除去系洗浄フィン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン) 洗浄流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン) 洗浄流量		補機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力		水源の確保	復水貯蔵タンク水位	<p>監視計器一覧 (22/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 原子炉格納容器注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10"> (a) 格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却 </td> <td rowspan="5"> 判断基準 原子炉圧力容器内の温度 原子炉格納容器内の放射線量率 原子炉格納容器内の温度 最終ヒートシンクの確保 </td> <td>・炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度</td> </tr> <tr> <td>・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5"> 操作 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の水位 手順内の格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)。「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a。「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a。「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。 </td> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5"> 操作 原子炉格納容器内の水位 格納容器水位 </td> <td>・原子炉格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>・原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>・格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・格納容器水位</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合			(3) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順			a. 原子炉格納容器注水			(a) 格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却	判断基準 原子炉圧力容器内の温度 原子炉格納容器内の放射線量率 原子炉格納容器内の温度 最終ヒートシンクの確保	・炉心出口温度	・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)	・格納容器内温度	・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度	・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度	操作 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の水位 手順内の格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)。「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a。「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a。「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。	・格納容器内温度	・原子炉格納容器圧力	・格納容器圧力 (AM用)	・1次冷却材圧力 (広域)	・格納容器再循環サンプ水位 (広域)	操作 原子炉格納容器内の水位 格納容器水位	・原子炉格納容器圧力 (AM用)	・格納容器内温度	・原子炉格納容器圧力	・格納容器圧力 (AM用)	・格納容器水位	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																	
(3) 溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等	判断基準 原子炉圧力容器の温度 原子炉格納容器内の放射線量率 原子炉格納容器内の温度 最終ヒートシンクの確保	・炉心出口温度計																																																																																																															
		・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																																															
		・格納容器内温度計																																																																																																															
		・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度 (SA) 用)																																																																																																															
		・原子炉補機冷却水冷却器出口温度計 (CRT)																																																																																																															
	操作 原子炉補機冷却水戻り母管温度計 (CRT) 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の水位 格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイの手順は「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)「格納容器スプレイポンプによる格納容器スプレイ」及び1.8.2.1(b)「代替格納容器スプレイ」にて整備する。 格納容器内自然対流冷却の手順は、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a。「A、D格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」にて整備する。可搬型格納容器水素ガス濃度計により水素濃度を監視する手順は「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)「水素濃度監視」にて整備する。	・原子炉格納容器内の水位																																																																																																															
		・原子炉格納容器内の圧力																																																																																																															
		・原子炉格納容器内の温度																																																																																																															
		・原子炉格納容器内の圧力																																																																																																															
		・1次冷却材圧力計																																																																																																															
判断基準 原子炉格納容器内の水素濃度 電源の確保 水源の確保 原子炉圧力容器内の水位 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器への注水量 補機監視機能 水源の確保	・格納容器圧力計 (広域)																																																																																																																
	・AM用格納容器圧力計																																																																																																																
	・格納容器内温度計																																																																																																																
	・格納容器圧力計 (広域)																																																																																																																
	・AM用格納容器圧力計																																																																																																																
操作 1-9C 母管電圧 4-2D 母管電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉圧力 (SA) 残留熱除去系洗浄フィン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン) 洗浄流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン) 洗浄流量 復水移送ポンプ出口圧力 復水貯蔵タンク水位	・格納容器再循環サンプ水位計 (広域)																																																																																																																
	・原子炉格納容器水位計																																																																																																																
	・格納容器内温度計																																																																																																																
	・格納容器圧力計 (広域)																																																																																																																
	・AM用格納容器圧力計																																																																																																																
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																															
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																	
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順																																																																																																																	
a. 低圧代替注水																																																																																																																	
(a) 低圧代替注水系 (廃設) (復水移送ポンプ) による残存溶融炉心の冷却																																																																																																																	
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																															
非常時操作手順書 (設備別) 「復水移送ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																															
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																																																															
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・原子炉格納容器下部雰囲気温度																																																																																																															
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)																																																																																																															
	電源の確保	1-9C 母管電圧 4-2D 母管電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																															
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																															
	原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																															
	原子炉格納容器への注水量	残留熱除去系洗浄フィン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン) 洗浄流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン) 洗浄流量																																																																																																															
	補機監視機能	復水移送ポンプ出口圧力																																																																																																															
	水源の確保	復水貯蔵タンク水位																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																															
1.4.2.1 1次冷却材喪失事象が発生している場合																																																																																																																	
(3) 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順																																																																																																																	
a. 原子炉格納容器注水																																																																																																																	
(a) 格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる残存溶融炉心の冷却	判断基準 原子炉圧力容器内の温度 原子炉格納容器内の放射線量率 原子炉格納容器内の温度 最終ヒートシンクの確保	・炉心出口温度																																																																																																															
		・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)																																																																																																															
		・格納容器内温度																																																																																																															
		・C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度																																																																																																															
		・B-原子炉補機冷却水戻り母管温度																																																																																																															
	操作 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の温度 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力 原子炉格納容器内の水位 手順内の格納容器スプレイ及び代替格納容器スプレイについては、「1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等」のうち1.8.2.1(a)。「原子炉格納容器下部への注水」の操作手順と同様である。格納容器内自然対流冷却については、「1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等」のうち、1.7.2.1(2)a。「C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却」の操作手順と同様である。また、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより水素濃度を監視する手順は、「1.9 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための手順等」のうち、1.9.2.1(2)a。「可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットによる原子炉格納容器内の水素濃度監視」にて整備する。	・格納容器内温度																																																																																																															
		・原子炉格納容器圧力																																																																																																															
		・格納容器圧力 (AM用)																																																																																																															
		・1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																															
		・格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																															
操作 原子炉格納容器内の水位 格納容器水位	・原子炉格納容器圧力 (AM用)																																																																																																																
	・格納容器内温度																																																																																																																
	・原子炉格納容器圧力																																																																																																																
	・格納容器圧力 (AM用)																																																																																																																
	・格納容器水位																																																																																																																

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧 (20/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計
		水源の確保	・ 復水ビット水位計
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計
操作			
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計
		長終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計
		電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）
操作			

監視計器一覧 (9/20)

手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ（計器）
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順		
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順		
a. 低圧代替注水		
b. 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却		
非常時操作手順書（シビアアクシデント） 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）
非常時操作手順書（設備別） 「代替循環冷却ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度（D/W） 格納容器内水素濃度（S/C）
	電源の確保	4-2C母線電圧 125V直流主母線2A電圧 125V直流主母線2B電圧 125V直流主母線2A-1電圧 125V直流主母線2B-1電圧
	水源の確保	圧力抑制室水位
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位（狭帯域） 原子炉水位（広帯域） 原子炉水位（燃料域） 原子炉水位（SA広帯域） 原子炉水位（SA燃料域）
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力（SA）
	原子炉圧力容器への注水量	代替循環冷却ポンプ出口流量
	補機監視機能	代替循環冷却ポンプ出口圧力
	水源の確保	圧力抑制室水位

監視計器一覧 (23/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			
(1) フロントライン系故障時の対応手順			
a. 蒸気発生器2次側からの終熱による発電用原子炉の冷却（注水）			
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量
		水源の確保	・ 補助給水ビット水位
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流
操作			
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量
		電源	・ 泊幹線1L電圧、2L電圧 ・ 機志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧
		水源の確保	・ 脱気器タンク水位
操作			

ー：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																				
<p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">監視計器一覧(20/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="4" style="width: 15%; text-align: center;">(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="4" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td style="width: 65%;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計(広域) </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計(狭域) ・ 蒸気発生器主給水流量計(CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計(CRT) </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計(広域) 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計(狭域) ・ 蒸気発生器主給水流量計(CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計(CRT) 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 		操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。		<p style="text-align: center;">監視計器一覧(10/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">手順書</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視パラメータ(計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (e) 低圧代替注水系(可搬型)による残存溶融炉心の冷却</td> <td></td> <td>原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力(SA) ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部空間気温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-2c 母線電圧 4-2b 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力(SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量(残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (e) 低圧代替注水系(可搬型)による残存溶融炉心の冷却		原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域)	非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA) ドライウェル圧力		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部空間気温度		原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)		電源の確保	4-2c 母線電圧 4-2b 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)		原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系洗浄ライン流量(残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)	<p style="text-align: center;">監視計器一覧(24/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 補助給水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td>(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度 	(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 補助給水ピット水位 	(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 	(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 	(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 	<p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: center;">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計(広域) ・ 1次冷却材低温側温度計(広域) ・ 炉心出口温度計 																																																																		
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計(広域) 																																																																		
				最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計(狭域) ・ 蒸気発生器主給水流量計(CRT) ・ 蒸気発生器水張り流量計(CRT) 																																																																		
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 																																																																					
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ(電動)による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																																					
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ(計器)																																																																					
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順 (3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順 a. 低圧代替注水 (e) 低圧代替注水系(可搬型)による残存溶融炉心の冷却		原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 広帯域) 原子炉水位(SA 燃料域)																																																																					
非常時操作手順書(シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位																																																																					
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ(タイプ1)による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	原子炉圧力容器内の圧力 原子炉格納容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA) ドライウェル圧力																																																																					
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度 ・ 原子炉格納容器下部空間気温度																																																																					
	原子炉格納容器内の水素濃度	格納容器内空間気水素濃度 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C)																																																																					
	電源の確保	4-2c 母線電圧 4-2b 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																					
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位(狭帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA 燃料域)																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力(SA)																																																																					
	原子炉圧力容器への注水	残留熱除去系洗浄ライン流量(残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																					
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																					
1.4.2.2 1次冷却材喪失事故が発生していない場合の対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却(注水)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度(広域-高温側) ・ 1次冷却材温度(広域-低温側) ・ 炉心出口温度 																																																																					
(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力(広域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 主給水ライン流量 ・ 蒸気発生器水張り流量 ・ 補助給水ピット水位 																																																																					
(d) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 																																																																					
(e) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 																																																																					
(f) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 蒸気発生器水位(狭域) ・ 補助給水流量 																																																																					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																				
<p>監視計器一覧 (21/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位計 (広域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器補助給水流量計</td> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器主給水流量計 (CRT)</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水張り流量計 (CRT)</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>主蒸気圧力計</td> <td>・ 主蒸気圧力計</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位計 (広域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器補助給水流量計</td> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器主給水流量計 (CRT)</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水張り流量計 (CRT)</td> <td>・ 復水器真空度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位計 (広域)	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計 (CRT)	蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	補機監視機能	—	—	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	主蒸気圧力計	・ 主蒸気圧力計	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位計 (広域)	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計 (CRT)	蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	・ 復水器真空度計 (広域)	電源	・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計	—	操作	—	—	<p>監視計器一覧 (11/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> <td>ドライウェル圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の温度</td> <td>原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内の水素濃度</td> <td>・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度 格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順			(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順			a. 低圧代替注水			(4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却			非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力		原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)		原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力		原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度		原子炉格納容器内の水素濃度	・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度 格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	ろ過水タンク水位		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)		原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量		補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力		水源の確保	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (25/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>主給水ライン流量</td> <td>・ 主給水ライン流量</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水張り流量</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) タービンバイパス弁による蒸気放出</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>主給水ライン流量</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>復水器真空 (広域)</td> <td>・ 復水器真空 (広域)</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 炉弁前 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 炉弁後 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	主給水ライン流量	・ 主給水ライン流量	蒸気発生器水張り流量	・ 補助給水流量	補助給水流量	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	補機監視機能	—	—	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	主蒸気ライン圧力	・ 主蒸気ライン圧力	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	主給水ライン流量	・ 蒸気発生器水張り流量	補助給水流量	・ 補助給水流量	復水器真空 (広域)	・ 復水器真空 (広域)	電源	・ 炉弁前 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 炉弁後 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧	—	操作	—	—	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																																					
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																																																																																																							
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																																																																							
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)																																																																																																																																																																							
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																																																				
	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位計 (広域)	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																																																																																																																				
		蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計 (CRT)																																																																																																																																																																				
		蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)																																																																																																																																																																				
		蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																																																																				
	補機監視機能	—	—																																																																																																																																																																				
	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																																			
			原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																																			
主蒸気圧力計			・ 主蒸気圧力計																																																																																																																																																																				
最終ヒートシンクの確保		蒸気発生器水位計 (広域)	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																																																																																																																				
		蒸気発生器補助給水流量計	・ 蒸気発生器補助給水流量計 (CRT)																																																																																																																																																																				
		蒸気発生器主給水流量計 (CRT)	・ 蒸気発生器水張り流量計 (CRT)																																																																																																																																																																				
		蒸気発生器水張り流量計 (CRT)	・ 復水器真空度計 (広域)																																																																																																																																																																				
電源		・ 4-3 (4) C1、C2、D1、D2 母線電圧計	—																																																																																																																																																																				
操作		—	—																																																																																																																																																																				
手順書		重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																																				
1.4.2.1 発電用原子炉運転中における対応手順																																																																																																																																																																							
(3) 溶融炉心が原子炉圧力容器内に残存する場合の対応手順																																																																																																																																																																							
a. 低圧代替注水																																																																																																																																																																							
(4) ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却																																																																																																																																																																							
非常時操作手順書 (シビアアクシデント) 「注水ストラテジ-4」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																																					
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力																																																																																																																																																																					
	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の圧力	ドライウェル圧力																																																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の温度	原子炉格納容器下部温度 ドライウェル温度																																																																																																																																																																					
	原子炉格納容器内の水素濃度	・ 原子炉格納容器下部雰囲気温度 格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内水素濃度 (D/W) 格納容器内水素濃度 (S/C)																																																																																																																																																																					
	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																																																					
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																																					
	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																																																																																					
	補機監視機能	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																																																																					
	水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																																																																					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																																					
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																																																																																																							
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																																																																							
b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)																																																																																																																																																																							
(a) 主蒸気逃がし弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																																																				
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																																				
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																																																																				
	最終ヒートシンクの確保	蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																																																																																																				
		主給水ライン流量	・ 主給水ライン流量																																																																																																																																																																				
		蒸気発生器水張り流量	・ 補助給水流量																																																																																																																																																																				
		補助給水流量	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																																																																																																				
	補機監視機能	—	—																																																																																																																																																																				
	(b) タービンバイパス弁による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																																																																			
			原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																																			
主蒸気ライン圧力			・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																																																																																				
最終ヒートシンクの確保		蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																																																																																																																				
		主給水ライン流量	・ 蒸気発生器水張り流量																																																																																																																																																																				
		補助給水流量	・ 補助給水流量																																																																																																																																																																				
		復水器真空 (広域)	・ 復水器真空 (広域)																																																																																																																																																																				
電源		・ 炉弁前 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 炉弁後 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D 母線電圧	—																																																																																																																																																																				
操作		—	—																																																																																																																																																																				

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p>監視計器一覧（22 / 48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td>「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(I) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（26/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(I) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 </td> </tr> <tr> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(I) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ電流 	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																						
(I) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																						
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																			
		原子炉压力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 																																																			
	操作	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） 																																																			
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																			
		「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																						
(I) フロントライン系故障時の対応手順																																																						
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																			
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																			
		原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																																			
	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水量 																																																			
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 																																																			
			<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ電流 																																																			
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧 (23/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle; text-align: center;">操作</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2母線電圧計 	補機監視機能	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） 	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。				<p>監視計器一覧 (27/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 ・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle; text-align: center;">操作</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (28/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle; text-align: center;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 ・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle; text-align: center;">操作</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td colspan="3">1.1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 ・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D母線電圧 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 	補機監視機能	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） 	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） 	1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。			対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 ・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D母線電圧 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） 	補機監視機能	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） 	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） 	1.1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。			<p>【大阪】 設備の相違 （相違理由④）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																																																						
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																																																						
a. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																																						
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 																																																																																																			
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 																																																																																																				
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2母線電圧計 																																																																																																				
補機監視機能	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） 																																																																																																			
		原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																																																																			
1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																																						
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																						
a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																																						
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																																																																			
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																																																																																			
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 ・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D母線電圧 																																																																																																				
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 																																																																																																				
補機監視機能	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） 																																																																																																			
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） 																																																																																																			
1.4.2.2(1) a. (a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																				
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																																																						
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																						
a. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																																						
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																																																																			
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 																																																																																																			
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 																																																																																																			
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 補助給水ビット水位 ・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後志幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D母線電圧 																																																																																																				
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） 																																																																																																				
補機監視機能	操作	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） 																																																																																																			
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量計（CRT） 																																																																																																			
1.1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(23/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="5" style="width: 15%; text-align: center;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="width: 5%; text-align: center;">判断基準</td> <td style="width: 15%;">原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">操作</td> <td colspan="2"> 「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 	補機監視機能	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。			<p style="text-align: center;">監視計器一覧（29/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">対応手段</th> <th style="width: 25%;">重大事故等の対応に必要となる監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td style="text-align: center;">判断基準</td> <td> 原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">操作</td> <td>「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要となる監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																			
				原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																			
		最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 																																				
		補機監視機能	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ピット水位計 																																				
	電源		<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																					
操作		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																						
対応手段	重大事故等の対応に必要となる監視項目	監視計器																																						
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																								
(c) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																						
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)c.「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																						
(d) 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																						
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)d.「代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																						
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度 ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） 最終ヒートシンクの確保 ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																						
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)e.「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																						

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																										
<p>監視計器一覧 (24/48)</p> <table border="1" data-bbox="98 478 716 1125"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (30/61)</p> <table border="1" data-bbox="1384 510 1998 1109"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) 	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																											
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																													
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																													
b. 蒸気発生器2次側による炉心冷却 (蒸気放出)																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																										
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去流量計 																																																										
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計 (広域) ・ 蒸気発生器水位計 (狭域) ・ 蒸気発生器補助給水流量計 																																																										
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計 																																																										
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																											
	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁 (現場手動操作) による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																											
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																										
	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																												
	(2) サポート系故障時の対応手順																																																												
b. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却 (蒸気放出)																																																													
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 																																																										
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 																																																										
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 低圧注入流量 																																																										
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位 (広域) ・ 蒸気発生器水位 (狭域) ・ 補助給水流量 																																																										
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 母線兼 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧 																																																										
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) 																																																											
	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																	
<p>監視計器一覧 (25/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="98 501 344 576">対応手段</th> <th data-bbox="344 501 479 576">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 501 719 576">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 576 719 603">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 603 719 630">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td data-bbox="98 630 315 1098" rowspan="7">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td data-bbox="315 630 479 705" rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 630 719 657">・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 657 719 684">・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 684 719 705">・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 705 479 748">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 705 719 748">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 748 479 823">原子炉圧力容器内の注水量</td> <td data-bbox="479 748 719 791">・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 823 479 866">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="479 823 719 850">・ 蒸気発生器水位計 (広域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 850 719 877">・ 蒸気発生器水位計 (狭域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 866 479 941">電源</td> <td data-bbox="479 866 719 909">・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 941 479 1032" rowspan="3">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 941 719 984">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 984 719 1027">・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="479 1027 719 1070">・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="315 1032 479 1098">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="479 1032 719 1098">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域)	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)	電源	・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧 (31/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1386 523 1632 566">対応手段</th> <th data-bbox="1632 523 1767 566">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1767 523 2007 566">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1386 566 2007 593">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1386 593 2007 620">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1386 620 1632 1098" rowspan="13">c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td data-bbox="1632 620 1767 663" rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1767 620 2007 647">・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1767 647 2007 675">・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 675 1767 702">・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 702 1767 745">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1767 702 2007 745">・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 745 1767 788">原子炉圧力容器への注水量</td> <td data-bbox="1767 745 2007 788">・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 788 1767 831">最終ヒートシンクの確保</td> <td data-bbox="1767 788 2007 815">・ 蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 831 1767 874">・ 蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 874 1767 917">・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 917 1767 960" rowspan="2">電源</td> <td data-bbox="1767 917 2007 944">・ 泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1767 944 2007 971">・ 兼志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 971 1767 1015">・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 1015 1767 1058">・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 1058 1767 1101" rowspan="4">補機監視機能</td> <td data-bbox="1767 1058 2007 1085">・ 余熱除去ポンプ 出口圧力</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1767 1085 2007 1112">・ 余熱除去ポンプ 電流</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1767 1112 2007 1139">・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1767 1139 2007 1166">・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1632 1166 1767 1209">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="1767 1166 2007 1209">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)	・ 蒸気発生器水位 (狭域)	・ 補助給水流量	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 兼志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ 出口圧力	・ 余熱除去ポンプ 電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合																																																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																				
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)																																																																		
		・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)																																																																		
		・ 炉心出口温度計																																																																		
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																		
	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																		
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計 (広域)																																																																		
	・ 蒸気発生器水位計 (狭域)																																																																			
電源	・ 4-3 (4) A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計																																																																			
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)																																																																			
	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)																																																																			
	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																			
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a、「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																																																				
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																				
c. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																		
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																		
	・ 炉心出口温度																																																																			
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																		
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																		
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位 (広域)																																																																		
	・ 蒸気発生器水位 (狭域)																																																																			
	・ 補助給水流量																																																																			
	電源	・ 泊幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																		
		・ 兼志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																		
	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																			
	・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																			
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ 出口圧力																																																																		
・ 余熱除去ポンプ 電流																																																																				
・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																				
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																				
操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a、「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																																			

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																							
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（32/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>・ 汽幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a、(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順			(a) サポート系故障時の対応手順			d. 復旧			(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	電源	・ 汽幹線1L電圧、2L電圧	・ 後志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量（AM用）	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	操作	1.4.2.2(1)a、(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。		<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>・泊は、女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																								
1.4.2.2 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の対応手順																																										
(a) サポート系故障時の対応手順																																										
d. 復旧																																										
(a) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																								
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																								
		・ 炉心出口温度																																								
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																								
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																								
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																								
	電源	・ 汽幹線1L電圧、2L電圧																																								
		・ 後志幹線1L電圧、2L電圧																																								
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																								
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																								
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																								
		・ 余熱除去ポンプ電流																																								
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																								
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量（AM用）																																								
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面流量（AM用）																																								
水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																									
操作	1.4.2.2(1)a、(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由																				
監視計器一覧 (26/48)			監視計器一覧 (12/20)			監視計器一覧 (33/61)																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																					
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 a. 炉心注水			1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (a) 低圧代替注水系 (常設) (復水移送ポンプ) による原子炉圧力容器への注水			1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 炉心注水																							
(a) A、B 充てんポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器内の水位	「崩壊熱除去機能喪失」等	原子炉水位 (広帯域)	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)	原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度										
		原子炉圧力容器内の圧力			・ 1次冷却材圧力計															・ 加圧器水位	・ 1次冷却材圧力計 (CRT)	・ 燃料取替用水ピット水位	・ 復水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)	・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位
		原子炉圧力容器内の水位			・ 加圧器水位計															・ 低圧注入流量	・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	
		原子炉圧力容器内の注水量			・ 余熱除去流量計															・ 復水貯蔵タンク水位	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	
		水源の確保			・ 燃料取替用水ピット水位計															4-2C 母線電圧	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	
		補機監視機能			・ 復水ピット水位計															4-2D 母線電圧	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	
	操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	電源の確保	「復水移送ポンプによる原子炉注水」	125V 直流主母線 2A 電圧	原子炉圧力容器内の水位	125V 直流主母線 2B 電圧	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (停止域)	原子炉水位 (定検時水張用)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ 炉心出口温度計	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度									
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計			125V 直流主母線 2A-1 電圧		・ 燃料取替用水ピット水位													・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位		
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 充てん水流量計			125V 直流主母線 2B-1 電圧		・ 復水貯蔵タンク水位													・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位		
		未臨界の維持又は監視	・ 出力領域中性子束計			復水貯蔵タンク水位		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計													・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位		
		水源の確保	・ 中間領域中性子束計			・ 燃料取替用水ピット水位計		・ 復水貯蔵タンク水位													・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位		
			・ 中性子源領域中性子束計			・ 復水ピット水位計		・ ほう酸タンク水位													・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)			・ 燃料取替用水ピット水位	・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位		
・ 中間領域起動率計	・ ほう酸タンク水位計		・ 1次系純水タンク水位計 (CRT)				・ ほう酸タンク水位	・ 1次系純水タンク水位	・ 1次冷却系ループ水位	・ 1次冷却系ループ水位																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																											
<p>監視計器一覧 (27/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 充てん水流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 高圧注入流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(c) 蓄圧タンクによる炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">操作</td> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系統機能喪失時の手順等			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計	原子炉压力容器内の注水量	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)	<p>監視計器一覧 (13/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 低圧代替注水 (可動型) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書 (フロント停止中) 「前線熱除去機喪失」等</td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td>重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」</td> <td>電源の確保</td> <td>4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>水源の確保</td> <td>淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系統故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			b. 低圧代替注水 (可動型) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (フロント停止中) 「前線熱除去機喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)	重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)		原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)		原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)		原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量		水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)	<p>監視計器一覧 (34/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系統故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 充てん流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>・ 高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 高圧注入ポンプ出口圧力</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系統故障時の対応手順			a. 炉心注水			(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力	補機監視機能	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位	補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力	<p>【大阪】 設備の相違 (相違理由⑦)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																												
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																														
(1) フロントライン系統機能喪失時の手順等																																																																																																																														
a. 炉心注水																																																																																																																														
(b) 高圧注入ポンプによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																											
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 充てん水流量計																																																																																																																											
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の注水量	・ 高圧注入流量計																																																																																																																											
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の注水量	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																											
(c) 蓄圧タンクによる炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																											
	操作	原子炉压力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																											
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																											
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計 (CRT)																																																																																																																											
		手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																										
		1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																												
(1) フロントライン系統故障時の対応手順																																																																																																																														
a. 低圧代替注水																																																																																																																														
b. 低圧代替注水 (可動型) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																														
非常時操作手順書 (フロント停止中) 「前線熱除去機喪失」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																																												
重大事故等対応要領書 「大容量送水ポンプ (タイプ1) による原子炉注水」 「大容量送水ポンプによる送水」	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																												
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																												
	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																																												
	原子炉压力容器内の圧力	原子炉圧力 原子炉圧力 (SA)																																																																																																																												
	原子炉压力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量																																																																																																																												
	水源の確保	淡水貯水槽 (No.1) 淡水貯水槽 (No.2)																																																																																																																												
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																												
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																														
(1) フロントライン系統故障時の対応手順																																																																																																																														
a. 炉心注水																																																																																																																														
(b) 高圧注入ポンプによる原子炉压力容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																											
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																											
		原子炉压力容器への注水量	・ 充てん流量																																																																																																																											
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 充てんライン圧力																																																																																																																											
		補機監視機能	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																											
	操作	原子炉压力容器内の温度	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																											
		原子炉压力容器への注水量	・ 高圧注入流量																																																																																																																											
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位																																																																																																																											
		補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力																																																																																																																											
		<p>大阪 3 / 4号炉との比較対象なし</p>																																																																																																																												

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉		泊発電所 3号炉		相違理由	
監視計器一覧 (28/48)		監視計器一覧 (14/20)		監視計器一覧 (35/61)			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	手帳書	重大事故等の対応に必要な監視項目	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水		1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 a. 低圧代替注水 (c) 代替循環冷却系による原子炉压力容器への注水		1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水			
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	原子炉压力容器内の水位	判断基準	原子炉压力容器内の温度	判断基準	
		原子炉压力容器内の圧力			原子炉压力容器内の圧力		原子炉压力容器内の温度
		原子炉压力容器内の水位			原子炉压力容器内の水位		原子炉压力容器内の温度
		原子炉压力容器内の注水量			原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の温度
		水源の確保			水源の確保		原子炉压力容器内の温度
	操作	原子炉压力容器内の注水量		電源の確保	操作	原子炉压力容器内の注水量	操作
		水源の確保		最終ヒートシンクの確保		原子炉压力容器内の注水量	
		原子炉压力容器内の注水量		水源の確保		原子炉压力容器内の注水量	
		原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の注水量	
		原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の注水量	
(b) A格納容器スプレイポンプ (RHR S-CSS連絡ライン使用)による代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	原子炉压力容器内の注水量	操作	原子炉压力容器内の温度	判断基準	
		原子炉压力容器内の圧力			原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の温度
		原子炉压力容器内の水位			補機監視機能		原子炉压力容器内の温度
		原子炉压力容器内の注水量			水源の確保		原子炉压力容器内の温度
		原子炉压力容器内の注水量			原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の温度
	操作	原子炉压力容器内の注水量		補機監視機能	操作	原子炉压力容器内の注水量	操作
		原子炉压力容器内の注水量		水源の確保		原子炉压力容器内の注水量	
		原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の注水量	
		原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の注水量	
		原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の注水量		原子炉压力容器内の注水量	
1.4.2.1(d)(a)と同様。				1.4.2.1(d)。(a)「B-格納容器スプレイポンプ (RHR S-CSS連絡ライン使用)による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																	
<p>監視計器一覧 (29/48)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>1.4.2.1(D)(b)と同様。</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)</td> </tr> <tr> <td>1.4.2.1(D)(b)(c)と同様。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			b. 代替炉心注水			(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計	1.4.2.1(D)(b)と同様。		(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計	水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)	1.4.2.1(D)(b)(c)と同様。		<p>監視計器一覧 (15/20)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 低圧代替注水</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (プラント停止中) 「前燃熱除去機能喪失」等</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> </tr> <tr> <td>捕集機裂機能</td> <td>ろ過水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>ろ過水タンク水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			a. 低圧代替注水			(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水			非常時操作手順書 (プラント停止中) 「前燃熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧	非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	操作	ろ過水タンク水位	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)	捕集機裂機能	ろ過水ポンプ出口圧力	水源の確保	ろ過水タンク水位	<p>監視計器一覧 (36/61)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(e) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (4期用)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>1.4.2.1(D) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(d) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">操作</td> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>1.4.2.1(D) b. (c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			b. 代替炉心注水			(e) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	操作	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (4期用)	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	1.4.2.1(D) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		(d) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	操作	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位	水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位	1.4.2.1(D) b. (c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																																																				
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																																																				
b. 代替炉心注水																																																																																																																				
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																	
	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計																																																																																																																	
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位計 ・ 復水ピット水位計																																																																																																																	
		1.4.2.1(D)(b)と同様。																																																																																																																		
(d) 電動消防ポンプ又はディーゼル消防ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)																																																																																																																	
	操作	原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計																																																																																																																	
		水源の確保	・ No. 2 淡水タンク水位計 (CRT)																																																																																																																	
		1.4.2.1(D)(b)(c)と同様。																																																																																																																		
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																		
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																				
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																				
a. 低圧代替注水																																																																																																																				
(d) ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水																																																																																																																				
非常時操作手順書 (プラント停止中) 「前燃熱除去機能喪失」等	判断基準	原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																																		
		電源の確保 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																		
非常時操作手順書 (設備別) 「ろ過水ポンプによる原子炉注水」	操作	ろ過水タンク水位																																																																																																																		
		原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																																		
原子炉圧力容器への注水量	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量) (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量)																																																																																																																			
捕集機裂機能	ろ過水ポンプ出口圧力																																																																																																																			
水源の確保	ろ過水タンク水位																																																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																		
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																																				
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																																																				
b. 代替炉心注水																																																																																																																				
(e) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																	
	操作	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (4期用)																																																																																																																	
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																																																																																	
		1.4.2.1(D) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																		
(d) 電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位																																																																																																																	
	操作	原子炉圧力容器への注水量	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・ ろ過水タンク水位																																																																																																																	
		水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位 ・ 補助給水ピット水位																																																																																																																	
		1.4.2.1(D) b. (c) 「電動機駆動消防ポンプ又はディーゼル駆動消防ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																													
<p>監視計器一覧 (30/48)</p> <table border="1" data-bbox="100 367 716 446"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水</td> <td></td> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 原子炉圧力容器内の圧力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 原子炉圧力容器内の水位 <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT) 原子炉圧力容器内の注水量 <ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替炉心注水積算流量計 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(e) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <table border="1" data-bbox="313 510 716 790"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>操作</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器内の注水量 </td> <td>1.4.2.1(1)b.(d)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p>泊3号炉との比較対象なし</p> <p>泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 原子炉圧力容器内の圧力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 原子炉圧力容器内の水位 <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT) 原子炉圧力容器内の注水量 <ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替炉心注水積算流量計 	判断基準	操作	<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器内の注水量 	1.4.2.1(1)b.(d)と同様。	<p>監視計器一覧 (16/20)</p> <table border="1" data-bbox="739 494 1355 606"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」</td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用) </td> </tr> <tr> <td>非常時操作手順書(設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>電源の確保</td> <td> 4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td> 原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用) </td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補機監視機能</td> <td> 原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度 </td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)	非常時操作手順書(設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧		補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量		原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)		原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度		補機監視機能	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度	<p>監視計器一覧 (37/61)</p> <table border="1" data-bbox="1377 454 2004 502"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>(f) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b. (f) 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>(g) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量 </td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量 </td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1)b. (g) 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量 		操作	1.4.2.1(1)b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	(f) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量 		操作	1.4.2.1(1)b. (f) 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	(g) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量 		操作	1.4.2.1(1)b. (g) 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 b. 代替炉心注水		<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 原子炉圧力容器内の圧力 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 原子炉圧力容器内の水位 <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT) 原子炉圧力容器内の注水量 <ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替炉心注水積算流量計 																																																														
判断基準	操作																																																															
<ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器内の注水量 	1.4.2.1(1)b.(d)と同様。																																																															
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																														
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 (a) 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱																																																																
非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)																																																														
非常時操作手順書(設備別) 「原子炉冷却材浄化系による原子炉除熱」	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																														
	電源の確保	4-2C 母線電圧 4-2D 母線電圧 125V 直流主母線 2A 電圧 125V 直流主母線 2B 電圧 125V 直流主母線 2A-1 電圧 125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																														
	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																														
	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域) 原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (燃料域) 原子炉水位 (SA 広帯域) 原子炉水位 (SA 燃料域) 原子炉水位 (停止域) 原子炉水位 (定検時水重用)																																																														
	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力容器温度																																																														
	補機監視機能	原子炉冷却材浄化系非再生熱交換器出口温度 原子炉冷却材浄化系入口流量 原子炉冷却材浄化系再生熱交換器入口温度																																																														
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																														
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 b. 代替炉心注水																																																																
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の圧力 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 1次冷却材圧力 (広域) ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量 																																																														
	操作	1.4.2.1(1)b. (d) 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																														
(f) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量 																																																														
	操作	1.4.2.1(1)b. (f) 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																														
(g) 原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度 原子炉圧力容器内の水位 原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算への注水量 																																																														
	操作	1.4.2.1(1)b. (g) 「原水樽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																														

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由	
監視計器一覧 (31/48)						監視計器一覧 (38/61)				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 c. 再循環運転						1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 c. 再循環運転				
(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計			(a) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計					原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)					原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	
		原子炉圧力容器への注水量	・ 余熱除去流量計					原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)					原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	
	操作	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計				補機監視機能	・ 燃料取替用ホット水位 ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流		
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計				操作	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 原子炉水位計					原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位	
		原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量計					原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量	
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)					原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位 (広域)	
補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ吐出圧力計			補機監視機能	・ 高圧注入ポンプ出口圧力					
監視計器一覧 (32/48)						d. 代替再循環運転				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器		
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 d. 代替再循環運転						1.4.2.1(1)d. (a) 「B-格納容器スプレイポンプ (RRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転」による代替再循環運転				
(a) A格納容器スプレイポンプ (RRRS-CSS連絡ライン使用)による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計			(a) B-格納容器スプレイポンプ (RRRS-CSS連絡ライン使用)による代替再循環運転	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度	
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計					原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)	
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT)					原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位	
		原子炉圧力容器への注水量	・ 余熱除去流量計					原子炉圧力容器への注水量	・ 高圧注入流量	
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計 (広域)					原子炉格納容器内の水位	・ B-格納容器再循環サンプ水位 (広域)	
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計			補機監視機能		・ 高圧注入ポンプ出口圧力			
操作	1.4.2.1(1)d.(a)と同様。				操作	1.4.2.1(1)d. (a) 「B-格納容器スプレイポンプ (RRRS-CSS連絡ライン使用) による代替再循環運転」の操作手順と同様である。				

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																		
<p>監視計器一覧（33/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ピット水位計</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	補機監視機能	水源の確保	・ 復水ピット水位計	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計	水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）	操作	—		<p>監視計器一覧（39/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(1) フロントライン系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 泊幹線 1L電圧、2L電圧 ・ 機志幹線 1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 脱気器タンク水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(1) フロントライン系故障時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	補機監視機能	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	—	(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	電源	・ 泊幹線 1L電圧、2L電圧 ・ 機志幹線 1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧	水源の確保	・ 脱気器タンク水位	操作	—	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																																					
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等																																																																																					
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																					
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																		
	補機監視機能	水源の確保	・ 復水ピット水位計																																																																																		
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																		
		操作	—																																																																																		
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																		
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																		
	電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																			
	水源の確保	・ 脱気器タンク水位計（CRT）																																																																																			
	操作	—																																																																																			
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																					
(1) フロントライン系故障時の対応手順																																																																																					
e. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																					
(a) 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																		
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																		
	補機監視機能	水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																																																																		
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																		
		操作	—																																																																																		
(b) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																		
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																																																																		
	電源	・ 泊幹線 1L電圧、2L電圧 ・ 機志幹線 1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-C1、C2、D母線電圧																																																																																			
	水源の確保	・ 脱気器タンク水位																																																																																			
	操作	—																																																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載

監視計器一覧(34/48)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 運転停止中の場合			
(1) フロントライン系機能喪失時の手順等			
e. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			
(c) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	
		原子炉压力容器内の圧力	
		最終ヒートシンクの確保	
	操作	水源の確保	
		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。	

泊3号炉との比較対象なし

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧(40/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			
(1) フロントライン系喪失時の対応手順			
e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			
(c) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	
		原子炉压力容器内の圧力	
		最終ヒートシンクの確保	
	操作	水源の確保	
		「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b.「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	

【大飯】
設備の相違
(相違理由④)

【大飯】
設備の相違
(相違理由④)

【大飯】
設備の相違
(相違理由④)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																														
<p>監視計器一覧(34/48)より抜粋して掲載</p> <p>1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p> <p>監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧（35/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気圧力計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 復水器真空度計（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	判断基準	監視項目	監視計器	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計		・ 蒸気発生器水位計（広域）		・ 蒸気発生器水位計（狭域）		・ 蒸気発生器補助給水流量計		・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		水源の確保	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計		操作	—	—	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計		・ 蒸気発生器水位計（広域）		・ 蒸気発生器水位計（狭域）		・ 蒸気発生器補助給水流量計		・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）		電源	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）		・ 復水器真空度計（広域）		電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計		操作	—	—	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>監視計器一覧（41/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主給水ライン流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>判断基準</th> <th>監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 主蒸気ライン圧力</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 主給水ライン流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>・ 蒸気発生器水張り流量</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 復水器真空（広域）</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 泊停給1モ電圧、2モ電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 機志幹線1モ電圧、2モ電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 6-C1、C2、D母線電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>—：通常の運転操作により対応する手順については、監視計器を記載しない。</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）		・ 蒸気発生器水位（狭域）		・ 補助給水流量		・ 主給水ライン流量		補機監視機能	・ 蒸気発生器水張り流量		・ 余熱除去ポンプ出口圧力		操作	—	—	判断基準	監視項目	監視計器	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）		最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力		・ 蒸気発生器水位（広域）		・ 蒸気発生器水位（狭域）		・ 補助給水流量		・ 主給水ライン流量		電源	・ 蒸気発生器水張り流量		・ 復水器真空（広域）		電源	・ 泊停給1モ電圧、2モ電圧		・ 機志幹線1モ電圧、2モ電圧		・ 甲母線電圧、乙母線電圧		・ 6-C1、C2、D母線電圧		操作	—	—	<p>相違理由</p>
判断基準	監視項目	監視計器																																																																																																																																															
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																																																															
	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																
原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																																																																																																
最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																																																																																
	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																																																
水源の確保	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																																																																																
操作	—	—																																																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																															
1.4.2.3 運転停止中の場合 (1) フロントライン系機能喪失時の手順等 f. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																																																																															
	・ 炉心出口温度計																																																																																																																																																
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																																																																																
最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気圧力計																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器水位計（広域）																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器主給水流量計（CRT）																																																																																																																																																
電源	・ 蒸気発生器水張り流量計（CRT）																																																																																																																																																
	・ 復水器真空度計（広域）																																																																																																																																																
電源	・ 4-3（4）C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																																																																																																
操作	—	—																																																																																																																																															
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																															
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系故障時の対応手順 f. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																																																															
	・ 炉心出口温度																																																																																																																																																
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																																
原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																																																																																
最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																																																																
	・ 補助給水流量																																																																																																																																																
	・ 主給水ライン流量																																																																																																																																																
補機監視機能	・ 蒸気発生器水張り流量																																																																																																																																																
	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																																																
操作	—	—																																																																																																																																															
判断基準	監視項目	監視計器																																																																																																																																															
原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																																																																															
	・ 炉心出口温度																																																																																																																																																
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																																																																																
最終ヒートシンクの確保	・ 主蒸気ライン圧力																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																																																																																																
	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																																																																																
	・ 補助給水流量																																																																																																																																																
	・ 主給水ライン流量																																																																																																																																																
電源	・ 蒸気発生器水張り流量																																																																																																																																																
	・ 復水器真空（広域）																																																																																																																																																
電源	・ 泊停給1モ電圧、2モ電圧																																																																																																																																																
	・ 機志幹線1モ電圧、2モ電圧																																																																																																																																																
	・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																																																																																
	・ 6-C1、C2、D母線電圧																																																																																																																																																
操作	—	—																																																																																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																							
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(35/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" data-bbox="100 654 712 981"> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td colspan="4">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </table>	g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	操作	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。					<p style="text-align: center;">監視計器一覧（42/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 630 2004 1013"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系統同時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3) a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系統同時の対応手順			g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3) a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																					
				原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																					
		原子炉圧力容器内の注水量		・ 余熱除去流量計																																						
		操作	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																						
	補機監視機能		・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																							
「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (1) フロントライン系統同時の対応手順																																										
g. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																							
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																							
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																							
	補機監視機能	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 補助給水流量																																							
		補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																							
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3) a. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																								

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																									
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（43/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 502 2004 1125"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="14" style="vertical-align: middle;">(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域－低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却系統ループ水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注人流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="vertical-align: middle;">電源</td> <td>・ 炉幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 機志幹線1L電圧、2L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">水源の確保</td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="1" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側）	・ 1次冷却材温度（広域－低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位	・ 1次冷却系統ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注人流量	電源	・ 炉幹線1L電圧、2L電圧	・ 機志幹線1L電圧、2L電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	水源の確保	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 燃料取替用水ビット水位	操作	1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大阪】運用の相違（相違理由⑤）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																										
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																												
(2) サポート系故障時の対応手順																																												
a. 代替炉心注水																																												
(a) 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側）																																										
		・ 1次冷却材温度（広域－低温側）																																										
		・ 炉心出口温度																																										
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																										
	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位																																										
		・ 1次冷却系統ループ水位																																										
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注人流量																																										
	電源	・ 炉幹線1L電圧、2L電圧																																										
		・ 機志幹線1L電圧、2L電圧																																										
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																										
		・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																										
	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																										
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																										
		・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																										
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用）																																												
・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																												
水源の確保	・ 余熱除去ポンプ電流																																											
	・ 燃料取替用水ビット水位																																											
操作	1.4.2.1(1) b. (b) 「代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																											

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																		
<p>監視計器一覧（36/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="98 411 349 485">対応手段</th> <th data-bbox="349 411 479 485">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="479 411 716 485">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 485 716 510">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 510 716 536">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="98 536 716 561">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="98 561 313 1184" rowspan="14">(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水</td> <td data-bbox="313 561 349 986" rowspan="7">判断基準</td> <td data-bbox="349 561 479 635">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 561 716 635"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 635 479 679">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 635 716 679"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 679 479 743">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="479 679 716 743"> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 743 479 788">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="479 743 716 788"> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 788 479 833">水源の確保</td> <td data-bbox="479 788 716 833"> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 833 479 986">電源</td> <td data-bbox="479 833 716 986"> <ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 986 479 1184">補機監視機能</td> <td data-bbox="479 986 716 1184"> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 986 349 1184" rowspan="7">操作</td> <td data-bbox="349 986 479 1059">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="479 986 716 1059"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1059 479 1104">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="479 1059 716 1104"> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1104 479 1168">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="479 1104 716 1168"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1168 479 1212">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="479 1168 716 1212"> <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="349 1212 479 1257">水源の確保</td> <td data-bbox="479 1212 716 1257"> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 </td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系統水位計（CRT） 	原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 		<p>監視計器一覧（44/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1384 657 1666 699">対応手段</th> <th data-bbox="1666 657 1796 699">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1796 657 2002 699">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 699 2002 724">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 724 2002 750">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1384 750 2002 775">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1384 775 1630 992" rowspan="5">(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水</td> <td data-bbox="1630 775 1666 992" rowspan="5">判断基準</td> <td data-bbox="1666 775 1796 820">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="1796 775 2002 820"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 820 1796 865">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1796 820 2002 865"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 865 1796 909">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="1796 865 2002 909"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 909 1796 954">原子炉圧力容器への注水量</td> <td data-bbox="1796 909 2002 954"> <ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1666 954 1796 992">水源の確保</td> <td data-bbox="1796 954 2002 992"> <ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1384 992 1630 1034">操作</td> <td data-bbox="1630 992 1666 1034"></td> <td data-bbox="1666 992 2002 1034">1.4.2.3(1)b、(a)「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 	原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系統ループ水位 	原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位 	操作		1.4.2.3(1)b、(a)「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																					
a. 代替炉心注水																																																																					
(a) 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） 																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 																																																																		
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 																																																																		
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																																		
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																																		
	操作	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系統水位計（CRT） 																																																																		
		原子炉圧力容器内への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量計 																																																																		
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位計 																																																																		
		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
		1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																			
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																					
a. 代替炉心注水																																																																					
(b) 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域-高温側） ・1次冷却材温度（広域-低温側） ・炉心出口温度 																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力（広域） 																																																																		
		原子炉圧力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却系統ループ水位 																																																																		
		原子炉圧力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量 																																																																		
		水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・燃料取替用水ピット水位 																																																																		
操作		1.4.2.3(1)b、(a)「燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水」操作手順と同様である。																																																																			

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																															
<p>監視計器一覧（37 / 48）</p> <table border="1" data-bbox="100 494 716 1101"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 494 347 566">対応手段</th> <th data-bbox="347 494 481 566">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 494 716 566">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 566 716 598">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 716 622">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 622 716 646">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 646 313 1101" rowspan="7">(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水</td> <td data-bbox="313 646 347 1101" rowspan="7">判断基準</td> <td data-bbox="347 646 481 718">原子炉圧力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 646 716 718"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 718 481 758">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 718 716 758">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 758 481 805">原子炉圧力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 758 716 805">・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 805 481 837">水源の確保</td> <td data-bbox="481 805 716 837">・ 蓄圧タンク水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 837 481 885">原子炉圧力容器内への注水量</td> <td data-bbox="481 837 716 885">・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 885 481 933">電源</td> <td data-bbox="481 885 716 933">・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 933 481 1037">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 933 716 1037"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1037 347 1101">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="347 1037 716 1101">1.4.2.3(1)a.(c)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			a. 代替炉心注水			(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。			<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯 3 / 4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑦）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																
1.4.2.3 運転停止中の場合																																		
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																		
a. 代替炉心注水																																		
(b) 蓄圧タンクによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																															
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																															
		原子炉圧力容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																															
		水源の確保	・ 蓄圧タンク水位計（CRT）																															
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																															
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																															
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																															
操作	1.4.2.3(1)a.(c)と同様。																																	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉		女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由	
監視計器一覧（38 / 48）					
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水					
(c) 恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	大飯 3 / 4号炉との比較対象なし	
		水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計 ・ 復水ビット水位計		
		原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計		
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）		
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計		
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）		
			・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）		
		操作	1.4.2.1(1)(b),(b)と同様。		
		(d) A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による代替炉心注水	判断基準		原子炉圧力容器内の温度
原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計				
原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）				
原子炉圧力容器内への注水量	・ A余熱除去流量計 ・ 恒設代替低圧注水積算流量計				
水源の確保	・ 燃料取替用水ビット水位計				
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）				
	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）				
操作	1.4.2.1(2)(a),(b)と同様。				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由		
監視計器一覧 (39/48)											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器									
1.4.2.3 運転停止中の場合											
(2) サポート系機能喪失時の手順等											
a. 代替炉心注水											
(e) B 充てんポンプ (自己冷却) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ 炉心出口温度計						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計								
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)								
		水源の確保	・ A余熱除去流量計								
			・ 燃料取替用水ピット水位計	・ 復水ピット水位計							
		電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
			補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)							
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)									
		操作	1.4.2.1(2)a.(c)と同様。								
監視計器一覧 (40/48)											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器									
1.4.2.3 運転停止中の場合											
(2) サポート系機能喪失時の手順等											
a. 代替炉心注水											
(f) A 格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計 (広域)	・ 1次冷却材低温側温度計 (広域)	・ 炉心出口温度計						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位計								
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 1次冷却系統水位計 (CRT)								
		水源の確保	・ 充てん水流量計								
			・ 燃料取替用水ピット水位計								
		電源	・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計								
			補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT)							
		・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)									
		操作	1.4.2.1(2)a.(d)と同様。								
監視計器一覧 (45/61)											
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順											
(2) サポート系故障時の対応手順											
a. 代替炉心注水											
(e) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度						
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力 (広域)								
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位								
		原子炉圧力容器への注水量	・ 1次冷却系統ループ水位								
		水源の確保	・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量								
			・ 燃料取替用水ピット水位								
		電源	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度						
			・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧								
		補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量								
			・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)								
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)											
・ 充てんライン圧力											
水源の確保	・ 燃料取替用水ピット水位										
操作	1.4.2.1(2)a.(c)「B-格納容器スプレイポンプ (自己冷却) (RHS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																		
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧 (41/48)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: top;">(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(g)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水			(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT) 	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT) 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) 	操作	1.4.2.1(1)b.(g)と同様。			<p>監視計器一覧 (46/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 60%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="10" style="vertical-align: top;">(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 汲出幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) </td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ ろ過水タンク水位 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水			(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 	原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 汲出幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) 	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ ろ過水タンク水位 	操作	1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 a. 代替炉心注水																																																					
(g) ディーゼル消火ポンプ又は電動消火ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計 (広域) ・ 1次冷却材低温側温度計 (広域) ・ 炉心出口温度計 																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																		
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計 (CRT) 																																																		
	原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計 																																																			
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ No. 2淡水タンク水位計 (CRT) 																																																			
	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																			
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT) 																																																			
操作	1.4.2.1(1)b.(g)と同様。																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 a. 代替炉心注水																																																					
(e) ディーゼル駆動消火ポンプ又は電動機駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度 (広域-高温側) ・ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ・ 炉心出口温度 																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力 (広域) 																																																		
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 																																																		
		原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-1格納容器スプレイ流量 ・ B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 																																																		
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 汲出幹線 1 L電圧、2 L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧 																																																		
	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) 																																																			
	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ ろ過水タンク水位 																																																			
	操作	1.4.2.1(1)b.(e)「電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

監視計器一覧(41/48)より抜粋して掲載

(h) 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT）
		原子炉压力容器内の注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ A余熱除去流量計
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3(4) A, B, C 1, C 2, D 1, D 2 母線電圧計
補機監視機能	操作	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）
		1.4.2.1(d)と同様。	

泊3号炉との比較対象なし

監視計器一覧 (47/61)

対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系統故障時の対応手順 a. 代替炉心注水					
(f) 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） ・ 炉心出口温度 		
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力（広域） 		
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 		
		原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM明） 		
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 低幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧 ・ 中母線電圧, 乙母線電圧 ・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧 		
	操作	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM明） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM明） 	
			1.4.2.1(d) b. (d) 「海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		
			判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） ・ 炉心出口温度
				原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位
				原子炉压力容器への注水量	<ul style="list-style-type: none"> ・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM明） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量
1.4.2.1(d) b. (e) 「代替給水ピットを水源とした可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。					

【大飯】
 設備の相違
 (相違理由③)

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																							
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（48/61）</p> <table border="1" data-bbox="1379 652 2002 997"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 代替炉心注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系従ループ水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A相出） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>機作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			a. 代替炉心注水			(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系従ループ水位	原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A相出） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	機作	1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。		<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																								
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																										
(2) サポート系故障時の対応手順																										
a. 代替炉心注水																										
(h) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度																							
		原子炉圧力容器内の水位	・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系従ループ水位																							
		原子炉圧力容器への注水量	・ B-格納容器スプレイ流量 ・ B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（A相出） ・ 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																							
	機作	1.4.2.1(1) b. (f) 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水」の操作手順と同様である。																								

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																						
<p>監視計器一覧（42/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 510 716 1085"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td>・ 加圧器水位計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ 1次冷却系統水位計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.1(2)b.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）	電源	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	補機冷却	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計 	操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。			<p>監視計器一覧（49/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 510 2004 1133"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転</td> <td rowspan="3">判断基準</td> <td>原子炉压力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 </td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源</td> <td>原子炉格納容器内の水位</td> <td>・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機冷却</td> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>電源</td> <td>1.4.2.1(2)b. (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td>補機冷却</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 	電源	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 	補機冷却	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） 	操作	電源	1.4.2.1(2)b. (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。	補機冷却		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																									
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																									
(a) 運転停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																									
i. B 高压注入ポンプ（海水冷却）による高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	・ 加圧器水位計																																																																						
	電源	原子炉格納容器内の水位	・ 1次冷却系統水位計（CRT）																																																																						
		電源	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																						
	補機冷却	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 ・ B 高压注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高压注入ポンプ冷却水流量計 																																																																						
操作	1.4.2.1(2)b.(a)と同様。																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																									
b. 代替再循環運転																																																																									
(a) 発電用原子炉停止中において全交流動力電源喪失が発生した場合																																																																									
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度 																																																																						
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																						
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 																																																																						
	電源	原子炉格納容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																						
		電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 泊幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D 母線電圧 																																																																						
	補機冷却	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（A用） ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A- 高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量（A用） 																																																																						
		操作	電源	1.4.2.1(2)b. (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A- 高压注入ポンプによる高压代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																					
			補機冷却																																																																						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
<p>監視計器一覧（43/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 491 712 1104"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 491 347 566">対応手段</th> <th data-bbox="347 491 481 566">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 491 712 566">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 566 712 598">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 712 630">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 630 712 662">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 662 712 694">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 694 313 1104" rowspan="6">i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="313 694 347 1104" rowspan="6">判断基準</td> <td data-bbox="347 694 481 742">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 694 712 742"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 742 481 790">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 742 712 790"> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 790 481 821">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 790 712 821"> <ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 821 481 917">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="481 821 712 917"> <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器再循環サンプ水位計（広域） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 917 481 981">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 917 712 981"> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 981 481 1104">補機冷却</td> <td data-bbox="481 981 712 1104"> <ul style="list-style-type: none"> ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="313 1104 347 1104"></td> <td data-bbox="313 1104 347 1104">操作</td> <td data-bbox="347 1104 712 1104">1.4.2.1(2)b.(b)lと同様。</td> <td data-bbox="712 1104 728 1104"></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） 	原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器再循環サンプ水位計（広域） 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計 		操作	1.4.2.1(2)b.(b)lと同様。			<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>大飯3/4号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑥）</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																		
1.4.2.3 運転停止中の場合																																				
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																				
b. 代替再循環運転																																				
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																				
i. A余熱除去ポンプ（空調用冷水）による低圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材高温側温度計（広域） ・1次冷却材低温側温度計（広域） ・炉心出口温度計 																																	
		原子炉压力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材圧力計 																																	
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計（CRT） 																																	
		原子炉格納容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器再循環サンプ水位計（広域） 																																	
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																	
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・A余熱除去ポンプ電動機冷却水流量計 ・A余熱除去ポンプ冷却水流量計 																																	
	操作	1.4.2.1(2)b.(b)lと同様。																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																		
<p>監視計器一覧（44/48）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="100 454 347 526">対応手段</th> <th data-bbox="347 454 481 526">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="481 454 716 526">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 526 716 550">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 550 716 574">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 574 716 598">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="100 598 716 622">(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="100 622 324 1141" rowspan="7">ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="324 622 347 1141" rowspan="7">判断基準</td> <td data-bbox="347 622 481 694">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="481 622 716 694"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 694 481 742">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="481 694 716 742">・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 742 481 790">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="481 742 716 790"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 790 481 837">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="481 790 716 837">・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 837 481 893">原子炉压力容器内への注水量</td> <td data-bbox="481 837 716 893">・ A 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 893 481 1013">補機監視機能</td> <td data-bbox="481 893 716 1013"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="347 1013 481 1093">補機冷却</td> <td data-bbox="481 1013 716 1093"> <ul style="list-style-type: none"> ・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="324 1093 347 1141">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="347 1093 716 1141">1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			b. 代替再循環運転			(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 	原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）	原子炉压力容器内への注水量	・ A 余熱除去流量計	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計 	操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。			<p>監視計器一覧（50/61）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1391 502 1637 550">対応手段</th> <th data-bbox="1637 502 1771 550">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th data-bbox="1771 502 2000 550">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1391 550 2000 574">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1391 574 2000 598">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1391 598 2000 622">b. 代替再循環運転</td> </tr> <tr> <td colspan="3" data-bbox="1391 622 2000 646">(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1391 646 1637 1141" rowspan="10">i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A 高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td data-bbox="1637 646 1659 1141" rowspan="10">判断基準</td> <td data-bbox="1659 646 1771 694">原子炉压力容器内の温度</td> <td data-bbox="1771 646 2000 694"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 694 1771 742">原子炉压力容器内の圧力</td> <td data-bbox="1771 694 2000 742">・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 742 1771 790">原子炉压力容器内の水位</td> <td data-bbox="1771 742 2000 790"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 790 1771 837">原子炉格納容器内の水位</td> <td data-bbox="1771 790 2000 837">・ A 格納容器再循環サンプ水位（広域）</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 837 1771 893">補機監視機能</td> <td data-bbox="1771 837 2000 893"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 893 1771 1013">補機冷却</td> <td data-bbox="1771 893 2000 1013"> <ul style="list-style-type: none"> ・ A 高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A 高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A 高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A 高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用） </td> </tr> <tr> <td data-bbox="1659 1013 1771 1141">操作</td> <td colspan="2" data-bbox="1771 1013 2000 1141">1.4.2.1(2)b. (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A 高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			b. 代替再循環運転			(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合			i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A 高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度計 	原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 	原子炉格納容器内の水位	・ A 格納容器再循環サンプ水位（広域）	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） 	補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A 高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A 高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A 高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用） 	操作	1.4.2.1(2)b. (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A 高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																					
b. 代替再循環運転																																																																					
(b) 運転停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																					
ii. B 高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計 																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位計 ・ 1次冷却系統水位計（CRT） 																																																																		
		原子炉格納容器内の水位	・ 格納容器再循環サンプ水位計（広域）																																																																		
		原子炉压力容器内への注水量	・ A 余熱除去流量計																																																																		
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ A 余熱除去ポンプ吐出圧力計 																																																																		
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 高圧注入ポンプ電動機冷却水流量計 ・ B 高圧注入ポンプ冷却水流量計 																																																																		
操作	1.4.2.1(2)b.(a)i.と同様。																																																																				
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																					
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																					
b. 代替再循環運転																																																																					
(b) 発電用原子炉停止中において原子炉補機冷却機能喪失が発生した場合																																																																					
i. 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A 高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判断基準	原子炉压力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 炉心出口温度計 																																																																		
		原子炉压力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																		
		原子炉压力容器内の水位	<ul style="list-style-type: none"> ・ 加圧器水位 ・ 1次冷却系統ループ水位 																																																																		
		原子炉格納容器内の水位	・ A 格納容器再循環サンプ水位（広域）																																																																		
		補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） 																																																																		
		補機冷却	<ul style="list-style-type: none"> ・ A 高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 ・ A 高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ A 高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 ・ A 高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用） 																																																																		
		操作	1.4.2.1(2)b. (a) 1. 「可搬型大型送水ポンプ車を用いた A 高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																								
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <p>監視計器一覧（45/48）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材低温側温度計（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 復水ビット水位計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a.(a)と同様。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）	・ 1次冷却材低温側温度計（広域）	・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	水源の確保	・ 復水ビット水位計	電源	・ 4-3（4）A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。			<p>監視計器一覧（51/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧（52/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域-低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域）</td> </tr> <tr> <td>・ 蒸気発生器水位（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ビット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源</td> <td>・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧、乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（A用）</td> </tr> <tr> <td>・ 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（A用）	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	・ 余熱除去ポンプ電流	操作	1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）	・ 1次冷却材温度（広域-低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域）	・ 蒸気発生器水位（広域）	・ 補助給水流量	水源の確保	・ 補助給水ビット水位	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧	・ 甲母線電圧、乙母線電圧	・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧	補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用）	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（A用）	・ 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.3 運転停止中の場合 (2) サポート系機能喪失時の手順等 c. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）																																																																																											
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域）																																																																																									
		・ 1次冷却材低温側温度計（広域）																																																																																									
	・ 炉心出口温度計																																																																																										
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																																									
	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																																									
水源の確保	・ 復水ビット水位計																																																																																										
電源	・ 4-3（4）A、B、C 1、C 2、D 1、D 2 母線電圧計																																																																																										
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																																																										
	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																																																										
・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																																											
操作	1.4.2.2(1)a.(a)と同様。																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																											
(a) タービン動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																									
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																									
		・ 炉心出口温度																																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																									
	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																																									
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																																									
	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																									
		・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																									
		・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																									
		・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																																									
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																										
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用）																																																																																										
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量																																																																																										
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（A用）																																																																																										
	・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																										
・ 余熱除去ポンプ電流																																																																																											
操作	1.4.2.2(1)a.(a)「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																										
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 c. 蒸気発生器2次側からの餘熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																																																											
(b) SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側）																																																																																									
		・ 1次冷却材温度（広域-低温側）																																																																																									
		・ 炉心出口温度																																																																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																																									
	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域）																																																																																									
	・ 蒸気発生器水位（広域）																																																																																										
	・ 補助給水流量																																																																																										
	水源の確保	・ 補助給水ビット水位																																																																																									
	電源	・ 消幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																									
		・ 後志幹線 1 L 電圧、2 L 電圧																																																																																									
・ 甲母線電圧、乙母線電圧																																																																																											
・ 6-A、B、C 1、C 2、D 母線電圧																																																																																											
補機監視機能	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																										
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（A用）																																																																																										
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量																																																																																										
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却面水流量（A用）																																																																																										
	・ 1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) b. 「SG直接給水用高圧ポンプによる蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																				
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">監視計器一覧(45/48)より抜粋して掲載</p> <table border="1" data-bbox="100 351 716 821"> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: top;">(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 加心出口温度計 </td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 </td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">操作</td> <td>水源の確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 </td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 </td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） </td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 加心出口温度計 	原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 	操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 	電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 	補機監視機能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。					<p style="text-align: center;">監視計器一覧（53/61）</p> <table border="1" data-bbox="1377 502 2004 1141"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） </td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 </td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）			(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） 	最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。		<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p> <p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>
(b) 蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水			判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 加心出口温度計 																																																		
				原子炉圧力容器内の圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材圧力計 																																																		
		最終ヒートシンクの確保		<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計 																																																			
		操作	水源の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復水ビット水位計 																																																			
			電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計 																																																			
	補機監視機能		<ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） 																																																				
「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2)b.「蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）による蒸気発生器への注水」にて整備する。																																																							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																					
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順 (2) サポート系故障時の対応手順 e. 蒸気発生器2次側からの給熱による発電用原子炉の冷却（注水）																																																							
(e) 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） 																																																				
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																				
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) c. 「海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																					
(d) 代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） 																																																				
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																				
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) d. 「代替給水ビットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																					
(e) 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域～高温側） ・ 1次冷却材温度（広域～低温側） 																																																				
		最終ヒートシンクの確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量 																																																				
	操作	「1.2 原子炉冷却材圧力バウンダリ高圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等」のうち、1.2.2.1(2) e. 「原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による蒸気発生器への注水」の操作手順と同様である。																																																					

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																		
<p>監視計器一覧（46/48）</p> <table border="1" data-bbox="96 475 716 1120"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">機能監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	機能監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。				<p>監視計器一覧（54/61）</p> <table border="1" data-bbox="1382 523 2000 1120"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 前母線1L電圧、2L電圧 ・ 後母線1L電圧、2L電圧 ・ 中母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">機能監視機能</td> <td></td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）			(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量	電源	・ 前母線1L電圧、2L電圧 ・ 後母線1L電圧、2L電圧 ・ 中母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	機能監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。							
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																			
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																					
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																					
d. 蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出）																																																																					
(a) 主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																		
		原子炉圧力容器内の注水量	・ 余熱除去流量計																																																																		
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（狭域） ・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器補助給水流量計																																																																		
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																		
	機能監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT） ・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																																		
		操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち 1.3.2.2(2)a. 「主蒸気逃がし弁（現場手動操作）による主蒸気逃がし弁の機能回復」にて整備する。																																																																		
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																		
	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																				
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																					
d. 蒸気発生器2次側からの除熱による発電用原子炉の冷却（蒸気放出）																																																																					
(a) 主蒸気逃がし弁の現場手動操作による蒸気放出	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																		
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																		
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																		
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水流量																																																																		
		電源	・ 前母線1L電圧、2L電圧 ・ 後母線1L電圧、2L電圧 ・ 中母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																		
	機能監視機能		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 ・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ出口圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																																		
		操作	「1.3 原子炉冷却材圧力バウンダリを減圧するための手順等」のうち、1.3.2.2(1)b. 「現場手動操作による主蒸気逃がし弁の機能回復」の操作手順と同様である。																																																																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																
<p>監視計器一覧（47/48）</p> <table border="1" data-bbox="100 502 716 1093"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 運転停止中の場合</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系機能喪失時の手順等</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力計</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内への注水量</td> <td>・ 余熱除去流量計</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> <td>・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 運転停止中の場合			(2) サポート系機能喪失時の手順等			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計	原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）	電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計	補機監視機能	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。			<p>監視計器一覧（55/61）</p> <table border="1" data-bbox="1388 534 2004 1117"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系放熱時の対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却</td> <td rowspan="5">判断基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器への注水量</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水量</td> </tr> <tr> <td>電源</td> <td>・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後走幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td rowspan="3">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量</td> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系放熱時の対応手順			e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量	最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水量	電源	・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後走幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧	補機監視機能	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																	
1.4.2.3 運転停止中の場合																																																																			
(2) サポート系機能喪失時の手順等																																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材高温側温度計（広域） ・ 1次冷却材低温側温度計（広域） ・ 炉心出口温度計																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力計																																																																
		原子炉圧力容器内への注水量	・ 余熱除去流量計																																																																
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位計（広域） ・ 蒸気発生器水位計（狭域）																																																																
		電源	・ 4-3（4）A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計																																																																
	補機監視機能	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量計（CRT）																																																															
			原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）	・ 原子炉補機冷却水冷却器海水流量計（CRT）																																																															
			余熱除去ポンプ吐出圧力計	・ 余熱除去ポンプ吐出圧力計																																																															
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち 1.5.2.1(3)a.「ポンプ車を使用した蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」にて整備する。																																																																	
	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																			
(2) サポート系放熱時の対応手順																																																																			
e. 蒸気発生器2次側のフィードアンドブリードによる発電用原子炉の冷却	判断基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域-高温側） ・ 1次冷却材温度（広域-低温側） ・ 炉心出口温度																																																																
		原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																																																
		原子炉圧力容器への注水量	・ 低圧注入流量																																																																
		最終ヒートシンクの確保	・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） ・ 補助給水量																																																																
		電源	・ 消幹線1L電圧、2L電圧 ・ 後走幹線1L電圧、2L電圧 ・ 甲母線電圧、乙母線電圧 ・ 6-A、B、C1、C2、D母線電圧																																																																
	補機監視機能	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																															
			原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）																																																															
			原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量（AM用） ・ 余熱除去ポンプ吐出圧力 ・ 余熱除去ポンプ電流																																																															
	操作	「1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等」のうち、1.5.2.1(3)a.「可搬型大型送水ポンプ車を用いた蒸気発生器2次側のフィードアンドブリード」の操作手順と同様である。																																																																	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																						
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (17/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(9) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">a. 復旧</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 (停止域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源の確保</td> <td>6-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-20 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (定検時水取用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td>最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系熱交換器出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順			(9) サポート系故障時の対応手順			a. 復旧			(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (停止域)	原子炉水位 (定検時水取用)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力	原子炉圧力容器内の温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	補機監視機能	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量	電源の確保	6-20 母線電圧	6-20 母線電圧	4-20 母線電圧	4-20 母線電圧	原子炉圧力容器内の水位	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (停止域)	原子炉水位 (定検時水取用)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度		残留熱除去系熱交換器入口温度		残留熱除去系熱交換器出口流量 (A, B 系のみ)	<p>監視計器一覧 (56/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">f. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水</td> <td rowspan="5">判別基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>・ 代替格納容器スレイブポンプ出口積算への注水量</td> </tr> <tr> <td>・ 格納容器再循環サンブ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機監視機能</td> <td>・ 燃料取替用水デット水位</td> </tr> <tr> <td>・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			f. 復旧			(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判別基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	・ 原子炉圧力容器内の圧力	電源	・ 1次冷却材圧力 (広域)	・ 加圧器水位	・ 原子炉圧力容器内の水位	・ 代替格納容器スレイブポンプ出口積算への注水量	・ 格納容器再循環サンブ水位 (広域)	補機監視機能	・ 燃料取替用水デット水位	・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	操作	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																							
1.4.2.2 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																									
(9) サポート系故障時の対応手順																																																																																																									
a. 復旧																																																																																																									
(a) 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱																																																																																																									
非常時操作手順書(プラント停止中) 「崩壊熱除去機能喪失」等 非常時操作手順書(設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																							
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																							
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																							
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																							
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (停止域)																																																																																																							
		原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力																																																																																																							
	原子炉圧力容器内の温度	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																							
補機監視機能	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量																																																																																																								
電源の確保	6-20 母線電圧																																																																																																								
	6-20 母線電圧																																																																																																								
	4-20 母線電圧																																																																																																								
	4-20 母線電圧																																																																																																								
原子炉圧力容器内の水位	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																								
	125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																								
	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																								
	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																								
	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																								
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																								
	原子炉水位 (広帯域)																																																																																																								
	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																								
	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																								
	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																								
原子炉圧力容器内の温度	原子炉水位 (停止域)																																																																																																								
	原子炉水位 (定検時水取用)																																																																																																								
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力																																																																																																								
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (SA)																																																																																																								
補機監視機能	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)																																																																																																								
最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																								
	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																								
	残留熱除去系熱交換器出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																																								
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																									
f. 復旧																																																																																																									
(a) B-充てんポンプ (自己冷却) による原子炉容器への注水	判別基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																							
		・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																							
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																							
		・ 炉心出口温度																																																																																																							
		・ 原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																							
	電源	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																							
		・ 加圧器水位																																																																																																							
		・ 原子炉圧力容器内の水位																																																																																																							
		・ 代替格納容器スレイブポンプ出口積算への注水量																																																																																																							
		・ 格納容器再循環サンブ水位 (広域)																																																																																																							
補機監視機能	・ 燃料取替用水デット水位																																																																																																								
	・ 消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																								
	・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																								
	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																								
	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																																								
操作	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																																																																																								
	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																																																																																								
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																								
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																								
	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																																																																																								
		<p>監視計器一覧 (57/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">f. 復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転</td> <td rowspan="5">判別基準</td> <td>原子炉圧力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉圧力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">電源</td> <td>・ 1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉圧力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>・ A-格納容器再循環サンブ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>・ A-消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">補機冷却</td> <td>・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">操作</td> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			f. 復旧			(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判別基準	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)	・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)	・ 炉心出口温度	・ 原子炉圧力容器内の圧力	電源	・ 1次冷却材圧力 (広域)	・ 加圧器水位	・ 原子炉圧力容器内の水位	・ A-格納容器再循環サンブ水位 (広域)	・ A-消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	補機冷却	・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)	操作	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																																																		
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																							
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																																																																																									
(2) サポート系故障時の対応手順																																																																																																									
f. 復旧																																																																																																									
(b) 可搬型大型送水ポンプ車を用いた A-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転	判別基準	原子炉圧力容器内の温度																																																																																																							
		・ 1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																							
		・ 1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																							
		・ 炉心出口温度																																																																																																							
		・ 原子炉圧力容器内の圧力																																																																																																							
	電源	・ 1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																							
		・ 加圧器水位																																																																																																							
		・ 原子炉圧力容器内の水位																																																																																																							
		・ A-格納容器再循環サンブ水位 (広域)																																																																																																							
		・ A-消幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																							
補機冷却	・ 後志幹線 1 L 電圧, 2 L 電圧																																																																																																								
	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																																																																																								
	・ 6-A, B, C 1, C 2, D 母線電圧																																																																																																								
	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量																																																																																																								
	・ A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																								
操作	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量																																																																																																								
	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																								
	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																								
	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																								
	・ A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																								

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>監視計器一覧（58/61）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 50%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">(2) サポート系故障時の対応手順</td> </tr> <tr> <td colspan="3">上、復旧</td> </tr> <tr> <td rowspan="15" style="vertical-align: top;">(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>・ 1次冷却材温度（広域～高温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 1次冷却材温度（広域～低温側）</td> </tr> <tr> <td>・ 炉心出口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>・ 1次冷却材圧力（広域）</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: top;">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>・ 低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>・ 加圧器水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">電源</td> <td>・ 泊幹線1 L電圧, 2 L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 後志幹線1 L電圧, 2 L電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 甲母線電圧, 乙母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧</td> </tr> <tr> <td>・ 余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="vertical-align: top;">補機監視機能</td> <td>・ 余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量</td> </tr> <tr> <td>・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>・ 補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td colspan="2">1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順			(2) サポート系故障時の対応手順			上、復旧			(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温側）	・ 1次冷却材温度（広域～低温側）	・ 炉心出口温度	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）	・ 加圧器水位	原子炉圧力容器内の水位	・ 低圧注入流量	・ 加圧器水位	電源	・ 泊幹線1 L電圧, 2 L電圧	・ 後志幹線1 L電圧, 2 L電圧	・ 甲母線電圧, 乙母線電圧	・ 6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧	・ 余熱除去ポンプ出口圧力	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ電流	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量	・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量	・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)	水源の確保	・ 補助給水ピット水位	操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。		<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊は女川と同様に各手段の項目に「復旧」を設ける。
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																									
1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順																																											
(2) サポート系故障時の対応手順																																											
上、復旧																																											
(e) 電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	原子炉圧力容器内の温度	・ 1次冷却材温度（広域～高温側）																																									
		・ 1次冷却材温度（広域～低温側）																																									
		・ 炉心出口温度																																									
	原子炉圧力容器内の圧力	・ 1次冷却材圧力（広域）																																									
		・ 加圧器水位																																									
	原子炉圧力容器内の水位	・ 低圧注入流量																																									
		・ 加圧器水位																																									
	電源	・ 泊幹線1 L電圧, 2 L電圧																																									
		・ 後志幹線1 L電圧, 2 L電圧																																									
		・ 甲母線電圧, 乙母線電圧																																									
		・ 6-A, B, C 1, C 2, D母線電圧																																									
		・ 余熱除去ポンプ出口圧力																																									
	補機監視機能	・ 余熱除去ポンプ電流																																									
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量																																									
		・ 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																									
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量																																											
・ 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量 (AM用)																																											
水源の確保	・ 補助給水ピット水位																																										
操作	1.4.2.2(1) a. (a) 「電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水」と同様である。																																										

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉			女川原子力発電所 2号炉			泊発電所 3号炉			相違理由						
監視計器一覧 (48/48)						監視計器一覧 (59/61)									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器				対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器							
1.4.2.3 運転停止中の場合 (3) 原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等						1.4.2.3 発電用原子炉停止中における対応手順									
—	判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束計 ・中性子源領域起動率計 ・原子炉補給水補給流量積算制御器積算カウンタ	—	判断基準	未臨界の維持又は監視	・中性子源領域中性子束 ・中性子源領域起動率 ・1次系純水補給ライン流量制御 ・1次系純水補給ライン流量積算制御	—	—						
		原子炉圧力容器内の圧力	・1次系冷却材圧力計			原子炉圧力容器内の圧力	・1次冷却材圧力 (広域)								
		原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位計 ・1次冷却系統水位計 (CRT)			原子炉圧力容器内の水位	・加圧器水位 ・1次冷却系統ループ水位								
		原子炉圧力容器内への注水量	・余熱除去流量計			原子炉圧力容器への注水量	・低圧注入流量								
		原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度計			原子炉格納容器内の温度	・格納容器内温度								
		原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力計 (広域) ・AM用格納容器圧力計			原子炉格納容器内の圧力	・格納容器圧力 (AM用) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・格納容器ガスモニタ								
		原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器じんあいモニタ (低レンジ) ・格納容器エアロック区域エリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ			原子炉格納容器内の放射線量率	・格納容器じんあいモニタ ・エアロックエリアモニタ ・炉内計装区域エリアモニタ								
		信号	・停止時SR中性子束高退避警報作動警報			信号	・SR停止時中性子束高 (S31) 警報 ・SR停止時中性子束高 (S32) 警報								
		補機監視機能	・余熱除去ポンプ吐出圧力計 ・原子炉補機冷却水供給母管流量計 (CRT) ・原子炉補機冷却水冷却器海水流量計 (CRT)			補機監視機能	・余熱除去ポンプ出口圧力 ・余熱除去ポンプ電流 ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)								
		電源	・4-3 (4) A、B、C1、C2、D1、D2母線電圧計			電源	・消灯線 1 L電圧、2 L電圧 ・復志線 1 L電圧、2 L電圧 ・甲母線電圧、乙母線電圧								
		LOCAの監視	・格納容器サンブ水位計 ・格納容器サンブ水位増加率計			LOCAの監視	・格納容器サンブ水位 ・格納容器サンブ水位上昇率								
		操作	—			操作	—								
		—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。								—：操作に伴う監視計器がないため記載しない。					

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																								
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<p>監視計器一覧 (18/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源の確保</td> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系系統流量</td> </tr> <tr> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉压力容器内の水位</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>操作</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>操作</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>操作</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table> <p>監視計器一覧 (19/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>手順書</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等</td> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">電源の確保</td> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)</td> </tr> <tr> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">水源の確保</td> <td rowspan="4">補機監視機能</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">原子炉压力容器内の水位</td> <td rowspan="4">操作</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉压力容器内の圧力</td> <td rowspan="2">操作</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> <td>操作</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> <td>操作</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> <td>操作</td> <td>低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td>操作</td> <td>圧力抑制室水位</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	電源の確保	補機監視機能	原子炉補機冷却水系系統流量	6-2C 母線電圧	6-2D 母線電圧	4-2C 母線電圧	水源の確保	補機監視機能	4-2D 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	原子炉压力容器内の水位	操作	125V 直流主母線 2B-1 電圧	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉压力容器内の圧力	操作	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉压力容器への注水量	操作	原子炉圧力	補機監視機能	操作	原子炉圧力 (SA)	水源の確保	操作	残留熱除去系ポンプ出口流量		操作	残留熱除去系ポンプ出口圧力		操作	圧力抑制室水位	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水			非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	電源の確保	補機監視機能	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)	6-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	水源の確保	補機監視機能	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	圧力抑制室水位	原子炉压力容器内の水位	操作	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 広帯域)	原子炉压力容器内の圧力	操作	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力	原子炉压力容器への注水量	操作	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	操作	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量	水源の確保	操作	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力		操作	圧力抑制室水位	<p>監視計器一覧 (60/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th>監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">操作</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水</td> <td rowspan="2">判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">操作</td> <td>原子炉压力容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内の圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器内の水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉压力容器への注水量</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td>補機監視機能</td> </tr> <tr> <td>水源の確保</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転</td> <td>判断基準</td> <td>信号</td> </tr> <tr> <td>操作</td> <td>1.4.2.1(1) e. (a) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順			(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	原子炉压力容器内の水位	操作	原子炉压力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉压力容器内の温度	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器への注水量	水源の確保	補機監視機能	水源の確保	(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号	原子炉压力容器内の水位	操作	原子炉压力容器内の圧力	原子炉格納容器内の圧力	原子炉压力容器内の温度	原子炉压力容器内の水位	原子炉压力容器への注水量	水源の確保	補機監視機能	水源の確保	(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	信号	操作	1.4.2.1(1) e. (a) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																									
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (1) 残留熱除去系 (低圧注水モード) による原子炉压力容器への注水																																																																																																																																											
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																									
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																									
非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																									
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																									
電源の確保	補機監視機能	原子炉補機冷却水系系統流量																																																																																																																																									
		6-2C 母線電圧																																																																																																																																									
		6-2D 母線電圧																																																																																																																																									
		4-2C 母線電圧																																																																																																																																									
水源の確保	補機監視機能	4-2D 母線電圧																																																																																																																																									
		125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																																									
		125V 直流主母線 2B 電圧																																																																																																																																									
		125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																																									
原子炉压力容器内の水位	操作	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																									
		原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																									
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																									
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																									
原子炉压力容器内の圧力	操作	原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																									
		原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																									
原子炉压力容器への注水量	操作	原子炉圧力																																																																																																																																									
補機監視機能	操作	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																									
水源の確保	操作	残留熱除去系ポンプ出口流量																																																																																																																																									
	操作	残留熱除去系ポンプ出口圧力																																																																																																																																									
	操作	圧力抑制室水位																																																																																																																																									
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																									
1.4.2.3 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順 (2) 低圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水																																																																																																																																											
非常時操作手順書 (微候ベース) 「水位確保」等	原子炉压力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																									
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																									
非常時操作手順書 (設備別) 「低圧炉心スプレイ系ポンプによる原子炉注水」	補機監視機能	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																									
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																									
電源の確保	補機監視機能	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																									
		原子炉補機冷却水系系統流量 (A系のみ)																																																																																																																																									
		6-2C 母線電圧																																																																																																																																									
		4-2C 母線電圧																																																																																																																																									
水源の確保	補機監視機能	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																																									
		125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																																									
		125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																																									
		圧力抑制室水位																																																																																																																																									
原子炉压力容器内の水位	操作	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																									
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																									
		原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																									
		原子炉水位 (SA 広帯域)																																																																																																																																									
原子炉压力容器内の圧力	操作	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																									
		原子炉圧力																																																																																																																																									
原子炉压力容器への注水量	操作	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																									
補機監視機能	操作	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量																																																																																																																																									
水源の確保	操作	低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力																																																																																																																																									
	操作	圧力抑制室水位																																																																																																																																									
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																									
1.4.2.4 重大事故等対処設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																																																											
(1) 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号																																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位																																																																																																																																									
	操作	原子炉压力容器内の圧力																																																																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の温度																																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位																																																																																																																																									
		原子炉压力容器への注水量																																																																																																																																									
		水源の確保																																																																																																																																									
		補機監視機能																																																																																																																																									
		水源の確保																																																																																																																																									
(2) 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水	判断基準	信号																																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位																																																																																																																																									
	操作	原子炉压力容器内の圧力																																																																																																																																									
		原子炉格納容器内の圧力																																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の温度																																																																																																																																									
		原子炉压力容器内の水位																																																																																																																																									
		原子炉压力容器への注水量																																																																																																																																									
		水源の確保																																																																																																																																									
		補機監視機能																																																																																																																																									
		水源の確保																																																																																																																																									
(3) 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転	判断基準	信号																																																																																																																																									
	操作	1.4.2.1(1) e. (a) 「高圧注入ポンプによる高圧再循環運転」の操作手順と同様である。																																																																																																																																									

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																
<p>泊3号炉との比較対象なし</p>	<p>監視計器一覧 (20/20)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">手順書</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視パラメータ (計器)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">非常時操作手順書 (数値ベース) 「減圧冷却」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>原子炉圧力 (狭帯域)</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA 広帯域)</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>原子炉圧力 (停止域)</td> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (定検時水張用)</td> <td>原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電源の確保</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>補機監視機能</td> <td>原子炉補機冷却水系統流量</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">操作</td> <td>6-2C 母線電圧</td> <td>6-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>6-2D 母線電圧</td> <td>6-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>4-2C 母線電圧</td> <td>4-2C 母線電圧</td> </tr> <tr> <td>4-2D 母線電圧</td> <td>4-2D 母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> <td>原子炉水位 (狭帯域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> <td>原子炉水位 (SA 燃料域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉水位 (停止域)</td> <td>原子炉水位 (停止域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (定検時水張用)</td> <td>原子炉水位 (定検時水張用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>原子炉圧力</td> <td>原子炉圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>原子炉圧力容器温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">最終ヒートシンクの確保</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)</td> </tr> </tbody> </table>	手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)	1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱			非常時操作手順書 (数値ベース) 「減圧冷却」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (狭帯域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉圧力 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (停止域)	原子炉水位 (停止域)	原子炉圧力 (定検時水張用)	原子炉水位 (定検時水張用)	補機監視機能	原子炉圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	電源の確保	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	最終ヒートシンクの確保	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量	残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量	残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量	操作	6-2C 母線電圧	6-2C 母線電圧	6-2D 母線電圧	6-2D 母線電圧	原子炉圧力容器内の水位	4-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	4-2D 母線電圧	原子炉圧力容器内の圧力	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	原子炉圧力容器内の温度	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧		補機監視機能	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (広帯域)	最終ヒートシンクの確保	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (SA 燃料域)	補機監視機能	原子炉水位 (停止域)	原子炉水位 (停止域)	原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉水位 (定検時水張用)	最終ヒートシンクの確保	原子炉圧力	原子炉圧力	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)	補機監視機能	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)	最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度	補機監視機能	残留熱除去系熱交換器出口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	<p>監視計器一覧 (61/61)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">対応手段</th> <th style="width: 30%;">重大事故等の対応に必要な監視項目</th> <th style="width: 40%;">監視計器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取替用水ビット水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水供給母管流量</td> <td>原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)</td> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の圧力</td> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の温度</td> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器内の水位</td> <td>1次冷却系ループ水位</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">原子炉圧力容器への注水量</td> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>1次冷却系ループ水位</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td rowspan="2">補機監視機能</td> <td>余熱除去ポンプ電流</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ電流</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器	1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順			(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	水源の確保	燃料取替用水ビット水位	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温側)	1次冷却材温度 (広域-低温側)	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	低圧注入流量	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	補機監視機能	水源の確保	余熱除去ポンプ出口圧力	余熱除去ポンプ電流	補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量	補機監視機能	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)	(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力 (広域)	1次冷却材温度 (広域-高温側)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-低温側)	1次冷却材温度 (広域-低温側)	補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	1次冷却系ループ水位	1次冷却材温度 (広域-高温側)	補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	1次冷却材温度 (広域-低温側)	低圧注入流量	補機監視機能	水源の確保	1次冷却系ループ水位	余熱除去ポンプ出口圧力	補機監視機能	補機監視機能	余熱除去ポンプ電流	余熱除去ポンプ電流	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・泊は、重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順を整理している。</p>
手順書	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視パラメータ (計器)																																																																																																																																																	
1.4.2.3 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順 (3) 残留熱除去系 (原子炉停止時冷却モード) による発電用原子炉からの除熱																																																																																																																																																			
非常時操作手順書 (数値ベース) 「減圧冷却」等 非常時操作手順書 (設備別) 「残留熱除去系ポンプによる原子炉停止時冷却運転」	原子炉圧力容器内の水位	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																																	
		原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の圧力	原子炉圧力 (狭帯域)	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																																	
	原子炉圧力 (SA 広帯域)	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の温度	原子炉圧力 (停止域)	原子炉水位 (停止域)																																																																																																																																																	
	原子炉圧力 (定検時水張用)	原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力	原子炉圧力																																																																																																																																																	
	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																	
電源の確保	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度																																																																																																																																																	
	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																																																	
最終ヒートシンクの確保	補機監視機能	原子炉補機冷却水系統流量																																																																																																																																																	
	残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量	残留熱除去系熱交換器冷却水出口流量																																																																																																																																																	
操作	6-2C 母線電圧	6-2C 母線電圧																																																																																																																																																	
	6-2D 母線電圧	6-2D 母線電圧																																																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の水位	4-2C 母線電圧	4-2C 母線電圧																																																																																																																																																	
	4-2D 母線電圧	4-2D 母線電圧																																																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の圧力	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2A 電圧																																																																																																																																																	
	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																																																																																																																																	
原子炉圧力容器内の温度	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																																	
	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																																																																																																																																		
補機監視機能	原子炉水位 (狭帯域)	原子炉水位 (狭帯域)																																																																																																																																																	
	原子炉水位 (広帯域)	原子炉水位 (広帯域)																																																																																																																																																	
最終ヒートシンクの確保	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																																	
	原子炉水位 (SA 燃料域)	原子炉水位 (SA 燃料域)																																																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉水位 (停止域)	原子炉水位 (停止域)																																																																																																																																																	
	原子炉水位 (定検時水張用)	原子炉水位 (定検時水張用)																																																																																																																																																	
最終ヒートシンクの確保	原子炉圧力	原子炉圧力																																																																																																																																																	
	原子炉圧力 (SA)	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力容器温度	原子炉圧力容器温度																																																																																																																																																	
	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (A, B 系のみ)																																																																																																																																																	
最終ヒートシンクの確保	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度	残留熱除去系熱交換器冷却水出口温度																																																																																																																																																	
	残留熱除去系熱交換器入口温度	残留熱除去系熱交換器入口温度																																																																																																																																																	
補機監視機能	残留熱除去系熱交換器出口温度	残留熱除去系熱交換器出口温度																																																																																																																																																	
	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)	残留熱除去系ポンプ出口流量 (A, B 系のみ)																																																																																																																																																	
対応手段	重大事故等の対応に必要な監視項目	監視計器																																																																																																																																																	
1.4.2.4 重大事故等対応設備 (設計基準拡張) による対応手順																																																																																																																																																			
(4) 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	水源の確保	燃料取替用水ビット水位																																																																																																																																																	
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																																	
		1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	低圧注入流量																																																																																																																																																	
		格納容器再循環サンプ水位 (広域)																																																																																																																																																	
補機監視機能	水源の確保	余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																																																	
		余熱除去ポンプ電流																																																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉補機冷却水供給母管流量	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用)																																																																																																																																																	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量																																																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)																																																																																																																																																	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用)																																																																																																																																																	
(5) 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱	原子炉圧力容器内の圧力	1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																																	
		1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力容器内の温度	1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																	
		1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力容器内の水位	1次冷却系ループ水位																																																																																																																																																	
		1次冷却材温度 (広域-高温側)																																																																																																																																																	
補機監視機能	原子炉圧力容器への注水量	1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																																	
		低圧注入流量																																																																																																																																																	
補機監視機能	水源の確保	1次冷却系ループ水位																																																																																																																																																	
		余熱除去ポンプ出口圧力																																																																																																																																																	
補機監視機能	補機監視機能	余熱除去ポンプ電流																																																																																																																																																	
		余熱除去ポンプ電流																																																																																																																																																	

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉

女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由

第1.4.8表 審査基準における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	給電元
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	A格納容器スプレイポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B格納容器スプレイポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	恒設代替低圧注水ポンプ	空冷式非常用発電装置
	A格納容器スプレイポンプ再循環サンパ側入口格納容器隔離弁	A1原子炉コントロールセンタ
	A充てんポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B充てんポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A高圧注入ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B高圧注入ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A電動補助給水ポンプ	4-3(4)A 非常用高圧母線
	B電動補助給水ポンプ	4-3(4)B 非常用高圧母線
	A主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	B主蒸気逃がし弁	A1ソレノイド分電盤
	C主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤
	D主蒸気逃がし弁	B1ソレノイド分電盤

第1.4-3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備

対象条文	供給対象設備	供給元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	復水移送ポンプ 補給水系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系 非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2G系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
		可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
	燃料プール補給水系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		可機型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
	直流駆動低圧注水系ポンプ	所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2B-1
		常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
	直流駆動低圧注水系 弁	可機型代替交流電源設備	250V 直流主母線
		常設代替交流電源設備	250V 直流主母線
	残留熱除去系ポンプ	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		可機型代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
	残留熱除去系 弁	常設代替交流電源設備	125V 直流主母線 2A-1
		可機型代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系 非常用高圧母線 2D系 非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系 非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系 緊急用低圧母線 MCC 2G系
	代替循環冷却ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系
		可機型代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系
低圧炉心スプレイ系ポンプ	常設代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系	
	可機型代替交流電源設備	非常用高圧母線 2C系	
原子炉再循環系 弁	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系	
	可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系	
計測用電源*	常設代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系	
	可機型代替交流電源設備	非常用低圧母線 MCC 2C系 非常用低圧母線 MCC 2D系	
	所内常設蓄電式直流電源設備	125V 直流主母線 2A 125V 直流主母線 2B	

※：供給負荷は監視計器

第1.4.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備 (1/2)

対象条文	供給対象設備	給電元	
		設備	母線
【1.4】 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	化学体積制御設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
	原子炉格納容器スプレイ設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 A2-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
	残留熱除去設備ポンプ・弁	非常用交流電源設備	4-A1非常用高圧母線 4-B1非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	4-A1非常用高圧母線 4-B1非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ A2-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ B2-原子炉コントロールセンタ
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	4-A1非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）ポンプ・弁	非常用交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ
		常設代替交流電源設備	B-A非常用高圧母線 B-B非常用高圧母線 A1-原子炉コントロールセンタ B1-原子炉コントロールセンタ A-直流母線 B-直流母線

【大阪】
記載方針の相違
(女川審査実績の反映)

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
		<p>第1.4.3表 「審査基準」における要求事項ごとの給電対象設備（2/2）</p> <table border="1" data-bbox="1377 207 2004 726"> <thead> <tr> <th rowspan="2">対象条文</th> <th rowspan="2">供給対象設備</th> <th colspan="2">給電元</th> </tr> <tr> <th>設備</th> <th>母線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">1.4.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等</td> <td rowspan="6">2 冷却水設備（補助給水設備）ポンプ、等</td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線</td> </tr> <tr> <td>管内常設蓄電式交流電源設備</td> <td>母-A交流母線 母-B交流母線</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3 非常用設備（主蒸気設備）等</td> <td>管内常設蓄電式交流電源設備</td> <td>母-A交流母線 母-B交流母線</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器 常設代替交流電源設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器 可搬型代替交流電源設備</td> </tr> <tr> <td>代替所内電源設備</td> <td>代替格納容器スプレイポンプ変圧器</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">非常用電源*</td> <td rowspan="6">非常用交流電源設備 管内常設蓄電式交流電源設備 常設代替交流電源設備</td> <td>母-A</td> <td>A1-1非常用交流分電盤 A2-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>母-B</td> <td>B1-1非常用交流分電盤 B2-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>母-C</td> <td>C1-1非常用交流分電盤 C2-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>母-D</td> <td>D1-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>母-E</td> <td>E1-1非常用交流分電盤</td> </tr> <tr> <td>母-F</td> <td>F1-1非常用交流分電盤</td> </tr> </tbody> </table> <p>※：供給母線は既述同様</p>	対象条文	供給対象設備	給電元		設備	母線	1.4.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2 冷却水設備（補助給水設備）ポンプ、等	非常用交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線	常設代替交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線	管内常設蓄電式交流電源設備	母-A交流母線 母-B交流母線	3 非常用設備（主蒸気設備）等	管内常設蓄電式交流電源設備	母-A交流母線 母-B交流母線	非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器 常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ	常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器 可搬型代替交流電源設備	代替所内電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器	非常用電源*	非常用交流電源設備 管内常設蓄電式交流電源設備 常設代替交流電源設備	母-A	A1-1非常用交流分電盤 A2-1非常用交流分電盤	母-B	B1-1非常用交流分電盤 B2-1非常用交流分電盤	母-C	C1-1非常用交流分電盤 C2-1非常用交流分電盤	母-D	D1-1非常用交流分電盤	母-E	E1-1非常用交流分電盤	母-F	F1-1非常用交流分電盤	
対象条文	供給対象設備	給電元																																							
		設備	母線																																						
1.4.3 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等	2 冷却水設備（補助給水設備）ポンプ、等	非常用交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線																																						
		常設代替交流電源設備	母-A非常用高圧母線 母-B非常用高圧母線																																						
		管内常設蓄電式交流電源設備	母-A交流母線 母-B交流母線																																						
		3 非常用設備（主蒸気設備）等	管内常設蓄電式交流電源設備	母-A交流母線 母-B交流母線																																					
			非常用交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器 常設代替交流電源設備																																					
		代替格納容器スプレイポンプ	常設代替交流電源設備	代替格納容器スプレイポンプ変圧器 可搬型代替交流電源設備																																					
	代替所内電源設備		代替格納容器スプレイポンプ変圧器																																						
	非常用電源*	非常用交流電源設備 管内常設蓄電式交流電源設備 常設代替交流電源設備	母-A	A1-1非常用交流分電盤 A2-1非常用交流分電盤																																					
			母-B	B1-1非常用交流分電盤 B2-1非常用交流分電盤																																					
			母-C	C1-1非常用交流分電盤 C2-1非常用交流分電盤																																					
			母-D	D1-1非常用交流分電盤																																					
			母-E	E1-1非常用交流分電盤																																					
			母-F	F1-1非常用交流分電盤																																					

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第14.1.1図 機能喪失原因対策分析（炉心注水：フロントライン系機能喪失）</p> <p>【比較のため、順序入れ替え】</p> <p>第14.2.3図 機能喪失原因対策分析（炉心注水：中央系機能喪失）</p>	<p>第1.4-1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>第1.4-1図 機能喪失原因対策分析</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。 ・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。 ・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>【比較のため、順序入れ替え】</p> <p>図1.4.429 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：フロントライン系機能喪失）</p> <p>図1.4.428 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：サポート系機能喪失）</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>図1.4.430 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：サポート系機能喪失）</p> <p>図1.4.431 機能喪失原因対策分析（余熱除去運転：フロントライン系機能喪失）</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロントライン系の故障等を赤点線、サポート系の故障等を青点線で枠囲い。 ・対応手段を緑枠（実線、点線）とした。 ・故障想定箇所を×印で記載。 ・フロントライン系の故障、サポート系の故障を1つの図に記載している。 <p>第1.4.1図 機能喪失原因対策分析（2/2）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="743 316 1357 941" style="border: 1px solid black; height: 392px; width: 274px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 965 1341 991">第 1.4-2 図 非常時操作手順書（巻戻ベース）「水位確保」における対応フロー</p> <div data-bbox="943 1238 1357 1264" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1469 742 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>女川 2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2027 667 2085 687">【女川】</p> <p data-bbox="2027 699 2145 719">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2027 726 2168 890" style="list-style-type: none"> ・ 泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="745 316 1361 927" style="border: 1px solid black; height: 383px; width: 275px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 954 1350 975">第1.4-3図 非常時操作手順書（撤換ベース）「減圧冷却」における対応フロー</p> <div data-bbox="943 1241 1361 1270" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 187px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 788" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 196px; margin: 0 auto;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2033 667 2168 890">【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 (大飯と同様)</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="741 323 1350 1062" style="border: 1px solid black; height: 463px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <p data-bbox="757 1091 1335 1114">第1.4-4図 非常時操作手順書（徴候ベース）「水位回復」における対応フロー</p> <div data-bbox="938 1236 1350 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 10px auto; width: 184px;"> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>女川2号炉との比較対象なし</p> </div>	<p data-bbox="2024 667 2085 689">【女川】</p> <p data-bbox="2024 699 2145 721">記載方針の相違</p> <ul data-bbox="2024 727 2168 890" style="list-style-type: none"> ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div data-bbox="741 320 1357 1118" style="border: 1px solid black; height: 500px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="779 1145 1317 1189" style="text-align: center;"> 第1.4-5図 非常時操作手順書（プラント停止中）「崩壊熱除去機能喪失」における対応フロー </div> <div data-bbox="943 1246 1357 1270" style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 2px;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 （大飯と同様）</p>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="748 376 1357 1139" style="border: 1px solid black; height: 478px; width: 272px; margin: 0 auto;"></div> <div data-bbox="792 1171 1308 1219" style="text-align: center; margin-top: 10px;"> 第 1.4-6 図 非常時操作手順書（プラント停止中）「原子炉冷却材喪失」における対応フロー </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 788" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川 2号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="2024 667 2168 890" style="color: blue; font-size: small;"> 【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。 （大飯と同様） </div>

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

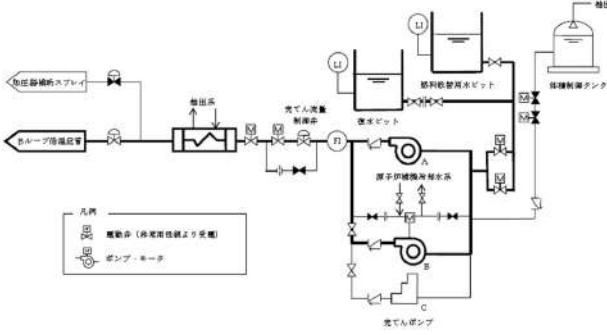
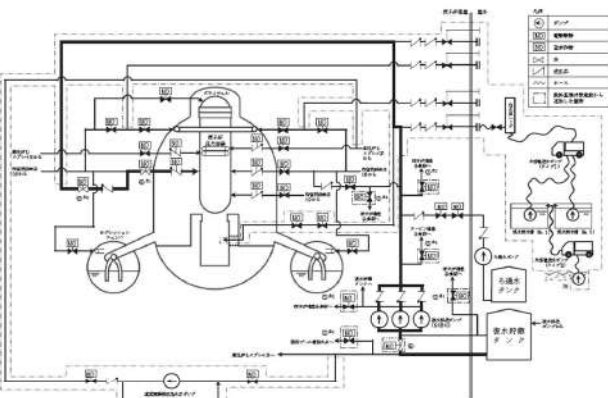
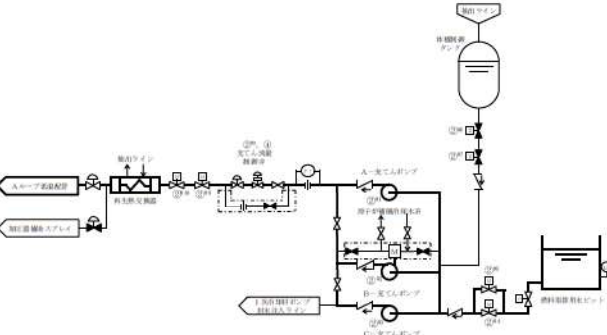
大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
	<div data-bbox="757 325 1361 868" style="border: 1px solid black; height: 340px; margin-bottom: 10px;"></div> <div data-bbox="779 896 1330 943" style="text-align: center;"> 第1.4-7図 非常時操作手順書（シビアアクシデント）「注水ストラテジー4」における対応フロー </div> <div data-bbox="954 1238 1361 1262" style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 20px; text-align: center;"> 枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。 </div>	<div data-bbox="1473 743 1912 783" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 女川2号炉との比較対象なし </div>	<p>【女川】 記載方針の相違 ・泊の対応手順フローは重大事故等時の対応手段選択フローチャートにて示す。（大飯と同様）</p>

1.4 原子炉冷却材圧バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																								
 <p>第1.4.5図 充てんポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-8図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉压力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="851 909 1265 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>CRD 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>M/RC サンプルング取出止め弁</td> </tr> <tr> <td>③#1</td> <td>FR/W ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④#1</td> <td>T/B 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>R/B R1F 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#1</td> <td>R/B R2F 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧#1</td> <td>R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑨#2</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-8図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉压力容器への注水 概要図（2/3）</p>	操作手順	弁名称	①#1	CRD 復水入口弁	②#2	M/RC サンプルング取出止め弁	③#1	FR/W ポンプ吸込弁	④#1	T/B 緊急閉鎖弁	⑤#1	R/B R1F 緊急閉鎖弁	⑥#1	R/B R2F 緊急閉鎖弁	⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧#1	R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁	⑨#2	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第1.4.2図 充てんポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 957 1948 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>A-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>B-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>③#1</td> <td>C-充てんポンプ</td> <td>起動確認</td> </tr> <tr> <td>④#1</td> <td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥#1</td> <td>体積制御タンク出口第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦#1</td> <td>体積制御タンク出口第2止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑧#1</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>調整範囲→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑨#1</td> <td>充てんラインのV外側閉鎖弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩#1</td> <td>充てんラインのV内側閉鎖弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>全開→調整範囲</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	A-充てんポンプ	起動確認	②#2	B-充てんポンプ	起動確認	③#1	C-充てんポンプ	起動確認	④#1	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A	全閉→全開	⑤#2	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B	全閉→全開	⑥#1	体積制御タンク出口第1止め弁	全開→全閉	⑦#1	体積制御タンク出口第2止め弁	全開→全閉	⑧#1	充てん流量制御弁	調整範囲→全閉	⑨#1	充てんラインのV外側閉鎖弁	全閉→全開	⑩#1	充てんラインのV内側閉鎖弁	全閉→全開	⑪	充てん流量制御弁	全開→調整範囲	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	弁名称																																																										
①#1	CRD 復水入口弁																																																										
②#2	M/RC サンプルング取出止め弁																																																										
③#1	FR/W ポンプ吸込弁																																																										
④#1	T/B 緊急閉鎖弁																																																										
⑤#1	R/B R1F 緊急閉鎖弁																																																										
⑥#1	R/B R2F 緊急閉鎖弁																																																										
⑦	復水貯蔵タンク常用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																										
⑧#1	R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁																																																										
⑨#2	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																										
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																									
①#1	A-充てんポンプ	起動確認																																																									
②#2	B-充てんポンプ	起動確認																																																									
③#1	C-充てんポンプ	起動確認																																																									
④#1	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A	全閉→全開																																																									
⑤#2	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B	全閉→全開																																																									
⑥#1	体積制御タンク出口第1止め弁	全開→全閉																																																									
⑦#1	体積制御タンク出口第2止め弁	全開→全閉																																																									
⑧#1	充てん流量制御弁	調整範囲→全閉																																																									
⑨#1	充てんラインのV外側閉鎖弁	全閉→全開																																																									
⑩#1	充てんラインのV内側閉鎖弁	全閉→全開																																																									
⑪	充てん流量制御弁	全開→調整範囲																																																									

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

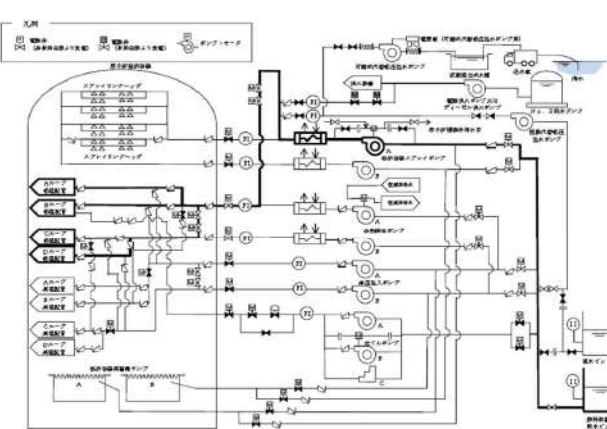
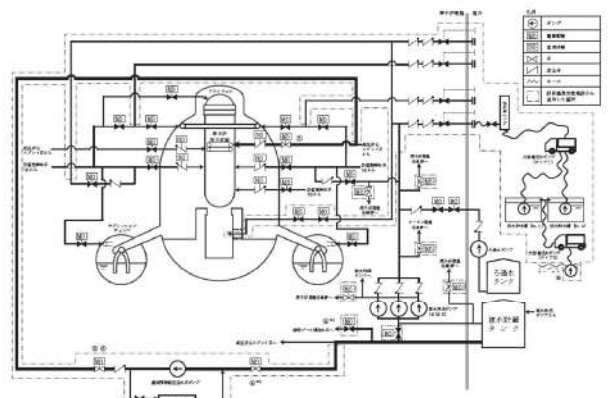
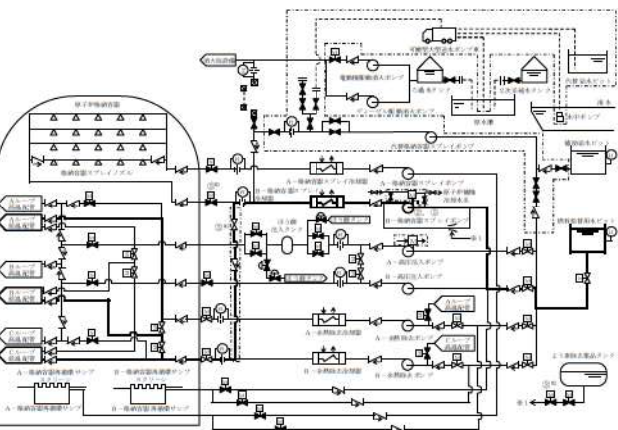
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4-9 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div>		<p>【女川】 設備の相違(BWR 固有の対応手段)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																	
 <p>第1.4.6図 A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略系統</p>	 <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉压力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="862 949 1243 1053"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>設備名称</th> <th>注名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>RPCS注入隔離弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②*</td> <td>RPCSポンプ遮断弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③*</td> <td>DCL1ポンプ後込弁</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④⑤</td> <td>DCL1注入流量調整弁</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する旨があることを示す。</p> <p>第1.4-10図 低圧代替注水系（常設）（直流駆動低圧注水系ポンプ）による原子炉压力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	設備名称	注名称	①	RPCS注入隔離弁		②*	RPCSポンプ遮断弁		③*	DCL1ポンプ後込弁		④⑤	DCL1注入流量調整弁		 <p>第1.4.3図 B-格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 1037 1948 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ出口内外循環遮断弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>1号蒸気発生器タンク注入ライン止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>B-格納容器上部蒸気出口格納容器スプレイポンプ注入ライン止め弁（53封鎖）</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>B-格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止	②	B-格納容器スプレイポンプ出口内外循環遮断弁	全閉→全開	③	1号蒸気発生器タンク注入ライン止め弁	全閉→全開	④	B-格納容器上部蒸気出口格納容器スプレイポンプ注入ライン止め弁（53封鎖）	全閉→全開	⑤	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	設備名称	注名称																																		
①	RPCS注入隔離弁																																			
②*	RPCSポンプ遮断弁																																			
③*	DCL1ポンプ後込弁																																			
④⑤	DCL1注入流量調整弁																																			
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																		
①	B-格納容器スプレイポンプ	起動→停止																																		
②	B-格納容器スプレイポンプ出口内外循環遮断弁	全閉→全開																																		
③	1号蒸気発生器タンク注入ライン止め弁	全閉→全開																																		
④	B-格納容器上部蒸気出口格納容器スプレイポンプ注入ライン止め弁（53封鎖）	全閉→全開																																		
⑤	B-格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

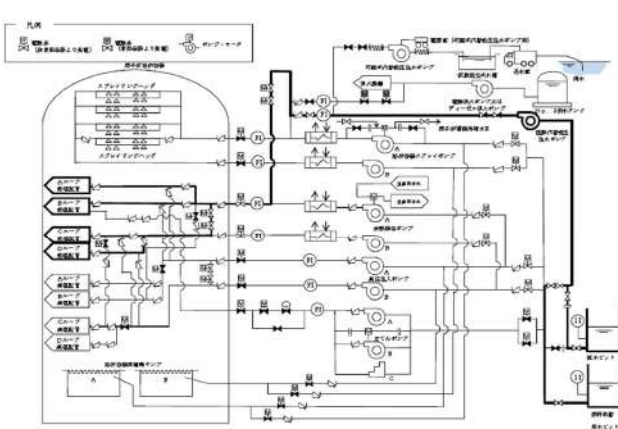
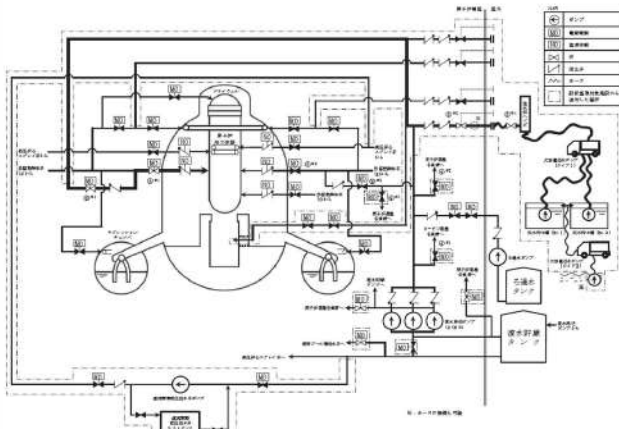
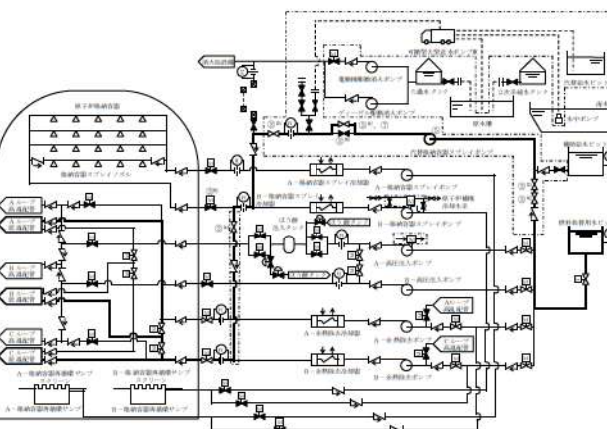
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由		
<p>経過時間 (分)</p> <p>5 10 15 20 25 30 35 40 45</p> <p>7分20分A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水開始</p> <p>系統構成</p> <p>ポンプ起動確認</p> <p>原子炉への注水確認</p> <p>移動</p> <p>RHRS-CSS連絡ライン弁電源入</p>	<p>要員 (数)</p> <p>運転員等 (中央制御室) 1</p> <p>運転員等 (現場) 1</p>	<p>経過時間 (分)</p> <p>10 20 30 40 50 60 70</p> <p>35分 原子炉圧力容器への注水</p> <p>電源確認^{※1}</p> <p>系統構成、ポンプ起動^{※2}</p> <p>島内移動、系統構成^{※3}</p>	<p>要員 (数)</p> <p>運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>運転員 (現場) B, C 2</p>	<p>経過時間 (分)</p> <p>10 20 30</p> <p>B一格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水開始 25分</p> <p>系統構成^{※1}</p> <p>B一格納容器スプレイポンプ起動^{※2}</p> <p>移動、系統構成、RHRS-CSS連絡ライン弁開操作^{※3}</p>	<p>要員 (数)</p> <p>運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>運転員 (現場) B 1</p>	<p>備考</p> <p>②</p> <p>④、⑤、⑩</p> <p>③</p>	<p>備考</p> <p>②③</p> <p>⑤</p> <p>④</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p> <p>【女川】 設備の相違 (BWR固有の対応手段)</p>
<p>※ 現業移動時間には防振装置着脱時間を含む。</p> <p>第1.4.7図 A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による代替炉心注水 タイムチャート</p>		<p>第1.4-11図 低圧代替注水系 (常設) (直流駆動低圧注水系ポンプ) による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>		<p>第1.4.4図 B一格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSS連絡ライン使用) による原子炉容器への注水 タイムチャート</p>				
<p>※1：中央制御室での状況確認に必要な測定時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※3：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p>		<p>※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間 ※3：機器の操作時間に見込んだ時間</p>						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																		
 <p>図 1.4.4 図 置換代替格納器水ポンプによる代替炉心注水 概略図</p>	 <p>第 1.4-12 図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="806 877 1299 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④ #1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④ #2</td> <td>R/B BIF 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④ #3</td> <td>R/B IF 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>R/R B系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥ #1</td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑥ #2</td> <td>緊急時原子炉室側外部注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑩ #1</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑩ #2</td> <td>R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-12 図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	④ #1	T/B 緊急時隔離弁	④ #2	R/B BIF 緊急時隔離弁	④ #3	R/B IF 緊急時隔離弁	⑤ #1	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ #2	R/R B系 LPCI 注入隔離弁	⑥ #1	原子炉・格納容器下部注水弁	⑥ #2	緊急時原子炉室側外部注水入口弁	⑩ #1	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	⑩ #2	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.5 図 代替格納器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 1005 1948 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① #1</td> <td>第一格納器スプレイポンプ吐出バルブ開閉弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>① #2</td> <td>代替格納器スプレイポンプ入口第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>① #3</td> <td>代替格納器スプレイポンプ入口第2止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>① #4</td> <td>第一格納器吐出配管出口格納器スプレイポンプ入口ラインの弁（B/C対策）</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>② #1</td> <td>代替格納器スプレイポンプ吐出ライン止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>② #2</td> <td>代替格納器スプレイポンプ出口格納器スプレイポンプ用送り弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>② #3</td> <td>代替格納器スプレイポンプ出口格納器スプレイポンプ用送り弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>代替格納器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>代替格納器スプレイポンプ出口格納器スプレイポンプ用送り弁</td> <td>調整</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① #1	第一格納器スプレイポンプ吐出バルブ開閉弁	全開→全閉	① #2	代替格納器スプレイポンプ入口第1止め弁	全開→全閉	① #3	代替格納器スプレイポンプ入口第2止め弁	全開→全閉	① #4	第一格納器吐出配管出口格納器スプレイポンプ入口ラインの弁（B/C対策）	全開→全閉	② #1	代替格納器スプレイポンプ吐出ライン止め弁	全開→全閉	② #2	代替格納器スプレイポンプ出口格納器スプレイポンプ用送り弁	全開→全閉	② #3	代替格納器スプレイポンプ出口格納器スプレイポンプ用送り弁	全開→全閉	③	代替格納器スプレイポンプ	停止→起動	④	代替格納器スプレイポンプ出口格納器スプレイポンプ用送り弁	調整	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p> <p>【女川】 設備の相違（BWR固有の対応手段）</p>
操作手順	弁名称																																																				
④ #1	T/B 緊急時隔離弁																																																				
④ #2	R/B BIF 緊急時隔離弁																																																				
④ #3	R/B IF 緊急時隔離弁																																																				
⑤ #1	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																				
⑤ #2	R/R B系 LPCI 注入隔離弁																																																				
⑥ #1	原子炉・格納容器下部注水弁																																																				
⑥ #2	緊急時原子炉室側外部注水入口弁																																																				
⑩ #1	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																				
⑩ #2	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁																																																				
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																			
① #1	第一格納器スプレイポンプ吐出バルブ開閉弁	全開→全閉																																																			
① #2	代替格納器スプレイポンプ入口第1止め弁	全開→全閉																																																			
① #3	代替格納器スプレイポンプ入口第2止め弁	全開→全閉																																																			
① #4	第一格納器吐出配管出口格納器スプレイポンプ入口ラインの弁（B/C対策）	全開→全閉																																																			
② #1	代替格納器スプレイポンプ吐出ライン止め弁	全開→全閉																																																			
② #2	代替格納器スプレイポンプ出口格納器スプレイポンプ用送り弁	全開→全閉																																																			
② #3	代替格納器スプレイポンプ出口格納器スプレイポンプ用送り弁	全開→全閉																																																			
③	代替格納器スプレイポンプ	停止→起動																																																			
④	代替格納器スプレイポンプ出口格納器スプレイポンプ用送り弁	調整																																																			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-13図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>フロントライン系故障時</p>	<p>【大阪】 設備の相違 （相違理由②）</p>
<p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-14図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>サポート系故障時</p>	<p>【大阪】 設備の相違 （相違理由②）</p>
<p>第1.4-15図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4-15図 低圧代替注水系（可搬型）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p>	<p>第1.4.6図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【大阪】 設備の相違 （相違理由②）</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																						
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1435 285 1727 1307" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">手順の項目</th> <th rowspan="2">要員(数)</th> <th colspan="2">経過時間(分)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>10</th> <th>30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水(原子炉格納容器注水から原子炉格納容器注水への切替え)</td> <td>運転員(中央制御室) A 1 運転員(免番) B 1</td> <td></td> <td>25分 ▽</td> <td>操作手順 ②</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>系統構成※1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>移動、系統構成※2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※1：機器の操作時間及び動作時間に見込んだ時間 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込んだ時間</p> </div>	手順の項目	要員(数)	経過時間(分)		備考	10	30	代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水(原子炉格納容器注水から原子炉格納容器注水への切替え)	運転員(中央制御室) A 1 運転員(免番) B 1		25分 ▽	操作手順 ②				系統構成※1					移動、系統構成※2		<div data-bbox="1809 331 1906 1262" style="text-align: center;"> <p>第 1.4.7 図 代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水 (原子炉格納容器注水から原子炉格納容器への注水切替え)</p> <p>タイムチャート</p> </div> <div data-bbox="2024 756 2130 834" style="text-align: center; color: red; font-size: small;"> <p>【大飯】 設備の相違 (相違理由①)</p> </div>
手順の項目	要員(数)	経過時間(分)			備考																				
		10	30																						
代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器への注水(原子炉格納容器注水から原子炉格納容器注水への切替え)	運転員(中央制御室) A 1 運転員(免番) B 1		25分 ▽	操作手順 ②																					
			系統構成※1																						
			移動、系統構成※2																						

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

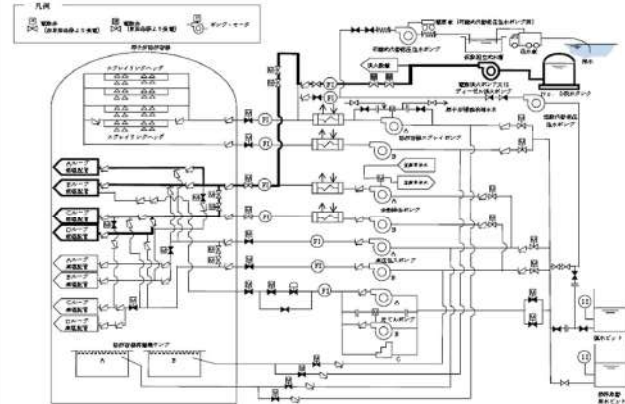
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉

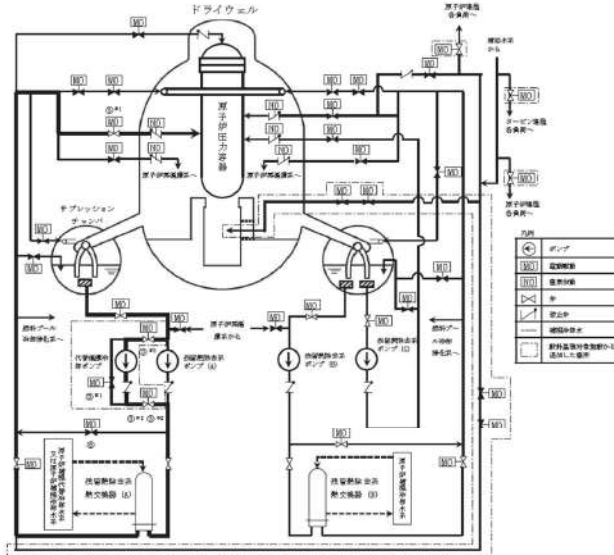
女川原子力発電所 2号炉

泊発電所 3号炉

相違理由



第 1.4.10 図 電動機駆動ポンプ又はディーゼル機駆動ポンプによる代替炉心注水 概略系図

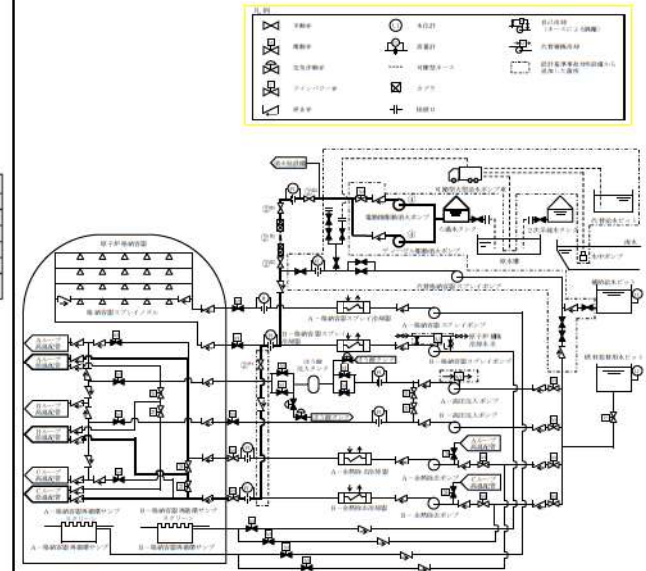


第 1.4-16 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)

操作手順	弁名称
③ #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁
③ #1 ⑤ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁
③ #3	代替循環冷却ポンプ吸込弁
⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁

#1～；同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。

第 1.4-16 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)



操作手順	操作対象機器	状態の変化
② #	可搬型ボース	ボース稼動
② #	採用雨水注入ライン止めの弁	全閉→全開
② #	採用雨水供給ライン第2止めの弁	全閉→全開
② #	日一企業除去汚濁器出口格納管スプレイ水注入ライン止めの弁 (B対策)	全閉→全開
② #	採用雨水供給ライン第1止めの弁	全閉→全開
①	電動機駆動消火ポンプ ^{a)}	停止→起動
	ディーゼル機駆動消火ポンプ ^{b)}	停止→起動

#1～；同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。

第 1.4.8 図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル機駆動消火ポンプによる

原子炉容器への注水 概要図

【大飯】
 記載方針の相違
 (女川審査実績の反映)
 ・凡例の記載内容充実
 ・概要図と操作内容を紐づけ

【女川】
 設備の相違(BWR固有の対応手段)

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉	
<p>経過時間(分)</p>	<p>備考</p>	<p>経過時間(分)</p>	<p>備考</p>
<p>要員(数)</p> <p>運転員等 (中央制御室) 1</p> <p>運転員等 (発表)</p>	<p>要員(数)</p> <p>運転員 (中央制御室) A 1</p>		
<p>手順の項目</p> <p>電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替冷却水注水</p>	<p>手順の項目</p> <p>代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水</p>		

第1.4.11図 電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替冷却水注水 タイムチャート

第 1.4-17 図 代替循環冷却系による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

※1：中央制御室での状況確認に必要な所要時間
 ※2：機器の操作時間及び動作時間に見込まれた時間

泊発電所3号炉		相違理由	
<p>経過時間(分)</p>	<p>備考</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>	
<p>要員(数)</p> <p>運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>運転員 (現場) B 1</p> <p>運転員 (現場) C 1</p>	<p>要員(数)</p> <p>運転員 (中央制御室) A 1</p> <p>運転員 (現場) B 1</p> <p>運転員 (現場) C 1</p>		
<p>手順の項目</p> <p>電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水</p>	<p>手順の項目</p> <p>電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水</p>		

第 1.4.9 図 電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

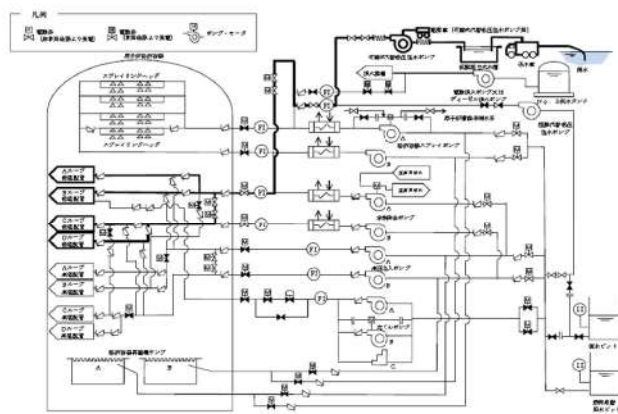
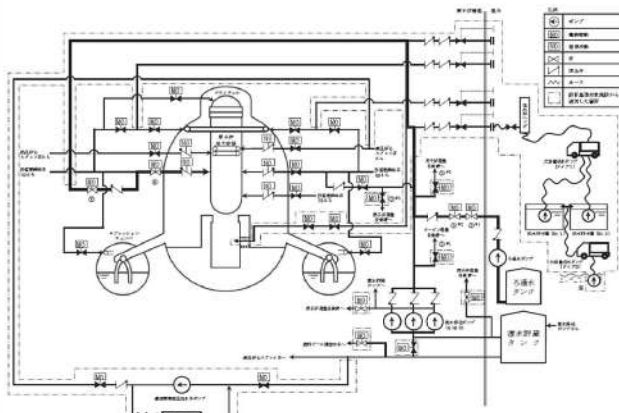
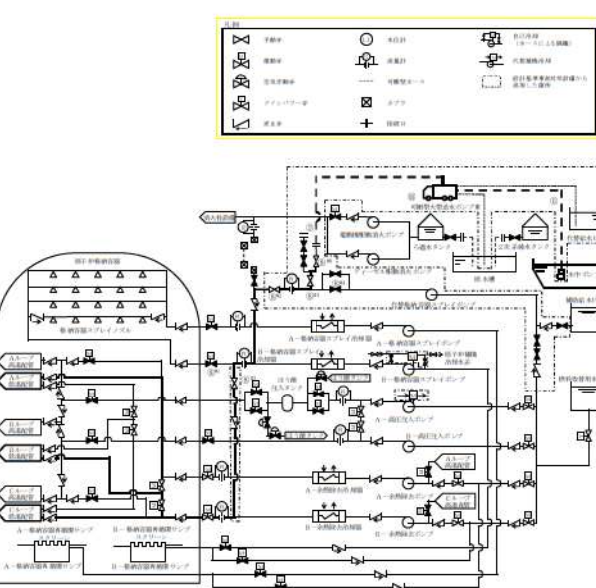
※1：機器の操作時間及び動作時間に見込まれた時間
 ※2：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に見込まれた時間
 ※3：機器の操作時間に見込まれた時間

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																														
 <p>図 1.4.12 図 可搬式代替低圧送水ポンプによる代替炉心送水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="772 877 1344 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③ #1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>R/B B/F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>R/B IF 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-18 図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③ #1	T/B 緊急時隔離弁	③ #2	R/B B/F 緊急時隔離弁	③ #3	R/B IF 緊急時隔離弁	⑤ #1	FW 系連絡第一弁	⑤ #2	FW 系連絡第二弁	⑥	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.10 図 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 1013 1948 1157"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>起動/停止</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ポンプ車</td> <td>起動/停止</td> </tr> <tr> <td>③ #1</td> <td>第一系隔離弁スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開/全閉</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>第二系隔離弁スプレイポンプ接続ライン止め弁</td> <td>全開/全閉</td> </tr> <tr> <td>③ #3</td> <td>第一系隔離弁スプレイポンプ接続ライン止め弁 (A/B/F 系)</td> <td>全開/全閉</td> </tr> <tr> <td>④ #1</td> <td>可搬型送水ポンプ車出口系隔離弁スプレイ用遮り弁</td> <td>全開/全閉</td> </tr> <tr> <td>④ #2</td> <td>可搬型送水ポンプ車出口系隔離弁スプレイ用遮り弁 (A/B/F 系)</td> <td>全開/全閉</td> </tr> <tr> <td>④ #3</td> <td>可搬型送水ポンプ車出口系隔離弁スプレイ用遮り弁 (A/B/F 系)</td> <td>全開/全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>可搬型送水ポンプ車</td> <td>停止/起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ポンプ車	起動/停止	②	可搬型ポンプ車	起動/停止	③ #1	第一系隔離弁スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開/全閉	③ #2	第二系隔離弁スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開/全閉	③ #3	第一系隔離弁スプレイポンプ接続ライン止め弁 (A/B/F 系)	全開/全閉	④ #1	可搬型送水ポンプ車出口系隔離弁スプレイ用遮り弁	全開/全閉	④ #2	可搬型送水ポンプ車出口系隔離弁スプレイ用遮り弁 (A/B/F 系)	全開/全閉	④ #3	可搬型送水ポンプ車出口系隔離弁スプレイ用遮り弁 (A/B/F 系)	全開/全閉	⑤	可搬型送水ポンプ車	停止/起動	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																
③ #1	T/B 緊急時隔離弁																																																
③ #2	R/B B/F 緊急時隔離弁																																																
③ #3	R/B IF 緊急時隔離弁																																																
⑤ #1	FW 系連絡第一弁																																																
⑤ #2	FW 系連絡第二弁																																																
⑥	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																																
⑧	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																															
①	可搬型ポンプ車	起動/停止																																															
②	可搬型ポンプ車	起動/停止																																															
③ #1	第一系隔離弁スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開/全閉																																															
③ #2	第二系隔離弁スプレイポンプ接続ライン止め弁	全開/全閉																																															
③ #3	第一系隔離弁スプレイポンプ接続ライン止め弁 (A/B/F 系)	全開/全閉																																															
④ #1	可搬型送水ポンプ車出口系隔離弁スプレイ用遮り弁	全開/全閉																																															
④ #2	可搬型送水ポンプ車出口系隔離弁スプレイ用遮り弁 (A/B/F 系)	全開/全閉																																															
④ #3	可搬型送水ポンプ車出口系隔離弁スプレイ用遮り弁 (A/B/F 系)	全開/全閉																																															
⑤	可搬型送水ポンプ車	停止/起動																																															

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

備考

※ 実施手順手順には既述情報に基づき、実施手順を省略する。

第1.4.18図 可搬式代替低圧注水ポンプによる代替低圧注水 タイムチャート

女川原子力発電所2号炉

備考

※1：中央制御室での公共電源に電源が切れた場合
 ※2：機器の動作時間及び操作手順に余裕を見込んだ時間

第1.4-19図 ろ過水ポンプによる原子炉圧力容器への注水 タイムチャート

泊発電所3号炉

備考

※1：中央制御室での公共電源に電源が切れた場合
 ※2：機器の動作時間及び操作手順に余裕を見込んだ時間

第1.4.11図 海水を用いた可搬式大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート

相違理由

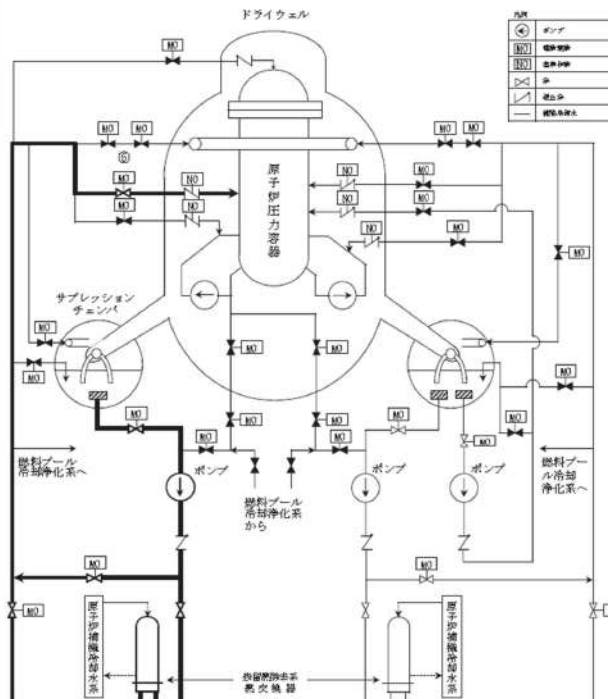
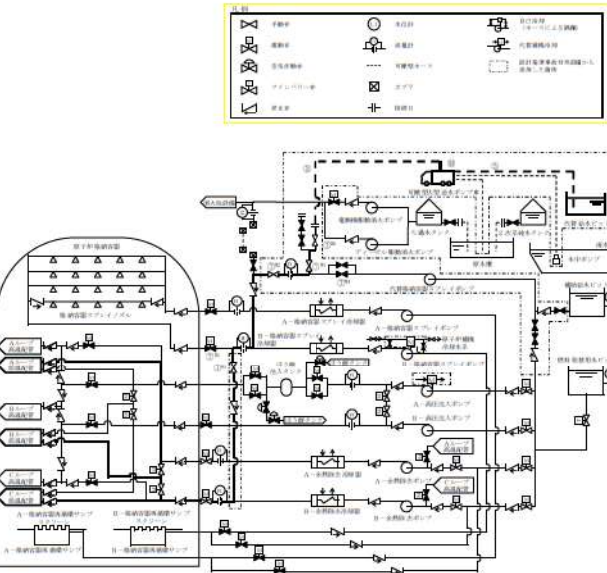
【大阪】
 記載方針の相違
 （女川審査実績の反映）
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="828 1085 1254 1149" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>⑤</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第 1.4-20 図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	操作手順	弁名称	⑤	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	 <table border="1" data-bbox="1433 1021 1948 1165" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型コース</td> <td>コース接続</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型コース</td> <td>コース接続</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>注水供給管スレイブ線接続ライン止り弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第 1.4.12 図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型コース	コース接続	②	可搬型コース	コース接続	③	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開	④	注水供給管スレイブ線接続ライン止り弁	全閉→全開	⑤	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開	⑥	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開	⑦	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開	⑧	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開	⑨	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開	⑩	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開	<p style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
操作手順	弁名称																																							
⑤	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																							
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																						
①	可搬型コース	コース接続																																						
②	可搬型コース	コース接続																																						
③	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開																																						
④	注水供給管スレイブ線接続ライン止り弁	全閉→全開																																						
⑤	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開																																						
⑥	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開																																						
⑦	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開																																						
⑧	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開																																						
⑨	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開																																						
⑩	注水供給管スレイブ線出口(D)外置隔離弁	全閉→全開																																						

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

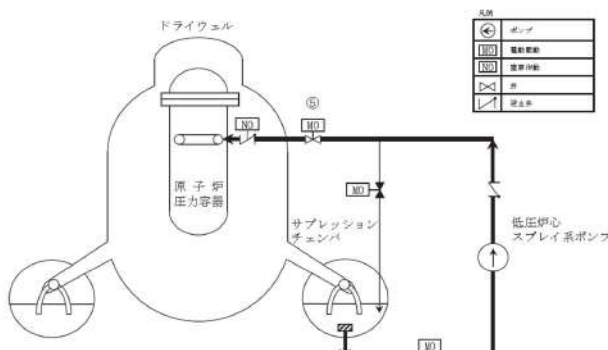
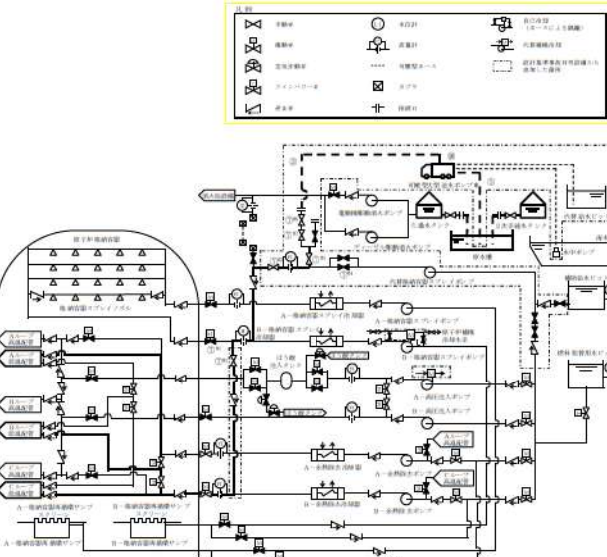
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div style="text-align: center;"> <p>第1.4-21図 残留熱除去系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div> <p>※1：中央制御室での仕切操作に必要な最低人数 ※2：機器の操作時間及び動作時間による必要最低人数</p>	<div style="text-align: center;"> </div> <p>第1.4.13図 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																											
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4-22 図 低圧炉心スプレィ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	 <p style="text-align: center;">第 1.4.14 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 1005 1948 1165"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>可搬型ボース</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>可搬型ボース</td> <td>停止→稼働</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>圧力容器スプレィ出口閉鎖(1/15)解除</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>圧力容器スプレィポンプ電源ライン止め</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>圧力容器スプレィポンプ出口閉鎖解除(1/15)解除</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>圧力容器スプレィポンプ出口閉鎖解除(1/15)解除</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>圧力容器スプレィポンプ出口閉鎖解除(1/15)解除</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>停止→稼働</td> </tr> </tbody> </table>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	可搬型ボース	停止→稼働	②	可搬型ボース	停止→稼働	③	圧力容器スプレィ出口閉鎖(1/15)解除	全閉→全開	④	圧力容器スプレィポンプ電源ライン止め	全開→全閉	⑤	圧力容器スプレィポンプ出口閉鎖解除(1/15)解除	全閉→全開	⑥	圧力容器スプレィポンプ出口閉鎖解除(1/15)解除	全閉→全開	⑦	圧力容器スプレィポンプ出口閉鎖解除(1/15)解除	全閉→全開	⑧	可搬型大型送水ポンプ車	停止→稼働	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																												
①	可搬型ボース	停止→稼働																												
②	可搬型ボース	停止→稼働																												
③	圧力容器スプレィ出口閉鎖(1/15)解除	全閉→全開																												
④	圧力容器スプレィポンプ電源ライン止め	全開→全閉																												
⑤	圧力容器スプレィポンプ出口閉鎖解除(1/15)解除	全閉→全開																												
⑥	圧力容器スプレィポンプ出口閉鎖解除(1/15)解除	全閉→全開																												
⑦	圧力容器スプレィポンプ出口閉鎖解除(1/15)解除	全閉→全開																												
⑧	可搬型大型送水ポンプ車	停止→稼働																												

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

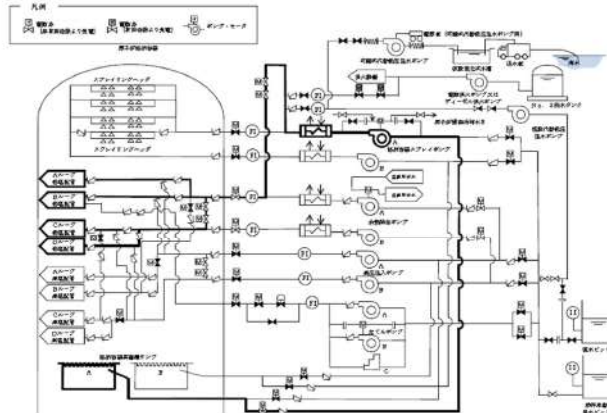
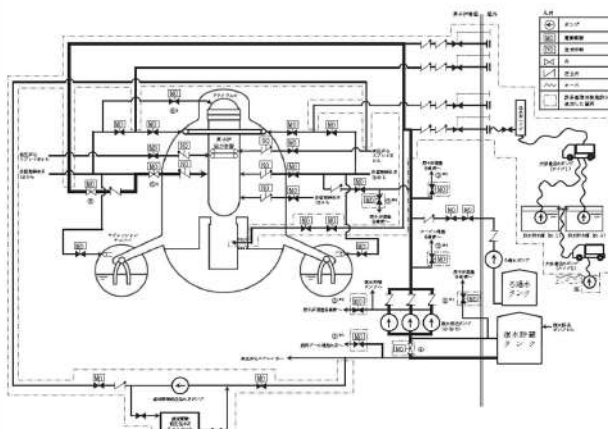
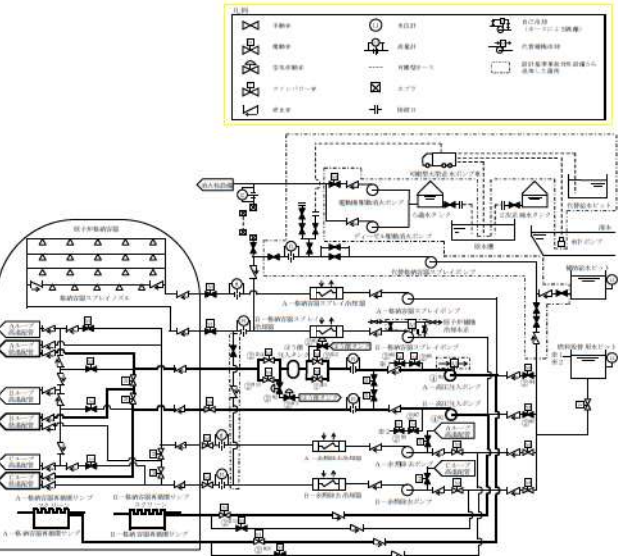
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>	<div data-bbox="920 268 1072 1294" style="text-align: center;"> <p>第1.4-23 図 低圧炉心スプレイ系電源復旧後の原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div> <p>※1：中央制御室での状況確認による緊急対応時間 ※2：機器の稼働時間及び動作中に余裕をあるんだ時間</p>	<div data-bbox="1397 491 1783 1102" style="text-align: center;"> <p>第1.4-15 図 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水 タイムチャート</p> </div>	<div data-bbox="2027 754 2134 836" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【大飯】 設備の相違 (相違理由③) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																												
 <p>第 1.4-15 図 A格納容器スプレイポンプ（R/R 3-C/S 連絡ライン使用）による代替再循環運転 概略図</p>	 <p>第 1.4-24 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="840 869 1265 1117"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>CRD 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②^{#1}</td> <td>補給サンプリング取出し止め弁</td> </tr> <tr> <td>③^{#1}</td> <td>F/R ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#1}</td> <td>T/B 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>R/B B/F 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#1}</td> <td>R/B 1F 緊急閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>復水の罐タンク専用、非常用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧[#]</td> <td>R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑨[#]</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン注入閉鎖弁</td> </tr> <tr> <td>⑩</td> <td>R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-24 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	① ^{#1}	CRD 復水入口弁	② ^{#1}	補給サンプリング取出し止め弁	③ ^{#1}	F/R ポンプ吸込弁	④ ^{#1}	T/B 緊急閉鎖弁	⑤ ^{#1}	R/B B/F 緊急閉鎖弁	⑥ ^{#1}	R/B 1F 緊急閉鎖弁	⑦	復水の罐タンク専用、非常用給水管連絡ライン止め弁	⑧ [#]	R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁	⑨ [#]	R/R ヘッドスプレイライン注入閉鎖弁	⑩	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4-16 図 高圧注入ポンプによる高圧再循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1456 909 1926 1204"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①[#]</td> <td>ほう入注入タンク遠隔ライン入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②[#]</td> <td>ほう入注入タンク遠隔ライン出口第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③[#]</td> <td>ほう入注入タンク遠隔ライン出口第2止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④[#]</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取替用ベッド補入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤[#]</td> <td>B-高圧注入ポンプ燃料取替用ベッド補入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥[#]</td> <td>A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦[#]</td> <td>B-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑧[#]</td> <td>A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑨[#]</td> <td>B-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑩[#]</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サンプリング補入口C/C外側閉鎖弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑪[#]</td> <td>B-安全注入ポンプ再循環サンプリング補入口C/C外側閉鎖弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑫[#]</td> <td>ほう入注入タンク入口弁 A</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑬[#]</td> <td>ほう入注入タンク入口弁 B</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑭[#]</td> <td>ほう入注入タンク出口C/C外側閉鎖弁 A</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑮[#]</td> <td>ほう入注入タンク出口C/C外側閉鎖弁 B</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑯[#]</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑰[#]</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① [#]	ほう入注入タンク遠隔ライン入口止め弁	全開→全閉	② [#]	ほう入注入タンク遠隔ライン出口第1止め弁	全開→全閉	③ [#]	ほう入注入タンク遠隔ライン出口第2止め弁	全開→全閉	④ [#]	A-高圧注入ポンプ燃料取替用ベッド補入口弁	全開→全閉	⑤ [#]	B-高圧注入ポンプ燃料取替用ベッド補入口弁	全開→全閉	⑥ [#]	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全開→全閉	⑦ [#]	B-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全開→全閉	⑧ [#]	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全開→全閉	⑨ [#]	B-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全開→全閉	⑩ [#]	A-安全注入ポンプ再循環サンプリング補入口C/C外側閉鎖弁	全開→全閉	⑪ [#]	B-安全注入ポンプ再循環サンプリング補入口C/C外側閉鎖弁	全開→全閉	⑫ [#]	ほう入注入タンク入口弁 A	全開→全閉	⑬ [#]	ほう入注入タンク入口弁 B	全開→全閉	⑭ [#]	ほう入注入タンク出口C/C外側閉鎖弁 A	全開→全閉	⑮ [#]	ほう入注入タンク出口C/C外側閉鎖弁 B	全開→全閉	⑯ [#]	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	⑰ [#]	B-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																														
① ^{#1}	CRD 復水入口弁																																																																														
② ^{#1}	補給サンプリング取出し止め弁																																																																														
③ ^{#1}	F/R ポンプ吸込弁																																																																														
④ ^{#1}	T/B 緊急閉鎖弁																																																																														
⑤ ^{#1}	R/B B/F 緊急閉鎖弁																																																																														
⑥ ^{#1}	R/B 1F 緊急閉鎖弁																																																																														
⑦	復水の罐タンク専用、非常用給水管連絡ライン止め弁																																																																														
⑧ [#]	R/R A系 LPCI 注入閉鎖弁																																																																														
⑨ [#]	R/R ヘッドスプレイライン注入閉鎖弁																																																																														
⑩	R/R ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																													
① [#]	ほう入注入タンク遠隔ライン入口止め弁	全開→全閉																																																																													
② [#]	ほう入注入タンク遠隔ライン出口第1止め弁	全開→全閉																																																																													
③ [#]	ほう入注入タンク遠隔ライン出口第2止め弁	全開→全閉																																																																													
④ [#]	A-高圧注入ポンプ燃料取替用ベッド補入口弁	全開→全閉																																																																													
⑤ [#]	B-高圧注入ポンプ燃料取替用ベッド補入口弁	全開→全閉																																																																													
⑥ [#]	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全開→全閉																																																																													
⑦ [#]	B-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全開→全閉																																																																													
⑧ [#]	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全開→全閉																																																																													
⑨ [#]	B-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全開→全閉																																																																													
⑩ [#]	A-安全注入ポンプ再循環サンプリング補入口C/C外側閉鎖弁	全開→全閉																																																																													
⑪ [#]	B-安全注入ポンプ再循環サンプリング補入口C/C外側閉鎖弁	全開→全閉																																																																													
⑫ [#]	ほう入注入タンク入口弁 A	全開→全閉																																																																													
⑬ [#]	ほう入注入タンク入口弁 B	全開→全閉																																																																													
⑭ [#]	ほう入注入タンク出口C/C外側閉鎖弁 A	全開→全閉																																																																													
⑮ [#]	ほう入注入タンク出口C/C外側閉鎖弁 B	全開→全閉																																																																													
⑯ [#]	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																													
⑰ [#]	B-高圧注入ポンプ	停止→起動																																																																													

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																																																																																				
<p>図 14.15 図 A格納容器スプレイポンプ（RHR系3-CSS連絡ライン使用）による代替循環運転 概略図</p>	<p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="761 965 1355 1173"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>② #1</td> <td>代替循環冷却ポンプバイパス弁</td> </tr> <tr> <td>③ #2 ⑤ #2 ⑥ #2</td> <td>代替循環冷却ポンプ流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>③ #2</td> <td>代替循環冷却ポンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>RHR 熱交換器 (A) バイパス弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-26 図 代替循環冷却系による残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	② #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁	③ #2 ⑤ #2 ⑥ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁	③ #2	代替循環冷却ポンプ吸込弁	⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ #1	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁	<p>図 14.17 図 B格納容器スプレイポンプ（RHR-CSS連絡ライン使用）による代替循環運転 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 1013 1948 1141"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>② #1</td> <td>1号格納容器スプレイの設置口ロケ熱交換器弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③ #1</td> <td>2号格納容器スプレイの設置口ロケ熱交換器弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ流量調整弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑤ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑥ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑦ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑧ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑨ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑩ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑪ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑫ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑬ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑭ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑮ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑯ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑰ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑱ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑲ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>⑳ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉑ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉒ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉓ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉔ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉕ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉖ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉗ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉘ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉙ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉚ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉛ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉜ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉝ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉞ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㉟ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊱ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊲ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊳ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊴ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊵ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊶ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊷ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊸ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊹ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊺ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊻ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊼ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊽ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊾ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>㊿ #1</td> <td>1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② #1	1号格納容器スプレイの設置口ロケ熱交換器弁	全開→全閉	③ #1	2号格納容器スプレイの設置口ロケ熱交換器弁	全開→全閉	④ #1	1号格納容器ポンプ流量調整弁	全開→全閉	⑤ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑥ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑦ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑧ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑨ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑩ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑪ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑫ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑬ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑭ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑮ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑯ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑰ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑱ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑲ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	⑳ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉑ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉒ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉓ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉔ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉕ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉖ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉗ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉘ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉙ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉚ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉛ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉜ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉝ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉞ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㉟ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊱ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊲ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊳ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊴ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊵ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊶ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊷ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊸ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊹ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊺ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊻ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊼ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊽ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊾ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	㊿ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・ 凡例の記載内容 充実 ・ 概要図と操作内 容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																																																																																																																						
② #1	代替循環冷却ポンプバイパス弁																																																																																																																																																																						
③ #2 ⑤ #2 ⑥ #2	代替循環冷却ポンプ流量調整弁																																																																																																																																																																						
③ #2	代替循環冷却ポンプ吸込弁																																																																																																																																																																						
⑤ #1	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																																																																																																																																																						
⑤ #1	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																																																																																																																						
⑥	RHR 熱交換器 (A) バイパス弁																																																																																																																																																																						
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																																																																																																					
② #1	1号格納容器スプレイの設置口ロケ熱交換器弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
③ #1	2号格納容器スプレイの設置口ロケ熱交換器弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
④ #1	1号格納容器ポンプ流量調整弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑤ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑥ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑦ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑧ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑨ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑩ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑪ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑫ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑬ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑭ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑮ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑯ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑰ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑱ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑲ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
⑳ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉑ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉒ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉓ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉔ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉕ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉖ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉗ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉘ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉙ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉚ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉛ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉜ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉝ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉞ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㉟ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊱ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊲ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊳ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊴ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊵ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊶ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊷ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊸ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊹ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊺ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊻ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊼ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊽ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊾ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					
㊿ #1	1号格納容器ポンプ再循環ポンプ吸入口弁	全開→全閉																																																																																																																																																																					

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

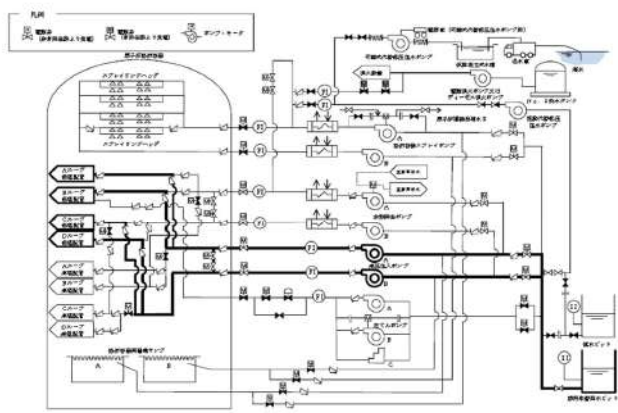
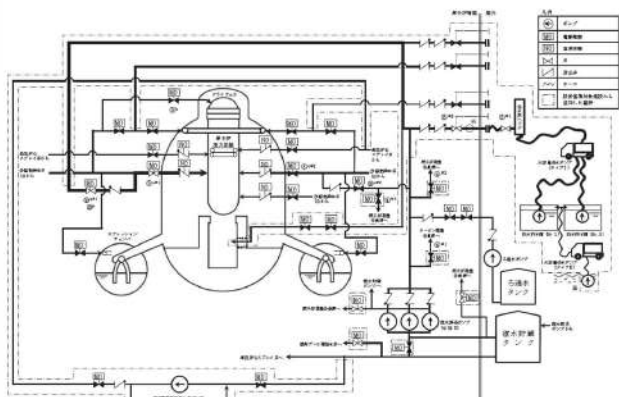
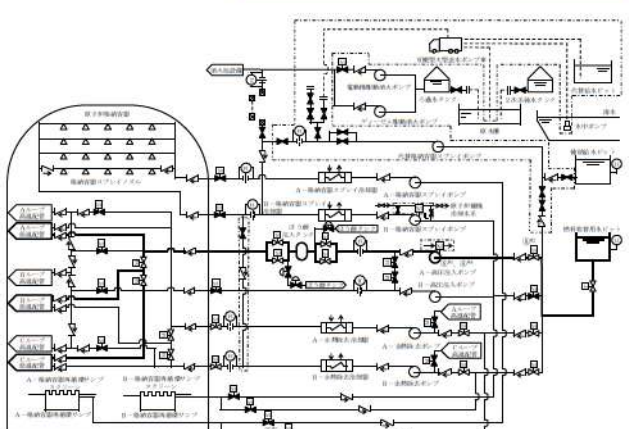
大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由																																																																																																																												
<p>経過時間(分)</p> <table border="1"> <tr> <td>5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>45</td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 7分15分 A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 系統構成 ポンプ起動 原子炉への注水確認 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 移動 RHRS-CSSS連絡ライン弁電源入 </td> </tr> </table> <p>備考</p>	5	10	15	20	25	30	35	40	45	7分15分 A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始									系統構成 ポンプ起動 原子炉への注水確認									移動 RHRS-CSSS連絡ライン弁電源入									<p>経過時間(分)</p> <table border="1"> <tr> <td>5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>45</td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 15分 残存溶解炉心の冷却 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 電源確認^{※1} 系統構成、ポンプ起動^{※2} </td> </tr> </table> <p>備考</p>	5	10	15	20	25	30	35	40	45	15分 残存溶解炉心の冷却									電源確認 ^{※1} 系統構成、ポンプ起動 ^{※2}									<p>経過時間(分)</p> <table border="1"> <tr> <td>5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>45</td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 20分 残存溶解炉心の冷却 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 電源確認^{※1} 系統構成、ポンプ起動^{※2} </td> </tr> </table> <p>備考</p>	5	10	15	20	25	30	35	40	45	20分 残存溶解炉心の冷却									電源確認 ^{※1} 系統構成、ポンプ起動 ^{※2}									<p>経過時間(分)</p> <table border="1"> <tr> <td>5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>30</td><td>35</td><td>40</td><td>45</td> </tr> <tr> <td colspan="9"> B-1格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始 </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 系統構成^{※1} B-1格納容器スプレイポンプ起動^{※2} </td> </tr> <tr> <td colspan="9"> 移動、系統構成、RHRS-CSSS連絡ライン弁電源入^{※3} </td> </tr> </table> <p>備考</p>	5	10	15	20	25	30	35	40	45	B-1格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始									系統構成 ^{※1} B-1格納容器スプレイポンプ起動 ^{※2}									移動、系統構成、RHRS-CSSS連絡ライン弁電源入 ^{※3}									<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>
5	10	15	20	25	30	35	40	45																																																																																																																										
7分15分 A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始																																																																																																																																		
系統構成 ポンプ起動 原子炉への注水確認																																																																																																																																		
移動 RHRS-CSSS連絡ライン弁電源入																																																																																																																																		
5	10	15	20	25	30	35	40	45																																																																																																																										
15分 残存溶解炉心の冷却																																																																																																																																		
電源確認 ^{※1} 系統構成、ポンプ起動 ^{※2}																																																																																																																																		
5	10	15	20	25	30	35	40	45																																																																																																																										
20分 残存溶解炉心の冷却																																																																																																																																		
電源確認 ^{※1} 系統構成、ポンプ起動 ^{※2}																																																																																																																																		
5	10	15	20	25	30	35	40	45																																																																																																																										
B-1格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSSS連絡ライン使用) による代替再循環運転開始																																																																																																																																		
系統構成 ^{※1} B-1格納容器スプレイポンプ起動 ^{※2}																																																																																																																																		
移動、系統構成、RHRS-CSSS連絡ライン弁電源入 ^{※3}																																																																																																																																		
<p>※：現場移動時間には防落装置着脱時間を含む。</p> <p>第1.4.10図 A格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSSS連絡ライン使用) による代替再循環運転 タイムチャート</p>																																																																																																																																		
<p>残留熱除去系 (A) 注入配管使用の場合</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 ※2：機器の動作時間及び動作時間に見込まれた時間 ※3：機器の動作時間に見込まれた時間</p>																																																																																																																																		
<p>残留熱除去系ヘッドスプレイ配管使用の場合</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な想定時間 ※2：機器の動作時間及び動作時間に見込まれた時間 ※3：機器の動作時間に見込まれた時間</p>																																																																																																																																		
<p>第 1.4-27 図 代替再循環冷却系による残存溶解炉心の冷却 タイムチャート</p>																																																																																																																																		
<p>第 1.4.18 図 B-1格納容器スプレイポンプ (RHRS-CSSS連絡ライン使用) による代替再循環運転 タイムチャート</p>																																																																																																																																		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																					
 <p>図 1.4.17 図 高圧注入ポンプによる炉心注水 概略系統</p>	 <p>第 1.4-28 図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="795 853 1310 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④^{#1}</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#2}</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#3}</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#1}</td> <td>R/R A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#2}</td> <td>R/R B系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤[#]</td> <td>R/R ヘッドスプレー注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#1}</td> <td>原子炉・格納容器下部注水弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#2}</td> <td>緊急時原子炉東側外筒注水入口弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#1} ⑥^{#2}</td> <td>R/R ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#2}</td> <td>R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-28 図 低圧代替注水系（可搬型）による残存溶融炉心の冷却 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	④ ^{#1}	T/B 緊急時隔離弁	④ ^{#2}	R/B B1F 緊急時隔離弁	④ ^{#3}	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤ ^{#1}	R/R A系 LPCI 注入隔離弁	⑤ ^{#2}	R/R B系 LPCI 注入隔離弁	⑤ [#]	R/R ヘッドスプレー注入隔離弁	⑥ ^{#1}	原子炉・格納容器下部注水弁	⑥ ^{#2}	緊急時原子炉東側外筒注水入口弁	⑥ ^{#1} ⑥ ^{#2}	R/R ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁	⑥ ^{#2}	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.19 図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水） 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1444 1029 1948 1125"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①[#]</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>②[#]</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口の外筒隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>③[#]</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット出入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>④[#]</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① [#]	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	② [#]	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口の外筒隔離弁	全開→全閉	③ [#]	A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット出入口弁	全開→全閉	④ [#]	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を組づけ</p>
操作手順	弁名称																																							
④ ^{#1}	T/B 緊急時隔離弁																																							
④ ^{#2}	R/B B1F 緊急時隔離弁																																							
④ ^{#3}	R/B 1F 緊急時隔離弁																																							
⑤ ^{#1}	R/R A系 LPCI 注入隔離弁																																							
⑤ ^{#2}	R/R B系 LPCI 注入隔離弁																																							
⑤ [#]	R/R ヘッドスプレー注入隔離弁																																							
⑥ ^{#1}	原子炉・格納容器下部注水弁																																							
⑥ ^{#2}	緊急時原子炉東側外筒注水入口弁																																							
⑥ ^{#1} ⑥ ^{#2}	R/R ヘッドスプレーライン洗浄流量調整弁																																							
⑥ ^{#2}	R/R B系格納容器冷却ライン洗浄流量調整弁																																							
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																						
① [#]	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																						
② [#]	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口の外筒隔離弁	全開→全閉																																						
③ [#]	A-高圧注入ポンプ燃料取替用水ピット出入口弁	全開→全閉																																						
④ [#]	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																						

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

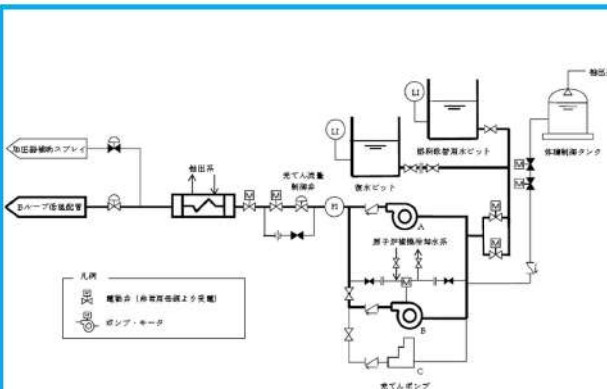
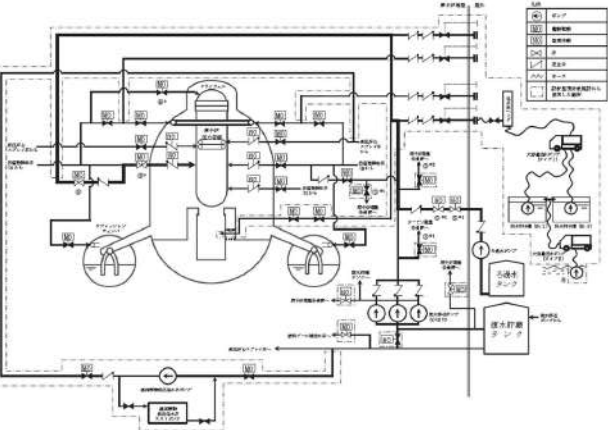
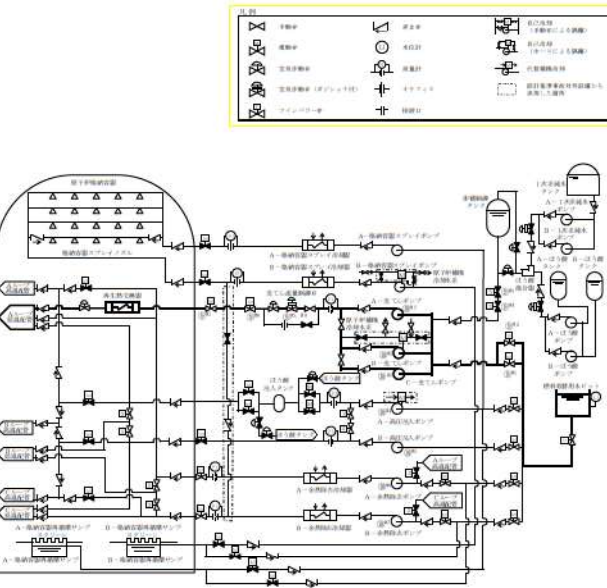
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>第1.4-29図 低圧代替注水系（可変型）による既存炉心冷却の冷却タイムチャート</p>		
	<p>第1.4-30図 低圧代替注水系（可変型）による既存炉心冷却の冷却タイムチャート</p>		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																		
<p>【比較のため、第 1.4.5 図を再掲】</p>  <p>第 1.4.5 図 充てんポンプによる炉心注水 概略系図</p>	 <p>第 1.4-31 図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="750 869 1355 1149"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>③#1</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#2</td> <td>R/B B1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③#3</td> <td>R/B 1F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>FW 系連絡第一弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>FW 系連絡第二弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>RHR A系 LPCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥#</td> <td>RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-31 図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 概要図 (2/2)</p>	操作手順	弁名称	③#1	T/B 緊急時隔離弁	③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁	③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁	⑤#1	FW 系連絡第一弁	⑤#2	FW 系連絡第二弁	⑥#	RHR A系 LPCI 注入隔離弁	⑥#	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁	⑧	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁	 <p>第 1.4.20 図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（燃料取替用水ピットを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水）概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1422 973 1937 1252"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ピット閉入口弁A</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>充てんポンプ入口燃料取替用水ピット閉入口弁B</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>②#1</td> <td>体積調整タンク出口第1止め弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>②#2</td> <td>体積調整タンク出口第2止め弁</td> <td>全開確認</td> </tr> <tr> <td>③#</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>調整値→全開</td> </tr> <tr> <td>④#</td> <td>充てんラインC17外側止め弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④#</td> <td>充てんラインC17外側隔離弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤#</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>全開→調整値</td> </tr> <tr> <td>⑥#1</td> <td>A-充てんポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑥#2</td> <td>B-充てんポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑥#3</td> <td>C-充てんポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑥#4</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑥#5</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑥#6</td> <td>A-全熱除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>⑥#7</td> <td>B-全熱除去ポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.20 図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順（燃料取替用水ピットを水源とした充てんポンプによる原子炉容器への注水）概要図 (2/2)</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット閉入口弁A	全開確認	①#2	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット閉入口弁B	全開確認	②#1	体積調整タンク出口第1止め弁	全開確認	②#2	体積調整タンク出口第2止め弁	全開確認	③#	充てん流量制御弁	調整値→全開	④#	充てんラインC17外側止め弁	全開→全開	④#	充てんラインC17外側隔離弁	全開→全開	⑤#	充てん流量制御弁	全開→調整値	⑥#1	A-充てんポンプ	起動→停止	⑥#2	B-充てんポンプ	起動→停止	⑥#3	C-充てんポンプ	起動→停止	⑥#4	A-高圧注入ポンプ	起動→停止	⑥#5	B-高圧注入ポンプ	起動→停止	⑥#6	A-全熱除去ポンプ	起動→停止	⑥#7	B-全熱除去ポンプ	起動→停止	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																																																																				
③#1	T/B 緊急時隔離弁																																																																				
③#2	R/B B1F 緊急時隔離弁																																																																				
③#3	R/B 1F 緊急時隔離弁																																																																				
⑤#1	FW 系連絡第一弁																																																																				
⑤#2	FW 系連絡第二弁																																																																				
⑥#	RHR A系 LPCI 注入隔離弁																																																																				
⑥#	RHR ヘッドスプレイ注入隔離弁																																																																				
⑧	RHR ヘッドスプレイライン洗浄流量調整弁																																																																				
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																			
①#1	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット閉入口弁A	全開確認																																																																			
①#2	充てんポンプ入口燃料取替用水ピット閉入口弁B	全開確認																																																																			
②#1	体積調整タンク出口第1止め弁	全開確認																																																																			
②#2	体積調整タンク出口第2止め弁	全開確認																																																																			
③#	充てん流量制御弁	調整値→全開																																																																			
④#	充てんラインC17外側止め弁	全開→全開																																																																			
④#	充てんラインC17外側隔離弁	全開→全開																																																																			
⑤#	充てん流量制御弁	全開→調整値																																																																			
⑥#1	A-充てんポンプ	起動→停止																																																																			
⑥#2	B-充てんポンプ	起動→停止																																																																			
⑥#3	C-充てんポンプ	起動→停止																																																																			
⑥#4	A-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																			
⑥#5	B-高圧注入ポンプ	起動→停止																																																																			
⑥#6	A-全熱除去ポンプ	起動→停止																																																																			
⑥#7	B-全熱除去ポンプ	起動→停止																																																																			

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">第 1.4-32 図 ろ過水ポンプによる残存溶融炉心の冷却 タイムチャート</p> <p>※1：中央制御室での状況確認に必要な滞在時間 ※2：機器の動作時間及び動作時間による余裕を見込んだ時間</p>		

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																			
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="741 432 1357 863" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="741 871 1344 893">第1.4-33 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="846 903 1256 1114"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>C/D 復水入口弁</td> </tr> <tr> <td>②^{#2}</td> <td>HW 1 サンプリング取出止め弁</td> </tr> <tr> <td>③^{#3}</td> <td>FW 1/F ボンプ吸込弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#4}</td> <td>T/B 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#5}</td> <td>K/B 1/F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#6}</td> <td>K/B 3/F 緊急時隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>進水貯蔵タンク使用、空室用給水管連絡ライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>R/R A系 LFCI 注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑨</td> <td>R/R ヘッドスペースレイン洗浄装置閉鎖弁</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="846 1118 1227 1134">#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p data-bbox="734 1157 1361 1179">第1.4-33 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 概要図（2/2）</p>	操作手順	弁名称	① ^{#1}	C/D 復水入口弁	② ^{#2}	HW 1 サンプリング取出止め弁	③ ^{#3}	FW 1/F ボンプ吸込弁	④ ^{#4}	T/B 緊急時隔離弁	⑤ ^{#5}	K/B 1/F 緊急時隔離弁	⑥ ^{#6}	K/B 3/F 緊急時隔離弁	⑦	進水貯蔵タンク使用、空室用給水管連絡ライン止め弁	⑧	R/R A系 LFCI 注入隔離弁	⑨	R/R ヘッドスペースレイン洗浄装置閉鎖弁	<div data-bbox="1608 260 1989 379" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>注記</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>弁閉鎖</td> <td></td> <td>弁閉鎖</td> <td></td> <td>弁閉鎖</td> </tr> <tr> <td></td> <td>弁閉鎖</td> <td></td> <td>弁閉鎖</td> <td></td> <td>弁閉鎖</td> </tr> <tr> <td></td> <td>弁閉鎖</td> <td></td> <td>弁閉鎖</td> <td></td> <td>弁閉鎖</td> </tr> <tr> <td></td> <td>弁閉鎖</td> <td></td> <td>弁閉鎖</td> <td></td> <td>弁閉鎖</td> </tr> </table> </div> <div data-bbox="1391 432 1989 847" style="text-align: center;"> </div> <p data-bbox="1413 879 1995 901">第1.4.21 図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</p> <p data-bbox="1525 917 1883 940">（1次純水タンク及びほう酸タンクを水源とした</p> <p data-bbox="1518 949 1928 971">充てんポンプによる原子炉容器への注水） 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="1462 1026 1939 1238"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>格納容器再循環タンク出口第1止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②^{#2}</td> <td>格納容器再循環タンク出口第2止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③^{#3}</td> <td>充てんポンプ入口燃料取扱用海水ビット投入弁 A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^{#4}</td> <td>充てんポンプ入口燃料取扱用海水ビット投入弁 B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#5}</td> <td>A→充てんポンプ^{#1}</td> <td>待機→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#6}</td> <td>B→充てんポンプ^{#1}</td> <td>待機→起動</td> </tr> <tr> <td>⑦^{#7}</td> <td>C→充てんポンプ^{#1}</td> <td>待機→起動</td> </tr> <tr> <td>⑧^{#8}</td> <td>A→ほう酸ポンプ^{#2}</td> <td>待機→起動</td> </tr> <tr> <td>⑨^{#9}</td> <td>B→ほう酸ポンプ^{#2}</td> <td>待機→起動</td> </tr> <tr> <td>⑩^{#10}</td> <td>A→1次蒸餾給水ポンプ^{#3}</td> <td>待機→起動</td> </tr> <tr> <td>⑪^{#11}</td> <td>B→1次蒸餾給水ポンプ^{#3}</td> <td>待機→起動</td> </tr> <tr> <td>⑫^{#12}</td> <td>充てん流量制御弁</td> <td>流量調整</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1462 1241 1854 1257">#1～：同一操作手順書 号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p data-bbox="1462 1257 1619 1273">#1：いずれか1台を起動する。</p> <p data-bbox="1462 1273 1619 1289">#2：どちらか1台を起動する。</p> <p data-bbox="1413 1316 1995 1339">第1.4.21 図 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合の手順</p> <p data-bbox="1525 1355 1883 1377">（1次純水タンク及びほう酸タンクを水源とした</p> <p data-bbox="1518 1386 1928 1409">充てんポンプによる原子炉容器への注水） 概要図（2/2）</p>		弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^{#1}	格納容器再循環タンク出口第1止め弁	全閉→全開	② ^{#2}	格納容器再循環タンク出口第2止め弁	全閉→全開	③ ^{#3}	充てんポンプ入口燃料取扱用海水ビット投入弁 A	全閉→全開	④ ^{#4}	充てんポンプ入口燃料取扱用海水ビット投入弁 B	全閉→全開	⑤ ^{#5}	A→充てんポンプ ^{#1}	待機→起動	⑥ ^{#6}	B→充てんポンプ ^{#1}	待機→起動	⑦ ^{#7}	C→充てんポンプ ^{#1}	待機→起動	⑧ ^{#8}	A→ほう酸ポンプ ^{#2}	待機→起動	⑨ ^{#9}	B→ほう酸ポンプ ^{#2}	待機→起動	⑩ ^{#10}	A→1次蒸餾給水ポンプ ^{#3}	待機→起動	⑪ ^{#11}	B→1次蒸餾給水ポンプ ^{#3}	待機→起動	⑫ ^{#12}	充てん流量制御弁	流量調整	<p data-bbox="2022 699 2168 1008">【大飯】 記載方針の相違 ・泊3号炉は1次純水タンク及びほう酸タンクを水源とした充てんポンプによる炉心注水の状態を示す概略系統を第1.4.21図に整理した。</p>
操作手順	弁名称																																																																																					
① ^{#1}	C/D 復水入口弁																																																																																					
② ^{#2}	HW 1 サンプリング取出止め弁																																																																																					
③ ^{#3}	FW 1/F ボンプ吸込弁																																																																																					
④ ^{#4}	T/B 緊急時隔離弁																																																																																					
⑤ ^{#5}	K/B 1/F 緊急時隔離弁																																																																																					
⑥ ^{#6}	K/B 3/F 緊急時隔離弁																																																																																					
⑦	進水貯蔵タンク使用、空室用給水管連絡ライン止め弁																																																																																					
⑧	R/R A系 LFCI 注入隔離弁																																																																																					
⑨	R/R ヘッドスペースレイン洗浄装置閉鎖弁																																																																																					
	弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖																																																																																	
	弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖																																																																																	
	弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖																																																																																	
	弁閉鎖		弁閉鎖		弁閉鎖																																																																																	
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																				
① ^{#1}	格納容器再循環タンク出口第1止め弁	全閉→全開																																																																																				
② ^{#2}	格納容器再循環タンク出口第2止め弁	全閉→全開																																																																																				
③ ^{#3}	充てんポンプ入口燃料取扱用海水ビット投入弁 A	全閉→全開																																																																																				
④ ^{#4}	充てんポンプ入口燃料取扱用海水ビット投入弁 B	全閉→全開																																																																																				
⑤ ^{#5}	A→充てんポンプ ^{#1}	待機→起動																																																																																				
⑥ ^{#6}	B→充てんポンプ ^{#1}	待機→起動																																																																																				
⑦ ^{#7}	C→充てんポンプ ^{#1}	待機→起動																																																																																				
⑧ ^{#8}	A→ほう酸ポンプ ^{#2}	待機→起動																																																																																				
⑨ ^{#9}	B→ほう酸ポンプ ^{#2}	待機→起動																																																																																				
⑩ ^{#10}	A→1次蒸餾給水ポンプ ^{#3}	待機→起動																																																																																				
⑪ ^{#11}	B→1次蒸餾給水ポンプ ^{#3}	待機→起動																																																																																				
⑫ ^{#12}	充てん流量制御弁	流量調整																																																																																				

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<div style="text-align: center;"> <p>第 1.4-34 図 低圧代替注水系（常設）（復水移送ポンプ）による原子炉圧力容器への注水 タイムチャート</p> </div>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

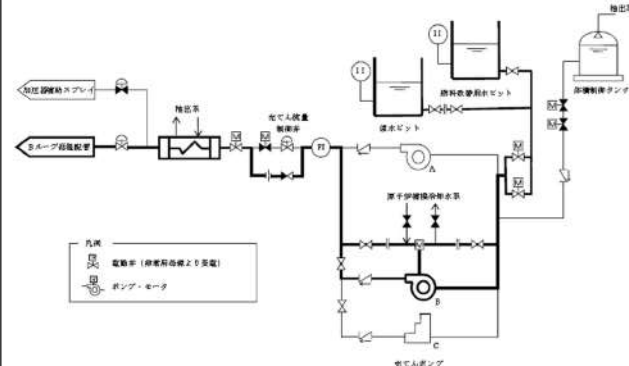
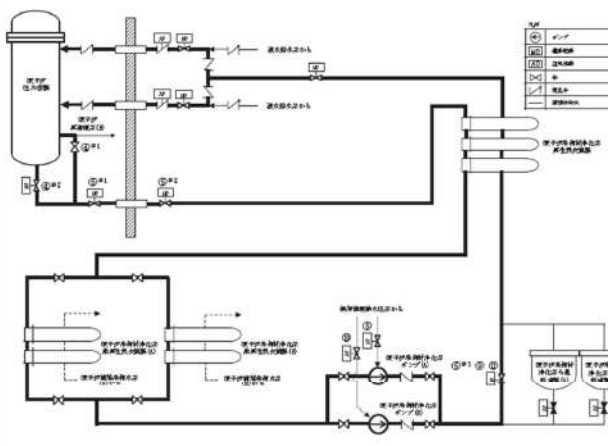
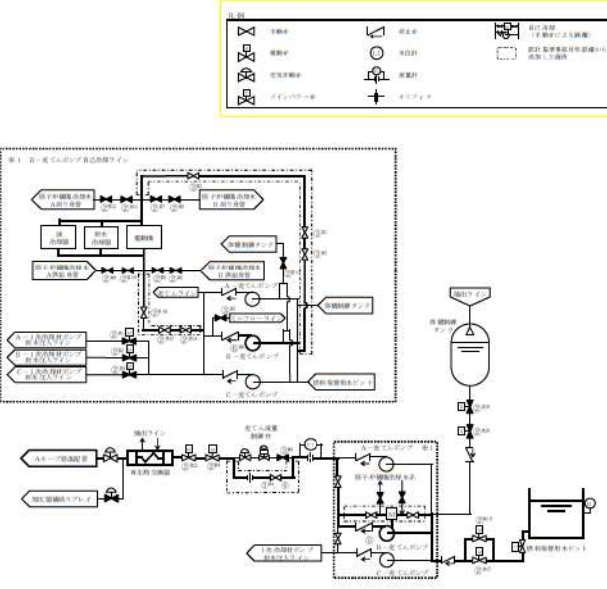
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>図 1.4.21 A.系新設蒸気ポンプ（空調用冷水）による炉内炉心注水 概略系図</p>		<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑥)</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																
 <p>凡例 電動弁 (非電弁も含む) 電動弁・モータ ポンプ・モータ</p> <p>図1.4.22図 B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水 概略系図</p>	 <table border="1" data-bbox="851 877 1254 1085"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④#1</td> <td>CUW入口ライン元弁</td> </tr> <tr> <td>④#2</td> <td>CUWボトムドレンライン元弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1</td> <td>CUW入口ライン第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#2</td> <td>CUW入口ライン第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤#1 ⑤#1</td> <td>CUWろ過脱塩装置バイパス弁</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>CUWポンプ(A) パージライン止め弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>CUWポンプ(B) パージライン止め弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-35図 原子炉冷却材浄化系による発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	弁名称	④#1	CUW入口ライン元弁	④#2	CUWボトムドレンライン元弁	⑤#1	CUW入口ライン第一隔離弁	⑤#2	CUW入口ライン第二隔離弁	⑤#1 ⑤#1	CUWろ過脱塩装置バイパス弁	⑥	CUWポンプ(A) パージライン止め弁	⑦	CUWポンプ(B) パージライン止め弁	 <p>第1.4.22図 B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 概要図 (1/2)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	弁名称																		
④#1	CUW入口ライン元弁																		
④#2	CUWボトムドレンライン元弁																		
⑤#1	CUW入口ライン第一隔離弁																		
⑤#2	CUW入口ライン第二隔離弁																		
⑤#1 ⑤#1	CUWろ過脱塩装置バイパス弁																		
⑥	CUWポンプ(A) パージライン止め弁																		
⑦	CUWポンプ(B) パージライン止め弁																		

泊発電所 3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																										
<div data-bbox="203 770 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1429 531 1955 1062" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>②[※]</td><td>A-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>C-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>充てんラインCV外側止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁</td><td>全開確認</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>充てんポンプ入口ベントライン止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>圧縮機排気タンク出口第1止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>圧縮機排気タンク出口第2止め弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>充てんラインCV外側隔離弁</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)</td><td>全開→全開</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)</td><td>全開→調整</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>B-充てんポンプ流量制御弁前弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②[※]</td><td>充てんライン流量制御弁前弁</td><td>全開→全閉</td></tr> <tr><td>②</td><td>B-充てんポンプ</td><td>停止→起動</td></tr> <tr><td>②</td><td>充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)</td><td>流量調整</td></tr> </tbody> </table> <p>※～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> </div> <td data-bbox="2011 135 2184 1444"> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・ 凡例の記載内容 充実 ・ 概要図と操作内容を紐づけ</p> </td>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② [※]	A-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉	② [※]	B-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉	② [※]	C-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉	② [※]	充てんラインCV外側止め弁	全開→全閉	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁	全開→全開	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁	全開→全開	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁	全開→全開	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁	全開→全開	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁	全開確認	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁	全開確認	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁	全開確認	② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁	全開確認	② [※]	充てんポンプ入口ベントライン止め弁	全開→全閉	② [※]	B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)	全開→全開	② [※]	B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)	全開→全開	② [※]	B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)	全開→全開	② [※]	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A	全開→全開	② [※]	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B	全開→全開	② [※]	圧縮機排気タンク出口第1止め弁	全開→全閉	② [※]	圧縮機排気タンク出口第2止め弁	全開→全閉	② [※]	充てんラインCV外側隔離弁	全開→全開	② [※]	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)	全開→全開	② [※]	B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)	全開→全開	② [※]	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)	全開→全開	② [※]	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	全開→調整	② [※]	B-充てんポンプ流量制御弁前弁	全開→全閉	② [※]	充てんライン流量制御弁前弁	全開→全閉	②	B-充てんポンプ	停止→起動	②	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	流量調整	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・ 凡例の記載内容 充実 ・ 概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																																																											
② [※]	A-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	C-1 次冷却材ポンプ封水注入ラインのV外側隔離弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	充てんラインCV外側止め弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第1切替弁	全開→全開																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B供給ライン第2切替弁	全開→全開																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第1切替弁	全開→全開																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水B戻りライン第2切替弁	全開→全開																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第1切替弁	全開確認																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A供給ライン第2切替弁	全開確認																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第1切替弁	全開確認																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ、電動機補機冷却水A戻りライン第2切替弁	全開確認																																																																																											
② [※]	充てんポンプ入口ベントライン止め弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ自冷水供給ライン絞り弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ自冷水供給ライン止め弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ自冷水入口弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② [※]	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁A	全開→全開																																																																																											
② [※]	充てんポンプ入口燃料取扱用水ピット側入口弁B	全開→全開																																																																																											
② [※]	圧縮機排気タンク出口第1止め弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	圧縮機排気タンク出口第2止め弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	充てんラインCV外側隔離弁	全開→全開																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第2止め弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ自冷水出口弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ自冷水戻りライン第1止め弁 (SA対策)	全開→全開																																																																																											
② [※]	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	全開→調整																																																																																											
② [※]	B-充てんポンプ流量制御弁前弁	全開→全閉																																																																																											
② [※]	充てんライン流量制御弁前弁	全開→全閉																																																																																											
②	B-充てんポンプ	停止→起動																																																																																											
②	充てんライン流量制御弁第2バイパスライン絞り弁 (SA対策)	流量調整																																																																																											

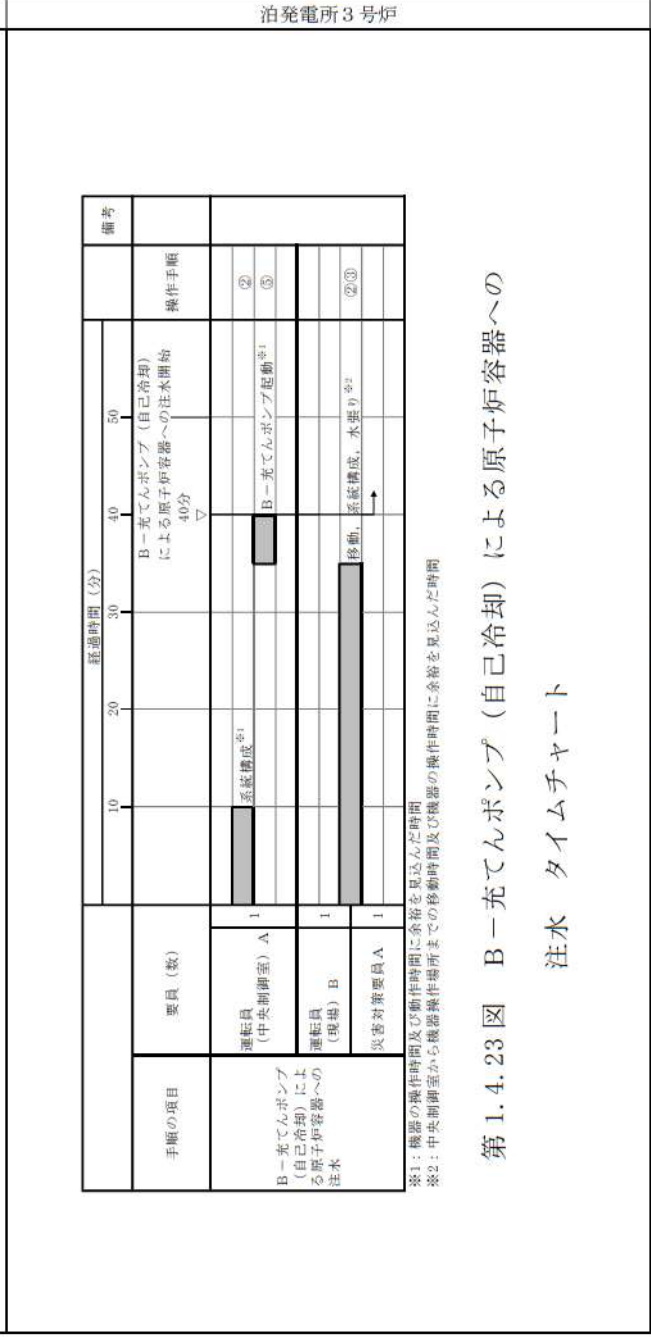
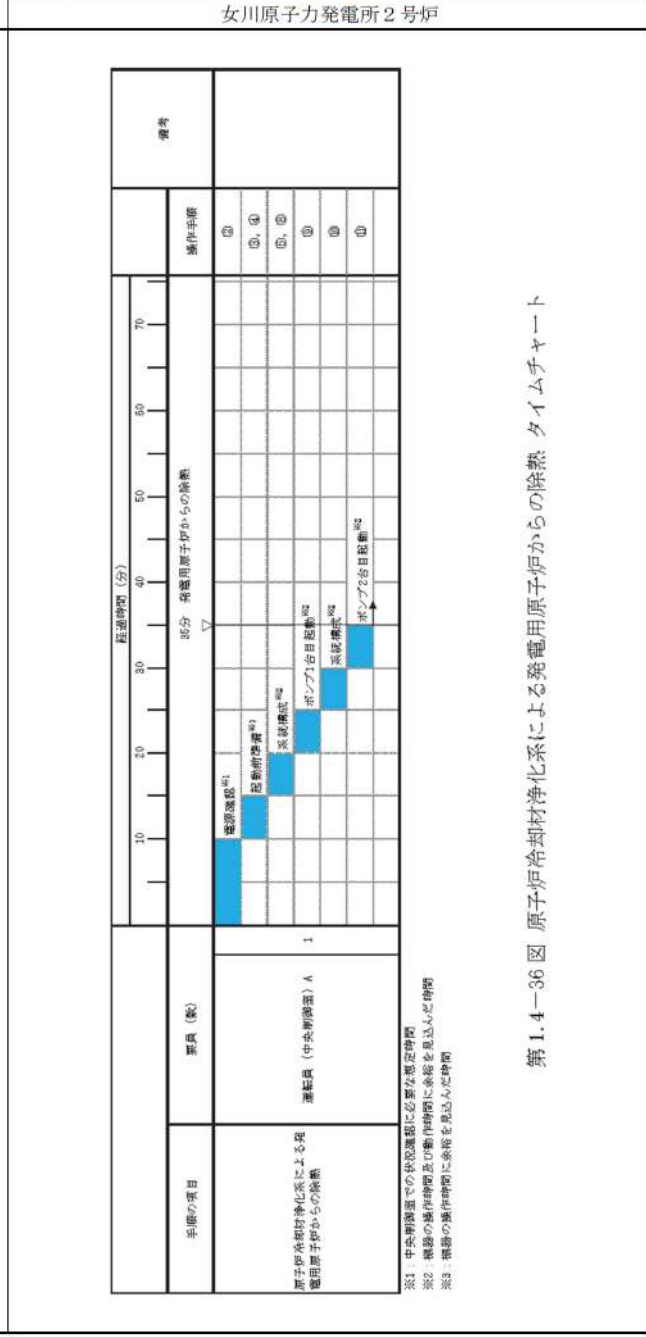
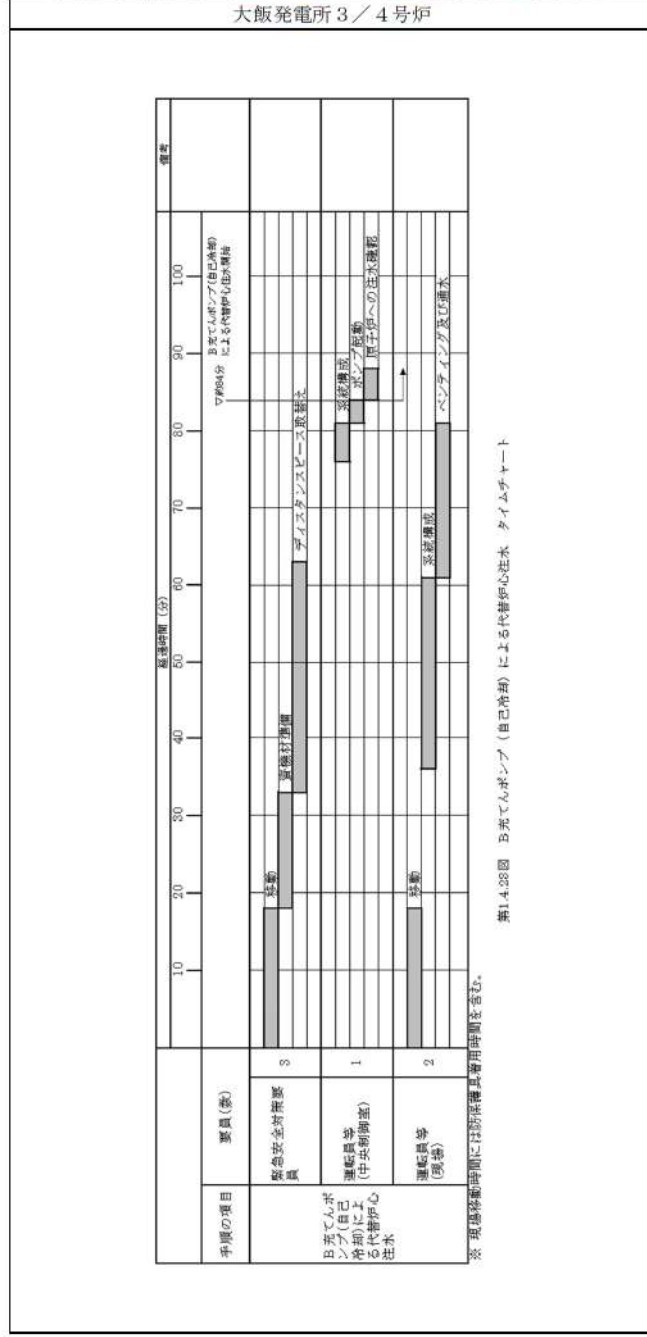
第 1.4.22 図 B-充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水 概要図（2/2）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



相違理由

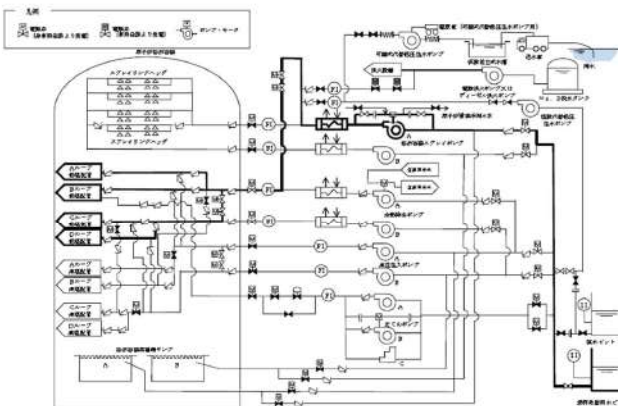
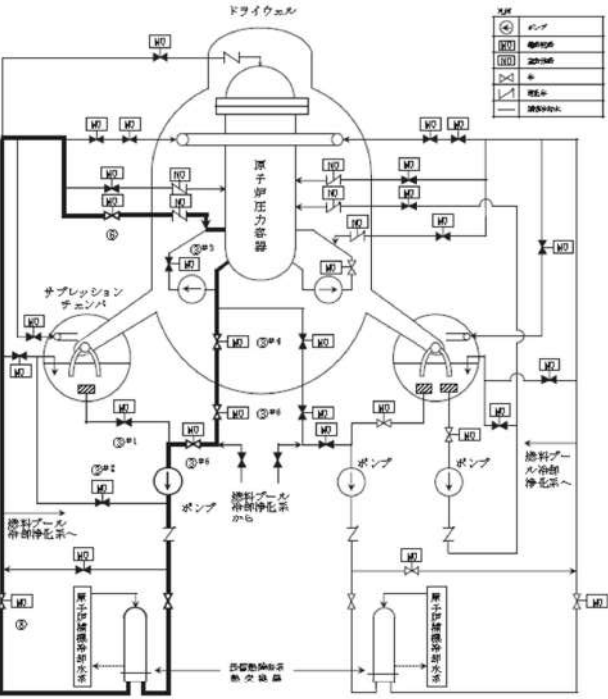
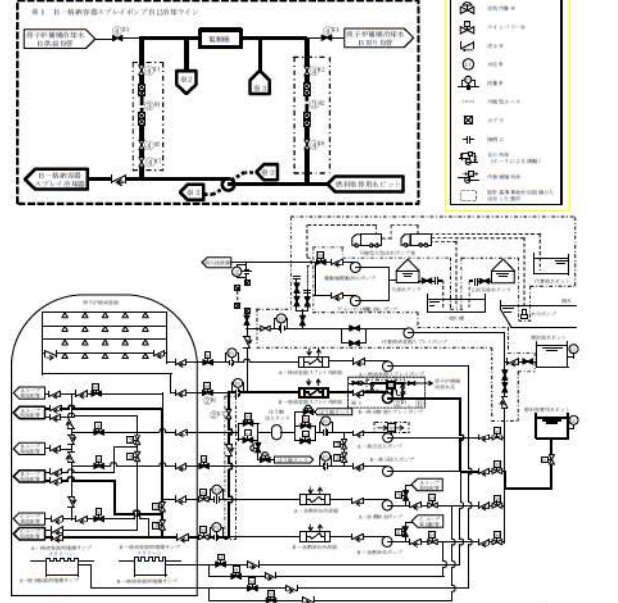
【大阪】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
 <p>図 1.4.24 図 A 格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHR及3-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 概略図</p>	 <table border="1" data-bbox="817 989 1265 1252"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>井名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>RHR ポンプ(A) S/C 吸込弁</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>RHR ポンプ(A) ミニマムフロー弁</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>RHR A系停止時冷却吸込弁</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>RHR A系停止時冷却注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>RHR 熱交換器(A) 出口弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1~：同一操作手順番号内に複数の操作又は論議を実施する弁があることを示す。</p> <p>第 1.4-37 図 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	井名称	①#1	RHR ポンプ(A) S/C 吸込弁	①#2	RHR ポンプ(A) ミニマムフロー弁	①#3	原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁	①#4	RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁	①#5	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁	①#6	RHR A系停止時冷却吸込弁	②	RHR A系停止時冷却注入隔離弁	③	RHR 熱交換器(A) 出口弁	 <table border="1" data-bbox="1433 965 1926 1189"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①#1</td> <td>RHR格納容器スプレイポンプ</td> <td>起動→停止</td> </tr> <tr> <td>①#2</td> <td>RHR格納容器スプレイポンプ吐出(CV)外部隔離弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#3</td> <td>RHR系熱除去系隔離出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SS対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#4</td> <td>可搬型コース</td> <td>ホース挿着</td> </tr> <tr> <td>①#5</td> <td>可搬型コース</td> <td>ホース挿着</td> </tr> <tr> <td>①#6</td> <td>RHR格納容器スプレイポンプ自給水入口弁 (SS対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#7</td> <td>RHR格納容器スプレイポンプ自給水出口弁 (SS対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#8</td> <td>RHR格納容器スプレイポンプ電動機駆動弁自給水入口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#9</td> <td>RHR格納容器スプレイポンプ電動機駆動弁自給水出口弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#10</td> <td>RHR格納容器スプレイポンプ自給水戻りライン止め弁 (SS対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#11</td> <td>RHR格納容器スプレイポンプ自給水戻りライン止め弁 (SS対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①#12</td> <td>RHR格納容器スプレイポンプ自給水戻りライン止め弁 (SS対策)</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>RHR格納容器スプレイポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1~：同一操作手順番号内に複数の操作又は論議を実施する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.24 図 B 格納容器スプレイポンプ（自己冷却）(RHR-CSS 連絡ライン使用)による原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①#1	RHR格納容器スプレイポンプ	起動→停止	①#2	RHR格納容器スプレイポンプ吐出(CV)外部隔離弁	全開→全閉	①#3	RHR系熱除去系隔離出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SS対策)	全開→全閉	①#4	可搬型コース	ホース挿着	①#5	可搬型コース	ホース挿着	①#6	RHR格納容器スプレイポンプ自給水入口弁 (SS対策)	全開→全閉	①#7	RHR格納容器スプレイポンプ自給水出口弁 (SS対策)	全開→全閉	①#8	RHR格納容器スプレイポンプ電動機駆動弁自給水入口弁	全開→全閉	①#9	RHR格納容器スプレイポンプ電動機駆動弁自給水出口弁	全開→全閉	①#10	RHR格納容器スプレイポンプ自給水戻りライン止め弁 (SS対策)	全開→全閉	①#11	RHR格納容器スプレイポンプ自給水戻りライン止め弁 (SS対策)	全開→全閉	①#12	RHR格納容器スプレイポンプ自給水戻りライン止め弁 (SS対策)	全開→全閉	②	RHR格納容器スプレイポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	井名称																																																														
①#1	RHR ポンプ(A) S/C 吸込弁																																																														
①#2	RHR ポンプ(A) ミニマムフロー弁																																																														
①#3	原子炉再循環ポンプ(A) 吐出弁																																																														
①#4	RHR A系停止時冷却吸込第一隔離弁																																																														
①#5	RHR A系停止時冷却吸込第二隔離弁																																																														
①#6	RHR A系停止時冷却吸込弁																																																														
②	RHR A系停止時冷却注入隔離弁																																																														
③	RHR 熱交換器(A) 出口弁																																																														
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																													
①#1	RHR格納容器スプレイポンプ	起動→停止																																																													
①#2	RHR格納容器スプレイポンプ吐出(CV)外部隔離弁	全開→全閉																																																													
①#3	RHR系熱除去系隔離出口格納容器スプレイ水注入ライン止め弁 (SS対策)	全開→全閉																																																													
①#4	可搬型コース	ホース挿着																																																													
①#5	可搬型コース	ホース挿着																																																													
①#6	RHR格納容器スプレイポンプ自給水入口弁 (SS対策)	全開→全閉																																																													
①#7	RHR格納容器スプレイポンプ自給水出口弁 (SS対策)	全開→全閉																																																													
①#8	RHR格納容器スプレイポンプ電動機駆動弁自給水入口弁	全開→全閉																																																													
①#9	RHR格納容器スプレイポンプ電動機駆動弁自給水出口弁	全開→全閉																																																													
①#10	RHR格納容器スプレイポンプ自給水戻りライン止め弁 (SS対策)	全開→全閉																																																													
①#11	RHR格納容器スプレイポンプ自給水戻りライン止め弁 (SS対策)	全開→全閉																																																													
①#12	RHR格納容器スプレイポンプ自給水戻りライン止め弁 (SS対策)	全開→全閉																																																													
②	RHR格納容器スプレイポンプ	停止→起動																																																													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉

第1.4.25図 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRSS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水 タイムチャート

※ 取替稼働時間には防振騒音取替時間を含む。

女川原子力発電所2号炉

第 1.4-38 図 残留熱除去系電源復旧後の発電用原子炉からの除熱 タイムチャート

※1：中央制御室での中央除熱系電源復旧時間
 ※2：機器の稼働時間及び稼働開始に余裕を見込んだ時間
 ※3：機器の稼働時間と余裕を見込んだ時間

泊発電所3号炉

第 1.4.25 図 B-格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRSS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水 タイムチャート

※1：機器の稼働時間及び稼働開始に余裕を見込んだ時間
 ※2：中央制御室から機器稼働場所までの移動時間及び機器の稼働時間と余裕を見込んだ時間
 ※3：機器の稼働時間と余裕を見込んだ時間

相違理由

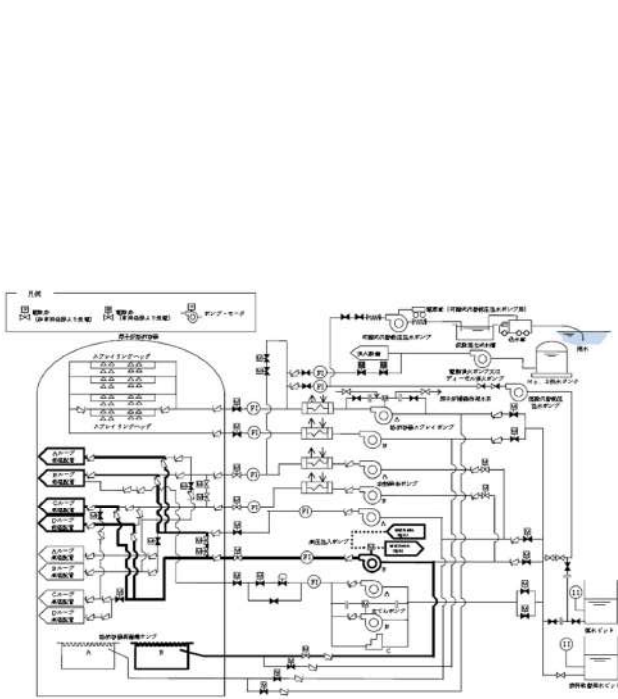
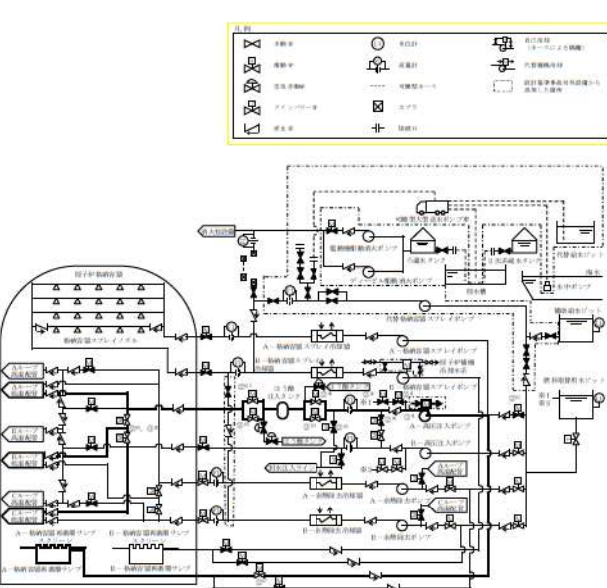
【大阪】
 記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ
 ・補足の充実
 ・備考欄の追加

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																										
 <p>図 1.4.26 図 B-高圧注入ポンプ（海水海部）による高圧代替再循環運転 概略系統</p>		 <p>第 1.4.26 図 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 概要図（1/2）</p> <table border="1" data-bbox="1411 1021 1971 1292"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①²⁾</td> <td>A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③²⁾</td> <td>A-高圧注入ポンプ燃料取替用ホット側入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④²⁾</td> <td>A-高圧注入ポンプ出口C/A外側連絡弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤²⁾</td> <td>A-高圧注入ポンプ圧水注入ライン止弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥²⁾</td> <td>B-高圧注入ポンプ出口C/A内側連絡弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦²⁾</td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/A外側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧²⁾</td> <td>ほう懸注入タンク入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨²⁾</td> <td>ほう懸注入タンク入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑩²⁾</td> <td>ほう懸注入タンク出口C/V外側隔離弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑪²⁾</td> <td>ほう懸注入タンク出口C/V外側隔離弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑫²⁾</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑬²⁾</td> <td>B-高圧注入ポンプ出口C/A内側連絡弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を要する機器があることを示す。</p> <p>第 1.4.26 図 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA-高圧注入ポンプによる高圧代替再循環運転 概要図（2/2）</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ²⁾	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全閉→全開	② ²⁾	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全閉→全開	③ ²⁾	A-高圧注入ポンプ燃料取替用ホット側入口弁	全閉→全開	④ ²⁾	A-高圧注入ポンプ出口C/A外側連絡弁	全閉→全開	⑤ ²⁾	A-高圧注入ポンプ圧水注入ライン止弁	全閉→全開	⑥ ²⁾	B-高圧注入ポンプ出口C/A内側連絡弁	全閉→全開	⑦ ²⁾	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/A外側隔離弁	全閉→全開	⑧ ²⁾	ほう懸注入タンク入口弁A	全閉→全開	⑨ ²⁾	ほう懸注入タンク入口弁B	全閉→全開	⑩ ²⁾	ほう懸注入タンク出口C/V外側隔離弁A	全閉→全開	⑪ ²⁾	ほう懸注入タンク出口C/V外側隔離弁B	全閉→全開	⑫ ²⁾	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	⑬ ²⁾	B-高圧注入ポンプ出口C/A内側連絡弁	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																											
① ²⁾	A-高圧注入ポンプ第1ミニフロー弁	全閉→全開																																											
② ²⁾	A-高圧注入ポンプ第2ミニフロー弁	全閉→全開																																											
③ ²⁾	A-高圧注入ポンプ燃料取替用ホット側入口弁	全閉→全開																																											
④ ²⁾	A-高圧注入ポンプ出口C/A外側連絡弁	全閉→全開																																											
⑤ ²⁾	A-高圧注入ポンプ圧水注入ライン止弁	全閉→全開																																											
⑥ ²⁾	B-高圧注入ポンプ出口C/A内側連絡弁	全閉→全開																																											
⑦ ²⁾	A-安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/A外側隔離弁	全閉→全開																																											
⑧ ²⁾	ほう懸注入タンク入口弁A	全閉→全開																																											
⑨ ²⁾	ほう懸注入タンク入口弁B	全閉→全開																																											
⑩ ²⁾	ほう懸注入タンク出口C/V外側隔離弁A	全閉→全開																																											
⑪ ²⁾	ほう懸注入タンク出口C/V外側隔離弁B	全閉→全開																																											
⑫ ²⁾	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																																											
⑬ ²⁾	B-高圧注入ポンプ出口C/A内側連絡弁	全閉→全開																																											

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>大阪発電所3/4号炉</p> <p>第1.4.27図 B高圧注入ポンプ（海水冷却）による高圧代替循環運転 タイムチャート</p> <p>※ 現場移動時間には当該設備専用用時間を含む。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>第1.4.27図 可搬型大型送水ポンプ車を用いたA－高圧注入ポンプによる高圧代替循環運転 タイムチャート</p> <p>※ 1. 運転中の操作時間及び操作手順に準拠して記載した時間</p>	<p>相違理由</p> <p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4図 A系熱源系ポンプ（空層用冷水）による低圧状態異常運転時 凝縮系統</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>大飯3/4号炉との比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】 設備の相違 （相違理由⑧）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

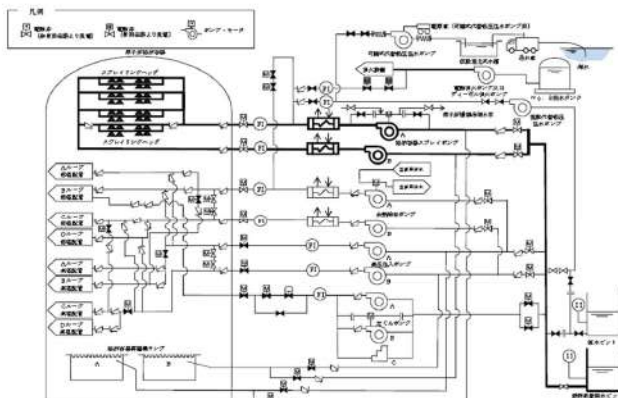
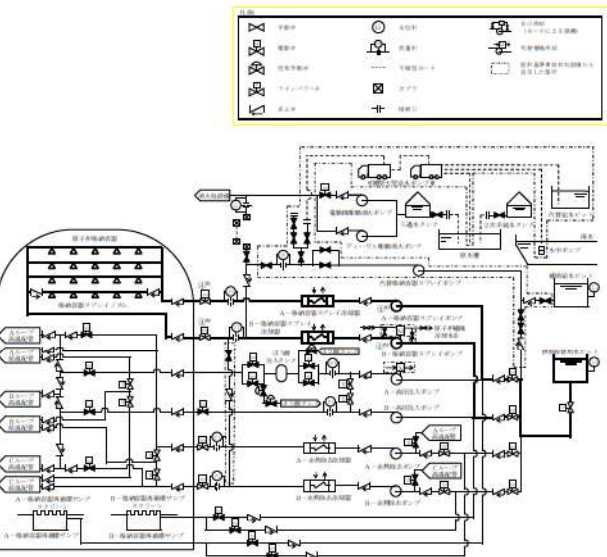
大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>※ 現場移動時間には防護器具着用時間を含む。</p> <p>第1.4.29図 格納容器隔離弁の閉止（1次冷却材ポンプ隔離弁等閉操作） タイムチャート</p>		<p>※1：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間と余裕を見込んだ時間 ※2：機器の操作時間及び動作時間に余裕を見込んだ時間</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・タイムチャートと操作手順番号を紐づけ ・補足の充実 ・備考欄の追加</p>

第1.4.28図 原子炉格納容器隔離弁の閉止
 （1次系冷却材ポンプ隔離弁等閉止操作） タイムチャート

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

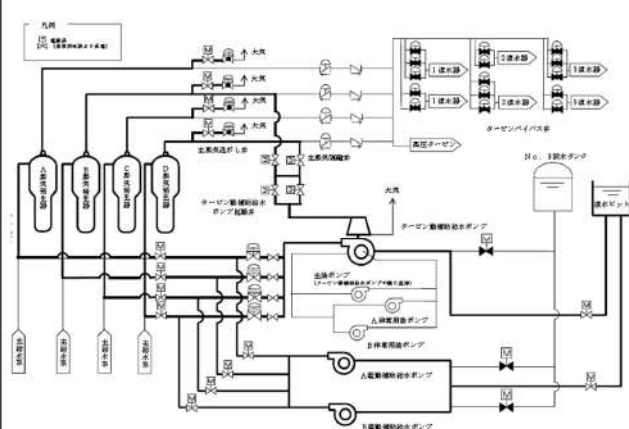
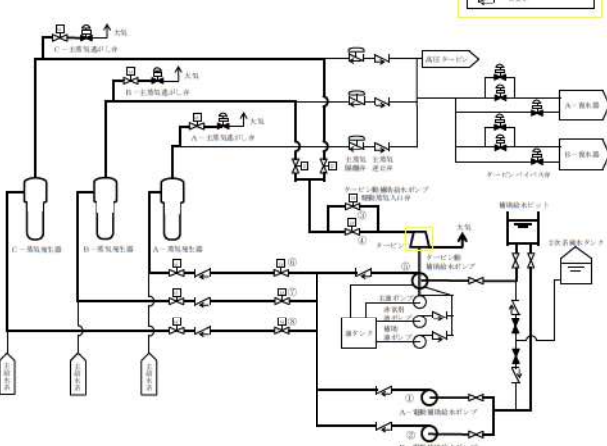
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																					
 <p>凡例 ① 噴霧器 ② 噴霧器の電源 ③ 噴霧器の電源配線 ④ 噴霧器の電源配線</p> <p>図 1.4.29 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の冷却 概略系統 (格納容器スプレイングによる格納容器スプレイ)</p>		 <table border="1" data-bbox="1444 1029 1937 1133"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>変更の要化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>①-1 格納容器スプレイング機能 (1-1) 及び (1-2)</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>②-1 格納容器スプレイング機能 (2-1) 及び (2-2)</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>③³⁾</td> <td>③-1 格納容器スプレイングポンプ</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>④⁴⁾</td> <td>④-1 格納容器スプレイングポンプ</td> <td>停止→作動</td> </tr> <tr> <td>⑤⁵⁾</td> <td>⑤-1 格納容器スプレイングポンプ出力配管の閉鎖</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥⁶⁾</td> <td>⑥-1 格納容器スプレイングポンプ出力配管の閉鎖</td> <td>全開→全閉</td> </tr> </tbody> </table> <p>①¹⁾：同一操作手順書内に複数の操作又は確認を実施する機軸があることを示す。</p> <p>第 1.4.29 図 溶融炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順 概略図 (格納容器スプレイングによる残存溶融炉心の冷却)</p>	操作手順	操作対象機器	変更の要化	① ¹⁾	①-1 格納容器スプレイング機能 (1-1) 及び (1-2)	停止→作動	② ²⁾	②-1 格納容器スプレイング機能 (2-1) 及び (2-2)	停止→作動	③ ³⁾	③-1 格納容器スプレイングポンプ	停止→作動	④ ⁴⁾	④-1 格納容器スプレイングポンプ	停止→作動	⑤ ⁵⁾	⑤-1 格納容器スプレイングポンプ出力配管の閉鎖	全閉→全開	⑥ ⁶⁾	⑥-1 格納容器スプレイングポンプ出力配管の閉鎖	全開→全閉	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映) ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	変更の要化																						
① ¹⁾	①-1 格納容器スプレイング機能 (1-1) 及び (1-2)	停止→作動																						
② ²⁾	②-1 格納容器スプレイング機能 (2-1) 及び (2-2)	停止→作動																						
③ ³⁾	③-1 格納容器スプレイングポンプ	停止→作動																						
④ ⁴⁾	④-1 格納容器スプレイングポンプ	停止→作動																						
⑤ ⁵⁾	⑤-1 格納容器スプレイングポンプ出力配管の閉鎖	全閉→全開																						
⑥ ⁶⁾	⑥-1 格納容器スプレイングポンプ出力配管の閉鎖	全開→全閉																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																											
 <p>図 1.4.30 補助給水ポンプ及び蒸気発生器2次側による炉心冷却 概略図</p>		 <p>図 1.4.31 電動補助給水ポンプ又はタービン動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1433 941 1904 1085"> <thead> <tr> <th>操作順序*</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-1電動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-1電動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>タービン動補助給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑥</td> <td>A-1電動補助給水ポンプ出口流量監視弁</td> <td>調整</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>B-1電動補助給水ポンプ出口流量監視弁</td> <td>調整</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>C-1電動補助給水ポンプ出口流量監視弁</td> <td>調整</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから操作順序を示す。</p>	操作順序*	操作対象機器	状態の変化	①	A-1電動補助給水ポンプ	停止→起動	②	B-1電動補助給水ポンプ	停止→起動	③	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A	全閉→全開	④	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B	全閉→全開	⑤	タービン動補助給水ポンプ	停止→起動	⑥	A-1電動補助給水ポンプ出口流量監視弁	調整	⑦	B-1電動補助給水ポンプ出口流量監視弁	調整	⑧	C-1電動補助給水ポンプ出口流量監視弁	調整	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作順序*	操作対象機器	状態の変化																												
①	A-1電動補助給水ポンプ	停止→起動																												
②	B-1電動補助給水ポンプ	停止→起動																												
③	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁A	全閉→全開																												
④	タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気入口弁B	全閉→全開																												
⑤	タービン動補助給水ポンプ	停止→起動																												
⑥	A-1電動補助給水ポンプ出口流量監視弁	調整																												
⑦	B-1電動補助給水ポンプ出口流量監視弁	調整																												
⑧	C-1電動補助給水ポンプ出口流量監視弁	調整																												

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由									
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1370 459 2011 1053"> </div> <div data-bbox="1429 1070 1917 1129"> <table border="1"> <thead> <tr> <th>操作順序*</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>電動主給水ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>蒸気発生器注入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p data-bbox="1429 1129 1951 1161">*本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから、操作順序を示す。</p>	操作順序*	操作対象機器	状態の変化	①	電動主給水ポンプ	停止→起動	②	蒸気発生器注入口弁	全閉→全開	<div data-bbox="2024 740 2145 815" style="border: 1px solid blue; padding: 2px; display: inline-block;">【大飯】 記載方針の相違 (相違理由⑤)</div>
操作順序*	操作対象機器	状態の変化										
①	電動主給水ポンプ	停止→起動										
②	蒸気発生器注入口弁	全閉→全開										

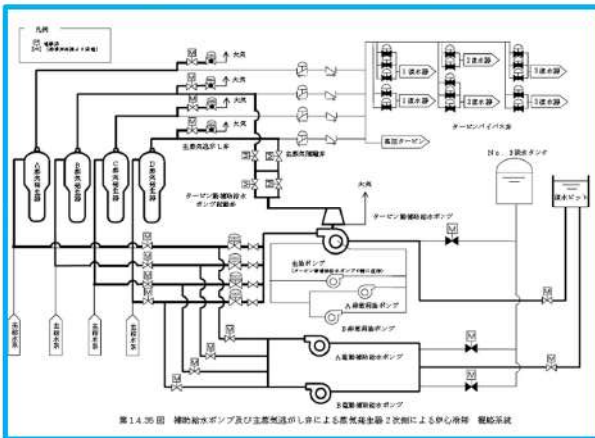
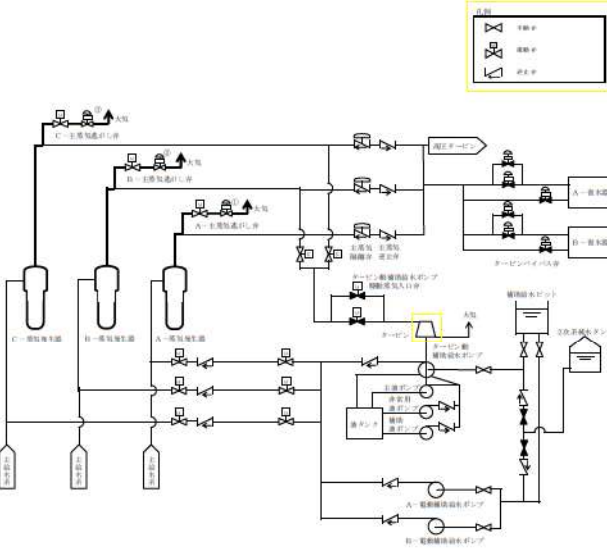
第1.4.32図 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水 概要図

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

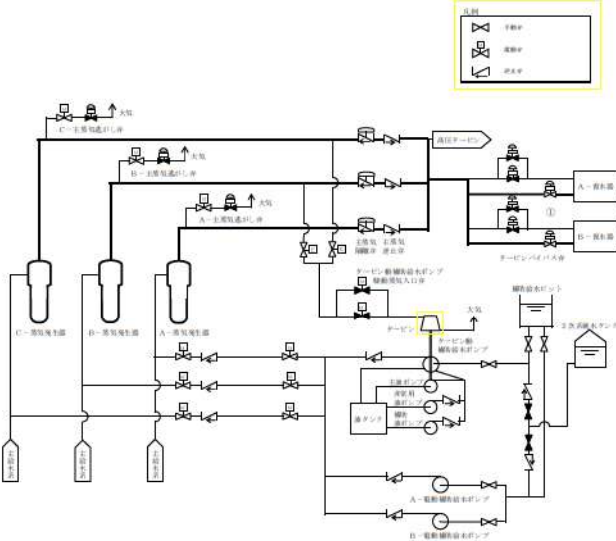
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由												
<p style="text-align: center;">【比較のため、第1.4.35図を再掲】</p>  <p style="text-align: center;">図1.4.35 補助給水ポンプ及び主蒸気逃がし弁による蒸気発生器2次側による炉心冷却 概略図</p>		 <p style="text-align: center;">図1.4.33 主蒸気逃がし弁による蒸気放出 概要図</p> <table border="1" data-bbox="1400 1021 1948 1101"> <thead> <tr> <th>操作順序*</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>H-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>C-主蒸気逃がし弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p>※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから操作順序を示す。</p>	操作順序*	操作対象機器	状態の変化	①	A-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	②	H-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	③	C-主蒸気逃がし弁	全閉→全開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ
操作順序*	操作対象機器	状態の変化													
①	A-主蒸気逃がし弁	全閉→全開													
②	H-主蒸気逃がし弁	全閉→全開													
③	C-主蒸気逃がし弁	全閉→全開													

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		 <table border="1" data-bbox="1429 1045 1953 1082"> <thead> <tr> <th>操作順序[※]</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>タービンバイパス弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="1429 1082 1953 1117">※本手順は「中央制御室からの遠隔操作が可能であり、通常の運転操作により対応する」手順であることから操作順序を示す。</p>	操作順序 [※]	操作対象機器	状態の変化	①	タービンバイパス弁	全閉→全開	<div data-bbox="2027 758 2150 837" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 【大飯】 記載方針の相違 (相違理由⑤) </div>
操作順序 [※]	操作対象機器	状態の変化							
①	タービンバイパス弁	全閉→全開							

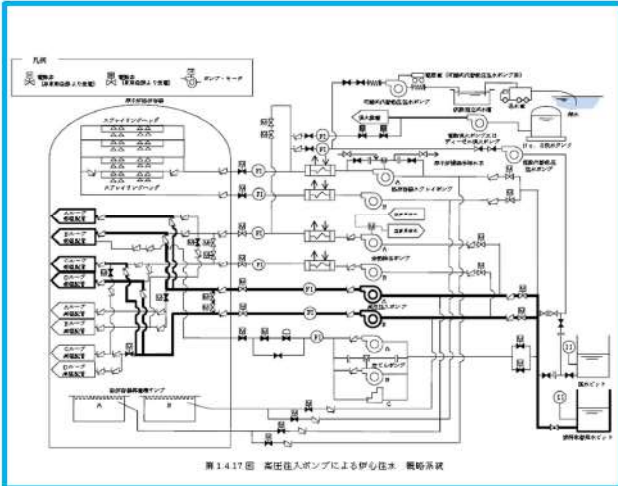
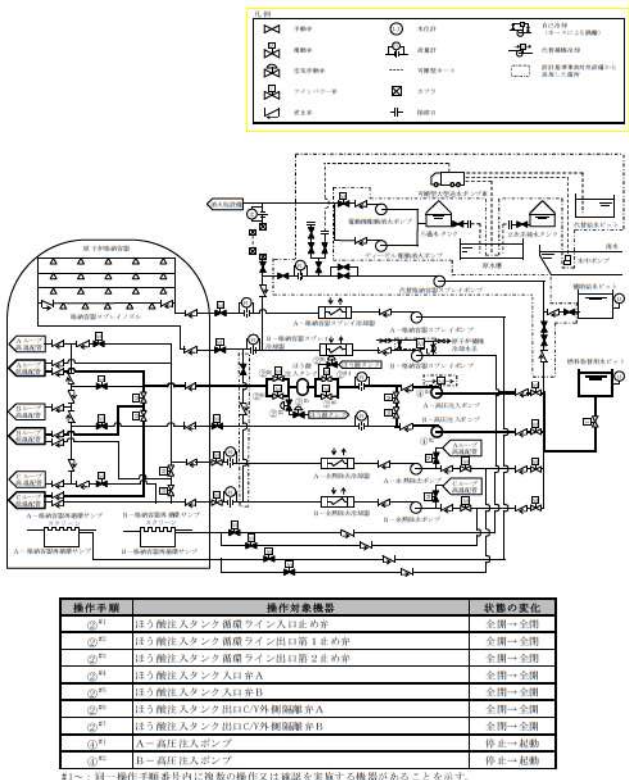
第1.4.34図 タービンバイパス弁による蒸気放出 概要図

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

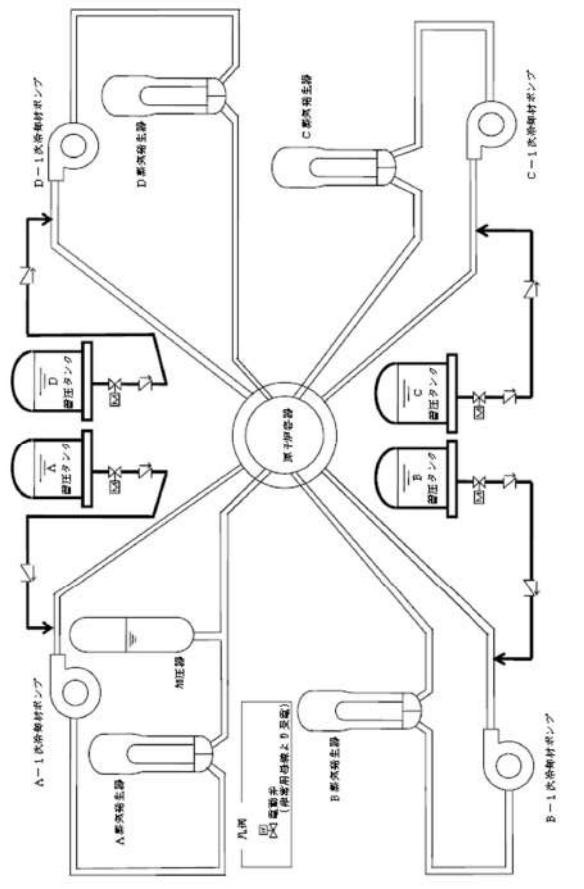
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
<p>【比較のため、第1.4.17図を再掲】</p>  <p>図 1.4.17 高圧注入ポンプによる炉心注水 概略系統</p>		 <table border="1" data-bbox="1433 1013 1937 1189"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②¹⁾</td> <td>ほう酸注入タンク蒸留ライン入口止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②²⁾</td> <td>ほう酸注入タンク蒸留ライン出口第1止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②³⁾</td> <td>ほう酸注入タンク蒸留ライン出口第2止め弁</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②⁴⁾</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁A</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②⁵⁾</td> <td>ほう酸注入タンク入口弁B</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②⁶⁾</td> <td>ほう酸注入タンク出口CV外側隔離弁A</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>②⁷⁾</td> <td>ほう酸注入タンク出口CV外側隔離弁B</td> <td>全開→全閉</td> </tr> <tr> <td>①¹⁾</td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>①²⁾</td> <td>B-高圧注入ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.35図 高圧注入ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ¹⁾	ほう酸注入タンク蒸留ライン入口止め弁	全開→全閉	② ²⁾	ほう酸注入タンク蒸留ライン出口第1止め弁	全開→全閉	② ³⁾	ほう酸注入タンク蒸留ライン出口第2止め弁	全開→全閉	② ⁴⁾	ほう酸注入タンク入口弁A	全開→全閉	② ⁵⁾	ほう酸注入タンク入口弁B	全開→全閉	② ⁶⁾	ほう酸注入タンク出口CV外側隔離弁A	全開→全閉	② ⁷⁾	ほう酸注入タンク出口CV外側隔離弁B	全開→全閉	① ¹⁾	A-高圧注入ポンプ	停止→起動	① ²⁾	B-高圧注入ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																															
② ¹⁾	ほう酸注入タンク蒸留ライン入口止め弁	全開→全閉																															
② ²⁾	ほう酸注入タンク蒸留ライン出口第1止め弁	全開→全閉																															
② ³⁾	ほう酸注入タンク蒸留ライン出口第2止め弁	全開→全閉																															
② ⁴⁾	ほう酸注入タンク入口弁A	全開→全閉																															
② ⁵⁾	ほう酸注入タンク入口弁B	全開→全閉																															
② ⁶⁾	ほう酸注入タンク出口CV外側隔離弁A	全開→全閉																															
② ⁷⁾	ほう酸注入タンク出口CV外側隔離弁B	全開→全閉																															
① ¹⁾	A-高圧注入ポンプ	停止→起動																															
① ²⁾	B-高圧注入ポンプ	停止→起動																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>第1.4.38図 蓄圧タンクによる炉心吐水 凝縮系概観</p>		<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">大飯3/4号炉との比較対象なし</p>	<p>【大飯】 設備の相違 (相違理由⑨)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
手順の項目	要員(数)			
	運転員等 (中央制御室)	1		
蓄圧タンクによる炉心注水	運転員等 (現場)	1		
	移動			
備考				

第1.4.89図 蓄圧タンクによる炉心注水 タイムチャート

※ 現場移動時間には防保護具着用時間を含む。

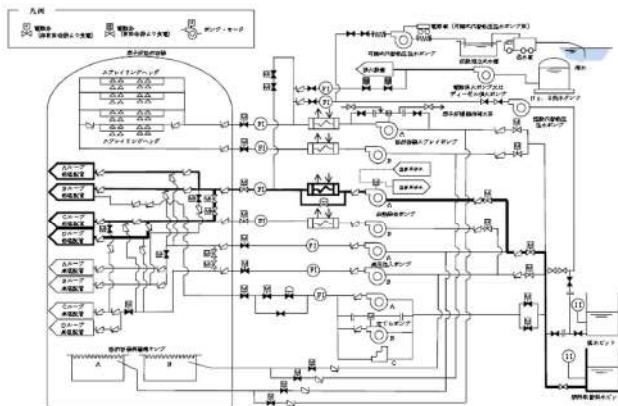
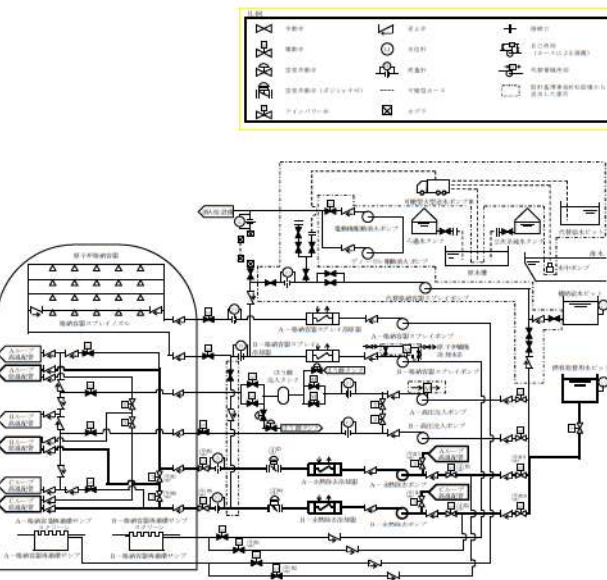
大飯3/4号炉との比較対象なし

【大飯】
設備の相違
(相違理由⑨)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																													
 <p>図 1.4.40 燃料取替用水ピットからの重力注水による代替炉心注水 概略系図</p>		 <p>図 1.4.36 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水 概要図 (1/2)</p> <table border="1" data-bbox="1422 997 1960 1276"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>②²¹</td> <td>A-余熱除去ポンプ再循環センブ側入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②²²</td> <td>B-余熱除去ポンプ再循環センブ側入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②²³</td> <td>A-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②²⁴</td> <td>B-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②²⁵</td> <td>余熱除去AラインICV外側隔離弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②²⁶</td> <td>余熱除去BラインICV外側隔離弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②²⁷</td> <td>A-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②²⁸</td> <td>B-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②²⁹</td> <td>A-余熱除去ポンプRVS側入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>②³⁰</td> <td>B-余熱除去ポンプRVS側入口弁</td> <td>全閉確認</td> </tr> <tr> <td>③³¹</td> <td>A-余熱除去ポンプRVS/再循環センブ側入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③³²</td> <td>B-余熱除去ポンプRVS/再循環センブ側入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④³³</td> <td>A-余熱除去冷却器出口流量調節弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> <tr> <td>④³⁴</td> <td>B-余熱除去冷却器出口流量調節弁</td> <td>全閉→調整開</td> </tr> </tbody> </table> <p>①～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>図 1.4.36 燃料取替用水ピットからの重力注水による原子炉容器への注水 概要図 (2/2)</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	② ²¹	A-余熱除去ポンプ再循環センブ側入口弁	全閉確認	② ²²	B-余熱除去ポンプ再循環センブ側入口弁	全閉確認	② ²³	A-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁	全閉確認	② ²⁴	B-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁	全閉確認	② ²⁵	余熱除去AラインICV外側隔離弁	全閉確認	② ²⁶	余熱除去BラインICV外側隔離弁	全閉確認	② ²⁷	A-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁	全閉確認	② ²⁸	B-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁	全閉確認	② ²⁹	A-余熱除去ポンプRVS側入口弁	全閉確認	② ³⁰	B-余熱除去ポンプRVS側入口弁	全閉確認	③ ³¹	A-余熱除去ポンプRVS/再循環センブ側入口弁	全閉→全開	③ ³²	B-余熱除去ポンプRVS/再循環センブ側入口弁	全閉→全開	④ ³³	A-余熱除去冷却器出口流量調節弁	全閉→調整開	④ ³⁴	B-余熱除去冷却器出口流量調節弁	全閉→調整開	<p>【大飯】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映） ・凡例の記載内容充実 ・概要図と操作内容を紐づけ</p>
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																														
② ²¹	A-余熱除去ポンプ再循環センブ側入口弁	全閉確認																																														
② ²²	B-余熱除去ポンプ再循環センブ側入口弁	全閉確認																																														
② ²³	A-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁	全閉確認																																														
② ²⁴	B-余熱除去ポンプ入口ICV内側隔離弁	全閉確認																																														
② ²⁵	余熱除去AラインICV外側隔離弁	全閉確認																																														
② ²⁶	余熱除去BラインICV外側隔離弁	全閉確認																																														
② ²⁷	A-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁	全閉確認																																														
② ²⁸	B-余熱除去冷却器出口ICV内側連絡弁	全閉確認																																														
② ²⁹	A-余熱除去ポンプRVS側入口弁	全閉確認																																														
② ³⁰	B-余熱除去ポンプRVS側入口弁	全閉確認																																														
③ ³¹	A-余熱除去ポンプRVS/再循環センブ側入口弁	全閉→全開																																														
③ ³²	B-余熱除去ポンプRVS/再循環センブ側入口弁	全閉→全開																																														
④ ³³	A-余熱除去冷却器出口流量調節弁	全閉→調整開																																														
④ ³⁴	B-余熱除去冷却器出口流量調節弁	全閉→調整開																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div style="text-align: center;"> </div> <p>※ 現場移動時間には防護職員着脱時間を含む。</p> <p>第1.4.42図 燃料取替用ピットからの重力注水による代替炉心注水 タイムチャート</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">大飯3/4号炉との比較対象なし</div>	<p>【大飯】 運用の相違 （相違理由⑤）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯3/4号炉は、空冷式非常用発電装置からの給電前に実施する手順であり、電動弁の現場手動操作により注水を実施する。 ・泊3号炉は、代替非常用発電機からの給電後に実施する手順であり、電動弁を中央制御室にて操作することから、フロントライン系機能喪失時の手順と同様。

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由													
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>非名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>RHR A系LPCI注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.4-39図 残留熱除去系（低圧注水モード）による原子炉圧力容器への注水 概要図</p>	操作手順	非名称	④	RHR A系LPCI注入隔離弁	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④^{#1}</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>④^{#2}</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">第1.4.37図 余熱除去ポンプによる原子炉容器への注水 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	④ ^{#1}	A-余熱除去ポンプ	停止→起動	④ ^{#2}	B-余熱除去ポンプ	停止→起動	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、重大事故等対処設備（設計基準拡張）の手順を整理している。</p>
操作手順	非名称															
④	RHR A系LPCI注入隔離弁															
操作手順	操作対象機器	状態の変化														
④ ^{#1}	A-余熱除去ポンプ	停止→起動														
④ ^{#2}	B-余熱除去ポンプ	停止→起動														

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

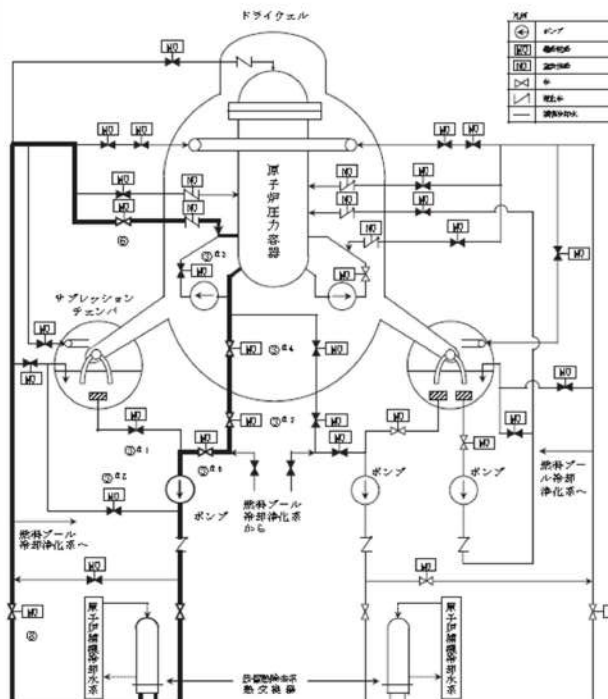
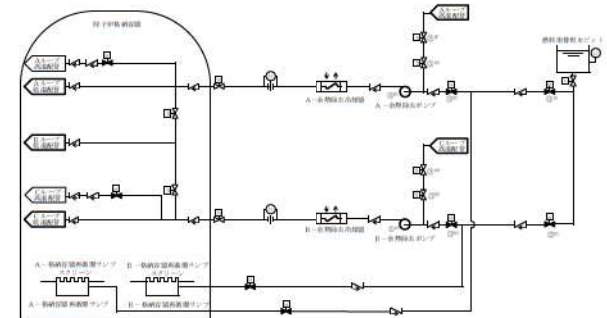
大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																			
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>	<div data-bbox="734 539 1361 917" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="853 943 1272 999" style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>④</td> <td>LPCS注入隔離弁</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">第1.4-40図 低圧炉心スプレイ系による原子炉压力容器への注水 概要図</p>	操作手順	弁名称	④	LPCS注入隔離弁	<div data-bbox="1406 480 1995 927" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1406 959 1933 1050" style="margin-top: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>A-余熱除去ポンプ再循環センプ側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>B-余熱除去ポンプ再循環センプ側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>A-余熱除去ポンプRSP側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>B-余熱除去ポンプRSP側入口弁</td> <td>全開→全開</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">※1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">第1.4.38図 余熱除去ポンプによる低圧再循環運転 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	①	A-余熱除去ポンプ再循環センプ側入口弁	全開→全開	②	B-余熱除去ポンプ再循環センプ側入口弁	全開→全開	③	A-余熱除去ポンプRSP側入口弁	全開→全開	④	B-余熱除去ポンプRSP側入口弁	全開→全開	<p style="margin-top: 10px;">【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、重大事故等対処設備（設計基準拡張）の手順を整理している。</p>
操作手順	弁名称																					
④	LPCS注入隔離弁																					
操作手順	操作対象機器	状態の変化																				
①	A-余熱除去ポンプ再循環センプ側入口弁	全開→全開																				
②	B-余熱除去ポンプ再循環センプ側入口弁	全開→全開																				
③	A-余熱除去ポンプRSP側入口弁	全開→全開																				
④	B-余熱除去ポンプRSP側入口弁	全開→全開																				

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																			
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">泊3号炉との比較対象なし</p>	 <table border="1" data-bbox="817 973 1276 1236"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>弁名称</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>残取ポンプ(A)S/C吸込弁</td> </tr> <tr> <td>②^{#2}</td> <td>残取ポンプ(A)ミニマムフロー弁</td> </tr> <tr> <td>③^{#3}</td> <td>原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁</td> </tr> <tr> <td>④^{#4}</td> <td>残取A系停止時冷却吸込第一隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#5}</td> <td>残取A系停止時冷却吸込第二隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#6}</td> <td>残取ポンプ(A)停止時冷却吸込弁</td> </tr> <tr> <td>⑦</td> <td>残取A系停止時冷却注入隔離弁</td> </tr> <tr> <td>⑧</td> <td>残取熱交換器(A)出口弁</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する弁があることを示す。</p> <p>第1.4-41図 残留熱除去系（原子炉停止時冷却モード）による発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	弁名称	① ^{#1}	残取ポンプ(A)S/C吸込弁	② ^{#2}	残取ポンプ(A)ミニマムフロー弁	③ ^{#3}	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁	④ ^{#4}	残取A系停止時冷却吸込第一隔離弁	⑤ ^{#5}	残取A系停止時冷却吸込第二隔離弁	⑥ ^{#6}	残取ポンプ(A)停止時冷却吸込弁	⑦	残取A系停止時冷却注入隔離弁	⑧	残取熱交換器(A)出口弁	 <table border="1" data-bbox="1400 893 1948 1101"> <thead> <tr> <th>操作手順</th> <th>操作対象機器</th> <th>状態の変化</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①^{#1}</td> <td>A-余熱除去ポンプRSPM入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>②^{#2}</td> <td>B-余熱除去ポンプRSPM入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>③^{#3}</td> <td>A-余熱除去ポンプRSPM再循環サンプ側入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>④^{#4}</td> <td>B-余熱除去ポンプRSPM再循環サンプ側入口弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑤^{#5}</td> <td>A-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑥^{#6}</td> <td>B-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑦^{#7}</td> <td>余熱除去Aライン入口止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑧^{#8}</td> <td>余熱除去Bライン入口止め弁</td> <td>全閉→全開</td> </tr> <tr> <td>⑨^{#9}</td> <td>A-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> <tr> <td>⑩^{#10}</td> <td>B-余熱除去ポンプ</td> <td>停止→起動</td> </tr> </tbody> </table> <p>#1～：同一操作手順番号内に複数の操作又は確認を実施する機器があることを示す。</p> <p>第1.4.39図 余熱除去ポンプによる発電用原子炉からの除熱 概要図</p>	操作手順	操作対象機器	状態の変化	① ^{#1}	A-余熱除去ポンプRSPM入口弁	全閉→全開	② ^{#2}	B-余熱除去ポンプRSPM入口弁	全閉→全開	③ ^{#3}	A-余熱除去ポンプRSPM再循環サンプ側入口弁	全閉→全開	④ ^{#4}	B-余熱除去ポンプRSPM再循環サンプ側入口弁	全閉→全開	⑤ ^{#5}	A-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁	全閉→全開	⑥ ^{#6}	B-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁	全閉→全開	⑦ ^{#7}	余熱除去Aライン入口止め弁	全閉→全開	⑧ ^{#8}	余熱除去Bライン入口止め弁	全閉→全開	⑨ ^{#9}	A-余熱除去ポンプ	停止→起動	⑩ ^{#10}	B-余熱除去ポンプ	停止→起動	<p>【大飯】 記載方針の相違（女川審査実績の反映） ・泊は、重大事故等対処設備（設計基準拡張）の手順を整理している。</p>
操作手順	弁名称																																																					
① ^{#1}	残取ポンプ(A)S/C吸込弁																																																					
② ^{#2}	残取ポンプ(A)ミニマムフロー弁																																																					
③ ^{#3}	原子炉再循環ポンプ(A)吐出弁																																																					
④ ^{#4}	残取A系停止時冷却吸込第一隔離弁																																																					
⑤ ^{#5}	残取A系停止時冷却吸込第二隔離弁																																																					
⑥ ^{#6}	残取ポンプ(A)停止時冷却吸込弁																																																					
⑦	残取A系停止時冷却注入隔離弁																																																					
⑧	残取熱交換器(A)出口弁																																																					
操作手順	操作対象機器	状態の変化																																																				
① ^{#1}	A-余熱除去ポンプRSPM入口弁	全閉→全開																																																				
② ^{#2}	B-余熱除去ポンプRSPM入口弁	全閉→全開																																																				
③ ^{#3}	A-余熱除去ポンプRSPM再循環サンプ側入口弁	全閉→全開																																																				
④ ^{#4}	B-余熱除去ポンプRSPM再循環サンプ側入口弁	全閉→全開																																																				
⑤ ^{#5}	A-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁	全閉→全開																																																				
⑥ ^{#6}	B-余熱除去ポンプ入口C/V内側隔離弁	全閉→全開																																																				
⑦ ^{#7}	余熱除去Aライン入口止め弁	全閉→全開																																																				
⑧ ^{#8}	余熱除去Bライン入口止め弁	全閉→全開																																																				
⑨ ^{#9}	A-余熱除去ポンプ	停止→起動																																																				
⑩ ^{#10}	B-余熱除去ポンプ	停止→起動																																																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

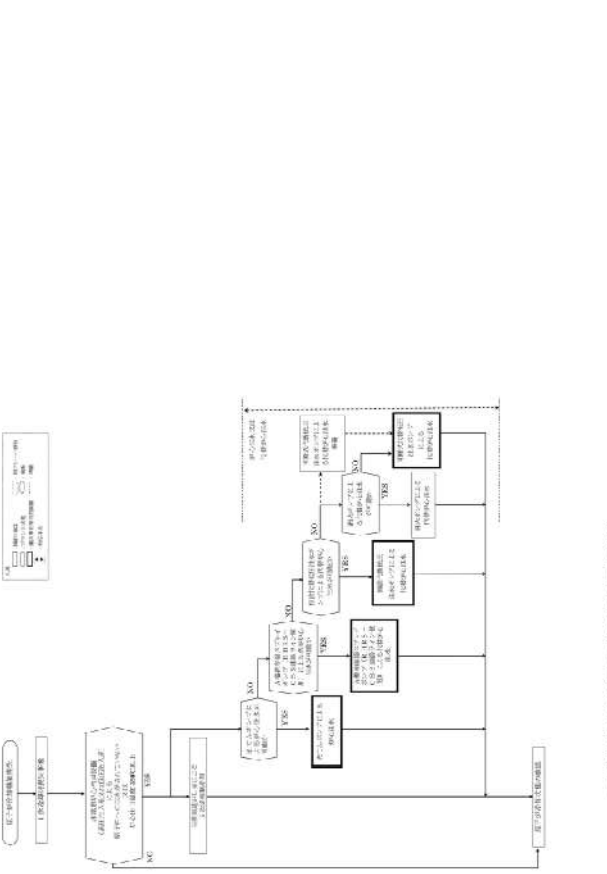
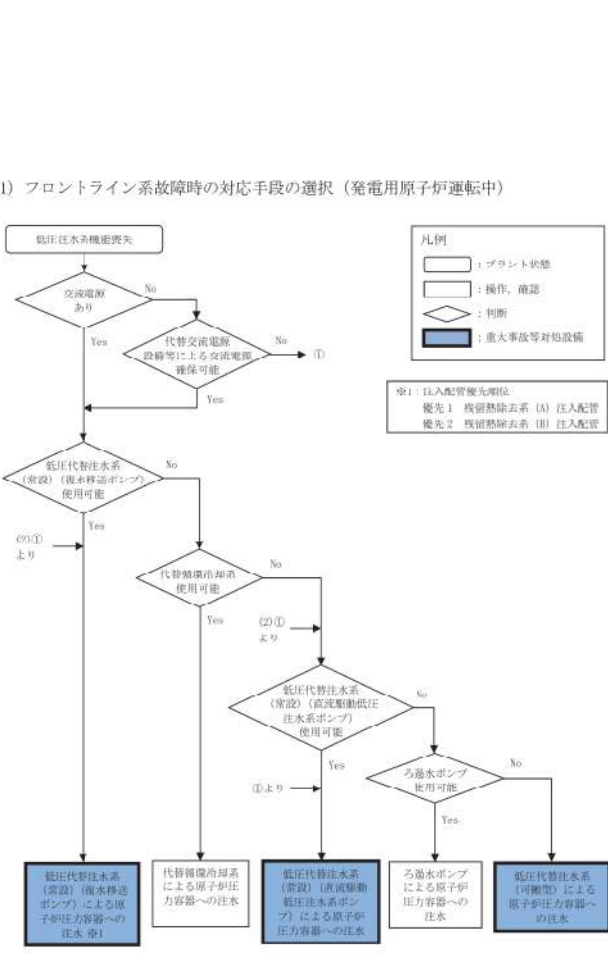
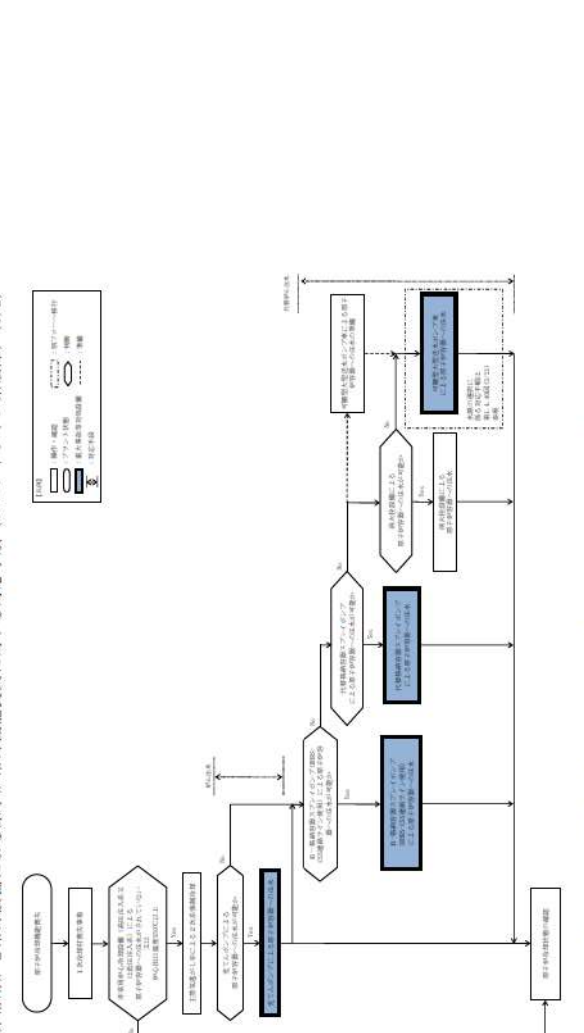
大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.18図 格納容器再循環システムライン閉塞の兆候が見られた場合の手順</p>		<p>(1) 格納容器再循環システムライン閉塞の兆候が見られた場合の手順</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
 <p>図1.4-42 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (1/4)</p>	<p>(1) フロントライン系故障時の対応手段の選択（発電用原子炉運転中）</p>  <p>図1.4-42 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (1/4)</p>	<p>(2) 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障）(1/2)</p>  <p>図1.4-40 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (2/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧カバウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1377 459 1406 1262" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">(2) 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障）(2/2)</div> <div data-bbox="1435 539 1951 1155" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1977 595 2007 1123" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (3/21)</div>	<div data-bbox="2027 724 2132 804" style="color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第 1.4.20 図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系機能喪失：再循環運転及び代替再循環運転)</p>	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>(3) 余熱除去設備の再循環運転による原子炉冷却機能喪失に対する対応手段 (フロントライン系故障)</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (4/21)</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第1.4.31図 非常用炉心冷却設備による原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失：代替循環運転）</p>	<p>（空欄）</p>	<p>(5) 非常用炉心冷却設備による炉心注水機能喪失に対する対応手順 (サポート系故障：代替循環運転)</p> <p>第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（7/21）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 （女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<div data-bbox="1377 542 1915 1157" style="text-align: center;"> <p>(6) 溶解炉心が原子炉容器内に残存する場合の対応手順 (2/2)</p> </div>	<div data-bbox="1982 590 2016 1117" style="text-align: center;"> 第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (9/21) </div> <div data-bbox="2027 782 2139 861" style="text-align: center; color: red;"> 【大飯】 設備の相違 (相違理由③) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第 1.4.36 図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失時の対応手順（フロントライン系機能喪失）</p>	<p>女川原子力発電所 2号炉</p>	<p>(7) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失の対応手順（フロントライン系故障）(1/2)</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (10/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<div data-bbox="1377 475 1951 539" style="text-align: center;"> (7) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失の 対応手順（フロントライン系故障）(2/2) </div> <div data-bbox="1377 544 2004 1077" style="text-align: center;"> </div> <div data-bbox="1400 1093 1937 1117" style="text-align: center;"> 第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (11/21) </div>	<div data-bbox="2027 726 2139 805" style="color: red;"> 【大阪】 設備の相違 (相違理由④) </div>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

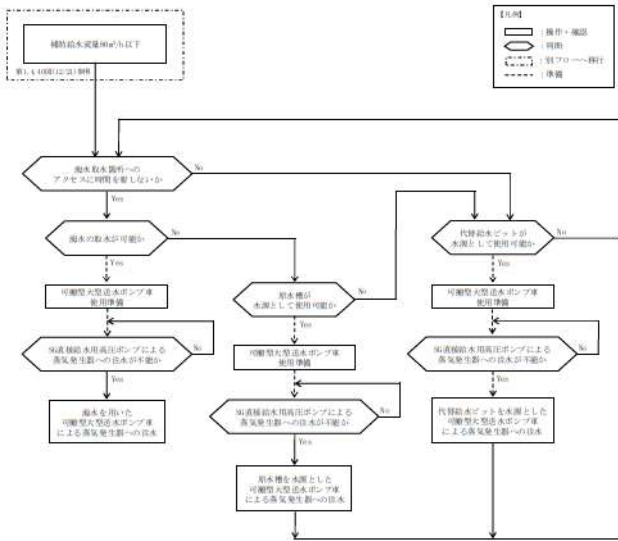
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第1.4.37図 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の原子炉冷却機能喪失時の対応手順（サポート系機能喪失）</p>		<p>(8) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の全交流動力電源喪失の対応手順（サポート系故障）(1/2)</p> <p>第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (12/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<p data-bbox="1377 435 1951 496">(8) 1次冷却材喪失事象が発生していない場合の全交流動力電源喪失の対応手順（サポート系故障）(2/2)</p>  <p data-bbox="2027 722 2130 802">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>	
第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (13/21)			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

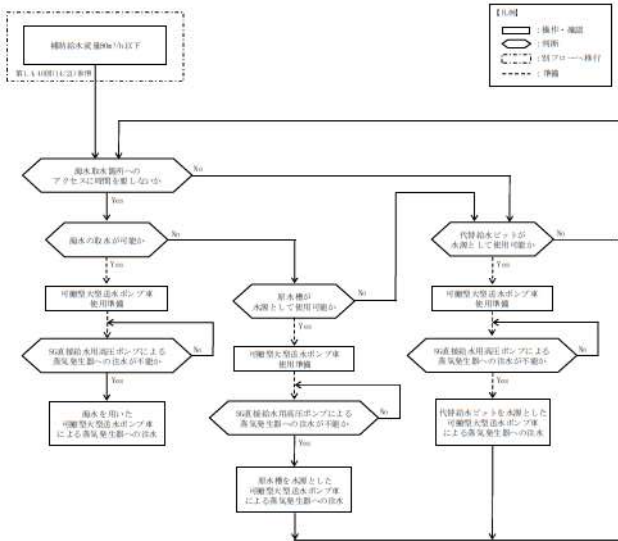
1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第 1.4.41 図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（1/2）</p>	<p>(4) フロントライン系故障時の対応手段の選択（発電用原子炉停止中）</p> <p>第 1.4-42 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（4/4）</p>	<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系故障）（1/4）</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート（14/21）</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違（女川審査実績の反映）</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系故障) (2/4)</p>  <p style="text-align: right; color: red;">【大飯】 設備の相違 (相違理由④)</p>	

第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (15/21)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第 1.4.41 図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順（フロントライン系機能喪失）（2/2）</p>		<p>(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系故障) (3/4)</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (16/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 770 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<p data-bbox="1377 395 1792 459">(9) 停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (フロントライン系故障) (4/4)</p> <div data-bbox="1377 510 2004 1045"> <p data-bbox="1377 510 1556 582" style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">代替冷却源としてフレキシブルによる原子炉冷却への注水が可能 注し可能(注)：無効</p> <p data-bbox="1870 518 2004 598"> 凡例 操作・確認 判断 実行フローへ移行 準備 </p> </div>	<p data-bbox="2027 782 2139 861">【大飯】 設備の相違 (相違理由③)</p>

第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (17/21)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>停止中の全交流動力電源喪失</p> <p>原子炉冷却機能喪失</p> <p>格納容器隔離弁閉止</p> <p>格納容器からの避難指示</p> <p>蒸気発生器による除熱は可能か</p> <p>タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>補助給水流量 125m³/h以上</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却</p> <p>主蒸気流がしきり（免損手動操作）による蒸気放出</p> <p>蒸気発生器による冷却は可能か</p> <p>余熱除去設備による冷却</p> <p>蒸気発生器2次側の炉心冷却停止</p> <p>低圧停止状態</p> <p>注：タービン補助給水ポンプによる注水に失敗及び代替非常用発電機により受電されれば、電動補助給水ポンプを起動する。</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p>	<p>(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順</p> <p>(サポート系故障) (1/4)</p> <p>停止中の全交流動力電源喪失</p> <p>原子炉冷却機能喪失</p> <p>格納容器隔離弁閉止</p> <p>格納容器からの避難指示</p> <p>蒸気発生器による除熱は可能か</p> <p>タービン補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水</p> <p>補助給水流量 125m³/h以上</p> <p>蒸気発生器2次側による炉心冷却</p> <p>主蒸気流がしきり（免損手動操作）による蒸気放出</p> <p>蒸気発生器による冷却は可能か</p> <p>余熱除去設備による冷却</p> <p>蒸気発生器2次側の炉心冷却停止</p> <p>低圧停止状態</p> <p>注：タービン補助給水ポンプによる注水に失敗及び代替非常用発電機により受電されれば、電動補助給水ポンプを起動する。</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による設備の相違</p>

第 1.4.43 図 運転停止中の原子炉冷却機能喪失に対する対応手順 (サポート系機能喪失) (1/2)

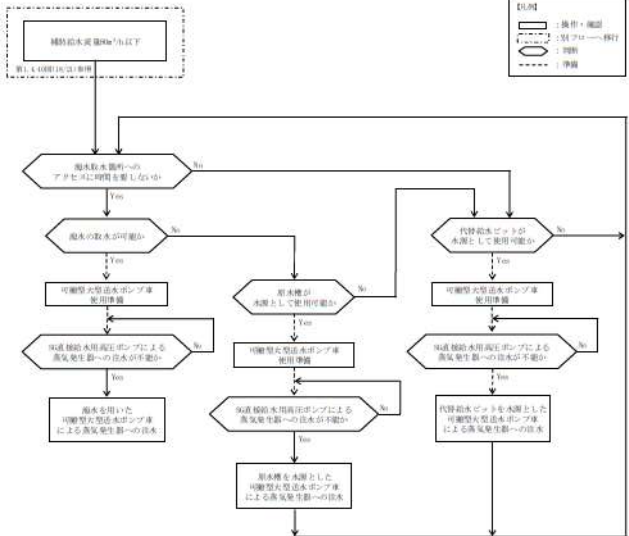
第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (18/21)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 810" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 泊3号炉との比較対象なし </div>		<p data-bbox="1377 395 1798 456">(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サポート系故障) (2/4)</p>  <p data-bbox="1429 1129 1975 1152">第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (19/21)</p>	<p data-bbox="2027 726 2139 805">【大阪】 設備の相違 (相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大阪発電所 3 / 4号炉	女川原子力発電所 2号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p>第 1.4.43 図 運転停止中の原子炉の冷却機能喪失に対する対応手順（サポート系機能喪失）（2/2）</p>		<p>(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サポート系故障) (3/4)</p> <p>第 1.4.40 図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (20/21)</p>	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川審査実績の反映)</p> <p>【女川】 炉型の相違による 設備の相違</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="203 767 613 815" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">泊3号炉との比較対象なし</div>		<p>(10) 停止中の全交流動力電源喪失に対する対応手順 (サボート系故障) (4/4)</p> <div data-bbox="1377 523 2004 1061"> </div> <p>第1.4.40図 重大事故等時の対応手段選択フローチャート (21/21)</p>	<div data-bbox="2027 751 2139 831" style="color: red;">【大阪】 設備の相違 (相違理由③)</div>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉				泊発電所3号炉				相違理由
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】								添付資料1.4.1
添付資料1.4.1								
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/8)				審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (1/13)				
技術的能力審査基準 (1.4)	番号	設置許可基準規則 (47条)	技術基準規則 (62条)	番号	設置許可基準規則 (四十七条)	技術基準規則 (六十二条)	番号	
<p>【本文】 発電用原子炉設置者において、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p>	①	<p>【本文】 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。</p>	<p>【本文】 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。</p>	④	<p>【本文】 発電用原子炉設置者において、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等が適切に整備されているか、又は整備される方針が適切に示されていること。</p>	<p>【本文】 発電用原子炉施設には、原子炉冷却材圧力バウンダリが低圧の状態であって、設計基準事故対処設備が有する発電用原子炉の冷却機能が喪失した場合においても炉心の著しい損傷及び原子炉格納容器の破損を防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備を設けなければならない。</p>	④	<p>【大阪】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大阪の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>
<p>【解釈】 1 「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。</p>	-	<p>【解釈】 1 第47条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	<p>【解釈】 1 第62条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	-	<p>【解釈】 1 「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な手順等」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための手順等をいう。</p>	<p>【解釈】 1 第62条に規定する「炉心の著しい損傷」を「防止するため、発電用原子炉を冷却するために必要な設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。</p>	-	
<p>(1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の冷却 a) 可搬型重大事故防止設備の運搬、接続及び操作に関する手順等を整備すること。</p>	②	<p>(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。</p>	<p>(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。</p>	⑤	<p>(1) 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時の冷却 a) 可搬型重大事故防止設備の運搬、接続及び操作に関する手順等を整備すること。</p>	<p>(1) 重大事故防止設備 a) 可搬型重大事故防止設備を配備すること。</p>	⑤	
<p>(2) 復旧 a) 設計基準事故対処設備に代替電源を接続することにより起動及び十分な期間の運転継続ができること。</p>	③	<p>b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。</p>	<p>b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。</p>	⑥	<p>(2) 復旧 a) 設計基準事故対処設備に代替電源を接続することにより起動及び十分な期間の運転継続ができること。</p>	<p>b) 炉心の著しい損傷に至るまでの時間的余裕のない場合に対応するため、常設重大事故防止設備を設置すること。</p>	⑥	
-	-	<p>c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。</p>	<p>c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。</p>	⑦	-	<p>c) 上記a)及びb)の重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備に対して、多様性及び独立性を有し、位置的分散を図ること。</p>	⑦	
-	-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	-	

※1：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/8)									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	常設可機	必要時に使用可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
原子炉の冷却 モードによる発電用 原子炉の冷却	残留熱除去系ポンプ	既設	①④	-	-	-	-	-	-
	サブプレッションチェンバ	既設							
	残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※2	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設							
	非常用取水設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	低圧炉心スプレイ系ポンプ	既設							
発電用原子炉の冷却 低圧炉心スプレイ系による	サブプレッションチェンバ	既設	①④	-	-	-	-	-	-
	低圧炉心スプレイ系配管・弁・ストレーナ・スパーージャ	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設							
	非常用取水設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	残留熱除去系ポンプ	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
原子炉からの除熱 残留熱除去系（原子炉停止時）による発電用	残留熱除去系熱交換器	既設	①④	-	-	-	-	-	-
	残留熱除去系配管・弁	既設							
	原子炉再循環系配管・弁・ジェットポンプ	既設							
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設							
	非常用取水設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	残留熱除去系ポンプ	既設							
	原子炉圧力容器	既設							

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (2/13)									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設新設	解釈対応番号	対応手段	機器名称	常設可機	必要時に使用可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
高圧注入ポンプによる発電用原子炉の冷却	高圧注入ポンプ	既設	①④	-	-	-	-	-	-
	ほうげん入タンク	既設							
	燃料取扱用水ピット	既設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設							
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設							
	原子炉補機冷却設備	既設							
	非常用取水設備	既設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉容器	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	余熱除去ポンプによる発電用原子炉の冷却	余熱除去ポンプ							
燃料取扱用水ピット		既設							
余熱除去冷却器		既設							
非常用炉心冷却設備 配管・弁		既設							
非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁		既設							
原子炉補機冷却設備		既設							
非常用取水設備		既設							
1次冷却設備		既設							
原子炉容器		既設							
非常用交流電源設備		既設							
非常用交流電源設備		既設							
非常用交流電源設備		既設							
高圧注入ポンプによる高圧再循環運転		高圧注入ポンプ	既設	①④	-	-	-	-	-
	ほうげん入タンク	既設							
	格納容器再循環サブ	既設							
	格納容器再循環サブスクリーン	既設							
	安全注入ポンプ再循環サブ側入口の再循環弁	既設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設							
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設							
	原子炉補機冷却設備	既設							
	非常用取水設備	既設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉容器	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	非常用交流電源設備	既設							

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違
 （女川実績の反映）
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準，基準規則と対処設備との対応表 (3/8)									
 : 重大事故等対処設備 : 重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策						
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可撤	必要時 期限内に 使用 可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
低圧代替注水系（常設） （復水移送ポンプ）による発電用原子炉の冷却	復水移送ポンプ	既設	① ④ ⑥ ⑦	—	—	—	—	—	—
	復水貯蔵タンク	既設							
	補給水系 配管・弁	既設 新設							
	残留熱除去系 配管・弁	既設							
	高圧炉心スプレー系 配管・弁	既設 新設							
	燃料プール補給水系 弁	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	非常用交流電源設備	既設							
	常設代替交流電源設備	新設							
	可搬型代替交流電源設備	新設							
	所内常設蓄電式直流電源設備	既設 新設							
	代替所内電気設備	新設							
低圧代替注水系（常設） （直流駆動低圧注水系ポンプ）による発電用原子炉の冷却	直流駆動低圧注水系ポンプ	新設	① ④ ⑥ ⑦	—	—	—	—	—	—
	復水貯蔵タンク	既設							
	補給水系 配管	既設							
	直流駆動低圧注水系 配管・弁	新設							
	高圧炉心スプレー系 配管・弁・スパージャ	既設							
	燃料プール補給水系 弁	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	常設代替直流電源設備	既設							
	所内常設蓄電式直流電源設備	既設 新設							
	常設代替交流電源設備	新設							
	可搬型代替交流電源設備	新設							

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉																	
審査基準，基準規則と対処設備との対応表 (3/13)																	
 : 重大事故等対処設備 : 重大事故等対処設備（設計基準拡張）																	
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策														
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可撤	必要時 期限内に 使用 可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考								
余熱除去ポンプによる低圧再循環運転	余熱除去ポンプ	既設	① ④	—	—	—	—	—	—								
	格納容器再循環サンプ	既設															
	格納容器再循環サンプスクリーン	既設															
	余熱除去ポンプ再循環サンプ吸入弁	既設															
	余熱除去冷却器	既設															
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設															
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設															
	原子炉種機冷却設備	既設															
	非常用取水設備	既設 新設															
	1次冷却設備	既設															
	原子炉容器	既設															
	非常用交流電源設備	既設 新設															
	発電用原子炉ポンプによる再循環	余熱除去ポンプ								既設	① ④	—	—	—	—	—	—
		余熱除去冷却器								既設							
		余熱除去設備 配管・弁								既設							
原子炉種機冷却設備		既設 新設															
非常用取水設備		既設 新設															
1次冷却設備		既設															
光てんポンプによる発電用原子炉の冷却	光てんポンプ	既設	① ④	—	—	—	—	—	—								
	燃料格納用水ベット	既設															
	再生熱交換器	既設															
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設															
	化学体積制御設備 配管・弁	既設															
	1次冷却設備	既設															
	原子炉容器	既設															
	原子炉種機冷却設備	既設															
	非常用取水設備	既設 新設															
	非常用交流電源設備	既設 新設															

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大阪】
 記載方針の相違
 （女川実績の反映）

- ・大阪の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉

【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/8)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可設	必要期限内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
鉄 注 代 替 電 用 原 子 炉 の 冷 却 に よ る	大容量送水ポンプ (タイプ1)	新設	① ② ④ ⑤ ⑦	-	代替蒸発冷却ポンプ	常設	15分	1名	自主対策と する理由は 本文参照
	淡水貯水槽 (No.1)※1	新設			サブプレッションチェン バ	常設			
	淡水貯水槽 (No.2)※1	新設			残留熱除去系熱交換器	常設			
	ホース延長回収車	新設			残留熱除去系 配管・弁 ・ストレナ	常設			
	ホース・注水用ヘッ ダ・接続口	新設			原子炉圧力容器	常設			
	補給水系 配管・弁	既設 新設			原子炉補機冷却海水 系(原子炉補機冷却海水 系を含む。)	常設			
	残留熱除去系 配管・弁	既設			非常用取水設備	可設			
	原子炉圧力容器	既設			原子炉補機代替冷却水 系	可設			
	非常用交流電源設備	既設			非常用交流電源設備	常設			
	常設代替交流電源設備	新設			常設代替交流電源設備	常設			
	可搬型代替交流電源設 備	新設			代替所内電気設備	常設			
	代替所内電気設備	新設			ろ過水ポンプ	常設			
	燃料補給設備	既設 新設			ろ過水タンク	常設			
-	-	-	-	-	ろ過水系 配管・弁	常設	20分	1名	自主対策と する理由は 本文参照
					補給水系 配管・弁	常設			
					残留熱除去系 配管・弁	常設			
					原子炉圧力容器	常設			
					非常用交流電源設備	常設			
常設代替交流電源設備	常設								

※1：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉

審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (4/13)

■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）

重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可設	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
代 替 電 用 原 子 炉 の 冷 却 に よ る	ロー格納容器スプレイポンプ	既設	① ④	-	代替格納容器スプレイポンプ	新設	-	-	-
	ロー格納容器スプレイポンプ	既設			燃料取扱用水ピット	既設			
	燃料取扱用水ピット	既設			非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			非常用炉心冷却設備 (紅注投入系) 配 管・弁	既設			
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			
	1次冷却設備	既設			1次冷却設備	既設			
	原子炉容器	既設			原子炉容器	既設			
	原子炉補機冷却設備	既設			原子炉補機冷却設備	既設			
	非常用取水設備	既設 新設			非常用取水設備 (補助給水設備) 配管・弁	既設 新設			
	非常用交流電源設備	既設 新設			非常用交流電源設備	既設 新設			
	可搬型代替交流電源設備	既設 新設			可搬型代替交流電源設備	既設 新設			
	代替所内電気設備	既設 新設			代替所内電気設備	既設 新設			
	-	-			-	-			
ディーゼル駆動消防ポンプ			常設						
ろ過水タンク			常設						
可搬型ホース			可設						
火災防護設備 (消火栓設備) 配管・弁			常設						
給水処理設備 配管・弁			常設						
非常用炉心冷却設備 (紅注投入系) 配 管・弁			常設						
原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁			常設						
1次冷却設備			常設						
原子炉容器			常設						
非常用電源設備			常設						

相違理由

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】

記載方針の相違

(女川実績の反映)

- ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
- ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (5/8)									
 : 重大事故等対処設備 : 重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策						
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可撤	必要期間内に使用 可能か*	対応可能な人数で 使用可能か*	備考
常設代替交流電源設備による 残留熱除去系（低圧注水モード）の復旧	残留熱除去系ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-
	サブプレッションチェンバ	既設							
	残留熱除去系 熱交換器・配管・弁・ストレーナ ※2	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設							
	非常用取水設備	既設							
	原子炉補機代替冷却水系	新設							
	常設代替交流電源設備	新設							
常設代替交流電源設備による 低圧炉心スプレイス系の復旧	低圧炉心スプレイス系ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-
	サブプレッションチェンバ	既設							
	低圧炉心スプレイス系配管・弁・ストレーナ・スパーチャ	既設							
	原子炉圧力容器	既設							
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設							
	非常用取水設備	既設							
	原子炉補機代替冷却水系	新設							
	常設代替交流電源設備	新設							

※1：「1.13 重大事故等の取束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (5/13)									
 : 重大事故等対処設備 : 重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策						
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可撤	必要期間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
海水を用いた可搬型大形送水ポンプ車による 発電用原子炉の冷却	可搬型大形送水ポンプ車	新設	① ② ④ ⑤ ⑦	-	-	-	-	-	-
	可搬型ホース・接続口	新設							
	ホース延長・回収車（送水車用）	新設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	新設							
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設							
	原子炉格納容器スプレイス設備 配管・弁	既設 新設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉容器	既設							
	非常用取水設備	既設 新設							
	燃料補給設備	既設 新設							
	可搬型大形送水ポンプ車による 代替給水ピット	可搬型大形送水ポンプ車							
可搬型ホース・接続口		可搬							
ホース延長・回収車（送水車用）		可搬							
代替給水ピット		常設							
非常用炉心冷却設備 配管・弁		常設							
非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁		常設							
原子炉格納容器スプレイス設備 配管・弁		常設							
1次冷却設備		常設							
原子炉容器		常設							
燃料補給設備		常設 可搬							

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違
 （女川実績の反映）
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準，基準規則と対処設備との対応表（6/8）									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策						
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
低圧代替注水系（残存溶解炉心（常設）の復水移送ポンプ）による	復水移送ポンプ	既設	① ④	低圧代替注水系（残存溶解炉心（復水移送ポンプ）による	復水移送ポンプ	常設	20分	1名	自主対策とする理由は本文参照
	復水貯蔵タンク	既設			復水貯蔵タンク	常設			
	補給水系 配管・弁	既設 新設			補給水系 配管・弁	常設			
	残留熱除去系 配管・弁	既設			残留熱除去系 配管・弁	常設			
	高圧炉心スプレイ系 配管・弁	既設 新設			残留熱除去系ヘッドスプレイ 配管・弁	常設			
	燃料プール補給水系 弁	既設			高圧炉心スプレイ系 配管・弁	常設			
	原子炉圧力容器	既設			燃料プール補給水系 弁	常設			
	常設代替交流電源設備	新設			原子炉圧力容器	常設			
	可搬型代替交流電源設備	新設			常設代替交流電源設備	常設			
	所内常設蓄電池式直流電源設備	既設 新設			可搬型代替交流電源設備	常設 可搬			
代替所内電気設備	新設	所内常設蓄電池式直流電源設備	常設						
—	—	—	—	代替所内電気設備	常設	—	—	—	—
低圧代替注水系（可搬型）による	大容量送水ポンプ（タイプ1）	新設	① ④	低圧代替注水系（可搬型）による	大容量送水ポンプ（タイプ1）	可搬	385分	10名	自主対策とする理由は本文参照
	淡水貯水槽（No.1）※1	新設			淡水貯水槽（No.1）※1	常設			
	淡水貯水槽（No.2）※1	新設			淡水貯水槽（No.2）※1	常設			
	ホース延長回収車	新設			ホース延長回収車	可搬			
	ホース・注水用ヘッダ・接続口	新設			ホース・注水用ヘッダ・接続口	可搬			
	補給水系 配管・弁	既設 新設			補給水系 配管・弁	常設			
	残留熱除去系 配管・弁	既設			残留熱除去系 配管・弁	常設			
	原子炉圧力容器	既設			残留熱除去系ヘッドスプレイ 配管・弁	常設			
	常設代替交流電源設備	新設			原子炉圧力容器	常設			
	可搬型代替交流電源設備	新設			常設代替交流電源設備	常設			
代替所内電気設備	新設	可搬型代替交流電源設備	常設 可搬						
燃料補給設備	既設 新設	代替所内電気設備	常設						
—	—	—	—	燃料補給設備	常設 可搬	—	—	—	—

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）

※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
審査基準，基準規則と対処設備との対応表（6/13）									
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）									
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策						
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応 手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に使用 可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
—	—	—	—	—	可搬型大流量送水ポンプ車	可搬	200分	9名	自主対策とする理由は本文参照
					可搬型ホース・接続口	可搬			
					ホース延長・回収車（送水専用）	可搬			
					原水槽	常設			
					2次系純水タンク	常設			
					ろ過水タンク	常設			
					非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設			
					非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設			
					原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設			
					給水処理設備 配管・弁	常設			
1次冷却設備	常設								
原子炉容器	常設								
燃料補給設備	常設 可搬								
（RRS）格納容器スプレイ設備使用による	—	—	① ④	—	B-格納容器スプレイポンプ	既設	—	—	—
					B-格納容器スプレイ冷却器	既設			
					B-安全注入ポンプ再循環タンク投入口C/F外側隔離弁	既設			
					格納容器再循環タンク	既設			
					格納容器再循環タンクスクリーン	既設			
					非常用炉心冷却設備 配管・弁	新設			
					非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設 新設			
					原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			
					1次冷却設備	既設			
					原子炉容器	既設			
原子炉補機冷却設備	既設								
非常用取水設備	既設 新設								
非常用交流電源設備	既設 新設								

【女川】
設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
記載方針の相違
(女川実績の反映)
・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉															
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】															
審査基準，基準規則と対処設備との対応表（7/8）															
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）															
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策											
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考						
代替循環冷却系による残存溶解炉心の冷却	代替循環冷却ポンプ	新設	①④	代替循環冷却系による残存溶解炉心の冷却	代替循環冷却ポンプ	常設	20分	1名	自主対策とする理由は本文参照						
	サブプレッションチェンバ	既設			サブプレッションチェンバ	常設									
	残留熱除去系熱交換器	既設			残留熱除去系熱交換器	常設									
	残留熱除去系 配管・弁・ストレート	既設 新設			残留熱除去系 配管・弁・ストレート	常設									
	原子炉圧力容器	既設			残留熱除去系ヘッドスプレイ 配管・弁	常設									
	原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	既設			原子炉圧力容器	常設									
	非常用取水設備	既設			原子炉補機冷却水系（原子炉補機冷却海水系を含む。）	常設									
	原子炉補機代替冷却水系	新設			非常用取水設備	常設									
	常設代替交流電源設備	新設			原子炉補機代替冷却水系	可搬									
	代替所内電気設備	新設			常設代替交流電源設備	常設									
—	—	—	—	代替所内電気設備	常設	—	—	—							
—	—	—	—	残ろ過水ポンプによる残ろ過水ポンプの冷却	ろ過水ポンプ	常設	20分	1名	自主対策とする理由は本文参照						
					ろ過水タンク	常設									
					ろ過水系 配管・弁	常設									
					補給水系 配管・弁	常設									
					残留熱除去系 配管・弁	常設									
					残留熱除去系ヘッドスプレイ 配管・弁	常設									
					原子炉圧力容器	常設									
					常設代替交流電源設備	常設									
					—	—				—	—	—	—	—	—
					—	—				—	—	—	—	—	—

※1：「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源（措置）
 ※2：残留熱除去系（低圧注水モード）は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉											
審査基準，基準規則と対処設備との対応表（7/13）											
■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）											
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策							
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考		
格納容器再循環システム（閉塞の兆候が見られた場合の手順）	売てんポンプ	既設	①④	格納容器再循環システム（閉塞の兆候が見られた場合の手順）	ほう酸ポンプ	常設	—	—	自主対策とする理由は本文参照		
	代替格納容器スプレイポンプ	既設			1次系補給水ポンプ	常設				1名	
	B-格納容器スプレイポンプ	既設			電動機駆動消防ポンプ	常設				40分	3名
	可搬型大型送水ポンプ車	新設			ディーゼル駆動消防ポンプ	常設				—	—
	可搬型ホース・接続口	新設			可搬型大型送水ポンプ車	可搬				—	—
	ホース延長・回収車（送水車用）	新設			可搬型ホース・接続口	可搬				—	—
	燃料取替用水ピット	既設			ホース延長・回収車（送水車用）	可搬				—	—
	補助給水ピット	既設			ほう酸タンク	常設				—	1名
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			1次系純水タンク	常設				—	—
	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	既設 新設			代替給水ピット	常設				145分	9名
	再生熱交換器	既設			原木槽	常設				200分	9名
	化学体積制御設備 配管・弁	既設			2次系純水タンク	常設					
	B-格納容器スプレイ冷却器	既設			ろ過水タンク	常設				—	—
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設			非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設				—	—
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設			非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設				—	—
	1次冷却設備	既設			原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設				—	—
	原子炉容器	既設			火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設				—	—
	非常用取水設備	既設 新設			給水処理設備 配管・弁	常設				—	—
	代替所内電気設備	既設 新設			1次冷却設備	常設				—	—
	燃料補給設備	既設 新設			原子炉容器	常設				—	—
	高圧注入ポンプ	既設			非常用交流電源設備	常設				—	—
	燃料取替用水ピット	既設			常用电源設備	常設				—	—
	ほう酸注入タンク	既設			燃料補給設備	常設 可搬				—	—
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設 新設			—	—				—	—
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設			—	—				—	—
1次冷却設備	既設	—	—	—	—						
原子炉容器	既設	—	—	—	—						
原子炉補機冷却設備	既設	—	—	—	—						
非常用取水設備	既設 新設	—	—	—	—						
非常用交流電源設備	既設 新設	—	—	—	—						

【女川】
 設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
 記載方針の相違
 （女川実績の反映）
 ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉									
【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.1を掲載】									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (8/8)									
		■ : 重大事故等対処設備		□ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)					
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可機	必要時間内に使用 可能か	対応可能な人数で 使用可能か	備考
-	-	-	-	原子炉冷却材浄化系による 発電用原子炉からの除熱	原子炉冷却材浄化系ポンプ	常設	35分	1名	自主対策とする理由は 本文参照
					原子炉压力容器	常設			
					原子炉冷却材浄化系 非再生熱交換器	常設			
					原子炉再循環系 配管	常設			
					原子炉冷却材浄化系 配管・弁	常設			
					復水給水系 配管・弁・スパージャ	常設			
					原子炉補機冷却水系 (原子炉補機冷却海水系を含む。)	常設			
					非常用取水設備	常設			
					非常用交流電源設備	常設			
					常設代替交流電源設備	常設			
常設代替交流電源設備による (原子炉停止時冷却モード)の復旧	残留熱除去系ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-
	原子炉压力容器	既設							
	残留熱除去系熱交換器	既設							
	残留熱除去系配管・弁	既設							
	原子炉再循環系配管・弁・ジェットポンプ	既設							
	原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)	既設							
	非常用取水設備	既設							
	原子炉補機代替冷却水系	新設							
常設代替交流電源設備	新設								

※1: 「1.13 重大事故等の収束に必要な水の供給手順等」【解釈】1b) 項を満足するための代替淡水源 (措置)

※2: 残留熱除去系 (低圧注水モード) は熱交換機能に期待しておらず、熱交換器は流路としてのみ用いる。

泊発電所3号炉									
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (8/13)									
		■ : 重大事故等対処設備		□ : 重大事故等対処設備 (設計基準拡張)					
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可機	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考
B1 充てん ポンプ による 冷却	B-充てんポンプ	既設	① ③ ④ ⑥ ⑦	-	-	-	-	-	-
	燃料取替用ホース	既設							
	再生熱交換器	既設							
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設							
	化学体積制御設備 配管・弁	既設							
	原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 配管・弁	既設							
	1次冷却設備	既設							
	原子炉容器	既設							
	常設代替交流電源設備	既設							
	B1 R H S S による 冷却	B-格納容器スプレイポンプ		常設	B1 R H S S による 冷却	-	B-格納容器スプレイポンプ	常設	50分
可搬型ホース		可機							
燃料取替用ホース		常設							
B-格納容器スプレイ冷却器		常設							
非常用炉心冷却設備 配管・弁		常設							
非常用炉心冷却設備 (低圧注水系) 配管・弁		常設							
原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁		常設							
原子炉補機冷却設備 (原子炉補機冷却水設備) 配管・弁		常設							
1次冷却設備		常設							
原子炉容器		常設							
常設代替交流電源設備	常設可機								

【女川】
設備の相違による対応手段の相違

【大飯】
記載方針の相違
(女川実績の反映)
・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。
・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																						
	<p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対応設備との対応表 (9/13)</p> <p style="text-align: center;">■：重大事故等対応設備 □：重大事故等対応設備（設計基準拡張）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="6" style="text-align: center;">自主対策</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">対応手段</th> <th style="text-align: center;">機器名称</th> <th style="text-align: center;">既設 新設</th> <th style="text-align: center;">解説 対応 番号</th> <th style="text-align: center;">対応手段</th> <th style="text-align: center;">機器名称</th> <th style="text-align: center;">既設 可 可</th> <th style="text-align: center;">必要時間内に 使用可能か</th> <th style="text-align: center;">対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th style="text-align: center;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td> ディーゼル駆動消火ポンプ 電動機駆動消火ポンプ ろ過水タンク 可搬型ホース 火災防護設備（消火栓設備）配管・弁 給水処理設備 配管・弁 非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 1次冷却設備 原子炉容器 常用電源設備 </td> <td style="text-align: center;"> 既設 既設 既設 可 既設 既設 既設 既設 既設 既設 既設 </td> <td style="text-align: center;"> 40分 3名 自主対策とする理由は本文参照 </td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車を用いた高圧代注再循環運転</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">① ③ ④</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> <tr> <td></td> <td>A-高圧注入ポンプ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器再循環サンプ</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器再循環サンプスクリーン</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>A-安全注入ポンプ再循環サンプ機入口C/D外側隔離弁</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ほう酸注入タンク</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却設備</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉容器</td> <td>既設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>可搬型ホース、接続口</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉着機冷却設備（原子炉着機冷却水設備）配管・弁</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>非常用取水設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>既設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>既設 新設</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策						対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	既設 可 可	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	-	-	-	-	-	ディーゼル駆動消火ポンプ 電動機駆動消火ポンプ ろ過水タンク 可搬型ホース 火災防護設備（消火栓設備）配管・弁 給水処理設備 配管・弁 非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 1次冷却設備 原子炉容器 常用電源設備	既設 既設 既設 可 既設 既設 既設 既設 既設 既設 既設	40分 3名 自主対策とする理由は本文参照	-	-	可搬型大型送水ポンプ車を用いた高圧代注再循環運転	-	-	-	① ③ ④	-	-	-	-	-		A-高圧注入ポンプ	既設									格納容器再循環サンプ	既設									格納容器再循環サンプスクリーン	既設									A-安全注入ポンプ再循環サンプ機入口C/D外側隔離弁	既設									ほう酸注入タンク	既設									非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設									非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設									1次冷却設備	既設									原子炉容器	既設									可搬型大型送水ポンプ車	新設									可搬型ホース、接続口	新設									ホース延長・回収車（送水車用）	新設									原子炉着機冷却設備（原子炉着機冷却水設備）配管・弁	既設 新設									非常用取水設備	既設 新設									既設代替交流電源設備	既設 新設									燃料補給設備	既設 新設								<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>
重大事故等対応設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段		自主対策																																																																																																																																																																																																						
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	対応手段	機器名称	既設 可 可	必要時間内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																																																																																																															
-	-	-	-	-	ディーゼル駆動消火ポンプ 電動機駆動消火ポンプ ろ過水タンク 可搬型ホース 火災防護設備（消火栓設備）配管・弁 給水処理設備 配管・弁 非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁 原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁 1次冷却設備 原子炉容器 常用電源設備	既設 既設 既設 可 既設 既設 既設 既設 既設 既設 既設	40分 3名 自主対策とする理由は本文参照	-	-																																																																																																																																																																																															
可搬型大型送水ポンプ車を用いた高圧代注再循環運転	-	-	-	① ③ ④	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																															
	A-高圧注入ポンプ	既設																																																																																																																																																																																																						
	格納容器再循環サンプ	既設																																																																																																																																																																																																						
	格納容器再循環サンプスクリーン	既設																																																																																																																																																																																																						
	A-安全注入ポンプ再循環サンプ機入口C/D外側隔離弁	既設																																																																																																																																																																																																						
	ほう酸注入タンク	既設																																																																																																																																																																																																						
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設																																																																																																																																																																																																						
	非常用炉心冷却設備（高圧注入系）配管・弁	既設																																																																																																																																																																																																						
	1次冷却設備	既設																																																																																																																																																																																																						
	原子炉容器	既設																																																																																																																																																																																																						
	可搬型大型送水ポンプ車	新設																																																																																																																																																																																																						
	可搬型ホース、接続口	新設																																																																																																																																																																																																						
	ホース延長・回収車（送水車用）	新設																																																																																																																																																																																																						
	原子炉着機冷却設備（原子炉着機冷却水設備）配管・弁	既設 新設																																																																																																																																																																																																						
	非常用取水設備	既設 新設																																																																																																																																																																																																						
	既設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																																																																																																																						
	燃料補給設備	既設 新設																																																																																																																																																																																																						

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																													
審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (10/13) ■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）																																																																																																															
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段	自主対策																																																																																																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解説 対応 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断層冷却</td> <td>格納容器スプレイポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="20" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">① ③ ④</td> </tr> <tr><td>代替格納容器スプレイポンプ</td> <td>新設</td> </tr> <tr><td>燃料取替用ホット</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>格納容器スプレイ冷却器</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td>スプレイノズル</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>スプレイリング</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>原子炉格納容器</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td>可搬型代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td>代替所内電気設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td>原子炉補機冷却設備</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>非常用取水設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断層冷却	格納容器スプレイポンプ	既設	① ③ ④	代替格納容器スプレイポンプ	新設	燃料取替用ホット	既設	補助給水ピット	既設	格納容器スプレイ冷却器	既設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設	スプレイノズル	既設	スプレイリング	既設	原子炉格納容器	既設	常設代替交流電源設備	既設 新設	可搬型代替交流電源設備	既設 新設	代替所内電気設備	既設 新設	原子炉補機冷却設備	既設	非常用取水設備	既設 新設	非常用交流電源設備	既設 新設	-	-	-	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可搬</th> <th>必要期限内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="20" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断層冷却</td> <td>電動機駆動消火ポンプ</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">35分</td> <td rowspan="2">3名</td> <td rowspan="20" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr><td>ディーゼル駆動消火ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可搬</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr><td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可搬</td> </tr> <tr><td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>可搬</td> </tr> <tr><td>代替給水ピット</td> <td>常設</td> <td>170分</td> <td>9名</td> </tr> <tr><td>原水槽</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">225分</td> <td rowspan="2">9名</td> </tr> <tr><td>2次系純水タンク</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>ろ過水タンク</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">-</td> <td rowspan="2">-</td> </tr> <tr><td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>火災防護設備（消火栓設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>給水処理設備 配管・弁</td> <td>常設</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr><td>スプレイノズル</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>スプレイリング</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>原子炉格納容器</td> <td>常設</td> <td rowspan="2">225分</td> <td rowspan="2">9名</td> </tr> <tr><td>非常用取水設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> <td rowspan="4">-</td> <td rowspan="4">-</td> </tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設 可搬</td> </tr> <tr><td>常用電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr><td>燃料補給設備</td> <td>常設 可搬</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断層冷却	電動機駆動消火ポンプ	常設	35分	3名	自主対策とする理由は本文参照	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	-	-	可搬型ホース・接続口	可搬	ホース延長・回収車（送水車用）	可搬	代替給水ピット	常設	170分	9名	原水槽	常設	225分	9名	2次系純水タンク	常設	ろ過水タンク	常設	-	-	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	常設	火災防護設備（消火栓設備）配管・弁	常設	給水処理設備 配管・弁	常設	-	-	スプレイノズル	常設	スプレイリング	常設	原子炉格納容器	常設	225分	9名	非常用取水設備	常設	非常用交流電源設備	常設	-	-	常設代替交流電源設備	常設 可搬	常用電源設備	常設	燃料補給設備	常設 可搬	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号																																																																																																												
格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断層冷却	格納容器スプレイポンプ	既設	① ③ ④																																																																																																												
	代替格納容器スプレイポンプ	新設																																																																																																													
	燃料取替用ホット	既設																																																																																																													
	補助給水ピット	既設																																																																																																													
	格納容器スプレイ冷却器	既設																																																																																																													
	非常用炉心冷却設備 配管・弁	既設																																																																																																													
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設 新設																																																																																																													
	原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁	既設 新設																																																																																																													
	スプレイノズル	既設																																																																																																													
	スプレイリング	既設																																																																																																													
	原子炉格納容器	既設																																																																																																													
	常設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																													
	可搬型代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																													
	代替所内電気設備	既設 新設																																																																																																													
	原子炉補機冷却設備	既設																																																																																																													
	非常用取水設備	既設 新設																																																																																																													
	非常用交流電源設備	既設 新設																																																																																																													
	-	-		-																																																																																																											
	対応手段	機器名称		常設 可搬	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																								
	格納容器スプレイ又は代替格納容器スプレイによる遮断層冷却	電動機駆動消火ポンプ		常設	35分	3名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																								
ディーゼル駆動消火ポンプ		常設																																																																																																													
可搬型大型送水ポンプ車		可搬	-	-																																																																																																											
可搬型ホース・接続口		可搬																																																																																																													
ホース延長・回収車（送水車用）		可搬																																																																																																													
代替給水ピット		常設	170分	9名																																																																																																											
原水槽		常設	225分	9名																																																																																																											
2次系純水タンク		常設																																																																																																													
ろ過水タンク		常設	-	-																																																																																																											
非常用炉心冷却設備 配管・弁		常設																																																																																																													
原子炉格納容器スプレイ設備 配管・弁		常設																																																																																																													
火災防護設備（消火栓設備）配管・弁		常設																																																																																																													
給水処理設備 配管・弁		常設	-	-																																																																																																											
スプレイノズル		常設																																																																																																													
スプレイリング		常設																																																																																																													
原子炉格納容器		常設	225分	9名																																																																																																											
非常用取水設備		常設																																																																																																													
非常用交流電源設備		常設	-	-																																																																																																											
常設代替交流電源設備		常設 可搬																																																																																																													
常用電源設備		常設																																																																																																													
燃料補給設備	常設 可搬																																																																																																														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>既設 新設</th> <th>解説 対応 番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">タービン駆動補助給水ポンプ又は蒸気発生器による蒸気発生補助給水ポンプへの注水</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">① ④</td> </tr> <tr><td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>蒸気発生器</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr><td>所内常設蓄電池直流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号	タービン駆動補助給水ポンプ又は蒸気発生器による蒸気発生補助給水ポンプへの注水	電動補助給水ポンプ	既設	① ④	タービン駆動補助給水ポンプ	既設	補助給水ピット	既設	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（給水設備）配管	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設	非常用交流電源設備	既設 新設	所内常設蓄電池直流電源設備	既設 新設	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設 可搬</th> <th>必要期限内に 使用可能か</th> <th>対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="8" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">タービン駆動補助給水ポンプ又は蒸気発生器による蒸気発生補助給水ポンプへの注水</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	対応手段	機器名称	常設 可搬	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	タービン駆動補助給水ポンプ又は蒸気発生器による蒸気発生補助給水ポンプへの注水	-	-	-	-	-																																																																										
対応手段	機器名称	既設 新設	解説 対応 番号																																																																																																												
タービン駆動補助給水ポンプ又は蒸気発生器による蒸気発生補助給水ポンプへの注水	電動補助給水ポンプ	既設	① ④																																																																																																												
	タービン駆動補助給水ポンプ	既設																																																																																																													
	補助給水ピット	既設																																																																																																													
	蒸気発生器	既設																																																																																																													
	2次冷却設備（給水設備）配管	既設																																																																																																													
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設																																																																																																													
	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設																																																																																																													
	非常用交流電源設備	既設 新設																																																																																																													
所内常設蓄電池直流電源設備	既設 新設																																																																																																														
対応手段	機器名称	常設 可搬	必要期限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																										
タービン駆動補助給水ポンプ又は蒸気発生器による蒸気発生補助給水ポンプへの注水	-	-	-	-	-																																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																												
	<p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表 (11/13)</p> <p style="text-align: center;">■：重大事故等対処設備 □：重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>設置要否</th> <th>解説 対応番号</th> <th>対応手段</th> <th>機器名称</th> <th>常設可能</th> <th>必要時間内に使用可能か</th> <th>対応可能な人数で使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="4">電機給水ポンプへの注による</td> <td>電動主給水ポンプ</td> <td>常設</td> <td>-</td> <td>1名</td> <td rowspan="4">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>脱気器タンク</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常用電源設備</td> <td>常設</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="8">S/G直結蒸気給水ポンプへの注による</td> <td>S/G直結給水用高圧ポンプ</td> <td>常設</td> <td rowspan="8">60分</td> <td rowspan="8">4名</td> <td rowspan="8">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>可搬型ホース</td> <td>可搬</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>補助給水ピット</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設可能</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="8">可搬型大型送水ポンプの注による</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可搬</td> <td rowspan="8">230分</td> <td rowspan="8">8名</td> <td rowspan="8">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可搬</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>可搬</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用取水設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設可能</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td rowspan="8">代替給水ピットを水車とした可搬型大型送水ポンプの注による</td> <td>可搬型大型送水ポンプ車</td> <td>可搬</td> <td rowspan="8">180分</td> <td rowspan="8">8名</td> <td rowspan="8">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>可搬型ホース・接続口</td> <td>可搬</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>ホース延長・回収車（送水車用）</td> <td>可搬</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>代替給水ピット</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>蒸気発生器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>燃料補給設備</td> <td>常設可能</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>常設可能</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策					対応手段	機器名称	設置要否	解説 対応番号	対応手段	機器名称	常設可能	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考	-	-	-	-	電機給水ポンプへの注による	電動主給水ポンプ	常設	-	1名	自主対策とする理由は本文参照					脱気器タンク	常設							蒸気発生器	常設							2次冷却設備（給水設備）配管・弁	常設								常用電源設備	常設				-	-	-	-	S/G直結蒸気給水ポンプへの注による	S/G直結給水用高圧ポンプ	常設	60分	4名	自主対策とする理由は本文参照					可搬型ホース	可搬					補助給水ピット	常設					蒸気発生器	常設					2次冷却設備（給水設備）配管	常設					2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設					非常用交流電源設備	常設					常設代替交流電源設備	常設可能	-	-	-	-	可搬型大型送水ポンプの注による	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	230分	8名	自主対策とする理由は本文参照					可搬型ホース・接続口	可搬					ホース延長・回収車（送水車用）	可搬					蒸気発生器	常設					2次冷却設備（給水設備）配管	常設					2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設					非常用取水設備	常設					非常用交流電源設備	常設					常設代替交流電源設備	常設可能	-	-	-	-	代替給水ピットを水車とした可搬型大型送水ポンプの注による	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	180分	8名	自主対策とする理由は本文参照					可搬型ホース・接続口	可搬					ホース延長・回収車（送水車用）	可搬					代替給水ピット	常設					蒸気発生器	常設					2次冷却設備（給水設備）配管	常設					2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設					非常用交流電源設備	常設					燃料補給設備	常設可能					常設代替交流電源設備	常設可能	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯の比較対象となる添付資料1.4.2は後段に掲載している。 泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段			自主対策																																																																																																																																																																																																																																											
対応手段	機器名称	設置要否	解説 対応番号	対応手段	機器名称	常設可能	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考																																																																																																																																																																																																																																					
-	-	-	-	電機給水ポンプへの注による	電動主給水ポンプ	常設	-	1名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																					
					脱気器タンク	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					蒸気発生器	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					2次冷却設備（給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					常用電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																								
-	-	-	-	S/G直結蒸気給水ポンプへの注による	S/G直結給水用高圧ポンプ	常設	60分	4名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																					
					可搬型ホース	可搬																																																																																																																																																																																																																																								
					補助給水ピット	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					蒸気発生器	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					2次冷却設備（給水設備）配管	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					常設代替交流電源設備	常設可能																																																																																																																																																																																																																																								
-	-	-	-	可搬型大型送水ポンプの注による	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	230分	8名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																					
					可搬型ホース・接続口	可搬																																																																																																																																																																																																																																								
					ホース延長・回収車（送水車用）	可搬																																																																																																																																																																																																																																								
					蒸気発生器	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					2次冷却設備（給水設備）配管	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					非常用取水設備	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																								
				常設代替交流電源設備	常設可能																																																																																																																																																																																																																																									
-	-	-	-	代替給水ピットを水車とした可搬型大型送水ポンプの注による	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	180分	8名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																																																																																																																																																					
					可搬型ホース・接続口	可搬																																																																																																																																																																																																																																								
					ホース延長・回収車（送水車用）	可搬																																																																																																																																																																																																																																								
					代替給水ピット	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					蒸気発生器	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					2次冷却設備（給水設備）配管	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	常設																																																																																																																																																																																																																																								
					非常用交流電源設備	常設																																																																																																																																																																																																																																								
				燃料補給設備	常設可能																																																																																																																																																																																																																																									
				常設代替交流電源設備	常設可能																																																																																																																																																																																																																																									

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																					
	<p style="text-align: center;">審査基準、基準規則と対処設備との対応表（12/13）</p> <p style="text-align: center;"> ：重大事故等対処設備 ：重大事故等対処設備（設計基準拡張） </p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">重大事故等対処設備を使用した平段 審査基準の要求に適合するための平段</th> <th colspan="4">自主対策</th> </tr> <tr> <th>対応平段</th> <th>機器名称</th> <th>取扱平段</th> <th>解釈対応番号</th> <th>機器名称</th> <th>取扱平段</th> <th>必要時間内に使用可能か</th> <th>対応可能な人数で使用可能か</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td> 可搬型大径送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 取水槽 2次系純水タンク 5次系純水タンク 5次系純水タンク 高気発生器 2次冷却設備（雨水設備）配管 2次冷却設備（補給水設備）配管・弁 給水処理設備 配管・弁 非常用交流電源設備 燃料補給設備 常設代替交流電源設備 </td> <td>-</td> <td>205分</td> <td>9名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td> 主蒸気逃がし弁 高気発生器 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 所内常設蓄電式直流電源設備 </td> <td>既設 既設 既設 既設新設</td> <td>① ④</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td> タービンバイパス弁 高気発生器 取水槽 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 常用電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備 </td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td> 高気発生器 可搬型大径送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 高気発生器 2次冷却設備（雨水設備）配管 2次冷却設備（補給水設備）配管・弁 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 非常用取水設備 所内常設蓄電式直流電源設備 燃料補給設備 </td> <td>-</td> <td>445分</td> <td>9名</td> <td>自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した平段 審査基準の要求に適合するための平段				自主対策				対応平段	機器名称	取扱平段	解釈対応番号	機器名称	取扱平段	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考	-	-	-	-	可搬型大径送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 取水槽 2次系純水タンク 5次系純水タンク 5次系純水タンク 高気発生器 2次冷却設備（雨水設備）配管 2次冷却設備（補給水設備）配管・弁 給水処理設備 配管・弁 非常用交流電源設備 燃料補給設備 常設代替交流電源設備	-	205分	9名	自主対策とする理由は本文参照	-	主蒸気逃がし弁 高気発生器 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 所内常設蓄電式直流電源設備	既設 既設 既設 既設新設	① ④	-	-	-	-	-	-	-	-	-	タービンバイパス弁 高気発生器 取水槽 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 常用電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	-	-	1名	自主対策とする理由は本文参照	-	-	-	-	高気発生器 可搬型大径送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 高気発生器 2次冷却設備（雨水設備）配管 2次冷却設備（補給水設備）配管・弁 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 非常用取水設備 所内常設蓄電式直流電源設備 燃料補給設備	-	445分	9名	自主対策とする理由は本文参照	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯の比較対象となる添付資料 1.4.2 は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。
重大事故等対処設備を使用した平段 審査基準の要求に適合するための平段				自主対策																																																			
対応平段	機器名称	取扱平段	解釈対応番号	機器名称	取扱平段	必要時間内に使用可能か	対応可能な人数で使用可能か	備考																																															
-	-	-	-	可搬型大径送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 取水槽 2次系純水タンク 5次系純水タンク 5次系純水タンク 高気発生器 2次冷却設備（雨水設備）配管 2次冷却設備（補給水設備）配管・弁 給水処理設備 配管・弁 非常用交流電源設備 燃料補給設備 常設代替交流電源設備	-	205分	9名	自主対策とする理由は本文参照																																															
-	主蒸気逃がし弁 高気発生器 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 所内常設蓄電式直流電源設備	既設 既設 既設 既設新設	① ④	-	-	-	-	-																																															
-	-	-	-	タービンバイパス弁 高気発生器 取水槽 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 常用電源設備 所内常設蓄電式直流電源設備	-	-	1名	自主対策とする理由は本文参照																																															
-	-	-	-	高気発生器 可搬型大径送水ポンプ車 可搬型ホース・接続口 ホース延長・回収車（送水車用） 高気発生器 2次冷却設備（雨水設備）配管 2次冷却設備（補給水設備）配管・弁 2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁 非常用取水設備 所内常設蓄電式直流電源設備 燃料補給設備	-	445分	9名	自主対策とする理由は本文参照																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

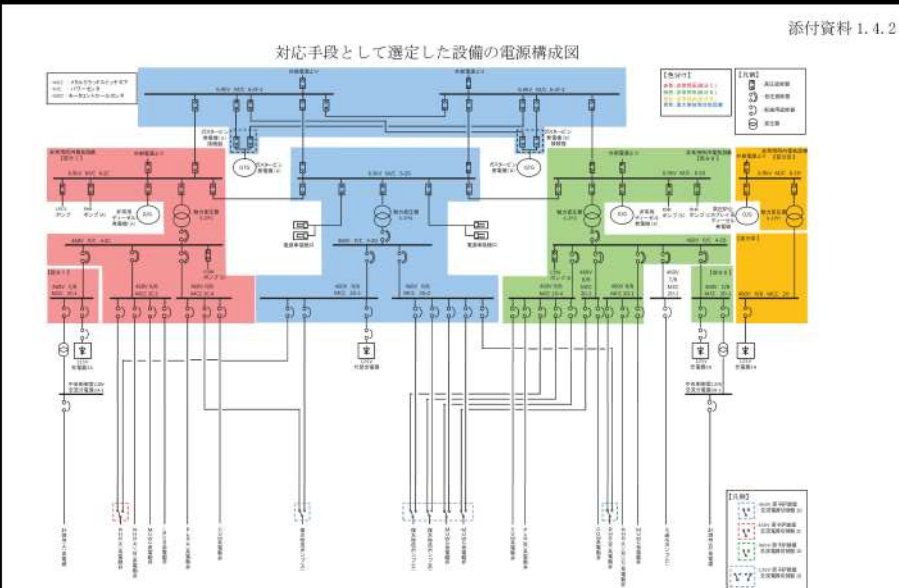
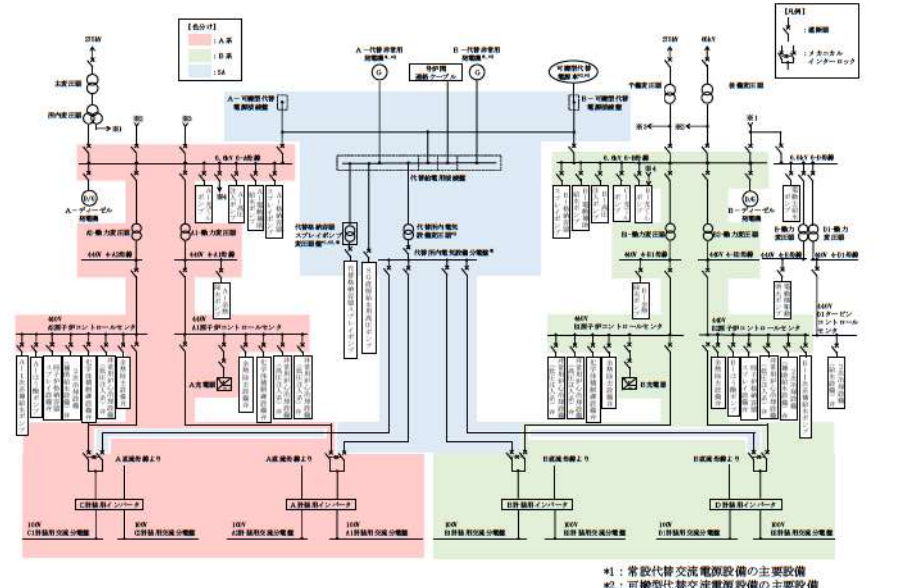
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由																																																																																																											
	<p style="text-align: center;">審査基準，基準規則と対処設備との対応表（13/13）</p> <p style="text-align: center;"> ：重大事故等対処設備 ：重大事故等対処設備（設計基準拡張） </p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4" style="text-align: center;">重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段</th> <th colspan="5" style="text-align: center;">自主対策</th> </tr> <tr> <th style="width: 5%;">対応手段</th> <th style="width: 25%;">機器名称</th> <th style="width: 5%;">既設 新設</th> <th style="width: 5%;">解釈 対応 番号</th> <th style="width: 5%;">対応手段</th> <th style="width: 20%;">機器名称</th> <th style="width: 5%;">常設 可兼</th> <th style="width: 5%;">必要時限内に 使用可能か</th> <th style="width: 5%;">対応可能な 人数で 使用可能か</th> <th style="width: 5%;">備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="9" style="vertical-align: middle;">電動補助給水ポンプ又は蒸気発生器への注水</td> <td>タービン駆動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="9" style="vertical-align: middle;">① ③ ④</td> <td rowspan="9" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="9" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="9" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="9" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="9" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="9" style="vertical-align: middle;">-</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電池式直流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">現場手動操作による蒸気放出</td> <td>主蒸気逃がし弁</td> <td>既設</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">① ④</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">-</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">電動補助給水ポンプによる注水</td> <td>電動補助給水ポンプ</td> <td>既設</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">① ④</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="6" style="vertical-align: middle;">-</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（給水設備）配管</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁</td> <td>既設</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr> <td>所内常設蓄電池式直流電源設備</td> <td>既設 新設</td> </tr> <tr> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td>燃料取替用水ピット</td> <td>常設</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">-</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">1名</td> <td rowspan="7" style="vertical-align: middle;">自主対策とする理由は本文参照</td> </tr> <tr> <td>取水電機ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>余熱除去ポンプ</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>余熱除去冷却器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備 配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>1次冷却設備</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器</td> <td>常設</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> <td>常設</td> </tr> </tbody> </table>	重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策					対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可兼	必要時限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考	電動補助給水ポンプ又は蒸気発生器への注水	タービン駆動補助給水ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-	補助給水ピット	既設	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（給水設備）配管	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設	電動補助給水ポンプ	既設	常設代替交流電源設備	既設 新設	所内常設蓄電池式直流電源設備	既設 新設	現場手動操作による蒸気放出	主蒸気逃がし弁	既設	① ④	-	-	-	-	-	-	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設	電動補助給水ポンプによる注水	電動補助給水ポンプ	既設	① ④	-	-	-	-	-	-	補助給水ピット	既設	蒸気発生器	既設	2次冷却設備（給水設備）配管	既設	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設	常設代替交流電源設備	既設 新設	所内常設蓄電池式直流電源設備	既設 新設	-	-	-	-	-	燃料取替用水ピット	常設	-	1名	自主対策とする理由は本文参照	取水電機ポンプ	常設	余熱除去ポンプ	常設	余熱除去冷却器	常設	非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設	非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設	1次冷却設備	常設	原子炉容器	常設	非常用交流電源設備	常設	<p>【女川】 設備の相違による対応手段の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・大飯の比較対象となる添付資料 1.4.2 は後段に掲載している。 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。</p>
重大事故等対処設備を使用した手段 審査基準の要求に適合するための手段				自主対策																																																																																																									
対応手段	機器名称	既設 新設	解釈 対応 番号	対応手段	機器名称	常設 可兼	必要時限内に 使用可能か	対応可能な 人数で 使用可能か	備考																																																																																																				
電動補助給水ポンプ又は蒸気発生器への注水	タービン駆動補助給水ポンプ	既設	① ③ ④	-	-	-	-	-	-																																																																																																				
	補助給水ピット	既設																																																																																																											
	蒸気発生器	既設																																																																																																											
	2次冷却設備（給水設備）配管	既設																																																																																																											
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設																																																																																																											
	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設																																																																																																											
	電動補助給水ポンプ	既設																																																																																																											
	常設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																											
	所内常設蓄電池式直流電源設備	既設 新設																																																																																																											
現場手動操作による蒸気放出	主蒸気逃がし弁	既設	① ④	-	-	-	-	-	-																																																																																																				
	蒸気発生器	既設																																																																																																											
	2次冷却設備（主蒸気設備）配管・弁	既設																																																																																																											
電動補助給水ポンプによる注水	電動補助給水ポンプ	既設	① ④	-	-	-	-	-	-																																																																																																				
	補助給水ピット	既設																																																																																																											
	蒸気発生器	既設																																																																																																											
	2次冷却設備（給水設備）配管	既設																																																																																																											
	2次冷却設備（補助給水設備）配管・弁	既設																																																																																																											
	常設代替交流電源設備	既設 新設																																																																																																											
所内常設蓄電池式直流電源設備	既設 新設																																																																																																												
-	-	-	-	-	燃料取替用水ピット	常設	-	1名	自主対策とする理由は本文参照																																																																																																				
					取水電機ポンプ	常設																																																																																																							
					余熱除去ポンプ	常設																																																																																																							
					余熱除去冷却器	常設																																																																																																							
					非常用炉心冷却設備 配管・弁	常設																																																																																																							
					非常用炉心冷却設備（低圧注入系）配管・弁	常設																																																																																																							
					1次冷却設備	常設																																																																																																							
原子炉容器	常設																																																																																																												
非常用交流電源設備	常設																																																																																																												

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

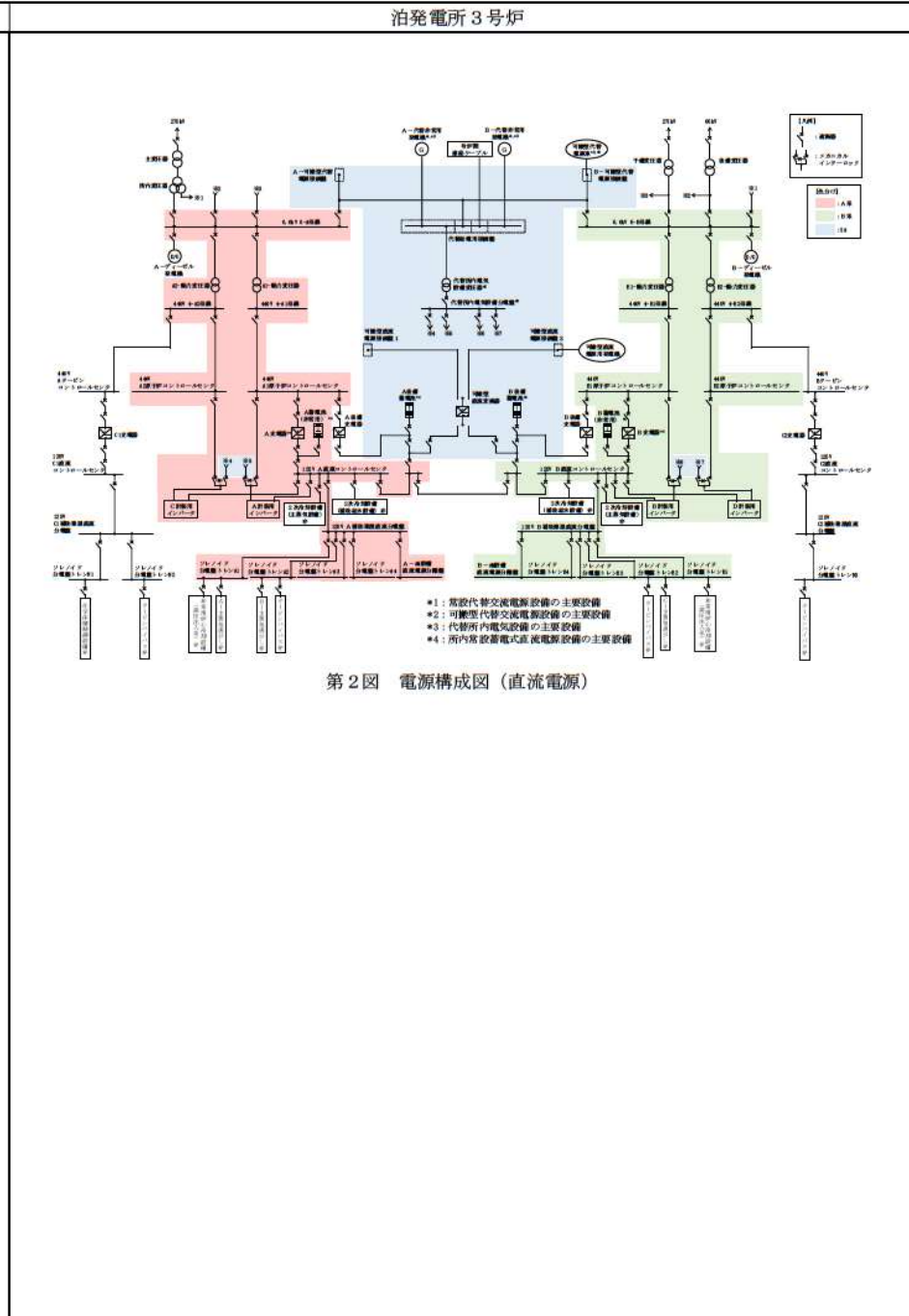
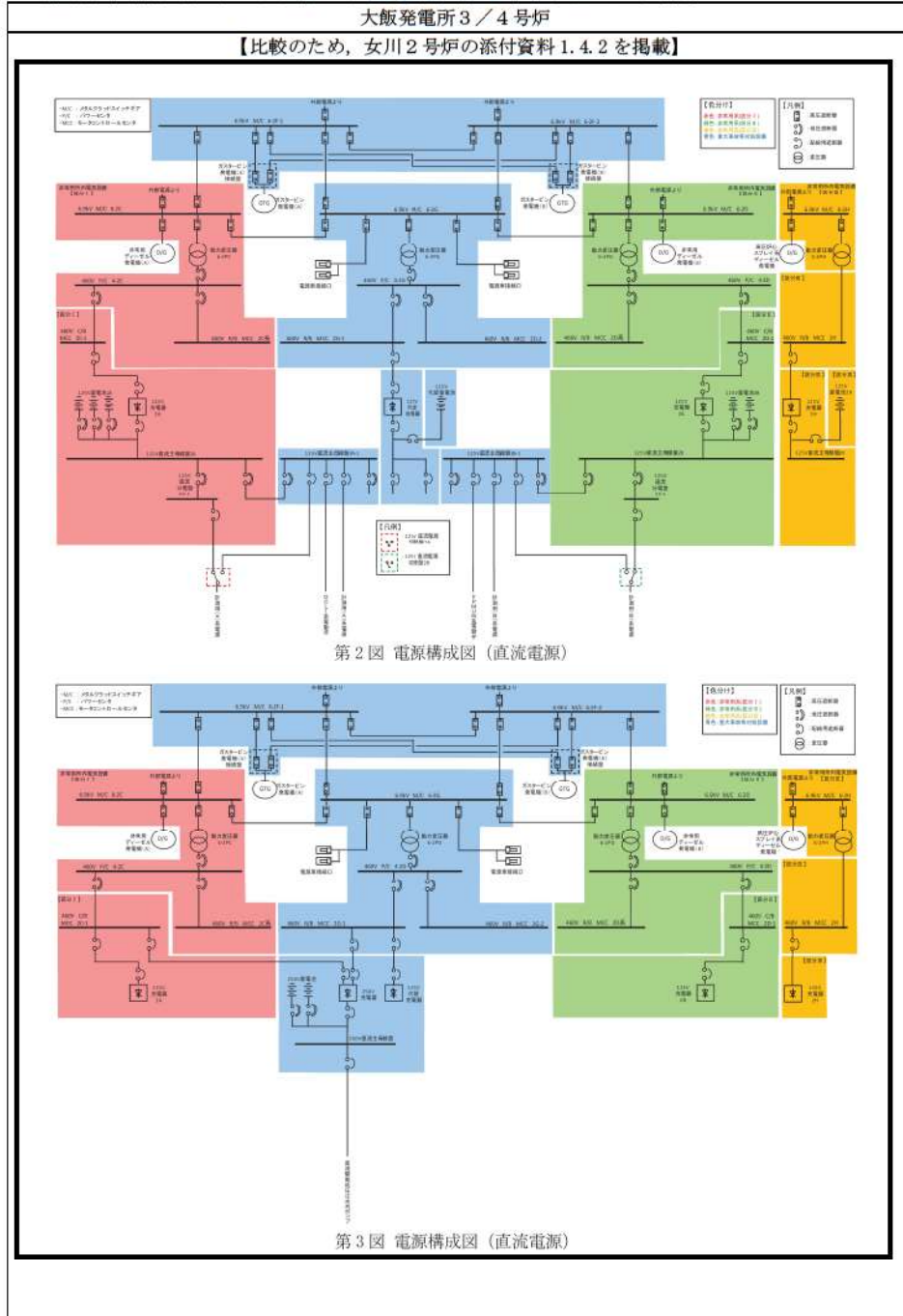
大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">大飯発電所3/4号炉</p> <p style="text-align: center;">【比較のため、女川2号炉の添付資料1.4.2を掲載】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: 90%;"> <p style="text-align: center;">添付資料 1.4.2</p> <p style="text-align: center;">対応手段として選定した設備の電源構成図</p>  <p style="text-align: center;">第1図 電源構成図（交流電源）</p> </div>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.2</p> <p style="text-align: center;">対応手段として選定した設備の電源構成図</p>  <p style="text-align: center;">第1図 電源構成図（交流電源）</p> <p style="text-align: right;">*1：常設代替交流電源設備の主要設備 *2：可搬型代替交流電源設備の主要設備 *3：代替所内電気設備の主要設備</p>	<p>【女川】 設備の相違による電源構成の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 （女川実績の反映） ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



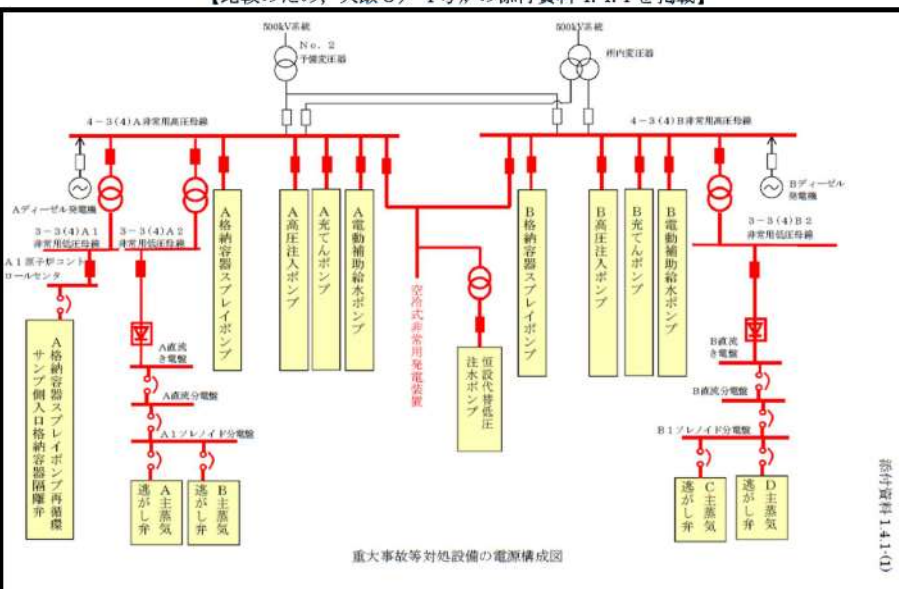
相違理由

【女川】
 設備の相違による電源構成の相違

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">【比較のため、大飯3/4号炉の添付資料1.4.1を掲載】</p>  <p style="text-align: center;">重大事故等対処設備の電源構成図</p> <p style="text-align: right;">添付資料1.4.1参照</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> 比較対象は泊3号炉の添付資料1.4.1参照 </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は流路及び給電に使用する設備を記載</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉 【比較のため、大飯3/4号炉の添付資料1.4.1を掲載】 添付資料1.4.1-(2)	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">比較対象は泊3号炉の添付資料 1.4.1 参照</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 (女川実績の反映) ・泊は「第1図 電源構成図(交流電源)」にまとめて記載</p>

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

重大事故等対処設備及び多様性拡張設備整理表

設備名	設備の位置	設備の機能	多様性拡張設備		設備の位置		設備の機能		設備の位置		設備の機能		備考
			設備名	設備の位置	設備名	設備の位置	設備名	設備の位置	設備名	設備の位置			
47号機	原子炉建屋	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	
47号機	原子炉建屋	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための設備	

※1、※2： 重大事故等対処設備の稼働モードに使用する設備の組み合わせを表す。

添付資料1.4.2

泊発電所3号炉

相違理由

比較対象は泊3号炉の添付資料1.4.1参照

記載方針の相違（女川審査実績の反映）
 ・大飯の比較対象となる泊の添付資料1.4.1は前段で整理している。
 ・泊は女川の審査実績を踏まえた構成としているため、本資料の比較対象は女川としている。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉						泊発電所3号炉						相違理由
多様性拡張設備仕様						添付資料 1.4.3						【大飯】設備の相違 (相違理由③, ④, ⑤, ⑥)
機器名称						自主対策設備仕様						
電動消火ポンプ	常設 /可搬	Cクラス	約1,200m ³ /h	83m	1台	電動機駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m ³ /h	138m	1台	
ディーゼル消火ポンプ	常設	Cクラス	約1,200m ³ /h	55m	1台	ディーゼル駆動消火ポンプ	常設	Cクラス	約390m ³ /h	133m	1台	
No. 2 淡水タンク	常設	Cクラス	約8,000m ³	—	1基	ろ過水タンク	常設	Cクラス	約1,500m ³	—	4基	
ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m ³ /h	80m	2基	可搬型大型送水ポンプ車	可搬	転倒評価	約300m ³ /h	吐出圧力 約1.3MPa[gage]	4台+予備2台	
ほう酸タンク	常設	Sクラス	約100m ³	—	2基	代替給水ビット	常設	Cクラス	約473m ³	—	1基	
1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	60m ³ /h	80m	2台	原水槽	常設	Cクラス	約5,000m ³	—	2基	
1次系純水タンク	常設	Cクラス	328m ³	—	2基	2次系純水タンク	常設	Cクラス	約1,500m ³	—	2基	
A格納容器スプレイポンプ（自己冷却） （RHR S-CSS連絡ライン使用）	常設	Sクラス	約1,200m ³ /h	約175m	1台	ほう酸ポンプ	常設	Sクラス	約17m ³ /h	72m	2台	
燃料取替用水ビット	常設	Sクラス	3号炉：約2,900m ³ (4号炉：約2,100m ³)	—	1基	ほう酸タンク	常設	Sクラス	約40m ³	—	2基	
A余熱除去ポンプ（空調用冷水）	常設	Sクラス	約1,020m ³ （安全注入時 及び再循環時） 約681m ³ （余熱除去時）	約91m（安全注入時 及び再循環時） 約107m（余熱除去時）	1台	1次系補給水ポンプ	常設	Cクラス	45m ³ /h	95m	2台	
格納容器再循環サンプ	常設	Sクラス	—	—	2基	1次系純水タンク	常設	Cクラス	約360m ³	—	1基	
納容器再循環サンプスクリーン	常設	Sクラス	—	—	2基	B-格納容器スプレイポンプ	常設	Sクラス	約940m ³ /h	約170m	1台	
機器名称	常設 /可搬	耐震性	容量	揚程	台数	燃料取替用水ビット	常設	Sクラス	約2,000m ³	—	1基	
電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約3,300m ³ /h	約620m	1台	電動主給水ポンプ	常設	Cクラス	約3,400m ³ /h	620m	1台	
脱気器タンク	常設	Cクラス	約600m ³	—	1基	脱気器タンク	常設	Cクラス	約400m ³	—	1基	
蒸気発生器補給用仮設中圧ポンプ（電動）	可搬	—	50m ³ /h	300m	1台	SG直接給水用高圧ポンプ	常設	免震	90m ³ /h	900m	1台	
復水ビット	常設	Sクラス	約1,200m ³	—	1基	補助給水ビット	常設	Sクラス	約660m ³	—	1基	
タービンバイパス弁	常設	Cクラス	—	—	15台	タービンバイパス弁	常設	Cクラス	約350t/h	—	6個	
ポンプ車	可搬	—	120 m ³ /h	85m	1台							
送水車	可搬	—	300m ³ /h	約120m	3台							

添付資料 1.4.3-(1)

添付資料 1.4.3-(2)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.4</p> <p style="text-align: center;">A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用） による代替炉心注水</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン弁電源投入】</p> <p>1. 操作概要 A格納容器スプレイポンプによるRHRS-CSS連絡ラインを使用した炉心注水のため、RHRS-CSS連絡ライン弁の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：7分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.4</p> <p style="text-align: center;">B格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用） による原子炉容器への注水</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン系統構成】</p> <p>1. 操作概要 B格納容器スプレイポンプによるRHRS-CSS連絡ラインを使用した原子炉容器への注水のため、RHRS-CSS連絡ラインの弁操作を行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：20分 操作時間（訓練実績等）：11分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・作業場所の追加 ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・泊は「実績」又は「模擬」の作業時間を「訓練実績等」と記載。（女川と同様） ・放射線防護具着用時間を含めていることを記載。（伊方、玄海と同様） ・以降、同様の相違理由は省略する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） ・防護具は必要に応じて着用する記載としている ・以降、同様の相違理由は省略する。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）




1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>操作性：通常行う電源操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>  <p>RHRS-CSS連絡ライン弁電源入 (制御建屋 E.L.+15.8m)</p>	<p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>  <p>RHRS-CSS連絡ライン手動弁操作 (原子炉補助建屋 T.P. 10.3m (中間床))</p>	<p>【大飯】設備の相違 (相違理由①)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5</p> <p style="text-align: center;">恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>【恒設代替低圧注水ポンプ系統構成、電源投入及び起動操作】</p> <p>1. 操作概要 恒設代替低圧注水ポンプ起動準備として、系統構成及び電源を入とし、現場にてポンプ起動を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：4名/ユニット 操作時間（想定）：30分 操作時間（実績）：24分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う電源操作及び弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="129 976 526 1273">  </div> <div data-bbox="600 976 945 1273">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="152 1292 519 1348"> <p>① 恒設代替低圧注水ポンプ系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p> </div> <div data-bbox="609 1292 976 1348"> <p>② 恒設代替低圧注水ポンプ起動操作 (原子炉周辺建屋 E.L.+17.1m)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> ②の写真はイメージ </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(1)</p> <p style="text-align: center;">代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水</p> <p>【代替格納容器スプレイポンプ系統構成】</p> <p>1. 操作概要 代替格納容器スプレイポンプ起動準備として系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 10.3m, T.P. 24.8m 原子炉補助建屋 T.P. 10.3m, T.P. 10.3m (中間床)</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名 操作時間（想定）：30分 操作時間（訓練実績等）：27分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1093 1008 1460 1284">  </div> <div data-bbox="1505 1008 1872 1284">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1153 1300 1406 1348"> <p>代替格納容器スプレイポンプ (周辺補機棟 T.P. 10.3m)</p> </div> <div data-bbox="1523 1300 1848 1348"> <p>代替格納容器スプレイポンプ系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.10.3m)</p> </div> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は系統構成、起動操作及び受電操作について個別に整理している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 751 674 804" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(2)</p> <p>【代替格納容器スプレィポンプ起動操作】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 操作概要 代替格納容器スプレィポンプを現場にて起動する。 2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 10. 3m 3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 5分 操作時間（訓練実績等） : 3分（現場移動時間を含む。） 4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：代替格納容器スプレィポンプの操作場所は、通路付近にあり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。 <div data-bbox="1308 919 1671 1193" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">代替格納容器スプレィポンプ起動操作 （周辺補機棟 T.P. 10. 3m）</p>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は系統構成、起動操作及び受電操作について個別に整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 721 676 778" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(3)</p> <p>【代替格納容器スプレイポンプ受電操作】</p> <p>1. 操作概要 非常用高圧母線から代替格納容器スプレイポンプへの給電が必要な場合、非常用高圧母線の受電遮断器の投入操作を実施する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T. P. 10. 3m</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 15分 操作時間（訓練実績等） : 13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う遮断器操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="1108 943 1373 1297" style="text-align: center;">  <p>受電遮断器操作 (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> <div data-bbox="1503 979 1877 1262" style="text-align: center;">  <p>受電遮断器操作 (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は系統構成、起動操作及び受電操作について個別に整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.5-(4)</p> <p>【代替格納容器スプレイポンプによる原子炉格納容器内へのスプレイから原子炉容器への注水への切り替え】</p> <p>1. 操作概要 代替格納容器スプレイポンプにて原子炉格納容器内へのスプレイを実施していた場合に、代替格納容器スプレイポンプによる原子炉容器への注水が必要と判断すれば、代替格納容器スプレイポンプの注水先を原子炉格納容器から原子炉容器へ切り替え、原子炉容器への注水を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P. 10. 3m 原子炉補助建屋T.P. 10. 3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 15分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>格納容器スプレイから炉心注水への切り替え 系統構成 （周辺補機棟 T.P. 10. 3m）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>RHRS-CSS 連絡ライン手動弁操作 （原子炉補助建屋 T.P. 10. 3m（中間床））</p> </div> </div>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由⑨）</p> <p>・泊は代替格納容器スプレイポンプの注水先の切替えに現場操作が必要であるため、操作の成立性について整理している。（伊方と同様）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.6-(1)</p> <p style="text-align: center;">電動消火ポンプ又はディーゼル消火ポンプによる代替炉心注水</p> <p>【消火ポンプによる炉心注水ライン系統構成】</p> <p>1. 操作概要 消火水を原子炉へ注水するための系統構成を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間</p> <p style="padding-left: 20px;">必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：30分 操作時間（実績）：21分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性</p> <p style="padding-left: 20px;">アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p style="padding-left: 20px;">作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p style="padding-left: 20px;">操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p style="padding-left: 20px;">連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.6</p> <p style="text-align: center;">電動機駆動消火ポンプ又はディーゼル駆動消火ポンプによる原子炉容器への注水</p> <p>【消火ポンプによる原子炉容器への注水ライン系統構成】</p> <p>1. 操作概要 消火水を原子炉容器へ注水するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.17.8m 原子炉補助建屋T.P.2.8m, T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 運転員（現場）B 必要要員数：1名 操作時間（想定）：30分 操作時間（訓練実績等）：18分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 運転員（現場）C 必要要員数：1名 操作時間（想定）：25分 操作時間（訓練実績等）：13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性</p> <p style="padding-left: 20px;">移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p style="padding-left: 20px;">作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p style="padding-left: 20px;">操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。また、可搬型ホースの接続はクイックカプラ式であり、容易に接続可能である。</p> <p style="padding-left: 20px;">連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p> <p>【大飯】設備の相違 (相違理由⑩)</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
 <p data-bbox="322 598 748 667">消火水注水ライン系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L. +10.0m)</p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1160 414 1456 507">消火ポンプによる原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場) B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1505 414 1800 507">消火ポンプによる原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場) C) (周辺補機棟 T. P. 17. 8m)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1173 742 1460 858">消火水系配管と格納容器スプレイ系配管との接続のための可搬型ホース接続前 (運転員(現場) B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> <div style="width: 50%;">  <p data-bbox="1518 742 1818 858">消火水系配管と格納容器スプレイ系配管との接続のための可搬型ホース配管接続後 (運転員(現場) B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> </div>	<p data-bbox="1966 638 2123 689">【大飯】設備の相違 (相違理由②)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.6-(2)</p> <p>【消火ポンプによる炉心注水ライン弁電源投入】</p> <p>1. 操作概要 消火水を原子炉へ注水するための系統構成のうち、RHRS-CSS連絡ライン弁及び消火水注入ライン弁の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：7分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う電源操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>消火水注入ライン弁電源入 (制御建屋 E.L.+15.8m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、RHRS-CSS連絡ラインの弁が手動弁であるため、電源投入操作は不要。 ・消火ポンプ注水ラインの電動弁は常時電源入であるため、電源投入操作は不要。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">可搬式代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水</p> <p>【送水車、可搬型ホース等配備】</p> <p>1. 作業概要 海水を仮設組立式水槽へ注水するための送水車、可搬型ホース等を配備する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：5名/ユニット 作業時間（想定）：3.4時間 作業時間（実績）：90分</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(1)</p> <p style="text-align: center;">海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>【可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置（水中ポンプの設置含む。）】</p> <p>1. 作業概要 海水を原子炉容器へ注水するための可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置及び海水取水箇所への水中ポンプ設置等を行う。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P. 10.3m, T.P. 33.1m 屋外（海水取水箇所周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：6名 作業時間（想定）：200分 作業時間（訓練実績等）：160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】設備の相違 ・泊は、海水を取水するためにポンプ車付属の水中ポンプを使用する。（海水取水に水中ポンプを使用するのは、川内及び玄海と同様）</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・大飯は「送水車、可搬型ホース等配備」、「仮設組立式水槽の設置」、「可搬式代替低圧注水ポンプ等配備」及び「系統構成」の資料構成としている。</p> <p>・泊は、「可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む。）」及び「系統構成」の資料構成としている。</p> <p>・操作及び作業の成立性について網羅的に説明する方針は同様である。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

泊発電所3号炉 技術的能力 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>作業性：送水車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。</p> <p>また、接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p>	<p>なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。</p> <p>作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。</p> <p>屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。</p> <p>また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。</p> <p>海水取水箇所から吊り下げて設置する水中ポンプは軽量なものであり人力で降下設置できる。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊は寒冷地特有の考慮する事項を記載</p> <p>【大飯】 設備名称の相違 【大飯】設備の相違 ・泊はホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設の作業性の容易性を整理している。（女川と同様） ・泊の可搬型ホースの接続は「汎用の結合金具」である。（女川と同様） ・泊の可搬型大型送水ポンプ車の水中ポンプは人力により設置が可能。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違（女川実績の反映） 設備名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由												
<p style="text-align: center;">大飯発電所3 / 4号炉</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 送水車の移動 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 可搬型ホースの接続前 (屋外)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③ 可搬型ホースの接続後 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px; border: 1px solid black; padding: 5px;"> 写真はイメージ </div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 400m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td>150A</td> <td>約 8 本×1 系統 約 5 本×1 系統</td> </tr> <tr> <td>海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統</td> <td>150A</td> <td>約 9 本×2 系統 約 11 本×1 系統 約 5 本×1 系統</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 (屋外)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース(150A)接続前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型ホース(150A)接続後</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車の設置 ポンプ車周辺のホース敷設 (屋外)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海水取水箇所への水中ポンプ設置 (屋外)</p> </div> </div>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 8 本×1 系統 約 5 本×1 系統	海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 9 本×2 系統 約 11 本×1 系統 約 5 本×1 系統	<p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊は当該手段で敷設する可搬型ホースの距離等を整理している。(玄海、川内と同様)</p>
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 400m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 8 本×1 系統 約 5 本×1 系統											
海水取水箇所（3号炉取水ピットスクリーン室）～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 450m×2 系統 約 550m×1 系統 約 50m×1 系統	150A	約 9 本×2 系統 約 11 本×1 系統 約 5 本×1 系統											

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）


1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(2)</p> <p>【仮設組立式水槽の設置】</p> <p>1. 作業概要 取水路から取水した海水を一時的に貯蔵するための仮設組立式水槽を設置する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：4名/ユニット（可搬式代替低圧注水ポンプ等配備と同時作業。） 作業時間（想定）：2.5時間（可搬式代替低圧注水ポンプ等配備と同時作業。） 作業時間（実績）：2時間（昼間、夜間に実施。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：可搬型設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：仮設組立式水槽は、複数の部材で構成されているが、構造がシンプルであり、容易に組立てが可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 80px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">① 保護シート設置 (屋外) ② 内袋仮置及びフレーム (外装枠) 設置 (屋外)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 80px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">③ フレームジョイント板による固定 (屋外) ④ 内袋取付け (屋外)</p> <div style="border: 1px solid black; width: 200px; height: 80px; margin: 10px auto;"></div> <p style="text-align: center;">⑤ 内袋のロープによる固縛 (屋外) ⑥ 仮設組立式水槽 (組立て後) (屋外)</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 2px;">枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は「送水車、可搬型ホース等配備」、「仮設組立式水槽の設置」、「可搬式代替低圧注水ポンプ等配備」及び「系統構成」の資料構成としている。 ・泊は、「可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む）」及び「系統構成」の資料構成としている。 ・操作及び作業の成立性について網羅的に説明する方針は同様である。 <p>【大飯】設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(3)</p> <p>【可搬式代替低圧注水ポンプ等配備】</p> <p>1. 作業概要 原子炉へ注水するための準備として、可搬式代替低圧注水ポンプ、可搬型ホース、電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用）及び電源ケーブルを設置並びに接続する。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：4名/ユニット（仮設組立式水槽の設置と同時作業。） 作業時間（想定）：2.5時間（仮設組立式水槽の設置と同時作業。） 作業時間（実績）：2時間（昼間、夜間に実施。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：可搬式設備保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：可搬式設備は車両として移動が可能であり、荷降ろしは人力での作業であるため、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続はワンタッチ式であり、容易に接続可能である。 連絡手段：事故環境下において通常連絡手段が使用不能となった場合でも、トランシーバー、衛星電話（アイサットフォン）を携帯しており、確実に連絡可能である。</p> <div style="border: 1px solid black; width: 300px; height: 130px; margin: 10px auto;"></div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="text-align: center;">① 可搬式代替低圧注水ポンプ (屋外)</div> <div style="text-align: center;">② 電源車（可搬式代替低圧注水ポンプ用） (屋外)</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; width: 140px; height: 130px;"></div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 5px 0;"> <div style="text-align: center;">③ 可搬型ホースの運搬 (屋外)</div> <div style="text-align: center;">④ 可搬型ホース接続 (屋外)</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: 100px; margin: auto;">比較対象なし</div>	<p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は「送水車、可搬型ホース等配備」、「仮設組立式水槽の設置」、「可搬式代替低圧注水ポンプ等配備」及び「系統構成」の資料構成としている。 ・泊は、「可搬型大型送水ポンプ車、可搬型ホース等の設置（水中ポンプの設置含む）」及び「系統構成」の資料構成としている。 ・操作及び作業の成立性について網羅的に説明する方針は同様である。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(4)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 可搬式代替低圧注水ポンプにより原子炉への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間</p> <p>必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：30分 操作時間（実績）：29分</p> <p>3. 操作の成立性</p> <p>アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.7-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車により原子炉容器への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m, T.P.17.8m, T.P.40.3m 原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間</p> <p>(1) 運転員（現場）B</p> <p>a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数：1名 操作時間（想定）：25分 操作時間（訓練実績等）：13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>(2) 運転員（現場）C</p> <p>a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数：1名 操作時間（想定）：25分 操作時間（訓練実績等）：12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>b. 原子炉容器への注水開始前系統構成 必要要員数：1名 操作時間（想定）：25分 操作時間（訓練実績等）：12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性</p> <p>移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。</p> <p>作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。</p> <p>操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉			相違理由
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>①可搬式代替低圧注水ポンプ 系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L. +10.0m)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②可搬式代替低圧注水ポンプ 系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L. +10.0m)</p> </div> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員(現場) B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員(現場) B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m (中間床))</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>可搬型大型送水ポンプ車による 原子炉容器への注水 系統構成 (運転員(現場) C) (周辺補機棟 T. P. 10. 3m)</p> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.8-(1)</p> <p style="text-align: center; color: red;">代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>【可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 代替給水ピットを水源として原子炉容器へ注水するための可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置及び代替給水ピットへの吸管挿入等を行う。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟T.P. 33. 1m 屋外（代替給水ピット周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 145分 作業時間（訓練実績等） : 115分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。 代替給水ピットへ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1099 188 1865 288" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口</td> <td>約 150m × 1系統 約 50m × 1系統</td> <td>150 A</td> <td>約 3本 × 1系統 約 5本 × 1系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1361 371 1615 563" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による可搬型ホース敷設（屋外）</p> <div data-bbox="1146 655 1402 847" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース(150A)接続前</p> <div data-bbox="1574 655 1830 847" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース(150A)接続後</p> <div data-bbox="1146 922 1402 1114" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車の設置 代替給水ビットへの吸管挿入 （屋外） （作業風景は類似作業）</p> <div data-bbox="1574 922 1830 1114" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m × 1系統 約 50m × 1系統	150 A	約 3本 × 1系統 約 5本 × 1系統	
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
代替給水ビット～可搬型大型送水ポンプ車 33m 接続口	約 150m × 1系統 約 50m × 1系統	150 A	約 3本 × 1系統 約 5本 × 1系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="423 778 674 831" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.8-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 代替給水ピットを水源とした可搬型大型送水ポンプ車により原子炉容器への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟 T.P. 10.3m, T.P. 17.8m, T.P. 40.3m 原子炉補助建屋 T.P. 10.3m, T.P. 10.3m (中間床)</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 (1) 運転員 (現場) B a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 25分 操作時間 (訓練実績等) : 13分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>(2) 運転員 (現場) C a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 25分 操作時間 (訓練実績等) : 12分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>b. 原子炉容器への注水開始前系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間 (想定) : 25分 操作時間 (訓練実績等) : 11分 (現場移動, 放射線防護具着用時間を含む。)</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1039 193 1319 405"> </div> <div data-bbox="1348 193 1628 405"> </div> <div data-bbox="1657 193 1937 405"> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="1039 411 1319 544"> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場) B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p> </div> <div data-bbox="1348 411 1628 544"> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場) B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m (中間床))</p> </div> <div data-bbox="1657 411 1937 544"> <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水系統構成 (運転員(現場) C) (周辺補機棟 T. P. 10. 3m)</p> </div> </div>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.9-(1)</p> <p style="text-align: center; color: red;">原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水</p> <p>【可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置（吸管の挿入含む。）】</p> <p>1. 作業概要 原水槽を水源として原子炉容器へ注水するための可搬型ホースの敷設、可搬型大型送水ポンプ車の設置及び原水槽への吸管挿入等を行う。</p> <p>2. 作業場所 周辺補機棟 T.P. 10.3m 屋外（原水槽周辺及び原子炉建屋周辺）</p> <p>3. 必要要員数及び作業時間 必要要員数 : 6名 作業時間（想定） : 200分 作業時間（訓練実績等） : 160分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 作業の成立性 移動経路：夜間においても、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：可搬型大型送水ポンプ車等の保管エリア、運搬ルート及び設置エリア周辺には、作業を行う上で支障となる設備はなく、また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 なお、冬季間の屋外作業では防寒服等の着用が必要となるが、夏季と冬季での作業時間に相違がないことを訓練実績等で確認している。 作業性：可搬型大型送水ポンプ車は、車両として移動可能な設計であり容易に移動できる。屋外に敷設する可搬型ホースは、ホース延長・回収車（送水車用）を使用することから、容易に実施可能である。また、可搬型ホースの接続は汎用の結合金具であり、容易に接続可能である。 原水槽へ挿入する吸管は可搬型大型送水ポンプ車に搭載されており、人力で挿入できる。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、無線連絡設備（携帯型）、衛星電話設備（携帯型）を携帯しており、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由								
<div data-bbox="421 719 676 778" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: center;">可搬型ホース敷設箇所</p> <table border="1" data-bbox="1099 220 1865 316"> <thead> <tr> <th>敷設ルート</th> <th>敷設長さ</th> <th>ホース口径</th> <th>本数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口</td> <td>約 600m × 1 系統 約 50m × 1 系統</td> <td>150 A</td> <td>約 12 本 × 1 系統 約 5 本 × 1 系統</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1361 387 1615 595" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">ホース延長・回収車（送水車用）による 可搬型ホース敷設 （屋外）</p> <div data-bbox="1146 694 1402 882" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続前</p> <div data-bbox="1574 694 1830 882" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">可搬型ホース（150A）接続後</p> <div data-bbox="1146 962 1402 1150" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車の設置 原水槽への吸管挿入 （屋外）</p> <div data-bbox="1574 962 1830 1150" style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">可搬型大型送水ポンプ車 周辺のホース敷設 （屋外）</p>	敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数	原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 600m × 1 系統 約 50m × 1 系統	150 A	約 12 本 × 1 系統 約 5 本 × 1 系統	
敷設ルート	敷設長さ	ホース口径	本数							
原水槽～可搬型大型送水ポンプ車 10m 接続口	約 600m × 1 系統 約 50m × 1 系統	150 A	約 12 本 × 1 系統 約 5 本 × 1 系統							

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<div data-bbox="421 778 676 833" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.9-(2)</p> <p>【系統構成】</p> <p>1. 操作概要 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車により原子炉容器への注水を確保するための系統構成を行う。</p> <p>2. 操作場所 周辺補機棟T.P.10.3m, T.P.17.8m, T.P.40.3m 原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 (1) 運転員（現場）B a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 13分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） (2) 運転員（現場）C a. 原子炉容器への注水ライン系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。） b. 原子炉容器への注水開始前系統構成 必要要員数 : 1名 操作時間（想定） : 25分 操作時間（訓練実績等） : 12分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉			相違理由
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">比較対象なし</div>	 <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水システム構成 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m)</p>	 <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水システム構成 (運転員(現場)B) (原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m (中間床))</p>	 <p>可搬型大型送水ポンプ車による原子炉容器への注水システム構成 (運転員(現場)C) (周辺補機棟 T. P. 10. 3m)</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR
固有の設備や対応手段であり、泊3
号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.8</p> <p style="text-align: center;">A格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン弁電源投入】</p> <p>1. 操作概要 A格納容器スプレイポンプによる代替再循環運転のため、RHRS-CSS連絡ライン弁の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：10分 操作時間（実績）：7分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う電源操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p>  <p style="text-align: center;">RHRS-CSS連絡ライン弁電源入 （制御建屋 E.L.+15.8m）</p>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.10</p> <p style="text-align: center;">B格納容器スプレイポンプ（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替再循環運転</p> <p>【RHRS-CSS連絡ライン系統構成】</p> <p>1. 操作概要 B格納容器スプレイポンプによる代替再循環運転のため、RHRS-CSS連絡ラインの弁操作を行う。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名 操作時間（想定）：10分 操作時間（訓練実績等）：5分（現場移動時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p>  <p style="text-align: center;">RHRS-CSS連絡ライン系統構成 （原子炉補助建屋 T.P.10.3m（中間床））</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由①） ・泊は、RHRS-CSS連絡ラインの弁が手動弁であるため、電源投入操作は不要。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

<p>大飯発電所3/4号炉</p> <p>添付資料 1.4.9</p> <p>格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応手順について</p> <p>1. はじめに</p> <p>海外の格納容器再循環サンプスクリーン（以下「サンプスクリーン」という。）閉塞事象に関し原子力安全・保安院より指示を受け当社はサンプスクリーン閉塞に対する手順の整備と整備した手順書による教育訓練を行う旨を報告している。平成17年2月17日にサンプスクリーンの閉塞事象に関する事故時操作所則の改正を行うとともに、サンプスクリーン閉塞事象を運転員の訓練項目に追加し、現在も年1回の頻度で継続した訓練を行っている。</p> <p>2. 事象の概要</p> <p>1次冷材喪失事故時等において、燃料取替用水ピット水の注水、再循環運転に切り替え、高圧及び低圧注入流量や格納容器スプレイ流量等により正常に注水されていることを確認する。その後も格納容器再循環サンプの水位や高圧及び低圧注入流量を中央制御室にて継続的に監視し、サンプスクリーンに閉塞の兆候がないことを確認する。</p> <p>監視中、格納容器再循環サンプ水位の低下や各注水流量の低下等サンプスクリーン閉塞の兆候が現れれば、複数のパラメータ（必要により現地パラメータの確認含む。）により総合的に判断し、サンプスクリーン閉塞と判断されれば、サンプスクリーン閉塞時の運転基準にしたがいポンプの停止等によりサンプスクリーンの閉塞の回復を試みるとともに、燃料取替用水ピットへの補給により注水継続等の措置を行う。</p> <p>対応操作のフローを図1に示す。</p> <p>図1 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応操作</p>	<p>泊発電所3号炉</p> <p>添付資料 1.4.11</p> <p>格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応手順について</p> <p>1. はじめに</p> <p>海外の格納容器再循環サンプスクリーン（以下「サンプスクリーン」という。）閉塞事象に関し原子力安全・保安院より指示を受け当社はサンプスクリーン閉塞に対する手順の整備と整備した手順書による教育訓練を行う旨を報告している。1号及び2号炉では、平成17年2月24日にサンプスクリーン閉塞事象にかかわる事故時運転手順書の改正を行うとともに、サンプスクリーン閉塞事象を運転員の訓練項目に追加し、現在も年1回の頻度で継続した訓練を行っている。3号炉においても事故時運転手順書の整備を行うとともに、運用以降、年1回の頻度で継続した訓練を行っている。</p> <p>2. 事象の概要</p> <p>1次冷材喪失事故時等において、燃料取替用水ピット水の注水、再循環運転に切り替え、高圧及び低圧注入流量や格納容器スプレイ流量等により正常に注水されていることを確認する。その後も格納容器再循環サンプの水位や高圧及び低圧注入流量を中央制御室にて継続的に監視し、サンプスクリーンに閉塞の兆候がないことを確認する。</p> <p>監視中、格納容器再循環サンプ水位の低下、各注水流量の低下等サンプスクリーン閉塞の兆候が現れれば、複数のパラメータ（必要により現場パラメータの確認含む。）により総合的に判断し、サンプスクリーン閉塞と判断されれば、運転要領緊急処置編に従いポンプの停止等によりサンプスクリーンの閉塞の回復を試みるとともに、燃料取替用水ピットへの補給により注水継続等の措置を行う。</p> <p>対応操作のフローを図1に示す。</p> <p>図1 格納容器再循環サンプスクリーン閉塞時の対応操作</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】 記載内容の相違 ・泊は1/2号炉と3号炉で事故時運転手順書への反映等時期が異なるため明記している。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 ・プラント毎の運転操作に使用する文書名称の相違</p>
--	--	---

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）



1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉 添付資料 1.4.10	泊発電所 3号炉 添付資料 1.4.12	相違理由
<p style="text-align: center;">全交流動力電源喪失とLOCA事象が重畳する場合の 対応操作について</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した時点から恒設代替低圧注水ポンプ及びB充てんポンプ自己冷却運転の準備を開始し、恒設代替低圧注水ポンプの準備が完了し原子炉に注水が可能となれば、その段階で実施する。また、事象の進展に伴い炉心損傷が確認されれば格納容器破損防止を優先し、恒設代替低圧注水ポンプの注水先を炉心注水側から格納容器スプレイ側に変更する。また、炉心の損傷防止及び緩和のためB充てんポンプ自己冷却運転の準備が整い次第、代替炉心注水を開始する。</p> <p>全交流動力電源喪失時とLOCA事象が重畳した場合の判断及び対応操作について以下のフローに示す。</p> <pre> graph TD Start[全交流動力電源喪失が発生] --> Decision{1次冷却系からの漏えいはあるか} Decision -- NO --> BPrep[B充てんポンプ自己冷却運転の準備] Decision -- YES --> ConstPump[恒設代替低圧注水ポンプによる代替炉心注水を開始する] ConstPump --> CheckDamage[炉心損傷の確認 炉心出口温度 350℃以上 及び 格納容器内高レンジエアモニタ 1×10⁵mSv/h 以上] CheckDamage --> Switch[恒設代替低圧注水ポンプの注水先を炉心注水側から格納容器スプレイ側に変更し、MCCIによる格納容器損傷防止を図る] Switch --> BPrep2[B充てんポンプ自己冷却運転の準備が整い次第、 代替炉心注水を開始し、炉心の損傷進展防止及び緩和を図る] BPrep --> BPrep2 </pre>	<p style="text-align: center;">全交流動力電源喪失とLOCA 事象が重畳する場合の 対応操作について</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した時点から代替格納容器スプレイポンプ及びB-充てんポンプ（自己冷却）の準備を開始する。大 LOCA でないと判断した場合は、代替格納容器スプレイポンプの準備が完了し炉心に注水が可能となれば、その段階で実施する。また、大 LOCA と判断した場合や事象の進展に伴い炉心損傷が確認されれば格納容器破損防止を優先し、代替格納容器スプレイポンプの注水先を「炉心注水」から「格納容器スプレイ」に変更する。なお、炉心の損傷防止及び緩和のためB-充てんポンプ（自己冷却）の準備が整い次第、代替炉心注水を開始する。</p> <p>全交流動力電源喪失と LOCA 事象が重畳した場合の判断及び対応操作について以下のフローに示す。</p> <pre> graph TD Start[全交流動力電源喪失が発生] --> Decision{1次冷却材圧力が蓄圧タンク動作圧力まで急激に低下し、かつ1次冷却材圧力が回復しない} Decision -- No --> BPrep[B-充てんポンプ（自己冷却）準備] Decision -- Yes --> ConstPump[代替格納容器スプレイポンプによる代替炉心注水] ConstPump --> CheckDamage[炉心損傷の確認 炉心出口温度 350℃ 及び 格納容器内高レンジエアモニタ 1×10⁵mSv/h] CheckDamage --> Switch[代替格納容器スプレイポンプの注水先を「炉心注水」から「格納容器スプレイ」に変更し、MCCIによる格納容器破損防止を図る] Switch --> BPrep2[B-充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水により、 炉心の損傷防止及び緩和を図る] BPrep --> BPrep2 </pre>	<p>本資料の内容は、有効性評価 7.1.2. 全交流動力電源喪失「添付資料 7.1.2.21 全交流動力電源喪失とLOCA 事象が重畳する場合の対応操作について」にてご説明済み。</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は SBO 時に大 LOCA が重畳した場合には、短時間で炉心損傷に至ることから、その時点で格納容器破損防止対応に移行するが、大飯は炉心損傷確認後に移行する手順となっている。炉心損傷となれば格納容器破損防止に移行するという対応自体は同一であり、実質差異はない。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3 / 4号炉	泊発電所 3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.11-(1)</p> <p style="text-align: center;">B充てんポンプ（自己冷却）による代替炉心注水</p> <p>【自己冷却ラインディスタンスピース取替え】</p> <p>1. 作業概要 B充てんポンプ（自己冷却）による原子炉への注水準備のために、自己冷却ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：3名／ユニット 作業時間（想定）：63分 作業時間（実績）：60分（現場移動時間を含む、常用照明切にて実施。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、事故環境下においてもアクセス可能である。 作業環境：室温及び放射線量は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に実施可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="250 849 528 1031">  <p>① ディスタンスピース</p> </div> <div data-bbox="591 842 846 1034">  <p>② ディスタンスピース取替え作業 （原子炉周辺建屋 E.L.+14.7m）</p> </div> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.13</p> <p style="text-align: center;">B一充てんポンプ（自己冷却）による原子炉容器への注水</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px auto; width: 80%;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>・泊の自己冷却ラインは、弁操作により系統構成を実施するため、次ページにまとめて整理している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR
固有の設備や対応手段であり、泊3
号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.11-(2)</p> <p>【B充てんポンプ自己冷却運転（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 原子炉補機冷却水系による充てんポンプの冷却が不能になった場合に、B充てんポンプの自己冷却ラインを使用し冷却水を確保して、ポンプ運転を行うための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名/ユニット 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：52分（現場移動時間を含む、常用照明切にて実施。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="241 917 510 1125"> <p>① B充てんポンプ 自己冷却運転系統構成 (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p> </div> <div data-bbox="586 917 855 1125"> <p>② B充てんポンプ 自己冷却運転系統構成(照明消灯にて撮影) (原子炉周辺建屋 E.L.+10.0m)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div data-bbox="255 1204 519 1401"> <p>③ ベンティングホース接続</p> </div> </div>	<p>【B一充てんポンプ自己冷却運転（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 原子炉補機冷却水設備による充てんポンプの冷却が不能になった場合に、B一充てんポンプの自己冷却ラインを使用し冷却水を確保して、ポンプ運転を行うための系統構成を実施する。</p> <p>2. 作業場所 原子炉補助建屋T.P.10.3m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名 操作時間（想定）：35分 操作時間（訓練実績等）：30分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1070 1008 1460 1305"> <p>B一充てんポンプ自己冷却運転系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.10.3m)</p> </div> <div data-bbox="1518 1008 1908 1305"> <p>B一充てんポンプ自己冷却運転系統構成 (原子炉補助建屋 T.P.10.3m（中間床）)</p> </div> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違 ・泊は常用照明入にて訓練した時間としているが、照明消灯時においてもヘッドライト、懐中電灯等及びバッテリー内蔵型照明により操作可能である。</p> <p>【大飯】 記載表現の相違 (女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.12-(1)</p> <p>A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による代替炉心注水</p> <p>【自己冷却ラインディスタンスピース取替え】</p> <p>1. 作業概要 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉への注水準備のために、自己冷却ラインのディスタンスピースを閉止用から通水用に取り替える。</p> <p>2. 必要要員数及び作業時間 必要要員数：2名/ユニット 作業時間（想定）：65分 作業時間（実績）：60分（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 作業の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：室温及び放射線量は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 作業性：ディスタンスピース取替え作業は一般的な作業であるため、容易に実施可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① ディスタンスピース</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>② ディスタンスピース取替え作業 (原子炉周辺建屋 E.L.+3.5m)</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③ ペンティングホース接続</p> </div>	<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.14</p> <p>B一格納容器スプレイポンプ（自己冷却）（RHRS-CSS連絡ライン使用）による原子炉容器への注水</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 20px 0;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】 記載表現の相違</p> <p>【大飯】 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の自己冷却ラインは、弁操作及び可搬型ホース接続により系統構成を実施する。 ・泊の可搬型ホース接続は、次ページにまとめて整理している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.12-(2)</p> <p>【A格納容器スプレイポンプ自己冷却運転（系統構成）】</p> <p>1. 操作概要 原子炉補機冷却水系によるA格納容器スプレイポンプの冷却が不能になった場合に、A格納容器スプレイポンプの自己冷却ラインを使用し冷却水を確保して、ポンプ運転を行うための系統構成を実施する。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：3名/ユニット 操作時間（想定）：60分 操作時間（実績）：36分（移動含む、常用照明切にて実施。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。 連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="129 1066 488 1337"> </div> <div data-bbox="600 1066 958 1337"> </div> </div> <p>① A格納容器スプレイポンプ自己冷却運転系統構成（原子炉周辺建屋 E.L.+3.5m）</p> <p>② A格納容器スプレイポンプ自己冷却運転系統構成（原子炉周辺建屋 E.L.+3.5m）</p>	<p>【B一格納容器スプレイポンプ自己冷却運転（系統構成及び可搬型ホース接続）】</p> <p>1. 操作概要 原子炉補機冷却水設備によるB一格納容器スプレイポンプの冷却が不能になった場合に、B一格納容器スプレイポンプの自己冷却ラインを使用し冷却水を確保して、ポンプ運転を行うための系統構成を実施する。</p> <p>2. 操作場所 原子炉補助建屋T.P.-1.7m, T.P.2.8m, T.P.10.3m（中間床）</p> <p>3. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：2名 操作時間（想定）：45分 操作時間（訓練実績等）：25分（現場移動、放射線防護具着用時間を含む。）</p> <p>4. 操作の成立性 移動経路：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、建屋内照明消灯時においてもアクセス可能である。また、アクセスルート上に支障となる設備はない。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 操作は汚染の可能性を考慮し、防護具（全面マスク、個人線量計、ゴム手袋等）を装備又は携行して作業を行う。 操作性：通常行う弁操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p style="text-align: center; color: red;">また、可搬型ホースの接続はクイックカプラ式であり、容易に接続可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に中央制御室へ連絡することが可能である。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1137 1120 1460 1359"> </div> <div data-bbox="1505 1120 1827 1359"> </div> </div> <p>自己冷却用水用可搬型ホース接続（原子炉補助建屋 T.P.-1.7m）</p> <p>B一格納容器スプレイポンプ自己冷却運転系統構成（原子炉補助建屋 T.P.-1.7m）</p>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊は常用照明入にて訓練した時間としているが、照明消灯時においてもヘッドライト、懐中電灯等及びバッテリー内蔵型照明により操作可能である。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: right;">添付資料 1.4.12-(3)</p> <p>【RHR S-CSS連絡ライン弁電源投入】</p> <p>1. 操作概要 A格納容器スプレイポンプ（自己冷却）による原子炉への注水のため、RHR S-CSS連絡ライン弁の電源を入とする。</p> <p>2. 必要要員数及び操作時間 必要要員数：1名/ユニット 操作時間（想定）：10分 操作時間（模擬）：10分以内（現場移動時間を含む。）</p> <p>3. 操作の成立性 アクセス性：ヘッドライト、懐中電灯等を携行していることから、アクセス可能である。 作業環境：事故環境下における室温は通常運転状態と同等である。また、作業エリアに設置されている照明はバッテリー内蔵型であり、事故環境下においても作業可能である。 また、汚染が予想されることから個人線量計を携帯し、全面マスク等を着用する。</p> <p>操作性：通常行う電源操作と同じであり、容易に操作可能である。</p> <p>連絡手段：事故環境下において通常の連絡手段が使用不能となった場合でも、携行型通話装置を使用し、確実に連絡可能である。</p> <div style="text-align: center;">  <p>RHR S-CSS連絡ライン弁電源入 (制御建屋 E.L.+15.8m)</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; display: inline-block;"> <p>比較対象なし</p> </div>	<p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>・泊は、RHR S-CSS連絡ラインの弁が手動弁であるため、電源投入操作は不要。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

大飯発電所3/4号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.13</p> <p style="text-align: center;">全交流動力電源が喪失した状態においてRCPシールLOCAが発生した場合の手順</p> <p>1. 手順着手の判断基準 外部電源が喪失し、ディーゼル発電機が起動失敗することにより全ての非常用母線への給電に失敗した場合は「全交流動力電源が喪失した場合の手順」に着手する。</p> <p>2. 操作手順 ① 当直課長は、手順着手の判断基準に基づき「全交流動力電源が喪失した場合の手順」に従い対応操作を開始するよう運転員等に指示する。 ② 運転員等は、中央制御室で原子炉トリップしゃ断器の開放、制御棒炉底位置表示灯点灯、炉外核計装の指示低下により、原子炉がトリップしていることを確認する。また、並行してタービン主要弁が閉となりタービンがトリップしていることを確認する。 ③ 運転員等は、中央制御室で主蒸気隔離弁の閉を確認し、各々の蒸気発生器の水位、圧力を監視し、2次冷却材喪失及び蒸気発生器伝熱管破損に関する兆候の有無を継続的に確認する。 ④ 運転員等は、中央制御室で1次冷却系の隔離状態を確認する。 ⑤ 運転員等は、中央制御室でタービン動補助給水ポンプの自動起動状態を確認するとともに蒸気発生器補助給水流量計にて補助給水が確立していることを確認する。 ⑥ 運転員等は、中央制御室及び現場で、ディーゼル発電機の手動起動操作を試みるとともに外部電源の受電状態を確認する。</p> <p>⑦ 当直課長は、早期の電源回復操作が不能と判断すれば、運転員等及び緊急安全対策要員に空冷式非常用発電装置による受電準備、恒設代替低圧注水ポンプの使用準備、アニュラス空気浄化系ダンパへの代替空気供給、水源確保、大容量ポンプの使用準備、中央制御室非常用循環系ダンパの開処置を依頼する。 ⑧ 運転員等は、中央制御室で空冷式非常用発電装置を起動するとともに、現場にて恒設代替低圧注水ポンプの使用準備を開始する。また、大容量ポンプの接続を緊急安全対策要員と連携して開始する。なお、空冷式非常用発電装置の起動に失敗した場合は、号機間電源融通を試み、成功しない場合は電源車からの受電を試みる。 ⑨ 緊急安全対策要員は、現場でアニュラス空気浄化系ダンパへの代替空気供給、水源確保、大容量ポンプの接続、中央制御室非常用循環系ダンパの開処置を開始する。</p>	<p style="text-align: center;">添付資料 1.4.15</p> <p style="text-align: center;">全交流動力電源が喪失した状態においてRCPシールLOCAが発生した場合の手順</p> <p>1. 手順着手の判断基準 外部電源が喪失し、ディーゼル発電機が起動失敗することによりすべての非常用母線への給電に失敗した場合は「全交流動力電源が喪失した場合の手順」に着手する。</p> <p>2. 操作手順 (1) 発電課長（当直）は、手順着手の判断基準に基づき「全交流動力電源が喪失した場合の手順」に従い対応操作を開始するよう運転員等に指示する。 (2) 運転員は、中央制御室で原子炉トリップしゃ断器の開放、制御棒炉底位置表示点灯、炉外核計装の指示低下により、原子炉がトリップしていることを確認する。また、並行してタービン主要弁が閉となりタービンがトリップしていることを確認する。 (3) 運転員は、中央制御室で主蒸気隔離弁の閉を確認し、各々の蒸気発生器の水位、圧力を監視し、2次冷却材喪失及び蒸気発生器細管漏えいに関する兆候の有無を継続的に確認する。 (4) 運転員は、中央制御室で1次冷却系の隔離状態を確認する。 (5) 運転員は、中央制御室でタービン動補助給水ポンプの自動起動状態を確認するとともに補助給水流量にて補助給水が確立していることを確認する。 (6) 運転員は、中央制御室及び現場で、ディーゼル発電機の手動起動操作を試みるとともに外部電源の受電状態を確認する。</p> <p>(7) 運転員は、早期の電源回復操作が不能と判断すれば、中央制御室で加圧器の圧力及び水位、原子炉格納容器の圧力及び温度、原子炉格納容器内放射線モニタの指示、格納容器サンプ水位、蒸気発生器の水位及び圧力等を継続的に確認し、1次冷却系からの漏えいの有無を確認する。</p> <p>(8) 発電課長（当直）は、早期の電源回復操作が不能と判断すれば、運転員及び災害対策要員に代替非常用発電機による受電準備、代替格納容器スプレイポンプの起動準備、アニュラス空気浄化設備ダンパへの代替空気の供給、水源確保、可搬型大型送水ポンプ車の接続、中央制御室空調装置ダンパの開処置を指示する。 (9) 運転員は、中央制御室で代替非常用発電機を起動するとともに、現場にて代替格納容器スプレイポンプの起動準備と可搬型大型送水ポンプ車の接続を災害対策要員と連携して開始する。なお、代替非常用発電機の起動に失敗した場合は、可搬型代替電源車からの受電を試み、成功しない場合は号炉間電力融通を試みる。 (10) 災害対策要員等は、現場で代替格納容器スプレイポンプの起動準備、アニュラス空気浄化設備ダンパへの代替空気供給、水源確保、可搬型大型送水ポンプ車の接続、中央制御室空調装置ダンパの開処置を開始する。</p>	<p>相違理由</p> <p>設備の相違 ・泊の制御棒炉底位置表示は画面表示から確認するためアナログ盤の表示灯の確認と相違する。美浜と同様。</p> <p>記載内容の相違 ・泊は中央制御室における原子炉トリップ等の確認は運転員が実施する。以降同様に運転員のみ操作の場合は「等」を記載しない。</p> <p>記載箇所の相違 ・泊はパラメータ確認を継続的に実施するように明記。大飯は手順⑥に記載している。</p> <p>設備名称の相違 ・補助給水流量計の名称の相違</p> <p>運用の相違 ・電源復旧手段の優先順位の相違</p> <p>記載内容の相違 ・泊は災害対策要員による代替格納容器スプレイポンプの起動準備について記載。大飯は⑧にて記載されている。</p>